蝴蝶図
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

TOUR 10

NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-

07.22(thu) 日本武道館【OPEN 17:30/START 18:30】
07.23(fri) 日本武道館【OPEN 17:30/START 18:30】
07.25(sun) 中野サンプラザホール【OPEN 17:30/START 18:00】
07.28(wed) 札幌市民ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
07.30(fri) 八王子市民会館【OPEN 18:00/START 18:30】
08.02(mon) 茨城県立県民文化センター【OPEN 18:00/START 18:30】
08.03(tue) 栃木県総合文化センター【OPEN 18:00/START 18:30】
08.05(thu) 桐生市市民文化会館シルクホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.08(sun) 秋田市文化会館 大ホール【OPEN 17:30/START 18:00】
08.09(mon) 青森市民ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.11(wed) 山形市民会館 大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.14(sat) 高知市文化プラザかるぽーと【OPEN 17:30/START 18:00】
08.16(mon) 広島ALSOKホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.17(tue) 岡山市民会館【OPEN 18:00/START 18:30】
08.19(thu) 福岡市民会館【OPEN 18:00/START 18:30】
08.21(sat) 千葉県文化会館【OPEN 17:30/START 18:00】
08.22(sun) 厚木市文化会館【OPEN 17:00/START 17:30】
08.24(tue) 新潟テルサ【OPEN 18:00/START 18:30】
08.25(wed) ホクト文化ホール 中ホール(長野県)【OPEN 18:00/START 18:30】
08.27(fri) 神奈川県立県民ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.30(mon) アクトシティ浜松　大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
08.31(tue) 名古屋国際会議場センチュリーホール【OPEN 18:00/START 18:30】

●7/22-7/23 日本武道館公演　チケット発売中
【料金】¥6,800(tax in) ※指定席
●7/25～8/31公演　チケット発売中
【料金】¥6,000(tax in) ※指定席
【TOTAL INFORMATION】
バックステージプロジェクト:TEL03-5786-2400(平日12:00～19:00)

TOUR 10

NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -02-

10.01(fri) 本多の森ホール(石川県)【OPEN 18:00/START 18:30】
10.02(sat) 富山県民会館【OPEN 17:30/START 18:00】
10.05(tue) 和歌山市民会館 大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.06(wed) 神戸国際会館こくさいホール【OPEN 17:45/START 18:30】
10.08(fri) 奈良県文化会館 大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.11(mon) 大阪国際会議場 メインホール【OPEN 17:45/START 18:30】
10.12(tue) 大阪国際会議場 メインホール【OPEN 17:45/START 18:30】
10.14(thu) 多治見市文化会館【OPEN 18:00/START 18:30】
10.16(sat) 山梨県立県民文化ホール【OPEN 17:30/START 18:00】
10.17(sun) さいたま市文化センター【OPEN 17:00/START 17:30】
10.20(wed) 松山市総合コミュニティセンターキャメリアホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.22(fri) サンポートホール高松 大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.24(sun) 仙台サンプラザホール【OPEN 17:15 START 18:00】
10.27(wed) 熊本県立劇場 演劇ホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.28(thu) 鹿児島谷山サザンホール【OPEN 18:00/START 18:30】
10.31(sun) よこすか芸術劇場【OPEN 17:00/START 17:30】
11.02(tue) 三重県文化会館 大ホール【OPEN 18:00/START 18:30】

●10/1～11/2公演　チケット発売中
【料金】¥6000(tax in)※指定席

【TOTAL INFORMATION】
バックステージプロジェクトTEL:03-5786-2400(平日12:00～19:00)

HERESY
PS COMPANY OFFICIAL MOBILE SITE
PSmobile

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
ダウト
ヶ月、海外にも及んだ
ウト長期自作自演ツアー上下巻 SPECIAL LIVE DVD
御礼参り EXPO'10
初回限定 2,000枚
PSID-30009 ／¥6,930(税込)
【DVD】
上 6月26日Shibuya O-EAST、4月25日大阪BIG CAT LIVE
下 初回限定特典「御礼参り EXPO'10」裏舞台映像
2010年09月29日(水) ON SALE
発売元:PS COMPANY Co.,Ltd.／販売元:ONG DISTRIBUTION
【特典対象】
●09/08発売Single「サイケデリコ∞サイケデリコ」初回盤A(¥1,890)・初回盤B(¥1,890)・通常盤(¥1,575)を3タイプ各1枚ずつ同時にお申込みの方にオフショット写真を1枚差し上げます。
●09/29発売DVD「御礼参り EXPO'10」初回限定盤(¥6,930)をお申込みの方にオフショット写真を1枚差し上げます。※特典は数に限りがございますので先着順となります。無くなり次第終了となりますのでご了承下さい。
【申込方法】インターネット通信販売サイト「Indie PSC. ONLINE SHOP」http://shop2.pscompany.co.jpよりお申込み下さい。「Indie PSC. ONLINE SHOP」はPC・携帯電話にてご利用いただけます。
【TOTAL INFORMATION】PS COMPANY Co.,Ltd.／Indie PSC.
〒168-0064東京都杉並区永福3-41-9-2F
TEL:03-5355-3822(平日12:00〜18:00)
OFFICIAL WEB SITE http://www.indie-psc.com/d-out
PS COMPANY OFFICIAL MOBILE SITE
PSmobile

ダウト武者修行47都道府県ツアー

LIVE BAND TOUR'10

09月04日(土) 東京・高田馬場AREA(ワンマン)
09月05日(日) 東京・高田馬場AREA(ワンマン)
09月11日(土) 沖縄・沖縄SALT&PEPPER
09月17日(金) 栃木・HEAVEN'S ROCK 宇都宮VJ-2
09月19日(日) 茨城・水戸LIGHT HOUSE
09月20日(月) 千葉・柏PALOOZA
09月23日(木) 群馬・高崎Club FLEEZ
09月25日(土) 神奈川・新横浜SUNPHONIX HALL
09月26日(日) 埼玉・HEAVEN'S ROCK さいたま新都心VJ-3
10月03日(日) 北海道・札幌MESSE HALL
10月05日(火) 青森・青森QUARTER
10月06日(水) 岩手・盛岡CLUB CHANGE WAVE
10月07日(木) 秋田・秋田Club SWINDLE
10月08日(金) 宮城・仙台HOOK
10月11日(月) 山形・山形ミュージック昭和 Session
10月12日(火) 福島・郡山CLUB#9
10月13日(水) 新潟・新潟CLUB JUNK BOX mini
10月15日(金) 富山・富山club MAIRO
10月16日(土) 石川・金沢AZ
10月17日(日) 長野・長野CLUB JUNK BOX
10月19日(火) 福井・福井CHOP
10月20日(水) 三重・松阪M'AXA
10月22日(金) 愛知・名古屋E.L.L
10月23日(土) 岐阜・岐阜club G
10月24日(日) 静岡・静岡LIVE HOUSE Sunash
10月26日(火) 山梨・甲府CONVICTION
11月02日(火) 滋賀・滋賀U★STONE
11月03日(水) 奈良・奈良Never Land
11月05日(金) 大阪・ESAKA MUSE
11月06日(土) 京都・京都FANJ
11月07日(日) 和歌山・和歌山LiveHouse&Club GATE
11月09日(火) 兵庫・神戸VARIT.
11月10日(水) 徳島・徳島club GRINDHOUSE
11月12日(金) 香川・高松DIME
11月13日(土) 高知・高知X-pt.
11月14日(日) 愛媛・松山SALON KITTY
11月16日(火) 大分・大分T.O.P.S
11月17日(水) 福岡・博多DRUM Be-1
11月19日(金) 宮崎・宮崎SR BOX
11月20日(土) 鹿児島・鹿児島SR HALL
11月21日(日) 熊本・熊本DRUM Be-9
11月23日(火) 長崎・長崎DRUM Be-7
11月24日(水) 佐賀・佐賀LIVE HOUSE GEILS
11月26日(金) 山口・山口LIVE rise
11月27日(土) 広島・広島ナミキジャンクション
11月28日(日) 岡山・岡山IMAGE
11月30日(火) 島根・出雲APOLLO
12月01日(水) 鳥取・米子Laughs

※ツアー詳細後日発表

-特別千秋楽- 近日発表!

公演日程

07月28日(水) 新潟CLUB JUNK BOX
07月30日(金) Shibuya O-EAST
08月02日(月) 仙台darwin
08月04日(水) 札幌KRAPS HALL
08月05日(木) 札幌KRAPS HALL
08月14日(土) 京都FANJ
08月15日(日) 岡山CRAZY MAMA KINGDOM
08月17日(火) 鹿児島CAPARVO HALL
08月18日(水) 博多DRUM LOGOS
08月20日(金) 高松DIME
08月21日(土) 大阪BIG CAT
08月22日(日) 名古屋E.L.L

インストアイベント

09月18日(土) 新宿 ZEAL LINK 03-5379-7155
09月18日(土) 渋谷 ZEAL LINK 03-5784-9666
※ZEAL LINK 2店舗同日開催
09月24日(金) 自主盤倶楽部 03-3371-3851
10月02日(土) GURUGURU 011-251-4480
10月09日(土) little HEARTS. 022-264-8003
10月21日(木) 名古屋 HMV 栄 052-243-6366
10月30日(土) BRAND X 03-3980-6780
11月04日(木) 大阪 ZEAL LINK 06-6258-5186
11月18日(木) SKULL ROSE 092-741-0501

hudie.com

極上の無限ループ!サイケデリカルチューンをご賞味あれ!

サイケデリコ∞サイケデリコ

2010年09月08日(水) ON SALE

[初回盤A] ※職人技ジャケット、クリスタルCD仕様
PSIM-30022/¥1,890(税込)
【CD】01.サイケデリコ∞サイケデリコ 02.DANCE NUMBER
【DVD】「サイケデリコ∞サイケデリコ」MUSIC CLIP+裏舞台映像収録

[初回盤B]
PSIM-30023/¥1,890(税込)
【CD】01.サイケデリコ∞サイケデリコ 02.DANCE NUMBER 03.天秤ラバーズ
・撮りおろしブックレット20P付

[通常盤]
PSIM-20019/¥1,575(税込)
【CD】01.サイケデリコ∞サイケデリコ 02.DANCE NUMBER 03.御礼参り

発売元:PS COMPANY Co.,Ltd./販売元:ONG DISTRIBUTION

11月27日(土)ワンマンLIVE
「青空ROCKET」決定！
渋谷WOMB 開場 17:00 / 開演 17:30 前売：2,800 円（D代別）
チケット先行販売中！ DOG inTheパラレルワールドオーケストラ 各LIVE会場物販にて番号をシャッフルして販売。
7月31日(土)よりチケット一般発売開始!!
ローソンチケット 0570-084-003 チケットぴあ 0570-02-9999
イープラス http://eplus.jp ライカエジソン東京店 03-3369-3708(発売初日は電話受付のみ)
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ主催イベント「犬小屋#4」
10月22日(金) 高田馬場 AREA
※詳細は後日発表いたします。
OFFICIAL SITE http://www.inu-para.com/
hudie.com

DOG inThePWO
パラレルワールドオーケス
2ヶ月連続リリース決定！
9月15日 4th Single
「青空晴レーション」
【初回盤】CD＋DVD RSCD-018/019 ¥1,890(tax in) 【通常盤】CDのみ RSCD-020 ¥1,260(tax in) 発売元：Resistar Records
10月20日 5th Single
「POCKET★ROCKET」
【初回盤】CD＋DVD RSCD-021/022 ¥1,890(tax in) 【通常盤】CDのみ RSCD-023
hudie.com

CANZEL キャンゼル

解散

2010.09.02 完売御礼最終追加解散公演

CANZEL LAST ONE MAN LIVE [FUTUERS] AT

赤坂BLITZ

OPEN 17:00 / START 18:00 ADV ¥3,600- / DAY ¥4,100- (+D代)

入場者全員にLast Single[CANZEL L.P.]無料配布。

キャンゼル最初で最後の東名阪ワンマンツアー!
ファイナル TOKYO 3Daysラストワンマン!

2010年07月22日(木) 大阪RUIDO
『HeARTISTIC -O-』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、ライカエジソン大阪店にて先行発売。
■チケット■06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年07月25日(日) 名古屋ell size
『HeARTISTIC -N-』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、ライカエジソン名古屋店にて先行発売。
■チケット■06月20日より、ローソンチケット、チケットぴあにて一般発売。

2010年08月09日(月) 高田馬場AREA
『HeARTISTIC -T-』
全会場SOLD OUT
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年08月10日(火) 高田馬場AREA
『超・感謝祭 ~LOVE2010 夏~』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010年08月11日(水) 高田馬場AREA
『the Last Day』
OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
■チケット■06月13日、高田馬場AREAライブ物販にて先行発売。
06月20日より、ローソンチケットにて一般発売。

2010.07.07 (WED)
BEST ALBUM 2タイトル 同時リリース

新曲、新録、リミックスを含むオールリマスタリングCD&ライブ映像を収録したDVDの2枚組のコンプリートベスト。
DVDには昨年行われたSHIBUYA O-WESTワンマンライブ[small world]より、各2曲づつライブ映像を収録。

BeST SONGS -SOFT TRACKS-

CD (11 Songs) + DVD (2 Songs + α) / ¥3,675 / CZR-012 / Limited 3000
01.Allegro 02.青色LOVERS LINE 03.風薫る、桜舞う 04.starlight 05.sink. 06.未来ノート 07.逢引
08.twilight 09.Wish Upon A Star -last edition-(新録) 10.光覚ハレヱション 11.heart -last edition-

BeST SONGS -HARD TRACKS-

CD (12 Songs) + DVD (2 Songs) / ¥3,675 / CZR-013 / Limited 3000
01.赤裸回路エレメント 02.ミソギ 03.アンブレラ 04.月待ちセンチメンタル 05.ツキサスヒカリ 06.声、唄り(新曲)
07.夢喰いバレヱ 08.マルチ 09.歪曲 10.それは枯れ葉が舞い散る頃に… 11.夢幻色metro 12.世界終了節。-world end switch.-

販売元:(株)ライカロリーポップ 発売元:OFFICE CA お問い合わせ:(株)ライカロリーポップ TEL : 03-3369-9144

-インストアイベント決定-
07月07日 ライカエジソン東京店 07月23日 ライカエジソン大阪店 07月26日 ライカエジソン名古屋店
08月07日 ライカエジソンドットコム 08月07日 池袋ブランドX
※各イベントの詳細、お問い合わせはキャンゼルホームページをご参照下さい。

Plug別冊 キャンゼルメモリアルBOOK 7/7同時発売。
フォトカラー32P / 各パーソナルインタビュー他、未公開PHOTO掲載 / ¥1.500 / Limited 1000
詳細、通販方法はコチラをご参照下さい。 http://plug-web.net/

◆インフォメーション◆ 〒101-8799 東京都千代田区神田淡路町2-12 神田郵便局 キャンゼル宛 (※メンバー名を忘れずに記載して下さい。)
◆メールアドレス◆ canzel_info@yahoo.co.jp

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

【特別特典】
この期間に
お申し込みいただいた方
あなただけの
[シリアルナンバー入り
ポストカード]
を封入!!

2010年9月発売決定!!

2010年、結成10周年を迎えたKagrra,
10周年 YEARを彩る『Kagrra,FiLE』の発売が決定しました

- 2000年9月号(Vol.91)での初登場より現在までにSHOXXに掲載された全記事をファイル。
- 特別企画として、SHOXX掲載のメンバーコラム(一志『徒然日記』、女雅『女雅ッス!』)を一挙掲載。さらに、増刊『SHOCK JAM』『SHOCK WAVE』に掲載された記事も同時掲載。
- もちろん、新規撮り下ろし美麗フォトも掲載!!

8月2日(月)正午12:00より受付開始!!

【受付期間】
2010年8月2日～9月10日締切(消印有効)
※弊社通信販売のみの、期間限定販売商品にな

【特別特典】
あなただけの[シリアルナンバー入りポストカード]を
オールカラー400ページ
A4ワイド版(228×297mm)
定価:7,000円(税込/送料1冊につき600円)

【商品発送】
2009年9月下旬より順次発送開始

【お申し込み方法】
★郵便振替でのお申し込み:お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、定価に送料を加えた代金(1セット:定価7,000円+送料600円=7,600円)をお振込み下さい。

郵便振替口座番号:00180-6-549493
加入者名:㈱音楽専科社
通信欄:「Kagrra,FiLE」
払込人住所氏名:あなたの住所(マンション/アパート名、部屋番号を正確に。
引越しされる方は現住所の他に移転先の住所も記入して下さい)、氏名、電話番号を忘れずにご記入下さい。

制作/発行:㈱音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

★ウェブサイト、携帯電話でのお申し込み:PC(パソコン)、携帯電話(一部対応できない機種もあります)からもお申し込みできます。※お支払いは、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマート各店でできます。商品は宅配便にてご自宅に届きます。
<PCからのお申し込み>音楽専科社オフィシャルHP→http://www.ongakusenkasha.co.jp/または
専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index.html にアクセスの上、お申し込み下さい。
<携帯電話からのお申し込み>専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index_mob.html
または右のQRコードにアクセスの上、お申し込み下さい。

振込取扱票
口座番号 0 0 1 8 0 - 6 - 5 4 9 4 9 3
加入者名 ㈱音楽専科社
通信欄 「Kagrra, FiLE」
支払人住所氏名 あなたの住所、氏名、電話番号

CONTENTS

070 BugLug バグラグ
074 少女-ロリヰタ-23区 ロリータニジュウサンク
076 TOON-FACTORY トゥーン・ファクトリー
078 ダウト
098 BORN ボーン
100 D'espairsRay ディスパーズレイ
104 DaizyStripper ディジーストリッパー
146 NoGoD ノーゴッド
148 Dolly ドリィー
152 ジュイ(ヴィドール)
107 Megaromania メガロマニア
108 花少年バディーズ ハナショウネンバディーズ
109 Wizard ウィザード
110 大佑と黒の隠者達 ダイスケトクロノインジャタチ
112 ν[NEU] ニュー
113 愛狂います。 アイクル
115 SHOCK WAVEアポロ

118 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
犬神サーカス団 イヌガミサーカスダン
SKULL スカル
ケミカルピクチャーズ
GALAXY ギャラクシー
Art Cube アートキューブ
NEO VOLTAGE ネオ・ヴォルテージ
Secilia Luna セシリア ルナ

127 ぽっくんの早耳情報
129 エクスペクトラッシュ シネマトリップ
128 ぽっくんの主張
134 アーティストBOX
140 Mission in ぽっくん
142 プレコン WORLD
145 大島暁美のロックン-ロール日記

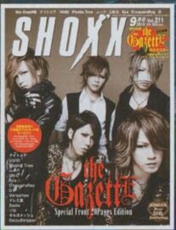
>> マークの説明 <<

ムービー / 着メロ / 着うた / 着ボイス / 待ち受け / 写真フレーム / 試聴 / 携帯連載

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか?」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか?」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか?」



Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu (Keisyo Office)
Design Stuff／Yoichirou Fujii, Maki(mam)Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi (Bakery37.1), Nakane (amulet label), Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama, T.O.MAMMOTH graphics, Kyoko Yasunaga(zoisite)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.212は2010年8月21日(土)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2010年9月1日
特別定価／980円本体933円

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX
2010
9月号
Sep Vol.21

Cover Model:the GazettE
Photo:Susumu Miyawaki(PROGRESS
Design:Noriaki Ishimatsu(Keisyo Offi

012 **the GazettE**
ガゼット
Part 1:最新フォトセッション"淡色の中に鮮やかな本当(リアル)が映る"
Part 2:パーソナルインタビュー5連発!!

036 **YOMI&RUKA（ナイトメア）** ムービー
大好評メンバー内対談!!

042 **シン（ViViD）**
禁断のフォトセッション敢行!!
"ハダカのココロ"を探る

048 **Plastic Tree**
プラスティック トゥリー
シングル「ムーンライト―――。」リリース

050 **ムック**
"ムックの日"の狂騒

052 **LM.C**
エル・エム・シー

054 **Kra**
ケラ

056 **D**
ディー

058 **Versailles**
ヴェルサイユ

060 **マコト（ドレミ團）** 携帯連動
マコト(ドレミダン)

062 **Sadie**
サディ

064 **ゾロ**

066 **ギルガメッシュ**

067 **DELUHI** ムービー 試聴
デルヒ

068 **Fatima**
ファティマ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

淡色の中に鮮やかな本当(リアル)が映る。

the GazettE

蝴蝶网
hudie.com

たとえ・・・終わる事の無い悲しみがあなたを奪っても
離れてゆく心など此処には無いといって

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Hair & Make-up:YORIKO MATSUDA ASAMI YAMADA(PS COMPANY)
Back Drop:BACKGROUNDS FACTORY(☎03-3448-9019)
Interveiw YUKI SUGIE
OBJECT:PROPS NOW(☎03-3473-6210)

蝴蝶网
hudie.com

根本にあったのは、喪失感。
それを軸にしながら、言葉としては
分かりやすいものを選んだ。

蝴蝶网
hudie.com

Latest Personal Interview

最新チューン『SHIVER』とは

——今年に入ってからのtheGazettEは、春に[STANDING LIVE TOUR 10 THE END OF STILLNESS]を行った以外、水面下での動きが殆どでしたよね。ここに至るまでの間、ルキくんはどんなことを考えていたのでしょう。心境的な変化などはありましたか。

「変化というか、レーベル移籍もあったりしたんで、いろいろ立て直すなら『今だな』っていう風には考えてましたね」

——なんとまぁ。傍目には、万事順風満帆に見えていたのですけれど。

「いや。俺としては、前々から一度ちゃんと自分のバンドを見つめ直したいな、とは思ってたんです。日々に追われて流されてるばっかりだと、何か見落とすハメになる可能性だってありますから」

——思い出しました。そういえば、昨年秋に取材した際、ルキくんは言っていましたね。「ここから先に関しては、現状まだ模索中。そこはもう少し、時間をかけて練りたい」と。

「今思うと、去年までの自分は凄い頑なだったような気がしたんですよね。theGazettEとして表現するものは、音でも詞でも常にヘヴィじゃなきゃいけないとか、暗くなきゃいけない、みたいに自分で思い込ん[illegible]たみたいな」

——まさに、1年前に出たアルバム『DIM』は、その暗さとヘヴィさを徹底的に突き詰めた内容でしたよね。

「うん。でも、あれを作ってみて思[illegible]たんっすよ。「別に、俺らは〃そこ[illegible]を極める為だけにやってるわけじゃなかったはずだよな」って」

——つまり、シングル『SHIVER』は[illegible]その思いのもとで生まれた作品だった[illegible]のですね。実際、この表題曲にはとても驚かされましたよ。『BEFORE I DECAY』までのヘヴィ&アグレッシ[illegible]ヴな流れをある種ぶった切って、にこんなにもキャッチーな曲を前面に出すのか?と。

「まぁ、大抵はそうやって思われるでしょうね(笑)。そして、そういう反応は俺からすると、成功っちゃ成功」

——成功?そのところを、もう少し解説して頂けますか。

「話は『Casiss』(05年末発表のバラードシングル)を出した頃に遡るんですけど、俺はあれ以降とにかく『Casiss』のイメージがついちゃうのが、もう凄いイヤでしょうがなくって」

——傍から見ていても、一時は躍起になっているようにさえ見えていました。

「もちろん、俺が当時違和感を観じてたのは、何も『Casiss』に対してだけじゃなかったんですよ。あの頃、横浜アリーナをやった時に感じた「これじゃライヴっていうより、コンサートだろ」っていう感覚とか…このまま進むと絶対ヤバいって感じたところから、結局よりヘヴィな方へ、暗い方へ、って進んでったわけです。で、ここに来て『SHIVER』を出して「意外」って思われるんだったら、とりあえず『Casiss』の呪縛は払拭されたってことじゃないですか」

——なるほど、納得です。

「あとは、去年のクリスマスにライヴ(東京ビッグサイトでの[A HYMN OF THE CRUCIFIXION])をやったのも大きかったかな。あの日、昔の曲を何曲かやったでしょ?」

——「7月8日」や、それこそラストには「Cassis」も歌っていましたよね。

「あれがね、自分でも妙に良かったっていうか、思ってた以上に楽しめたんです。『DIM』を否定する気は全く無いけど、それとはまた別の次元で「こういうのもやっぱり良いな」って純粋に思えたし、そこであらためてtheGazettEは、もともといろんなことをやりたかったバンドなんだよ[illegible]、っていうことも思い出したんですよ。多分、そこでいろんなものがリセットされました」

——[illegible]なだった自分とも訣別したり?

「[illegible]うそう。だって、ちょっと前までの俺にとっては「SHIVER」みたいな曲をやるのは、〃カッコ悪いことでし[illegible]からね。そんなのtheGazettEらしくない!って絶対言ってたはずなんですよ。だけど、らしいとか、らしくないとか、そんなの自分で決めつけてた点が、まずそもそも間違ってた(苦笑)」

——では、ここからは「SHIVER」の歌詞についても伺っていきましょう。ルキくんが、この詞の中でテーマとし

ルキ

自分自身に対する、ひとつの訣別。それを果たしたとき、ルキの目前にはあらたな道が拓けたのだという。
彼は、何も過去を否定しているのではない。自らの力で過去を凌駕すべく、いつだってただひたすらに理想を追い求めながら、
懸命に今を生きているだけだ。the GazettEと彼が、ここから進もうとしている領域。
そこに、もはや安定・保守といった文字は存在するはずもない。

たものは何でしたか。

「根本にあったのは、喪失感。それは曲のイメージからパッと思いついたイメージで、あとはそれを軸にしながら、言葉としては分かりやすいものを選んでいって、最終的には受け手がどうとでもとれるようなかたちにしてあります」

——「SHIVER」はアニメタイアップ(TBS系『黒執事II』)のついた曲でもありますが、詞の内容にその件が影響を及ぼした点はあったのですか?

「それは一切無かったっす。一応、資料として原作は読みましたけど、だからってもともとそれを反映させる気は無かったし、向こうの制作サイドからも「アニメの内容は特に考慮しないで作ってください」って言われたんです」

——えーっ!?

「俺もびっくりしましたよ(笑)。いや、こっちからしたらほんと有り難い話っすけど。ってことで、これは自由に書かせてもらいました」

——その後、詞があがってからこの曲を歌っていく際に、ルキくんが重視していたことは何でした?

「バンドの中のヴォーカル、っていう立ち位置を大事にっていうとこですかね。一部、「ヴォーカル上げろ」的な声も現場ではありましたけど、むしろこれでも歌は若干下げました」

——にも関わらず、歌はスコーン!と抜けて来ていますよ(笑)

「そうっすね。ただ、その若干歌を下げたことでギターの輪郭もはっきりしたし、ベースもブリブリだし、ドラムも鳴ってる音になったかなと。バンドとして、そこは譲れない一線でした」

——そのようなバンドとしての意志は、曲調こそ違えどアッパーでワイルドな「HESITATING MEANS DEATH」にも濃厚に表されているように感じます。

「音もそうだし、これは曲全体が俺らにとっての今を描いた内容なんですよ」

——タイトルからして象徴的ですし、詞の端々に見覚え、聞き覚えのあるフレーズがちりばめられている点も見逃せません。この詞は英詞ですが、是非皆さんにも意味を汲み取って欲しいですね。

「分かりやすく言えば、ひとつの決意表明っていうか。特に、これはタイトルが全てと言えば全てです」

——分かりました。それから、もう1曲の「奈落」についても訊かせてください。こちらは、theGazettEの持つコアな部分が、またひとつ抽出された楽曲のようですね。

「俺らにとっては、「SHIVER」がルーツのひとつだとしたら、こっちは第2ルーツってとこですよ」

——音も密室的なら、詞もドロドロのデロデロで爛れ具合が堪りません(笑)

「これはね、要はSとMにも理由(わけ)がある、っていう話。っていうか、DVの話でもあるんだけど」

——人間とは、歯止めを失うとどうなるのか。という末期までが、きっちり描かれているところも実に乙ですよね。

「そう、オチがあるんですよ。ただ、エロいだけの歌じゃしょうがないし。現実にもありえるかもしれない、ひとつのドラマをここでは描いてるんです」

——それでは、今回は最後にこのシングル発表を受けて行われる、ツアー[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-]に向けての所信表明をお願いします。

「長いツアーをやりたい、ライヴを集中してやりたい、っていうことは前から言ってたんですよ。しかも、今回はアルバムツアーじゃないっていうところもポイントで、『SHIVER』の新曲たちプラス、あとは特定の音源に縛られずに自由にやれるっていう場って良いなと思って。theGazettEそのものを、皆に感じさせてくツアーにしたい」

——であるが故の、このツアータイトルでもあるのでしょうね。

「皆がどう感じてるかは分かんないですけど、うちら的には前の[Nameless Liberty.Six Guns…]が、今までバンド的に一番大きく成長出来たツアーだったと思いますからね。それは一番良かったとかじゃなく、一番勉強になったっていう意味で。だから、今度のツアーはまたマインド的な部分で見えないものと闘い、名もなき自由を追いながら、純粋な気持ちでライヴバンドとしての原点に立ち返ってく…そういう日々になりますよ」

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

最新チューン『SHIVER』とは

――今回のシングルについては、2月頃から制作に着手していたそうですか、麗くんとしては〝next stage〟へと進んでいるｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥの姿勢を、音でどう表現したいと考えていましたか。

「今回の場合は、まず音について考えるとか、次のシングルをどうするかっていうことよりも、まさにバンドとしての〝次〟をどう考えるのか、っていうことが大前提として大事でしたね。単に、目の前のことをどうするかっていうだけじゃなく、もっと長い目と広い視野でこのバンドのことを考える時期が、今の俺らには必要だったんだと思います」

――そういえば、昨秋にツアー[-DIM SCENE-]がさいたまスーパーアリーナ公演をもって終わったあと、後日のインタヴューで麗くんは「多分、ここから先へさらに進む為には、俺たち自身で決断しなきゃいけないことが幾つかある」と言っていましたっけ。

「結局、あの時点ではまだ具体的にどうしたいのか、っていうところまでは見えてなかったんですよ。でも、もっと圧倒的な達成感とか、もっと大きなやり甲斐とか、途轍もない規模の夢とか、多少無謀だとしても、そういう希望を持つべきなんだなっていうことが、今年に入って自分たちの中で固まって来て。それが、ちょうど時期的にいうと2月くらいだったんです」

――そこで根本的な今後の指針が決まったことは、『SHIVER』の内容にも影響を及ぼしたのですね。

「もちろんです。あらためて決心出来たというか、腹をくくらせて頂いた中で作れたっていうのは、凄く大きかったですよ。おかげで、今回のレコーディングは楽しかったですね。視野が拡がったというか、視点が変わったことでようやく見えてきたことっていうのも、いろいろありましたから。そういう気持ちになってなかったら、「SHIVER」はこういう完成形にはなってなかったかも」

――音の面で、麗くんが最もこだわったのはどんな点でした？

「自分の目についたもの、思いついたことは全て試す、っていうことですかね。これも要は作ってる曲に対しての可能性を拡げたいっていうだけじゃなくて、もっと自分の目指す夢に相応しい人間になりたい、っていう気持ちが軸になってのことなんですけど。なんなら、今までやってきたことを否定しても構わないくらいのスタンスで、出来ることは何でもやってみたんです」

――そこまで!?それは凄いですね。

「いやいや、むしろそのくらいじゃないと。こうなれたのも全ては新しい目標のおかげだし、今は物事を判断するのも早くなりましたもん。たとえば、すっげー高い機材があったとして、今までだったら躊躇してそうなところでも、最近は思い切って買っちゃいます。これも自己投資のひとつだ！って（笑）」

――なんて漢（おとこ）らしい。

「何でも吸収したいし、何でも知りたいし、今だったらある意味その為の手段は選ばないですね（笑）」

――具体的に言うと、「SHIVER」の中で麗くんが新しく取り入れた手法というのは、どんなものだったのでしょうか。

「っていうと、やっぱりツインギターの構成の仕方でしょうね。各々の個性は必要ですけど、そこを強調する方向性ではなくて、今回は曲を引き立てる為に、一丸となった音を目指したんです。レーベルを移籍してからの一発目っていうのもあるし、ｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥとはこういうバンドなんだ、っていう存在感をしっかり伝えなきゃ！っていう思いもそこにはありました」

――いずれにしても、このシングルは昨今のｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥがたどってきた道を思うと、実にインパクト大ですよ。ここまで歌メロの際立った曲をシングルで出す日がやって来るなんて、去年までの流れだったら考えられなかったことではありません？

「まぁ、アルバムの片隅に入れるくらいならともかく、こういう歌モノをシングルに持って来るっていうのは、実際どっか避けてたとこはありましたよ。だけど、それも今思うと自分たちで自分たちを縛ってたんでしょうね。「そういうのは時代錯誤だ」って、ヘンに決めつけて。あと、ファンの皆に誤解されたくないっていうのもあったかな」

――それはどういう意味ですか。

麗

試せることは全て試した、と麗は言い切った。未来という名の次なる希望は、
このところの彼を非常に貪欲な人へと変えているらしい。シングル『SHIVER』の存在と、
程なくして始まるツアー[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-]の内容は、the　GazettEの今後を占う上で、
間違いなく重要な鍵となってくるだろう。麗の見据える、“次”について訊いてみた。

「いや、もともと「SHIVER」みたいなテンポ感の曲はうちら皆好きだし、そういうのを聴いて育ってきた部分もあるわけじゃないですか。だけど、それを今ｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥとしてやってみたい、って思った時に「狙った」とか「売れ線に走った」みたいな誤解をされるんじゃないか、っていう不安があったんだと思うんです。うちら、「周りは関係ない。自分たちがやりたいようにやる」的なことを言いつつも、意外とその辺を気にしちゃう方なんで（苦笑）」

――この音を聴いてもらえれば、皆さん分かってくれるはずです。何故、今この音なのかということは。

「狙ってるどころか、こんな素直な曲もないですからね（笑）。別にこれがうちらの全てではないですけど、こういうのも好きだし、っていうところが率直に出てると思います」

――率直ですし、なにしろ音の中の一体感が際立っています。

「スタジオで、音決めの時に俺と葵が持ってる機材を全部バーンと並べて、一番曲に合ってるものを時間かけて選んだ、っていうのも良かったんじゃないかなぁ。で、この曲には絶対これだ！っていう機材を、2人ともこの曲では使ってるんです」

――とても絶妙ですよ。まとまった一体感はあるのに、後味はかなりスッキリした音になっているではないですか。これは、音を緻密に整理しないと作れない音ですよね。

「そうなんですよ。今までだったら、整理しないで出してたとこもあったし、曲によってはそれの良さを前面に訴えてたものもあったんですけど、今回はそれとは逆方向の音像になってます」

――それでいて、カップリングの方の「HESITATING MEANS DEATH」については、また違う角度からのアプローチがなされていますよね。

「これは、反動もあったのかなぁ。曲作りの最初の段階では、これも表題曲候補のひとつとして作ってたつもりだったんですけど、メロディの良いものとか、キャッチーなものっていうのを追求してってるうちに、今度は真逆のこともやりたくなっちゃいまして（笑）」

――故に、この曲は大変ヘヴィかつアグレッシヴです。今後、ライヴの場に持ち込まれた時にも、かなりの威力を発揮しそうな予感が致します。

「そういう意味では、グシャッとカオスな感じのヘヴィさっていうんじゃなくて、もっと爽快感のあるヘヴィさが欲しかったんですよ。イメージ的には、アメリカのどっかにでもありそうな、綺麗な空のもとで広大で地平線がバーッと広がってるような、そんな風景を頭の中に描いてたんです」

――歪んだ中にも、開放感が漂う音になっていたのはその為だったのですね。

「昔は、こういう激しいタイプの曲を作ろうとすると、どうしても怒りとか、破壊とか、わりと負の方向の感情が強く出ちゃってたんですよね。でも、この曲に関しては違いました。純粋にこういう曲がやりたいんだっていう気持ちと、それを楽しもうとする気持ちが、ここで開放されました」

――そこから一転して、「奈落」の方は開放どころか密室的な雰囲気さえある曲になっていますが、ギターの音に滲んでいる感情移入の度合いは、印象として今回この曲が一番深いようにも感じます。

「このシングルを出したあと、ツアーをやってくっていうことを考えたら、今回はこういうズシッとした重みのある曲も欲しかったんですよね。だけど、弾いてみたらほんとこれは暗～い気持ちになっちゃいました（苦笑）。感覚的には、ドラマを作り上げてくような気持ちでギターを弾いてた曲だったかな。勢いのあるタイプの曲とはまた違って、きっとこの曲はライヴでも劇的で深い独特な世界を描けると思います」

――ライヴといえば、武道館2デイズが皮切りとなる[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-]が、いよいよ始まります。楽しみですね。

「今度のツアーは、このバンドの歴史を語るうえで絶対に外せない、今まで以上に飛び抜けた内容のものになってくでしょうね。まだ始まってないけど、それだけは今の段階で断言出来ます。アルバムを持ってくとかでもなく、シングルだけでこれだけの本数を廻るツアーもこれが初めてだし、〝次〟に向けての大切な場になってくのは間違いないです」

蝴蝶网
hudie.com

圧倒的な達成感とか、もっと大きな
やり甲斐とか、途轍もない規模の夢とか、
そういう希望を持つべきだ。

蝴蝶网
hudie.com

は“ボイボイ”言ってるか、カワイイか、歌謡曲やってるか
大体その3通りでしょ？　そういう中にあって、
こういう攻め方は狙い所がいい。

蝴蝶网
hudie.com

最新チューン『SHIVER』とは

葵

自分のことも、バンドのことも、そして今現在の状況も、全てを把握してきちんと理解していないと、出て来るはずのない言葉の数々。葵がこの場できかせてくれたのは、まさにそれだった。シングル『SHIVER』の発表を機に、あらたに目指す境地へと向けた彼の決意と覚悟は既に固まっている。ギタリストとしての自覚をより深めながら、次へとひた走り出した葵の本音に近付いてみよう。

——実は、本誌では今年に入って初のインタヴューとなるのですけれども、確か去年秋の葵くんは〝最近よくギターの練習をしている〟という旨の発言をしていました。その後、調子はいかがです？

「え、なんすか？ 今も練習してるかどうかってこと⁉ んー、やってるようなそうでもないような」

——うわ。まさかの三日坊主??

「いやいや（苦笑）。なんか、ここんとこは曲作りだったり、レコーディングでギターをツールとして使う機会の方が多かったんですよ。だから、常に触ってはいるけどいわゆる練習っていう練習はそんなしてないかな、っていう感じ」

——なるほど。では、心理的な変化についても伺ってみましょうか。昨年末あたりから今年上半期に至るまでの間には、レーベル移籍などもありましたよね。昨今、葵くんの意識や心境に何かしらの変化が生じた点はありますか。

「んー、何もないですよ。僕はもともと、商業主義な人間だから。レーベル変わって、ウチらのことを周りがもっと売ってくれるんなら、別にそれに越したことはないなと。…あ、コレ普通に冗談ですけどね（笑）」

——実に葵くんらしい冗談です。ただ、『BEFORE I DECAY』までの流れを考えると、今回the GazettEが『SHIVER』のようなタイプのシングルを切ったというのは、少し意外でもあったのですよ。ここまでキャッチーな曲を、移籍第一弾にしたという意味で。

「まぁ、確かに今までの流れから行くとそうかもね。周りからしたら、そういう風にも見えるのかもしれない。だけど、僕からしたらそこは凄く単純な話で、たまにはこういうストレートで分かりやすい曲もいいんじゃない？っていう、そんな感覚なんですよ」

——基本、天の邪鬼な気質を持っているはずのこのバンドが、敢えて率直な表現方法をとった、ということなのですね。

「あと、この2010年っていう今だからこそっていうのもあったのかもしれない。俺らくらいの世代が聴いてたバンドの中の、それもいわゆるヴィジュアル系って呼ばれてた人たちがいるじゃないですか。今思うと、あの90年代後半頃ってどのバンドも〝こういう〟曲を持ってたと思うんですよ。そのへんのニュアンスを、今回は自分たちの曲の中に活かせたら面白いんじゃないかな、っていうのもありましたね」

——つまり、そこには〝彼ら〟に対するthe GazettE流のオマージュ的思考が反映されたということですか。

「うん。こういう、流行りの音とちょっとズレてるものって、聴く人によっては懐かしいと感じるかもしれないし、逆に当時を知らない人たちなんかは、新しいって思うかもしれないわけで、そこが今ここでこの曲を出す意味でもあるんです。だって、俺らしかいないでしょ。今これを正面切ってやれるのは（笑）」

——あれこれやって来たうえでの、この展開ですしね。

「今ってボイボイ言ってるか、カワイイ感じでやってるか、歌謡曲をやってるか、もう大体その3通りのどれかじゃないですか。そういう中にあって、こういう攻め方は狙い所ええんちゃうかな！と、僕は思いますね」

——では、そんな「SHIVER」という楽曲に対して、ギタリストとしての葵くんはどのように向き合ったのでしょう。

「細かいこと以前に雰囲気の面で言えば、大事にしてたのは〝若々しさ〟ですよ。だんだん、このバンドもトシ取ってきたせいなのか、けっこうフレーズとかもほっとくとオッサンくさいのが出て来たりするんでね（笑）。今回は、意識して若い音を出してみたっていう」

——別にオッサンぽいと思ったことはありませんし（笑）、曲にもよりますけれど、特に葵くんの場合は渋めの音を好むところがあるのは確かですね。

「そう。つい、音にワビサビつけちゃいがちなとこはあるんで、「SHIVER」に関してはその辺を排除しつつ、ギターやってる子とかに「こういうのカッコ良いな」って思ってもらえるような、直感的な音を出してくようにしたんです」

——ひいては、バンド感が前面に出た音に仕上がりましたよね。

「やっぱりこういうストレートな曲調って、バンドの持ってるカッコ良さが出しやすいし、聴いてる側にも伝わりやすいんじゃないかと思いますよ。ただ、それを作り上げるのは意外と手間のかかる作業だったっていうか、そこは全然ストレートじゃなくって（笑）、音作りの為の時間は相当かけましたけど」

——これは麗くんが言っていたのですけれど、なんでも今回は2人で共通の機材を使ったこともあったそうですね。

「ありました。最初は違うキャラクターのアンプも使ってみたし、いろんなことを試したうえでね。今回一番求めてたのは、バンドとしての一体感だったから、結局は左右で音の違いを出すよりも、2人で同じ帯域の音をズバッと出した方が良いんじゃない？ってなったんです」

——その試みは正解でしたね。

「だと思いますよ。そこさえ決まっちゃったら、後はもう早くて録りもすぐでした。瞬発力があって、聴きやすくって、おまけに若々しさもある音が出せたんじゃないかなぁ（笑）」

——ここでの経験と成果は、きっと今後のthe GazettEにも良い影響を及ぼして行きそうですね。

「方法論的な面では、もちろんあるでしょうね。でも、だからってこの方向性が次に繋がってくかどうかは分かんないですよ？ あくまでもこれはこれ、次は次だから（笑）」

——それは承知しております。方向性という部分では、今回のシングルの中だけでも、3曲それぞれにてんでばらばらですし（笑）。ちなみに、「HESITATING MEANS DEATH」については、ある意味、近年のthe GazettEの流れをくんだ楽曲のように受け取れました。葵くんとしては、どのような捉え方でこの曲に臨んでいたのでしょう。

「こっちについては、そこまで深く考えて無かったかな。純粋にカッコ良い曲なんで、音もそれに合った刺激的なものにしたいって思ってたくらいですね」

——その為に、葵くんがしたのはどんなことだったのです？

「特別なことは何も」

——それは、機材うんぬんの話ではなく、自らの弾き方そのもので曲を表現したという意味ですか。

「ってことになるんですかね。けっこうこれは、ガッツリ弾いてます。そういう系のプレイって、本来は麗の方が凄い上手いんですよ。で、俺はどっちかっていうと苦手な方だから、こっちの曲は麗教官にいろいろアドバイスされながら、かなり修業気分で頑張りました（苦笑）」

——対して、もう1曲の「奈落」はタイトルよろしくディープで密室的なカラーの曲ですが、ギター的にはこちらはユニゾンが多いつくりですね。

「そう、あれね。ユニゾンって良くないですか？ たとえば、Aメロのハーモニクスのとことか。今までも近い感じのはあったんですけど、今回はもっと丁寧にやったんで理想に近付けた気がする。自分で聴いてても、気持ち良い出来です。曲としても凄いカッコ良い」

——総じると、今回も全曲が全曲ともに納得の行くクオリティのシングルに仕上がった、というわけですね。

「そうなんっすけど、あとはツアーまで時間無いとこをどうしよう？っていうのが悩みですよ。特に、「HESITATING MEANS DEATH」なんて、レコーディングでは修業だったけど、なんとかツアーに出るまでにはちゃんと仕上げたいですからね。でも、予定パンパンでなかなか時間無いんだよな。なんか俺、ツアー出る前に疲れちゃいそう（笑）。根本的に頑張れないヒトだし」

——葵くんは、土壇場に強い人のはずですよ。今までだって、いろんな難しい場面を乗り越えて来たではないですか。

「分かってはいますよ。言い出したのも、決めたのも全ては自分たちだし。それだけに、今年は今まで以上の覚悟が必要になって来るんだよなって。今回のツアータイトルは、ルキが持って来たんだけど、それを見た時も「あぁ、そういうことね」って思いましたもん」

——決意の顕れそのものですものね。

「ほんとね、ここから先に対しては不安も無いわけじゃないんですよ。でも、それと同時に凄い楽しみな部分もあるから。その為には、やっぱりもっと練習しなきゃっていうことになるのか（苦笑）」

——おや。話が最初に戻りましたね。

「自分で思うんですよ。ライヴだと、現状では足引っ張ってるとこもあるなって。今度のツアーはそこを無くしたいから、もっと時間が欲しい！このスケジュール、何とかなんないっすか（笑）」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

れいた

決して驕ることなく、少しも飽き足りることなく、常に自らの手で現状を打破していくこと。
れいたにとって、それはthe GazettEの一員である以上、必要不可欠なことであるらしい。
シングル『SHIVER』の中においても、れいたの果敢かつ斬新なトライアルや、より攻めの姿勢を高めたプレイは、
いつも以上に顕在だ。彼の挑もうとしている未来の一端を、ここで少し覗いてみよう。

——今年上半期のthe GazettEは、水面下での動きが殆どでしたよね。その間、れいたくんの中で心境的な変化というのは何かありました？

「そうだなぁ、そこまで大きく変わりましたっていうのは無いですけど。ただ、以前よりさらに〝やってやるぞ〟感が大きくなって来た、っていうのはありますね。もちろん、去年だって自分たちにとっては良い年だったとは思うんです。でも、ちゃんと理想的な成果を得られてるのか？ってなると、話はまたちょっと別問題になって来るのかなと」

——第三者の目からは、the GazettEは充分に成果をあげているように見えるのですが。

「えっ、そうなんすか!? いやーでも、こっちからするとあんまし状況が変わって無かった気がして。現状維持どころか、このまま尻すぼみにでもなってったらどうすんだ？くらいの不安も、ちょっとはありましたもん（苦笑）」

——そんな、考え過ぎですよ。

「いやー。もっとも、それって自分たち自身でしか絶対に打破出来ないものなんでね。そういう意味でも、今年はここからツメツメでどんどん畳みかけてかないと！っていうことなんですよ」

——どうりで、今回のシングル『SHIVER』からは、音の端々から並々ならぬ気迫を感じるはずですね。

「聴いてもらえれば、the GazettEそのものだなって、強く感じてもらえる音になってるはずです。こうやってレーベル移籍なんていうことになると、周りはどういうわけか騒がしくなりがちなんですけど（笑）、俺らにとってはそんなこと別に関係なくて、これまで通りやりたいことをやらせてもらいました、っていうだけの話ですから」

——ちなみに、表題曲「SHIVER」をルキくんから提示されたとき、当初れいたくんはどんな印象を受けました？

「なんだろう？…ちょっと懐かしさみたいなものを感じたというか、聴いてて凄く「あぁ。分かる、分かる」っていう感覚がありました」

——ただですね。その点からいくと、「SHIVER」については意外性もかなり感じたのですよ。確かに、the GazettEというバンドのバックボーンには、この曲に漂うような90年代的感覚とでも言いましょうか…かつて先輩バンドたちが築き上げた、往年の王道サウンドがルーツとして刻み込まれているのは事実だと思うのです。しかし、近年のthe GazettEは、〝そこ〟を敢えて避けて通って来ていましたよね??

「うん、そうっすね。特に、シングルの出し方なんかはそういう流れだったと思います。単純に言うと、激しいの出して、たまにゆっくりめの出しての繰り返し的な。でも、それをいつまでもループしてるっていうのもねぇ。しかも、もともとこういう曲調っていうのは好きだったし。そういうものを、今の俺たちがやったらどうなるのか？っていう興味と面白さもあったし、最終的には2010年における王道っていうものを、ここでひとつ提示出来るんじゃないか？っていう、自信もそこにはありました」

——なるほど。そこまで見越したうえでの、この「SHIVER」という選曲だったのですね。では、ベーシストとしてのれいたくんは、この曲とどんな風に向き合って行ったのでしょう。

「さっき、最初に〝あぁ。分かる、分かる〟ってなったって言ったじゃないですか。それって、ベーシストとして求められてることに関してもだったんですよ。歌をしっかり底の方で支えつつも、でもだからってルート弾きだけでは完結しないようなフレージングっていうかね。やるべきことは、明確に見えてました」

——今年はワールドカップイヤーということで、「SHIVER」におけるれいたくんのベースプレイをサッカーにたとえてみると、ずばりドリブルの名手のようだと感じました。隙間を縫うようなジグザグ状態で、機敏にピッチを駆けあがっていくイメージです。〝その距離抜けちゃうの？〟的な鮮やかさがありますよ。

「マラドーナの5人抜きみたいな（笑）」

——そうなんですよ。決して直線的ではなくて、内へ外へと躍動しながら隙をついて攻めていく感じなんですよね。

「昔はその点、もっとオフサイド気味だったのかな（苦笑）。でも、今回はきっちりメリハリをつけてやれたと思います。引くとこは引いてる代わりに、特に後半サビのところなんかはちょいちょいハイポジションまで行ってますしね。あそこなんかは、実を言うと全部（フレーズが）違うんですよ。コードおんなじなんですけど、アタマひねりながら6パターン作りました」

——それから、今回のレコーディングでは音作り段階で戒くんと一緒に作業をすすめていったそうですが、このことも音の仕上がりに影響したわけですよね。

「うん、それもあったと思いますよ。って言っても、俺が事前に決めたのは「このベースを使う」っていう事だけだったんですけどね。だけど、ソレが決まっただけでも精神的・時間的にだいぶ余裕が違いました。いつも、まずはどのベースを使うかっていうとこだけで、何本も弾いて試してるうちにけっこうな時間をとられちゃうんです。おかげで、今回の録りはすんなり行ったし、テンションも高いまんま行けました」

——「SHIVER」の間奏には、実質的にベースソロにも聴こえるくだりがありますが、あの部分はどのように構成してったのですか？

「位置づけとしては、俺自身もあそこはベースソロに近いものとして捉えてたんですよ。だから、音色も意図的に変えてたりします。とはいえ、あんまり主張し過ぎるのもどうか？っていうのはあったんで、ああいう雰囲気にまとめたんです。まぁ、言ってみればあれは半ベースソロですね（笑）」

——全体の調和もとりつつ、良いフックにもなっていて絶妙です。

「そこはやっぱり、聴いてる側に「なんだ、この当たり障りの無い間奏は」とか思われたくないですからねぇ。シングルの表題曲で、ベースソロっぽいのが入ってるケースっていうのもあんまり無いし、当たり前ですけど必然性のある音っていうのは大事にしました」

——さて。ここからは、カップリングの楽曲たちについても伺っていきましょう。まずは、ヘヴィでアグレッシヴな「HESITATING MEANS DEATH」について。この曲に対しては、どんなアプローチをしていったのです？

「とりあえず、50％くらいはスライドで出来てる曲ですね。あと、出来る限り一番太い弦を使って音を出してます」

——となると、これは運指が大変だったのではないです？

「ほんと、指の動きはちょっと難しかったっすね（苦笑）。でも、これは作曲者である麗からの要望でもあったんで、何とかやり切りました。結果、この曲は今回の3曲の中でも一段と周波数的に低くなってますよ」

——それは興味深いですね。チューニングの面では、もう1曲の「奈落」の方が低いのではないですか？

「そうそう、「HESITATING～」の方がCで、「奈落」はBなんですけど、音の帯域的には「HESITATING～」の方がもっと下なんです。最初、エンジニアからは、「さすがに低過ぎるんじゃないか」っていう指摘もありましたけど、やってみたら思ってた以上にハマりました。試してみて良かったです」

——対して、「奈落」は「奈落」で暗黒テイスト漂うドロリとした音が印象的です。こちらも実にインパクト大ですね。

「これはもう、まんま文字通りの曲ですよ。タイトルも最初から「奈落」って決まってたし、この何とも息苦しいような、窮屈な空気感を音に込めました」

——今回のシングルは、いつも以上に3曲それぞれで全く違うベクトルを持った、存在感の強い音源になりましたね。

「このシングルを出すって決まった時点で、今年は夏にツアーやることは決まってたし、それを踏まえたうえでの3曲でもあるんで、ここからはこの曲たちを実際ライヴでやってくのも楽しみです」

——武道館2デイズから始まる［TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-］で、きっとまたthe GazettEはライヴバンドとしての底力を見せつけていくことになるのでしょうね。何だか、末恐ろしいですよ。

「今回のツアーは、それなりに本数もあるし、日程的にもわりと詰まってるんですけど、何よりライヴがバンドを鍛えるものだっていうのは、自分たち自身が一番分かってますからね。久し振りのツアーでもあるんで、ここは思いっきり行っとかないと。CDもいいけど、やっぱ断然生でしょ！っていうくらいのライヴを、いろんなとこでやって来ます」

このまま尻すぼみになったらどうする!?という不安もあったけど
それは自分自身でしか絶対に打破出来ないものなんだ。
ここからツメてどんどん畳みかけていかないと。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

メンバー5人を信用して欲しい。
こ以外は難しいことはなかった。あとは自分達の
可能性を拡げていける場所なら何でも良かった。

戒

機は熟した。昨年中から、自らの理想とする音を繰り出していく為に、肉体改造に着手していた戒が、ここに来て遂に明確な結果を出してみせたのだ。最新シングル『SHIVER』の中で、戒が聴かせるドラミング。それを聴けば、全ては瞭然だろう。より逞しく、よりキレ味の増したその音は、the GazettEの動力を支えるエンジンが、高度にチューンナップされたことを証明している。

最新チューン『SHIVER』とは

―昨年の『BEFORE I DECAY』来となる、新しいシングル『SHIVER』がいよいよここに完成しましたね。

「なんか、こうしてインタビューを受けるのも久し振りっていう感じがします。もしかして、去年の秋以来とかになるのかな?思ってた以上に、時間経っちゃってましたねぇ（笑）」

―今年は春に［STANDING LIVE TOUR 10 THE END OF STILLNESS］があった以外、ここまではずっと地下活動が続いていたわけですけれど、その間にもまたボディメンテナンスやビルドアップは続けていたのですか?

「いや、それをまさに今また始めなきゃなって思ってるとこなんです。確かに、去年の秋から年末にかけて集中してジム通いしてたのは事実だし、年末のライヴの時には、周りからも〝変わったね!〟って凄い言われてたんですけど、今年に入ってからしばらくして、レーベル移籍の話が決まったり、2月くらいから今回のシングルの制作期間に入り始めたら、今度はそっちがバタバタと忙しくなっちゃって」

―ちなみに、今レーベル移籍という言葉が出ましたけれど、それによる何らかの変化というのはあるものですか。

「あー、別になんも変わんないっす」

―いきなり、エラそうな人が現場にしゃしゃり出て来て、あれこれ指図し始めるようなことも皆無なのですね?

「むしろ、そういうのを最も毛嫌いしてたっていうのもありますし（苦笑）。そこに関しては、メンバー5人を信用して欲しい、っていうのが強かったです。かといって、そこ以外は特に難しいことも考えてなかったんですよ。あとはもう純粋に、自分たちの可能性をより拡げていける場所であれば、ぶっちゃけ何でも良かったっていうのが本音かなぁ」

―その後、無事に諸環境も全て整って『SHIVER』制作へとバンドが動き出した際、今回の戒くんはthe GazettEのドラマーとしてどんな方向性を目指したのでしょう。

「これが、当初は全くどうなるか自分で見えてなかったんですよ。さっきも話に出てたみたいに、年末のライヴでそれなりに変化があったってことは、レコーディン[illegible]ったとそれ以上の変化が起こるんだろう[illegible]っていう部分で、ほんと未知数だった[illegible]です。やってみなきゃ分かんない[illegible]っていう状態でした」

―『SHIVER』の音を聴く限り、結果は吉と出たようですね。

「[illegible]そうなんですよ。自分なりに、けっこう満足行くとこまでやれちゃいました。今まで[illegible]って、「前回の音はこうだったかも[illegible]とこうしよう」的な観点で考えてくことが多かったんですけど、今回は前との比較とかじゃなく、「この曲には、これだよね」みたいに、今に対しての確[illegible]を持ったうえでやれた感じだったというか。[illegible]プレイそのものだけど、そういう考え方が出来るようになったっていう意味でも、またここで成長出来たんじゃないかと思ってます」

―今回の表題曲「SHIVER」について、戒くんが最も気に入っているのはどんなところですか。

「まずは、全体的な音のバランスが凄く良いところでしょうね。それぞれ、うまいこと良いところにハマった感じがするんですよ。だから、歌はもちろん、ドラムもギターもベースも、それぞれ綺麗に脱けて聴こえてくるっていう」

―より立体的になりましたよね。

「要するに、それぞれの音の分離が良くなったんです。そのへんが、今までどうしても自分的にもどかしいとこがあったんですけど、今回は全てクリア出来た手応えがありますよ」

―一体、そのためにどんな秘策を繰り出したのです?

「それが、そこまで特別なことはしてないんですよ。最初からベースと一緒に音作りをしてったっていうのも、きっと良かったんだとは思うんですけど、それ以外はレコーディングの方法も基本いつもとおんなじだったし、何か特別な狙いがあったわけでもないですから。スチール製のドラムで録るっていうことだけ最初に決めてあって、あとはごく普通にやってっただけなんです。ヘンに凝ったりしないで、どこまでやれるかっていうのを自分で試してみたかった、っていう気持ちもそこにはありました」

―小細工無しで勝負に挑み、見事に勝ったかたちではありませんか。

「ってことになるんですかね（笑）。実際、ちょっと微調整したくらいで、こんなに早く音作りが出来たのは初めてだったからなぁ。俺的に変わったことと言えば、体重が前のレコーディング時からすると、7キロとか8キロくらい増えただけのことなのに」

―もともと、戒くんとしては音の変化を求めたうえでのビルドアップをして来たわけですし、そのことによって音の芯が太くなったのも事実だと思います。

「実は今回、最終的なミックスの段階で「これじゃ太過ぎる」って言われちゃったくらいです（苦笑）」

―なんとまぁ。あまりにも、効果が出過ぎてしまったようですね（笑）

「初めてでしたよ、ミックスでスネアのハイミッドあたりを上げたなんて（笑）」

―そのくらい良い音が作れたということは、今回プレイ自体も非常にノッた状態でやれたのではないですか?

「あぁもう、気分良くやれてました。ストレスとか一切無い状態で」

―プレイ面でいうと、戒くんが「SHIVER」という楽曲を活かす為に、特に意識したことは何でした?

「それは間違いなく、メリハリでしょうね。疾走感は止めずに、ブレーキかけるとこはブレーキをかけるみたいな。テンポ自体は完全にオンなんですけど、そこから細かいニュアンスはフィルでいろいろつけていった感じでした」

―個人的には、今回「SHIVER」の間奏もかなり印象的でしたよ。あの部分に、ライヴバンドthe GazettEとしての一体感と個性が、ぎゅっと凝縮されているように感じました。

「こうして5人で音を出してる以上、どんな曲でもそこからバンド感が感じられなかったら嘘だと思ってますけど、あの間奏に関してはルキからの要望もあって、ああなりました。と言っても、「こうしてくれ」とか具体的な言葉は何も無かったですけどね。「言わなくても、分かるでしょ?」っていう感じで、俺らはその気持ちに応えただけです」

―なお、今回のシングルにはほかにも刺激的なカップリング曲が収録されています。「HESITATING MEANS DEATH」については、ことさらヘヴィな音像に仕上がっていますけれども、戒くんがこの曲の中で大事にしていたのはどんなことでしたか?

「ここんとこ、ライヴとレコーディングは別物っていう考え方をするようになってたんですけど、この曲に限ってはちょっとライヴのことを想定しながら叩いてました。今年はこれからツアーも始まるし、ウチのライヴにはやっぱこういうのがなきゃね!っていう感覚（笑）」

―曲を聴いているだけで、今から聴き手の皆さんがどんな反応を起こしそうかも、ちょっと予想出来ます（笑）

「そうっすね。ただ、俺はライヴの場でその様子を眺めてる余裕は無いだろうなぁ。ほんとは、皆と一緒になって暴れたいとこなんですけど、コレけっこう難しいんですよ」

―速さがあるうえに、フレーズも緻密に詰まっていますものね。

「おまけに、途中でテンポチェンジもありますから。決して勢いで押せる曲ではないです。これは完全に、自分の中に叩き込んだうえでライヴに臨まないとヤバいっすね。今の段階で、作曲者である麗からはライヴではエンディングのかたちを少し変えたいっていう意見も出てるし、この曲に関しては今後ライヴでどうなってくのかも、また楽しみにしてて欲しいですね」

―もう1曲の「奈落」の方は、濃厚かつ退廃的なイメージの楽曲ですが、こちらに対してはどんな風に臨みました?

「Aメロは打ち込みで出番無かったですけど、これは世界が完全に出来上がってる曲だったんで、あとはそれを忠実に表現してくだけでした。…とにかく、今回は3曲を通して、ちゃんとした〝結果〟が出せて良かったなって思います。久し振りのシングルだし、自分自身ここまで納得行くものが出せるのは嬉しいですよ」

―そのテンションのまま、今度のツアー［TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-］に突入して行って頂きたいものです。

「今回のツアーは、とにかく攻めの一手で行きたいと思ってます。極端に言うと、今回ばっかりは次のこととか考えてやりたくないっていうか。思いっきりやって、その結果どうなるかなんて知りません!（笑）くらいの覚悟です」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Wizard New Mini Album

http://w-i-z.com/

BIOS

蝴蝶网
hudie.com

TRCL-0071 ¥2,625(tax-in)

[収録曲] 1.VERMILLION 2.SWEETLESS 3.FateShipsEveR 4.airydrops 5. 帰らぬ背中 6. 憧憬アモール

ラストワンマン!!

※ 現メンバー kaito、HIRO、ますみ、咲綺、悠～はるか～でのラストライブになります。

8.14 [sat] SHIBUYA O-WEST
Oneman Live Romancing Ka·Ma

OPEN/17:00 START/18:00 ADV/¥3,500 DRINK/¥500

オールスタンディング / 入場整理番号あり 電子チケットぴあ :0570-02-9999(P コード：108-293) ローソンチケット :0570-084-003(L コード：76134)
ライカエジソン東京店 :03-3369-3708 渋谷 ZEAL LINK:03-5784-9666 【問い合わせ】チッタワークス 044-276-8841(平日 12:00 ～ 13:00/16:00 ～ 19:00)

【Event Live】
8.2 [mon] SCUBER DIVE10 ～渋谷が大変～

【Official Mobile Site】
月額 315 円 (税込) 携帯 3 キャリア対応 (docomo,au,softbank)
《アクセス方法》
http://eam.excite.co.jp/w-i-z/

「i-mode（R）」: [音楽／映画]→[アーティスト]→[アーティスト総合]→[エキサイト☆アーティストモール]→[Wizard]
「EZweb」: [カテゴリ検索]→[音楽・映画・芸能]→[音楽情報]→[エキサイト☆アーティストモール]→[Wizard]
「Yahoo! ケータイ」: [音楽・映画・芸能]→[音楽情報] →[エキサイト☆アーティストモール]→[Wizard]

SHOXX創刊20周年記念

オリジナル・フォトカード応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、応募者全員にサービスしちゃいます。全部で27パターン。応募券1枚でご希望のフォトカードを1枚あなたのお手元に!!

the GazettE

A-1:ルキ

A-2:麗

A-3:葵

A-4:れいた

A-5:戒

Kra

B-1:景夕

B-2:舞

B-3:結良

B-4:靖乃

DaizyStripper

H-1:夕霧

H-2:なお

H-3:まゆ

H-4:Rei

H-5:風弥

ジュイ(ヴィドール)

C

シン(ViViD)

D

マコト(ドレミ團)

E

Dolly

G

ゾロ

F-1:龍寺

F-2:タイゾ

F-3:たつひ

F-4:裕哉

TOON-FACTORY

I-1:ひかる

I-2:雫

I-3:夢叶

I-4:レガ

I-5:ゆーいち

●応募に必要なもの

- 80円切手2枚(申し込み用の封筒に貼るものと返信用の封筒に貼るもの)
- 20円分の切手(手数料用)
- 定型封筒2枚
- 応募券(このページの左下にあり)

【応募方法】

①フォト・カード(9cm×13cm)が入る大きさの定型封筒(定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を2枚、手数料の20円分の切手を用意します。
②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォト・カードのナンバー(例えばthe GazettEのルキであればA-1)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒とも手数料の20円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックス5F　株式会社　音楽専科社　真夏のフォトコーナー●係(●の中には返信用封筒に書いた希望写真フォトカードナンバーのアルファベットを必ず書いてください)。

【締め切り】

2010年8月21日(当日消印有効)

【発送】

2010年月9下旬からになります。10月10日になっても届かない場合はご連絡ください。(03-3574-0205／月~金　11:00~18:00)。

【お願い】

- 希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせていただきます。
- 応募券のコピーは不可です。コピーの応募は無効になります。
- 応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその枚数分の応募でお願いします。

SHOXX VOL.211 真夏のフォト 応募券

hudie.com

く夢のヴィジュアル玉手箱　SHOXXからスピンオフ!!

V系雑誌SHOXXから生まれた
徹底的にヴィジュアルにこだわった
新メディア『glitter pop』!!
36ページのスペシャルブックと
ポスター10枚を封入した
スペシャル玉手箱の夢のコラボメディア!!

大好評第7弾!!
7月28日
全国書店にて発売!

蝴蝶网
hudie.com

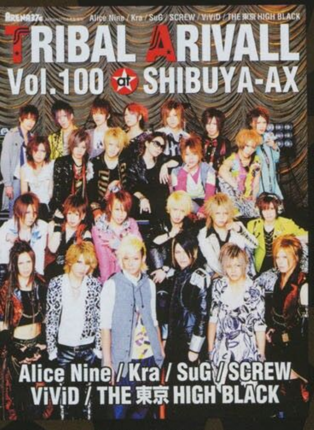
なんと!!
特大ポスター10枚付き!!

1枚目:景夕(Kra)
2枚目:舞(Kra)
3枚目:結良(Kra)
4枚目:靖乃(Kra)
5枚目:SuG
6枚目:ViViD
7枚目:TOON-FACTORY
8枚目:DaizyStripper
9枚目:HERO
10枚目:v[NEU]

オリジナル・
フォト・セッション
6ページ大特集!!
SuG

●シン(ViViD)　●DaizyStripper
●TOON-FACTORY　●HERO
●v[NEU]

SHOXX 2010年9月号増刊号　雑誌コード:04538-09
1,500円(税込)　A4ワイド版
本体36ページ　オールカラー　ポスター10枚付き
発売日(7月28日)を過ぎても店頭に商品がない場合は
インターネット及び携帯サイトからもご注文、ご購入いただけます。
http://www.ongakusenkasha.co.jp/



アリーナ サーティセブン
ARENA37℃ 2010年8月号増刊
絶賛発売中!
「TRIBAL ARIVALL Vol.100 @SHIBUYA-AX」
A4ワイド判　オールカラー84ページ　定価1260円(税込)

強力なライヴアクトたちによる、夢の競演!!
イベント『TRIBAL ARIVALL』の100回目を
記念して、豪華メンバーが一同に会した
この日の模様を1冊丸ごと完全密着大特集!!

[登場アーティスト]　Alice Nine、Kra、SuG、SCREW、ViViD、THE 東京 HIGH BLACK
●ライヴレポート　●楽屋密着レポート　●アフターライヴインタビュー　●スペシャルメッセージ　……etc.

★ パソコン、携帯電話からのお申し込み
パソコン、または携帯電話(一部対応していない機種もあります)から、当社ホームページにアクセスしてお申し込みくだされば、お近くのセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの各店でもお支払いできます。 http://www.ongakusenkasha.co.jp/ までアクセス!

制作/発行:(株)音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F　TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548

Art Pop entertainment
KING RECORDS

2010年、J-ROCKシーンに押し寄せる最大の衝撃波!!
NoGoD待望のデビュー・アルバム完成!!

【CD】全11神曲収録
01. 鼓動
02. 心臓
03. 緋キ日ノ誓イ
04. 少年と地図
05. 慰みの空
06. 蠟翼
07. 君がくれた幸せと君に捧ぐ涙
08. カクセイ
09. 果実は嗤う
10. II-懐疑
11. 君に贈るいつまでも消えない詩
【DVD】
01. 少年と地図 Video Clip
02. カクセイ Live
(2010.5.23 Shibuya O-WESTライヴ収録)
03. MAKING

完全限定プレス盤【CD+DVD】
KICS-91569 ¥3,780 (tax in)
☆完全限定プレス盤のみ団長公認(?)
"NoGoD応援団キャンペーン"応募券付

通常盤【CD】
KICS-1569 ¥3,150 (tax in)

【CD】全12神曲収録
01. 鼓動
02. 心臓
03. 緋キ日ノ誓イ
04. 少年と地図
05. 慰みの空
06. 蠟翼
07. 君がくれた幸せと君に捧ぐ涙
08. カクセイ
09. 果実は嗤う
10. II-懐疑
11. 君に贈るいつまでも消えない詩
12. アイ

NoGoD ONE MAN TOUR-2010-【欠片】

9/4 (土)渋谷CLUB QUATTRO
9/18 (土) 神戸VARIT
9/20 (月.祝) 広島ナミキジャンクション
9/23 (木.祝) 福岡DRUM SON
9/25 (土) ESAKA MUSE
9/26 (日) 名古屋ell.FITSALL
10/3 (日) 横浜DRAGON CLUB
10/9 (土) 新潟CLUB JUNK BOX mini
10/11 (月.祝) 札幌KRAPS HALL
10/16 (土) 仙台HOOK
10/17 (日) HEAVEN'S ROCK宇都宮VJ-2
(adv.) ¥3,500 (door) ¥4,000 D別

その他イベント出演あり、詳細は公式頁にて　NoGoD公式頁 http://www.artpop.org/nogod/indexx.html

レコチョク
Major Debut Single
「カクセイ」配信中 !!

蝴蝶网
hudie.com

良い意味、気にならない存在

ナイトメア10周年記念企画として、この一年、
不定期に行っている大好評・メンバー内対談。
今月は、YOMI＆RUKAの登場です。
この二人がそろうと、
なにやら危険なかおりがするのですが…。案の定、
２人の出会いや関係性を探るインタビューは
とんでもない方向へ…(笑)。
なんだかんだ、とても気の合う凸凹コンビの
“奇妙な関係性”をお楽しみ下さい。

RUKA
Nightmare

graphy:SUSUMU MIYAWAKI（PROGRESS-M）
iew:YUKA SUGIE
Make-up:FUMIE NOZAWA
g:MAYU MORISHIMA（YOMI）
BACKGROUNDS FACTORY
力:KINGLY MASK＋2（☎03-3478-9260）
Zplus-alpha（☎03-5369-2932）

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

奇妙なバランス YOMI×RUKA

Nightmare

――まずは、2人の【はじめて物語】からお聞きしようかなと。

RUKA：じゃ…フィクションでいく？

YOMI：いやいや、それはマズイでしょっ！（笑）。確か、俺の地元で初めて会ったんだよね、俺の友達を介して。当時、仙台ではRUKAさんのいろんな噂が轟いてたから、俺も会う前からRUKAさんの存在は知ってたし、先輩っていうのもあって…初対面はちょっと怖かったかな。ただ、何回か会ううちに、“思ってたよりは怖いっていうイメージはないのかな”とは思うようになったけど。あと、イジってくれそうだなっていうのは、感じてた。

――そういうYOMIさんは、メンバーと出会った当初はかなり内向少年だったと聞きますけど…RUKAさん的には、どう映っていました？

RUKA：田舎モンって感じだった。初めて会った場所も悪かったんだけどさ。何しろ、田んぼの真ん中でチャリンコ漕いでたからね。

YOMI：そうそう。そうしたら、RUKAさんの車で追いかけられたの。

――…なんでそんなことするんですか!?

RUKA：いや、ゾジーさんが走ってる後ろ姿が面白かったから。ま、お前の親友のてんてん（ケミカルピクチャーズ）は隣で笑ってたけどな。

YOMI：あ、そうなの⁉（笑）。

――という2人の距離は、何をきっかけに縮まっていったわけですか。

YOMI：RUKAさんの前のバンド、Luinspearのお手伝いをさせてもらったりしてたんだけど、そのあたりからじゃないかな。

RUKA：そのうち、Luinspearとナイトメアが対バンするようになったしね。スゴかったのは、ハロウィンじゃない？

YOMI：そうかも。ハロウィンのイベントは、毎回変なことやってたもんね。

RUKA：俺らの悪ふざけ癖は、あそこで生まれたんだろうな。

――面白いことやるならとことんやるっていうノリとかテンションが、ピッタリ合ったんでしょうね。

RUKA：ただ、他のメンバーはともかく…ゾジーさんは、やっぱり暗くて、田舎モンで、人とコミュニケーションできない印象のまんまだったけど。あのまま育ってたら、確実にマズイことになってただろうね。

YOMI：はは、売れなかっただろうね、たぶん。

――その当時はよもや、一緒にバンドをやるなんて思いもしなかったわけですか。

RUKA：うん。

YOMI：想像もしてなかった。ただ、RUKAさんはプライベートでは、意外としゃべるし、明るい人なんだなとは思ったけど。あと、歩くの速いなって。しかも人混みを通り抜けるのがやたらウマいから、仙台の街中ついていくのがやっとだったもん。

――まるで兄の背中を追う弟のようです。

YOMI：ホントそんな感じだった。俺たちは仙台から出たこともなかったけど、RUKAさんはツアーでいろんなところに行ったり、ビラ作りやイベントの組み方もわかってたし。すごいオトナに見えたもん。

――RUKAさん的には、何をきっかけにYOMIさんへの印象がポジティヴに変化していくわけですか。

RUKA：それがわかんないんだよね。いつごろからなのか、きっかけが何なのか。

――ヴォーカリストとしての才能に、ハっとする瞬間があったとか。

RUKA：そんなの考えたこともないな。俺、真面目にバンドやろうと思ったことはないからね。だから、ヴォーカルがウマいヘタとか関係ないし、面白ければいいだけだもん。

――じゃあ、YOMIさんに面白キャラの素質は見出していたわけですね。

RUKA：そうだね。普段の動きが変だったもん。挙動不審だったよね。

YOMI：でも俺的には、ジュイさん（Luinspearのヴォーカル。現ヴィドール）が当時から歌がウマかったから、RUKAさんがナイトメアに入ることでプレッシャーみたいなものは感じてた。それこそ、RUKAさんが入ったことで、

——そういうYOMIさんの背中を、RUKAさんが押してあげたりとかは？

RUKA：もちろん、ない。放任主義。

——それなら、逆にプレッシャーをかけることもないんでしょうけどね。

YOMI：ただ、当時からきっかけを間違えたり、しなきゃいけない告知を忘れたりはしてたから、よく怒られてはいたけど（笑）。

RUKA：あと、遅刻したりな。

YOMI：ま、それは今もなんだけど。

RUKA：でもさ、そういうことも含めて、ヴォーカルってどっか変わり者じゃないとできないんじゃない？　何千人、何万人の前でステージの真ん中に立つって、異常な人しかできないと思うもん。

——同じステージに立ってはいても、前と後ろではそんなに違いますか。

RUKA：違うね。俺は前には立てない。

——その肝っ玉には一目置いていると。YOMIさんは、RUKAさんのどういう部分に一目置いていますか？

YOMI：自分の流れに持っていく力、スゴイよね。俺たちメンバーだけじゃなくて、周りの友達だったり、事務所の人たちだったり、何だかんだRUKAさんが言えば動いてくれたりとか。そこはスゴイし、いいなって。

RUKA：でも、想像もつかない間違えをする[illegible]ーさんもスゴイけどね。

——中でも、過去最大級の想像もつかない[illegible]ピ[illegible]ドというと？

RUKA：間違えっていう言葉にすると[illegible]の難しいけど、奇行は多々あるよ。ツアーに数百円しか持って来ないとか。

——なんてアナーキーな…普通は、怖くて[illegible]ないことです。

RUKA：でしょ？　“何かあったら”っていう[illegible]を考えないんだろうね。

YOMI：ま、今は数百円でツアーに行けないけど…当時はそれしかないからしょうがないかって。しかも、俺1人で行くんだったら不安だけど、メンバーがいたから…。

RUKA：その考えが、もう最低じゃん!?

——何しろ、楽天家なんでしょうね。

RUKA：マイナス志向の人間、嫌いで

＜伊達漢＞〒162-0831 東京都新宿区横寺町32TR神楽坂Bld.　TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00～18:00）　dateotoko@nightmare-web.com

蝴蝶网
hudie.com

YOMI×RUKA

奇妙なバランス

Nightmare

しょ？

YOMI：うん、嫌い。

――RUKAさんも、楽天家ですか？

RUKA：どうだろうな…両方あるけど、基本はポジティヴじゃないかな。

――それなら、やっぱりお互い波長は合いますよね。ただ、YOMIさんが暴走しそうなときは、両面持つRUKAさんが手綱をキュっと引いたり？

RUKA：そういうとき、俺は止めない。

YOMI：止めるのは枢が多いかな。それか、咲人か。

――このまま走っていったらガケから落ちるなとわかっていても、RUKAさんは敢えて止めない？

RUKA：うん、止めないね。自分が構われるのが好きじゃないから、人のこともあんまり構いたくないっていうか。

――となると…2人の関係性って、どう例えたらいいんでしょうね。親友とも違うだろうし、兄弟とも違うだろうし。

RUKA：考えたこともない質問だからわかんないよ。

YOMI：敢えて言うなら…よくツルんでる学校の先輩後輩に近い感じがする。

――2人で、バンドについて話したりとかは？

RUKA：俺、メンバーとバンドについてとか話したくないんだよね。話し合ったことあったっけ？

YOMI：…ないね。

――じゃあ、2人でいるときって、どんな話をするわけですか。

YOMI：いや…普通の話しかしてない。

RUKA：そういえば、ゾジーさんのホームシアターに関しては、5人で話し合ったよ。

YOMI：確かに、みんなで真剣に話し合ってくれた！（笑）。

――2人で呑んだり、遊んだりは？

RUKA：今、ゾジーさんは、俺の家出禁だから。

――何をしでかしたら出入り禁止に!?

YOMI：2年前のRUKAさんの誕生のとき、俺がお祝いしようと思って、酔っぱらってRUKAさんの家に行ったんだけど…かなり大暴れしちゃって。俺的には〝かなり盛り上げて帰ってきた！〟っていう手応えはあったんだけどね（笑）。

RUKA：ま、ただの迷惑だったね。夜

蝴蝶网
hudie.com

に行くことは？

RUKA：前は家も近かったから、ちょくちょく行ってたよね。

YOMI：ただ、前は家がすごく汚かったけど…最近引っ越したから、また来てもらいたいなと。

――結局、居心地のいい2人ではあるんですかね。とは言え、お互いにここはこうしてほしいと思っているところは？

YOMI：ちゃんとお風呂入ってきて、っていうぐらいかなぁ。

RUKA：あのね、お前が言うなよ！

YOMI：いやいや、俺のほうがマシだって！　RUKAさんは撮影のときでも風呂入ってこないことあるからね。

RUKA：それはさ、風呂入る時間がないからだよ。でも俺は、風呂入るから遅刻しますなんて言わないからね！

YOMI：ははは…それ、俺だ！　RUKAさんと俺、一緒に住むのはムリだな。

RUKA：ま、誰が相手でも難しいけど…ゾジーさんはないな。

――とか何とか言いつつ…5年後、10年後、お互いにどうなっていてほしいと思

RUKA：ゾジーさんは…ホント何でもいいな、俺（笑）。

YOMI：どうなってもいいの⁉

RUKA：いや、見てみたいっていうのはいろいろあるんだけど…ハゲてるのが見たいとか（笑）。

YOMI：俺に〝破産しろ、破産しろ〟って言うからね、RUKAさんは。でもさ、ホントに破産したら、超良い歌、歌うかもしれないよね。俺、キャラだけだったら満点なんだけどなぁ…。

RUKA：いや、キャラだけだったら昔にくらべたら下がってるよ。歌はもちろん良くなってるけど、デビュー前、エリアでやってたころのキャラが100点満点だったからね。

YOMI：ま、あんまりキャラを出すと、おかしい方向に行くからさ。

RUKA：いやいや、おかしい方向で売れたんだからさ、もっと出したほうがいいって。

YOMI：あそっか。ま、RUKAさんには…飽きないでやっててほしいなって。どうかお願いします！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶図
hudie.com

—今日の撮影では、セクシーでアダルトな表情を見せてもらいましたが…自分自身ではどう感じます?

「冷静に見たら、面白いんですよ。"何やってんの、この人!?"って。自分のことなのに、どこか他人事に思えるっていうか。今日の撮影は特に、自分の世界に入って撮れたと思います」

—人によっては、前に観た映画や読んだ本の、登場人物とかシチュエーションを重ねてなりきると言いますけど、シンさんの場合はどうでした?

「あぁ…実はですね、映画『トップガン』でトム・クルーズがシャワーを浴びるシーンがあるんですけど、それを思い出して。トムになったつもりで、今日はやってみました。気分はもう、ハリウッドだったんで(笑)」

—だから、あんなにも目線が堂々としていたんですね。自分をどう見せたら女の子がドキっとするかっていうのも、わかっているんですか?

「いや…そうでもないですね。でも、"シン"であるときは、無意識に普段できないこととかができてたりするんで、そういうのは不思議ですけどね、自分で。ステージに立っているときや撮影のときと、普段ご飯食べたりおしゃべりしてるときとでは、全然違う人格になっていると思いますよ」

—実際、撮影のときの挑発的な表情に比べて、こうして話しているときの穏やかで癒し系な表情はまるで違いますが…プライベートでのシンさんは、どういう女の人がタイプなんですか?

「釈由美子さんです(笑)。結婚しちゃうっていうニュースを聞いたとき、すごくビックリしちゃって、思わずメンバー全員にメール送ったら…誰からも返事はなかったですけど(笑)」

—にしても、キレイなお姉さんが好きなんですかね。

「ですかね…でも、幅は広いですけどね。カワイイ系も好きだし」

—やっぱり、見た目がイイに越したことはないですか。

「いや、そういうわけじゃないですよ!? 気立てが良くて、料理が上手で、でも、話のレベルを俺に合わせて下げてくれる

基本的に年上がいいんですよ。それでゲームも上手だったら、言うことないです」

—しかし、それだけの条件をクリアできる女子って、そうそういないような…大人の女性だと、他の条件はクリアしても、ゲームはしなかったりする人が多かったり…とか。

「そうなんですよ! でもね、やっぱりテキパキして、仕事もできて…っていう、しっかりしてる人がいいんですよね。俺がしっかりしてないんで、"頑張りなさいよ"って尻叩いてもらわないと、ダメなんですよ」

—そんなシンさんが、女の子にドキっとする瞬間とか、キュンとくる仕草というと?

「最近、あんまりキュンってしないなぁ……。でも、やっぱり笑顔ですかね。女の人の笑顔って、すごく素敵だと思いますもん。小学校のころに好きだった女の子とか、思い浮かべるのはいつも笑顔だったりするし。女の子の笑顔は、太陽ですよ」

—ということは、ライヴで観られるファンの女の子の笑顔も、シンさんを癒してくれているわけですね。

「ホント、そうなんですよ。みんなニコニコしてくれると、俺も自然と笑顔になれるし。最近、ライヴが楽しくてしょうがないですからね。"楽しみに来てるんだから、楽しもうぜ"って思ってるし。自分からどんどん巻き込んで、最終的にみんなを笑顔にするっていうのが、いつも目指していることです」

—それがポジティヴな相乗効果を生むんでしょうね。では、女の子に何をされたら引きますか?

「俺、あんまり独占欲みたいなものがないので、これされたらイヤだ、っていうのはないんですけど…オナラとかゲップをされたら、ちょっと引いちゃうかもしれないですね(笑)。別に出るのはしょうがないですけど、隠れてやってほしいかなって」

—シンさん自身も、女の子の前ではしないですか?

「あ、そういう類のことはしないですね。内なるプライドみたいなものが強いから

の子の笑顔は、太陽ですよ

ップでキュートな一面を披露してくれたイヴ&Koki、妖艶な魅力を見せてくれ
零乃&怜我と、普段では見られないメンバーの一面が見れたと、大好評だった
ンバー内対談。今月は、いよいよ、Vo.シンの登場です！　この撮影のコンセプ
が決まってから、入念な身体作りをして、撮影に挑んでくれたシン。彼の努力の
もあり、本人も大満足の激レア・フォトがここに完成。(※今回掲載しきれな
った未公開フォトが、7月28日発売のglitter pop No.7に掲載。ポスター付き)

ハダカのココロ。

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:SAYAKA

て気を許すようになっても、"何、この人!?"とは思われたくないんですよ。そういうことをしちゃうのは、慣れとは違うと思ってるんで」

—でも、男の子同士とか…メンバー同士だったら、また違います?

「いや、メンバーにも見せないですね、そういう面は。よく、豪快にオナラできる男の子とかいるけど、俺は絶対しないし、できないですからね」

—もしかして、シンさんの親御さんは、人前でのお行儀だったりを厳しく躾けてくれたんじゃないですか?

「確かに、それはありましたね。礼儀とか、行儀とか。だから、いまだにそうなんだと思います」

—それは感謝すべきことですよ。じゃあ、独占欲のないシンさんにとって、女の子に独占されることに対しての抵抗感はありますか?

「あ、ムリですね。まったく独占されないのもどうかとは思うんですけど、独占されすぎたら、疲れちゃいますよ。たとえば、1時間ごとに電話! とか」

—ま、面倒くさいと言えば面倒くさいですけど…ヤましいことがなければ、やればいいじゃんと思ったりもします。

「いや、ヤましくなくても…羽ばたきたいときはあるんですよっ」

—一体どこに!?

「自由に、空を駆け巡りたいっていうか(笑)。もちろん、浮気とかじゃなくてですよ? それなのにあんまり追求されたら、"信じてないの?"っていうことになるじゃないですか」

—シンさんは、たとえば彼女から連絡がなくても気にならないですか。

「全然平気ですね。気にしないです」

—ちょっと魔が差して携帯を見たくなったりとかは?

「ないですね。最初のころは、どんな人なのかなと思って、ちょっと見たいかもって思うんですけど。でも、実際には見ないです」

—自分がもし見られたら、怒っちゃいます?

「いや、怒らないですよ。ヤましいことはないんで、オープンですから」

—お、潔い。お互いそうだと、モメる

たく相手を信じきって、痛い目に遭ったことはないんですか?

「何度もありますよ(笑)。俺自身は、器用じゃないんで、浮気はできないんですけどね。でも、優柔不断なんで、かえって話がややこしくなったりもするんですけど」

—きっと、すごく優しい人なんでしょうね。女の子に限らず、人を傷つけたくないという想いが強いというか。

「あぁ…それはありますね。自分が育ってきた環境のせいもあるのかも知れないですけど、そういうイヤな想いを人にさせたくないんですよ」

—ただ、そういう自分が、しんどくなる瞬間はないんですか。

「いやぁ…ありますね。でも、自分が我慢して人が楽しいなら、それでいいかなって思うんですよ」

—まさか、友達と同じ女の子を好きになってしまったとしたら、身を引くタイプですか。

「絶対引きますね。自分がどんなに好きでも、友達の本気が伝わってきたら、引きます」

—となると…たまに器用に世渡りできる人が羨ましくなったりしません?

「羨ましいなと思うときはありますよ。ホント、世渡りベタで不器用なんで…今に至るにも、結構回り道したなぁって(笑)」

—でも、そのぶん得たものは人より多いハズですから。そういうシンさんが、男として目指す理想像は?

「GACKTさんですっ。音楽だけに止まらず、あれだけ活躍されてて、人間としても魅力的な方だと思うので。音楽を続けていくには、俺もあぁいう風にストイックにならざるを得ないだろうなと。ホント、目標です」

—そうなるために、一番必要なことは何でしょうね。

「やっぱり意識じゃないですかね。自分の意識次第で何でも変わるって、最近身に染みて思うんですよ。それは、メンバーを見てても感じるし。歳を重ねるごとに、いかに人が見ていないところで頑張れるか、意識をどれだけ高めていけるかが大事だなと。"非の打ち所のない人"って

PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.　〒168-0064　東京都杉並区永福3-41-9-2F　http://www.indie-psc.com/vivid/

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶
hudie.com

Plastic Tree

をたよりに……『ムーンライト ———。』リリース

に輝く月の光は、揺れ動く心模様までをも照らし出す。今夏は8月13日に自身3度目の日本武道館公演[テント②]を控えているPlastic Treeが、
ベルを移籍して初のシングル『ムーンライト ———。』を、7月28日に発表することとなった。彼らならではの情緒豊かな旋律を、完成度の
音像で仕立てたこの曲からは、深いドラマ性も感じることが出来るに違いない。

Interview:YUKI SUGIE

——今夏のPlastic Treeは、8月13日に3度目の日本武道館公演[テント②]を控えていますけれど、その前に7月28日にはシングル『ムーンライト ———。』が発表となりますね。

長谷川正：シングルとしては、[illegible]秋に出した『サナトリウム』以来になるんで、感覚的にはわりと久しぶりな感じがしちゃいます。

ナカヤマアキラ：もっとも、この曲に関してはすでに『ドナドナ』（昨年[illegible]月発売のアルバム）が出来た頃にはもうあったんだけどね。

正：実は、これ録り直しをしてるんですよ。1回まずは録った後に、"いや、もっと良くなるだろう"っていうことで、あらためてもう1回録ったのが今回出すシングルの音なんです。

——ちにみに、録り直した理由とは何だったのでしょう？

アキラ：分かりやすく言うと、これはバンドだけで完結する音にしなくても良いのかもね、ってなったから。

正：作った当初は、サビのあのメロディ通りの、叙情系ナンバーそのものだったんですよ。でも、もう少しヒネりを加えると、曲の世界が広がりそうだね、ってなったんです。そこの部分は、今回かなりアキラくんに手伝ってもらいました。

——なるほど。それで、これだけ凝った音になったわけですか。

正：打ち込みとバンドの音が重なってるとこに、独特なエモっぽさも加わった音になったような気がしますねぇ。

アキラ：俺はまぁ、正くんの描いてたイメージをそのままメンバーのひとりとして、アレンジに反映させてっただけなんだけどね。

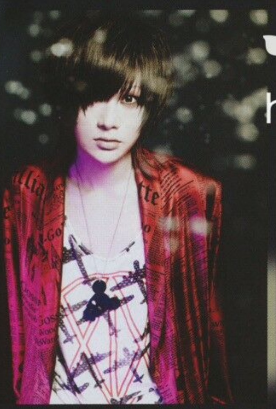
——アレンジといえば、この曲はリズムの構成も複雑ですよね。

佐藤ケンケン：この曲は生ドラムじゃない打ち込みの音と、生ドラムとの関係性がやってて面白かったです。全部じゃないんですけど、部分的にはちょっと機械的に叩いてみたとこもあったりして、また新しい手法も試せました。

正：あのリズムは、ちょっとツインドラムっぽくて良いよね。冷静くんと、情熱くんのバトル！って感じで（笑）。

——その場合、これってライヴでのド

蝴蝶网 hudie.com



蝴蝶网 hudie.com

半分ずつの現実と虚構。

そこ、今まで考えてなかったです（笑）。音源だと、途中で生ドラムがフェードアウトしてくとことかあるんですよねぇ。でも、根本的には正さんも言ってたみたいにエモっぽい曲なんで、レコーディングは冷静くんが7割くらい出てましたけど、ライヴのほうは情熱くんが強めのモードで行きたいと思います。

——それから、リズム繋がりという部分で、ベースの録りをする際にリーダーが重視していたのはどんなことでしたか。

正：今回はもう、ベースはひとつのパーツとして考えてました。素材に徹して、敢えて余計なことはしてないです。

——そのあたりは、もしやギタリストも共通見解であったり？

アキラ：そうだね、この曲に関してはデモそのまんまというか、あんまり考えてあれこれする感じでは無かった。

——ここまでお話を伺った印象だと、この曲については録り以上にミックスが難しかったのではありません？

アキラ：確かに、今回はミックス段階で〝すいません、もう1回…〟っていうのは多かったねぇ。そこのジャッジは、竜太朗がしてくれてたんだけど。

——竜太朗くん、その時のことを教えていただけますか。ミックスしていく際に、大事にしていたのはどんなことでした？

竜太朗：んーーと、俺、何かジャッジなんてしましたっけ？

アキラ：覚えてないのかい（苦笑）。

——聴いていては、既存の楽曲たちと比べても、少し新しいタイプの音像に仕上がっているように感じたのですが。

竜太朗：たぶん、現場では漠然としたことしか言ってないと思うんですけどね。イメージとしては、当初この曲を作ってた時に正くん一緒に作業してた時の感覚が強かったんで、その色が残るようにっていうことは思ってたような気がします。

——分かりました。では、ここからは歌詞の内容についても伺わせてください。この「ムーンライト———。」の世界を描くにあたり、竜太朗くんがテーマとしていたのは何でしたか。

竜太朗：このタイトルにも含まれてるんですけど、〝光〟です。それをモチーフにしながら、半分は自分にとっての現実、半分は虚構の要素を混在させて行きました。その配分は意図的にそうしようと思ってたわけじゃなくって、曲に対する印象を詞にしてったら、自然とそうなったんですよね。

——混在といえば、この詞の中には自然光と人口の光、その両者が出て来ます。このコントラストが、何だかとても興味深かったです。

竜太朗：携帯電話の、ちっちゃな手元の光。月の光みたいに手が届かない光。その対比を1曲の中に入れることは、この「ムーンライト———。」を作ってく上での裏テーマでもありました。

——この詞の中には、まさに〝メール画面〟というフレーズが出て来ますが、竜太朗くんの書く詞の中には、この曲に限らず時折この携帯メールの存在が、ふと顔を覗かせますよね。

竜太朗：だって、今や世の中はメール社会ですから。

——その昔、Ajiくんに教えてもらいながら、やっとメールを打てるようになった人の言うこととは思えません（笑）。

竜太朗：確かに…いやいや、何言ってるんですか。最近は、iPadだってちゃんと使いこなしてますし…（笑）。

——何でも、時にはiPadで歌詞まで書いているそうではないですか。

竜太朗：最近、使用してます。って言いながら、いまだに不思議でしょうがないとこもあるんですけどね。メールとかも、手紙とか目に見えるようなカタチをしてないものが、何でそんな瞬時に相手に届くんだろう？って。実際、メールを使い出してしばらくは信用できなくって、たまに大事なメールの時は送った後、わざわざ電話して〝届いた？ 届いた？〟って、よくやってた（笑）。

——ところで。この曲に関しては、あのイントロ部分の展開にも驚かされました。

竜太朗：あれは、必然的にああなっちゃったんです。ホントはあそこ、もっと尺を取ってたんですけど、メーカーサイドから〝そこはもっと短くしてくれ〟って言われて。それで、ああいう風にギュッって詰め込んじゃいました。

アキラ：これ、ホントの話。まぁ、だからってこの曲自体の持ってる根本的なものは、こういうカタチにしたところで何も揺らがないけどね！

——頼もしい限りです。

竜太朗：後々、アルバムに入れる時には、元々のかたちに戻すっていう方法も考えてるし、それはそれでまた聴き比べると面白いんじゃないですかね。

——なお、この曲では、「ムーンライト———。」という特殊な表記の仕方をした理由も教えていただけると嬉しいです。

竜太朗：この歌詞自体が〝ムーンライト〟っていう言葉で終わるんですけど、僕の中ではまずその表記がこれだったんです。

——ニュアンスとしては、余韻を感じる表記ですよね。

竜太朗：それもあったし、あとはタイポ（グラフィ）的な要素も強くって。月の光が遠く伸びてる、っていうようなイメージもありましたね。

——分かりました。さて、このシングルにはもう1曲の新曲「バンビ」も収録されていますので、こちらについても訊かせて下さい。この曲は、バンドサウンドが前面に出たつくりになっていますね。

正：「バンビ」は、自分自身が今聴いてみたかったタイプの曲なんですよ。

ケンケン：こっちは、凄い自分の好きなように叩きました。〝自由にやってみて〟って言われたんで（笑）。でも、そこが逆に難しかったですね。

——自由といえば、ギター・ソロも相当伸び伸びとしていませんか。

アキラ：そうね、かなり（笑）。こういう曲は、きちんとやっちゃったら途端につまんなくなっちゃうから、これが正解。

——竜太朗くん、「バンビ」の歌詞はどんな風にまとめていきましたか。

竜太朗：あのー。こんなことを語るのもどうかなとは思うんですが、この詞について話すには避けて通れないので（笑）。えーと、先日ウチの父親が亡くなりまして、そのちょっと前に本人に向けて書いたのがこの詞です。

——まさか、そのような背景があったとは…わりと婉曲的な表現が多い詞なので、そこまでは思い至りませんでした。

竜太朗：だから手紙です。これは。この「バンビ」っていうタイトルも、僕と父にとって共通の思い出がある言葉なんです。

——この詞を完成させたことで、竜太朗くんは内にあった想いを昇華させることが出来ましたか？

竜太朗：ここで、こういう詞を書けて良かったです。この詞が乗せられる曲がそこにあったことも、出来上がったものを今このタイミングで出せたことも、全てに対して良かったなって思います。いろいろあったけど、ちゃんとひとつの区切りはつきました。

——最後になりましたが、今作の通常盤にはもう1曲「Rusty」が収録されていますよね。こちらについては、先般行なわれた東名阪ツアー［Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演］の影響が少なからずあるのでしょうか。

正：レコーディングしたのは、あれの前だったんですけどね。とはいえ、今年は『Strange Fruits-奇妙な果実-』から15年っていう節目でもあるんで、これもひとつの記念です。今のこの4人であの頃の曲を録り直したらどうなるんだろう？っていう、興味もあったし。

——結果としては、原曲のテイストはそのままに、今現在のPlastic Treeならではのフレーバーも加えた仕上がりになったように感じます。

正：ホントに？ だったら良かった。

ケンケン：いやー、だけどこれ、とてつもなく難しかったですよ。

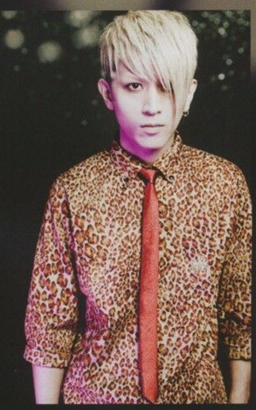
アキラ：今回久しぶりにやって思ったけど、あの当時の曲はつくづく個性的っていうか、独特のクセがあるよね。当時から何となくは感じてたけど（苦笑）、改めてよく分かった。

——Plastic Treeの原点と、本性を感じられる1曲でもありますよね。この曲は。

アキラ：ってことはですよ。あとは、ここに込められてないのは当時の若い衝動だけなんです。あ、でも大丈夫。若さはケンケンさんのドラムが一手に引き受けてくれてた（笑）。

竜太朗：あはは（笑）。

アキラ：あとは、熟練の技と最新のテクノロジーで醸し出したあの頃の雰囲気をお楽しみください！



ction2

デオシュートライヴ

10.6.12@ODAIBA

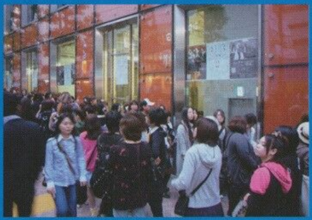
section1

ムックを探せ！

-WHERE'S MUCC?-

2010.6.9@SHIBUYA

▲逹瑯＠タワーレコード渋谷店B1「STAGE ONE」



▲ミヤ＠渋谷チェルシーホテル

▲YUKKE＠渋谷マ・メゾンビル

▲SATOち＠渋谷ボーリング場B1

ムック

ムックの日"にまつわる狂騒と、その顛末。

クとムッカーによる、6月の祭典といえば…？　そう、今や有名な6月9日＝ムックの日である。の彼らは、シングル『約束』の発売と連動するかたちで、スタンプラリー［ムックを探せ！］をい、渋谷の街をまるごとジャックした。しかも、その後日にはお台場にて、新曲公開ビデオートフリーライヴも敢行。ムックとムッカーの深い絆が生む、特別な空間がそこにはあった。

phy:RYOHEI HAMADA(french bull/SHIBUYA),TOSHIKAZU OGURUMA(ODAIBA)/　Report:YUKI SUGIE

世の多くの人々にとって、大概6月という時期はあまり喜ばしいものではないだろう。雨は多いし、蒸し暑いし、何かと煩わしく感じることが多いはずだ。

だがしかし。一方では、毎年6月の到来を心待ちにしている人々がいることも、忘れてはならない。その人々とは、つまりムッカーの方々のことである。6月9日＝ムックの日。これまでにも、毎年この日に様々なことを"仕掛けて"来たムックが、2010年に目論んだのは、シングル『約束』の発売と連動した渋谷まるごとジャック。

その名も［ムックを探せ！］と題されたこのイベントは、6月9日発売の『約束』初回限定盤に封入されているIDカードを参加権としたスタンプラリーで、当日は渋谷各所にスタンバイした4人のメンバーを探しながら、スタンプのコンプリートを目指す流れとなった。

ただし、各メンバーがいる場所は公表されておらず、ムッカーたちは公式サイトや、メンバーのTwitter、そしてアメーバピグを通じて提示されたキーワードを元に、渋谷の街中を右往左往。

なお、参考までにこのキーワ[illegible]内容について触れておくと、例えば"映[illegible]ド&ナンシー』の舞台"だとか、"リン[illegible]坂のネズミの前"といった表現が使[illegible]ていた模様。これらは解説する[illegible]の答えがライヴハウス・チェル[illegible]ルで、後者はアップルストアのある通りのディズニーストアの前にある[illegible]いう意味になる。

たくさんのムッカーたちに紛れながら4ヶ所全てを覗いてみたところ、この様子というのがまたいかにもムッ[illegible]しかった。4人4様とでも言っ[illegible]か、それぞれの選んだシチュエーシ[illegible]ンは見事にバラバラ。

列挙していくと、逹瑯は王道的にタワーレコードの地下ライヴスペースに陣取っていたものの、"リンゴ坂のビル"にいたYUKKEは、広いスペースを活かしてサッカーゴール（サイズ的にはフットサル用？）をでーん！と置き、その前で嬉しそうにサムライブルーのユニフォームを着用。

かと思えば、チェルシーホテルにいた

蝴蝶閣
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

人までが巨大ピンと化しており（着ぐるみ着用／笑）、場内からは彼の一挙一動に対して笑い声が起きていた。

どの会場にも、ここはバーゲン売場か？というくらいの大行列が出来ており、最終的には制限時間が延長されたにも関わらず、スタンプを集めきれなかったというムッカーもかなり出てしまったらしい。ただ、最後にはタワーレコードにメンバー4人分のスタンプが集結して、スタッフによりスタンプが押され、スタンプコンプリートの証明カードが配られていたので、ここは彼らの気持ちに免じて何卒お許し願いたい。

ところで。そもそも、このスタンプラリーが何のために行なわれていたのかを、改めてここで説明したい。実は、これは後日へと続く布石でもあったのだ。

何と、この後の6月12日にはお台場パレットタウンにて、ムックの新曲公開ビデオシュート・フリーライヴが敢行され、スタンプをコンプリートした人々の多くは、抽選によりこのライヴのプレミアエリア（ステージに近いため、PVにメンバーと一緒に映り込む可能性が大！）への入場が可能となった。

もちろん、このシューティングはフリーライヴ形式でもあったので、当日はパテオのようなスペースに、一般の買い物客や観光客なども含めて約5000人ものギャラリーが集結。まずは撮影前の景気づけとして、「ファズ」や「約束」など鉄板的選曲で数曲をプレイし、その後にはいよいよ近日発表予定だという新曲「フォーリングダウン」のシューティングへと移った。

カット数などの都合もあり、撮影は実に3時間にも渡ったのだが、ここで感じたのはムッカーたちの持つ底力。最後まで、その場をダンスフロアと見紛うばかりに盛り上げてくれていたそのパワーには、メンバーたちも深く感銘を受けたらしい。撮影は全て終わったにも関わらず、達瑯が〝もう1曲だけ！〟と叫ぶと、彼ら4人は完全なる予定外の「謡声（ウタゴエ）」を、最後にこぼれる笑顔と共にムッカーたちへと贈ったのだった。

この6月。ムックとムッカーを結ぶ絆は、また一層強く結ばれたようである。

蝴蝶网
hudie.com

LM.C

ROUND THE WONDER WORLD!!

驚きに満ちた素晴らしき世界は、まだ増殖を続けている。
この号が出る直前、7月19日には[We're Just WONDERHOLIC !]と題したワンマン公演を行なっていたLM.Cだが、引き続いて7月28日には待望のライヴDVD『The Live Of WONDERFUL WONDERHOLIC』も発売となる。今後はもっと冒険もしてみたい、という彼らの未来は、ここから繋がっていくのだ。

Interview:YUKI SUGIE

――7月28日に出るDVD『The Live Of WONDERFUL WONDERHOLIC』は、5月5日に行なわれた渋谷C.C.Lemonホール公演の模様を堪能できる作品なんですね。おまけに、特典映像には先般のワールドツアーの様子も入っていたりします。

Aiji：映像ってもう観ました?

――仮編集状態のものでしたが、それでもかなりの見応えがある内容でした。というわけで、今回のインタビューではこのDVDにちなみ、まずはおふたりの持つライヴ観について伺ってみたいです。

maya：ライヴって、基本は瞬間の美学的なものなんじゃないかなっていうところは、今も昔も変わってないかな。もちろん、ツアーってなると日々の中でトライ&エラーを積み重ねてくとこもあるわけで、そこはLM.Cを始めてからちゃんと知った部分になるのかもしれないけど。ある意味、そこは全く予想してなかったとこだったんでね。〝あぁ、ライヴって続けていくとこんなにもブーストされてくのか〟みたいな驚きは、やればやるほど増していってるのは事実です。

Aiji：極端に言っちゃうと、我々と来てくれてるみんなとがその空間で一緒に楽しめてれば、それだけでいいと思うんですよ。だから、最近はライヴに対してはそんなに細かいことや難しいことはあんまり考えなくなってきてて、純粋にその瞬間瞬間をより楽しみたいな、っていう気持ちで最近はステージに立ってますね。

――第三者側からすると、この半年から1年でLM.Cのライヴはずいぶんと変わってきた印象があるのですよね。例えば、去年あたりのC.C.Lemonホール公演や、年末の[NAGANO de HOLY☆NIGHT]などは、いかにもホール然としたパフォーマンスが印象的だったのですが、このDVDにもなっている今年5月のC.C.Lemonホール2デイズの時には、ホールっぽさどころかヨソイキ感がゼロで、その場が完全にLM.Cの〝庭〟になっているように感じられたのです。

maya：あー、そう言われてみるとそ

Aiji：こんなとこでリアルにtweetしちゃってるし(笑)。

maya：いや、自分で意識してやってないことだけに不思議だなと思って。まぁでも、自然と周りからそう見えてくれてるんだったら、それは喜ばしいことですよ。

――そもそもが、今やmayaくんの存在自体が頼もしいというのも、考えてみると大きな変化だなぁ…、と思ったり。

maya：そこはもう、こう見えて3年以上やって来てるんでね(笑)。

Aiji：もう、いい加減新人とは言えねぇぞと(笑)。

――その昔は、ライヴのたびにハラハラドキドキしていたものですが、気が付いたらあれは完全に過去の出来事になっていました。時の流れって速いです。

Aiji：人ってホントに成長する生き物なんですねぇ(笑)。

maya：でも、こっちからすると、どうせならいつまでもハラハラしてほしいですけどね。ドキドキされなくなったら、なんか寂しいじゃないですか(笑)。

――大丈夫ですよ。心配のドキドキが、エキサイティングなドキドキに代わっただけの話です。

maya：確かに、今こうして考えてみると今回のアルバム(『WONDERFUL WONDERHOLIC』)を出してからのツアーって、今までよりいろんな面で加速した気がする。自分たちの理想するライヴに、より近付いていってる実感は今まで以上にありましたね。

――今号が出る頃には終わっていますが、7月19日には再びのC.C.Lemonホール公演[We're Just WONDERHOLIC!]もございます。今年上半期のうちにEUツアーおよび国内ツアーを経てのこのライヴは、LM.Cにとってどんな場となるのでしょうね。

maya：国内ツアー的には、渋谷から始まって新潟で終わったわけなんですけど、そこから約1ヶ月おいてのワンマンってことで、人によってはこれがツアー・ファイナルってみる人もいるんでしょうね。ただ、我々的には終わりというより、まだまだ中間地点っていう感

日付と場所が良いんですよ。2年前に初めてホール・ライヴやったのが、まさにこの日のC.C.Lemonだったんです。

──いみじくも、というやつですね。

maya：さっきも話に出てたみたいに、今や別に気負う場所でもないし、我々にとってはホームみたいな場所でもあるんで、非常に楽しみです。

Aiji：あと、ちょうど季節が夏なんでね。今回のライヴはみんなで祭り的に楽しむっていう意味で、ちょっとした企画なんかも用意してるんです。

──なんでも、浴衣や甚平で来場すると〝オリジナルうちわ的なモノ〟をプレゼントしてくださるそうで。

Aiji：浴衣と来れば、やっぱうちわがないとね（笑）。

──この浴衣推奨ドレスコードというのは、メンバーにも適用されるのですか？

攻めて来ると思いますよ。ね？（笑）

maya：え。じゃあ、ひとりで神輿でも担いで登場しますかね。あ、登場って言っても〝入り〟の時ですけど（笑）。

──会場入りのことですか？ それだと、ごく一部の人しか見られないですよ！

maya：それはそれでいいじゃないですか。で、ライヴの時はもう何事もなかったかのようにソツなくスーッとね。

Aiji：それ、最悪なパターンね。ソツなくとか、いちばん聞きたくない言葉なんですけど（笑）。

maya：じゃあ、しれーっと現れるのはどうですか？

Aiji：えー!?（笑）

maya：とりあえず、細かいことは今日この取材の後に打ち合わせするんで、今はこのくらいで。ま、ホントのところは当日観れば分かりますよ。

"FanimeCon"にゲスト出演

2010.5.30
@San Jose McEnery Covention Center

蝴蝶网
hudie.com

好きなように生きるのがい

──が先ほど口にしていた〝この先〟についても伺おうと思います。今のところ、LM.Cとしては次に向けてどんなヴィジョンをお持ちですか。

Aiji：引き続き良い曲書いて、充実したライヴやって、っていう基本的な部分は変わんないと思います。ただ、ここまでアルバム3枚出してみて、自分が当初LM.Cを始めた頃に描いてたカタチっていうのは、もうわりと出来たと思うんで、ここからはもっと冒険してくのもアリかな？っていう想いもあったりするんですよ。それは、音楽性の面でも、ライヴの在り方の面でもね。

──何とも興味深いお言葉です。

maya：この先、かー。アルバム出して、ツアーやってる時は何となくそれが見え隠れしてるような気がしてたんですけど、今日のこの時点、今この瞬間に関して正直言って全然何も見えてないんで分かんないっていうのともそれは違って、今は〝次、何したら面白いかなぁ〟って、いろいろ探してるような感覚に近いですね。自分でも、そこから何が出て来るかが今は凄い楽しみ。

Aiji：まだ具体的には言えないですけど、何とか年内にはまたみんなに新しい音を届けたいって思ってます。

──そんなLM.Cの次なるアクションを待つ間、みなさんにはDVD『The Live Of WONDERFUL WONDERHOLIC』で、しばし楽しんでいただくとしますか。mayaくん、ずばりこちらの見どころはどんな点ですか？

maya：俺のカッコ良さ。

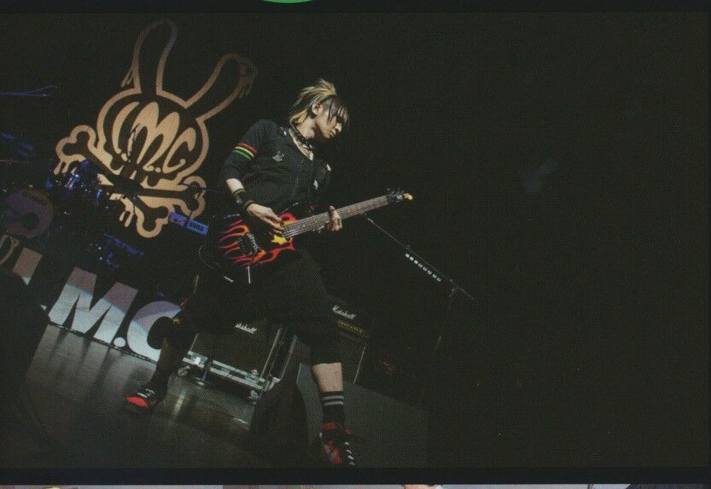
Aiji：…って、ぜってーソレ言うと思ったし！（笑）

maya：いやでも、ホントになんかこの映像観てると不思議な感覚があるんでたんだよな〟って感じてる自分がそこにはいて、その自分はLM.Cを始めた頃の自分でもある、っていうか。〝あの頃〟の自分が、未来の自分を覗きこんでるみたいな感じなんですよ。

──それだけ、素晴らしい作品になっているということですよね。なお、このDVD『The Live Of WONDERFUL WONDERHOLIC』は、アルバムと全く同じ曲順になっているのだとか。

Aiji：そういった意味では、単なるライヴDVDっていうより、これは『WONDERFUL WONDERHOLIC』の映像版というか、別スタイルでもあるんでね。そういうコンプチュアルなとこも楽しんでもらえるといいと思います。

maya：楽しむどころか、ワタシなんか我ながら感動もしちゃいましたからね。やっぱ才能溢れてるなぁって。そのぐらい、おすすめ（笑）。



蝴蝶网
hudie.com

Kra

Kraの"カッコよさ"が出たシングル登場!!

8月18日にリリースされるKraのニュー・シングル『デンノヲ空想理論』。ちょっと不思議なタイトルからは意外な印象も受けるラヴソングのタイトル曲と、独特なグルーヴが新鮮なカップリングの「ダディ」を収録し、常にチャレンジ精神溢れる彼ららしい作品に仕上げた(PV付きなど、3タイプ同時発売)。現在はアルバム制作に取り組んでいるが、夏はライヴ三昧の彼ら。熱く楽しい夏になりそうだ。

――「デンノヲ空想理論」をタイトル曲に選んだのは、どういう理由から?

靖乃：アレンジが進んでる中で、"これだよね"っていうのはあったよね。

舞：サビの抜けとかが良かったし。

靖乃：録りが始まった時点で、景夕から

やっぱりこの並びで良かったねって。

――結良さんは先月のインタビューで、激しい作品にしたいとのことでしたけど、アレンジでも激しさは押し出したかったところ?

結良：そうですね。イントロ後の間奏で

がっつり重いほうがいいだろうってことで、5弦ベースで弾いてるし。

――歌の印象からは意外なぐらいどっしりしてると思いました。

結良：そこはギターが頑張ってくれてるんじゃないかと思います。

とからへヴィな方向に持って行く感じだったんで、ギターもそっちの方向にしたほうが曲が生きると思ったんです。

――重さとか勢いもありつつ、歌としてはあくまでラヴソングなんですよね。

景夕：普通のラヴソングにするのもどう

があって、地方の子たちとも握手できる機会が増えるんです。離れてても、音源とか雑誌を通して好きでいてくれた人たちと触れ合うことをテーマにしようと思ったんです。自分もネットゲームをやってるし、ネットゲームって相手が見

Photography:SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M)
Hair & Make-up:ASAMI YAMADA (PS COMPANY), KANAKO FURUHASHI
Interview:MIYUKI MURAYAMA
BACK:BACKGROUNDS FACTORY

直接会えない切なさが出てるのかなと思いましたが。

景夕：キャラクター同士でも、結局その世界は作られた世界だし、目に見えてるものだけが大切なものじゃなくて、その瞬間に繋がってる、その人の感情同士が大切で、それで（ゲーム上で）喋ってるんだとしたら、そこが面白いなっていう気持ちがありましたね。

——歌う時は、直接的な恋愛がテーマでないことは意識しました?

景夕：歌った時はラヴソングっていうイメージはなかったです。もっとそれより激しさと言うか、抜ける感じを意識しました。曲のイメージに合った歌い方にしてますね。

——初回盤に付くPVは、どんな映像になるんですか?

景夕：今までにない感じのカッコよさがありますね。今までは〝可愛い〟とか〝面白い〟とかでしたけど、今回は〝カッコいい〟感じです（笑）。

靖乃：事務所の人間をして、〝ヴィジュアル系っぽいじゃない〟って言わしめるような、そういう感じです。あと、初めて撮影にファンの子が入りました。

——ライヴ映像みたいな感じなんですか。

靖乃：それに近いですね。直前に募集したんですけど、170人も押し寄せてくれて、感謝感謝です。至近距離で見つめられて、舞さんがカッチカチでした（笑）。

舞：そんなことないよ！ そんなことないです（照笑）。

——そのあたりはPVを観ていただきましょう。カップリングの「ダディ」を、景夕さんがタイトル曲にしたいと思ったのはどうして?

景夕：俺の中ですごくカッコいい曲だったんです。カッコいいって言うか、渋い。

——これまでのKraとはかなり雰囲気が違いますもんね。

景夕：違った面を出していきたいと思ったんです。表題になる曲はやっぱり系統が似てるんで、そういう中で違った面を見せてもいいのかなって。

——違った面を出したいというのは、作曲の時点から考えてたんですか。

結良：サビのコード進行が今までにないんですよ。だから、僕としても今までと違った感じを出したいっていうのはありましたね。これは、レコーディングをやってるうちに、自分の中で名曲になっちゃいました。舞ちょが録ってる間、ずっと聴きながらマンガの『BECK』を読んでたんですね。1巻から最終巻まで。そしたら、最後に出て来る〝幻の曲〟があるんですけど、それがこの曲にしか聴こえなくなって（笑）。『BECK』を見るたびに、「ダディ」を思い出すんですよ。僕の中ではこれは『BECK』です。『BECK』ファンは怒るかもしれないけど（苦笑）。

——これまでにない印象は、みなさんも意識しました?

靖乃：ファンクノリっぽいのがあったらハマるのかなっていうのは意識しました。

結良：小節の頭にアクセントを持って来てるんですよ。小節の頭を超強く、後を軽くやるとファンクになるんですよ。

——歌もまた個性的ですが。

景夕：歌い方にしても、メロのフレーズを当てはめる時にしても、頭をポンポンと区切られる感じだったんで、それがちょうどよかったのかもしれないですね。合わせやすいと言うか、力を入れやすくて。それでとても力強い作品になったんじゃないかと思います。Aメロ／Bメロで力強く、サビで包み込むような優しさを出してますね。

——タイトルの「ダディ」は、どこから?

景夕：『フライ・ダディ・フライ』っていう小説があって、お父さんが娘のためにすごい頑張るお話で、それを読んで感化されました（照笑）。お父さんって、やっぱり頑張って仕事して支えてくれてるし、お父さん頑張ってるんだよって言いたかったんです。

——通常盤Aに収録される「Dies irae」は、靖乃さん作曲のハードで攻撃的な曲ですね。

靖乃：やらかし放題ですね。舞ちょとか結良がやらへんであろうことをやったほうがいいかなと思って。邪悪な感じで壁みたいに[illegible]感じで、煽り曲みたいに出来たらいいかなと思ってましたね。

——レコーディングでも激しくプレイする感じだったんですか。

結良：いや、逆に繊細に弾いてましたね。

舞：勢いも重視するんですけど、音圧感を出すのにいろいろ考えて緻密に組み立てていきましたね。シンプルに勢いある風に聴こえるかもしれないですけど、意外に考えてやってます。

結良：結構細かいことやってます。Aメロとかイントロとか連打の嵐なんです。それで、ローがスカスカになって、（舞が）大変な目に遭ってるんです。あおりをくらって、可哀想に…。

舞：分かってるのにやるんだ（苦笑）。

結良：分かってましたけど、そこは任せて。僕は疾走感のほうを頑張りました。

——靖乃さんはどういう意識で臨みました?

靖乃：邪悪になればいいかなって。いわエッセンスが入ってるレベルの音になってると思います。

——歌も、邪悪という言葉がぴったり来るような雰囲気ですね。

景夕：Aメロにメロディをつけようと思ったんですけど、どうしてもつかなかったんです。それで、演説っぽいのにしようと。そこからイメージを膨らましていきました。アジテーションするんだったら…ヒトラーだろうなって。Aメロはヒトラーの立場で、それだけだと面白くないんで、Bメロ／サビは、誰が言ってるのか、第三者なのか虐げられてる人なのか、第三者は神的な存在か…そういういろんなのを混ぜてみてます。

——それでサビは、また全然別の印象の歌声なんですね。

景夕：サビは女声コーラスで、天のお告げじゃないですけど、そういう感じで、その後のサビは物語が進んでる感じを少し出したというか。

——ただ激しいだけの曲ではなく、もっとドラマ性があるんですね。

景夕：〝You die yet?〟っていう歌詞は、誰に対して言ってるのかっていうのもあるし、単にユダヤって言いたくて出したのもあるんです。そういう言葉遊びも探してくれたら面白いかなと思います。

——さて、このCDの発売もありますが、夏はライヴ三昧ですね。

靖乃：7月終わりからグイグイ行きます！

——この3曲を盛り込みながら?

結良：使いやすいから悩むことはないと思います。

景夕：出来ればアルバムの曲もやれれば。

——アルバム制作も順調なんですね。

靖乃：録りは半分ぐらい終わってるんで。

景夕：でも、歌詞は1曲も出来てないですけど（苦笑）。

——歌詞が出来たらライヴでもやると?

景夕：そう。だから逆に1ヶ所もやらなかったら、歌詞できてないんだ、って思ってください（苦笑）。

靖乃：このタイミングで出来てないとマズいけどね（苦笑）。せっかくやから、オーディエンスの反応を見て、また制作を進められたらいいですね。

目的があれば、虚構の世界でも信じられる

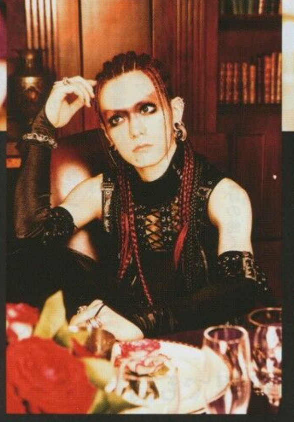
蝴蝶网
hudie.com

D

Come to our dinner party——

回帰”というテーマを掲げて制作されたアルバム『7th Rose』の発売以降、新たなる作品となるシングル『赤き羊による晩餐会』が7月28日に発売される。
結成当初からたびたび描かれて来た“ヴァンパイア”のストーリーが、ここへ来てさらなる展開を見せる作品になっている。
サウンド面、世界観と、ますますの深みを増すDの物語。彼らの魅惑の晩餐会へようこそ——

Interview:KYOSUKE TSUCHIYA



た全国ツアーを4月末に終えたばかりだというのに、一体、いつの間に新曲のレコーディングを行なっていたんですか!?

HIDE-ZOU：5月末と6月半ば？

ASAGI：そうそう。アイディアは溜め込んでいましたけど、本格的にやり始めたのはホントにその頃ですね。

――いくつか楽曲が仕上がる中で、タイトル・トラックには「赤き羊による晩餐会」が選ばれたようですが、あの『7th Rose』の次にくる音源として、やはり考えるところもあったと思うんですよ。

ASAGI：毎回そうですけど、特にアルバムの後とかは、期待されるのは当たり前じゃないですか。だから、そのつどプレッシャーはあるんですけど……もちろん、いろんな考えがありましたよ。でもやっぱり、今、Dらしく、自分たちが打ち出したいものは何か、そこに重点を置く姿勢にはかなり素直でしたね。

――「赤き羊による晩餐会」は新しいヴァンパイア・シリーズだそうですね。

ASAGI：はい。5月上旬に高田馬場エリアで、メンバーそれぞれがプロデュースする5daysのライヴをやったんですね。僕はヴァンパイア・シリーズをコンセプトにしたんですけど、ストーリー順に並べてセット・リストを構成したんですよ。それを終えてからの制作だったんで、その日の感覚がすごく体の中に色濃く残っていて、また新たな景色が見えたというか……『7th Rose』でも、わりと女性目線の楽曲が多かったんですけど、ここでは王に忠実な女性のヴァンパイアのイメージが浮かんだんですよね。

――あらかじめ明確な目標があったというよりも、自然と導かれていったと。

ASAGI：そうですね。〝赤き羊〟が見えた時に、それを表現するのは今しかないなと。この〝赤き羊〟はカーバンクルといって、王の姪に当たるんですけど、小さい頃から王に仕えていて……王に対する愛みたいなものを、自分の中で封じ込めて、忠誠を誓う女のヴァンパイアなんですけど、王は吸血行為を行なわないので…同族狩りをしているヴァンパイアなんですね。今回はその世界観と、カーバンクルという人物像、ストーリーと歌詞とメロディがホントに全て同時に出てきた感じだったんですよ。例えばウィスパーから始まるのは、潜入していく感じを表していますし、王の姪なので王の血が濃い、つまり、普通のヴァンパイアより強い設定になることから、それを表現するために、普通のビートよりも女性らしい強さの余裕が感じられるシャッフル・ビートを採り入れてみたり。

――ここはすごく印象的ですよね。高速ヘヴィ・シャッフルとでも言いますか。

HIROKI：そうですね。テンポが速いので食らい付きが大変なんですよ。隙間が短くなる分、音の抑揚の捉え方が聴感上でも変わってくるので、そこは上手くノリを出さなきゃなと思いましたね。今回のレコーディングから、フレーズを全部打ち込んで、それをガイドにして録るようにしたんですけど、自分が打ち込んだものを一度みんなに投げた時に、Tsuneがより良くしてくれたんですね。曲も活きてきたというか、流れがすごく構築されて。

Tsunehito：ASAGIさんから送られてきた歌詞とストーリーを踏まえてデモを聴いてみたら、イメージがめちゃくちゃ沸く感じだったんですよ。イントロ／A／Bがシャッフルで、サビからオン・ビートになる。なるほど、凄ぇなと。そんな中でもっと勢いやノリが出そうなリズム・パターンのアイディアが浮かんできたんですよ。例えば、1Aや2Aでも、普通のジャズとかではまったく出てこない、ロックを感じるようなシャッフルが作れたし。間奏とかもそうですね。特にリズムとキメはイメージがすごく沸いてきたので楽しかったです。

HIDE-ZOU：速いテンポのシャッフルって、なかなか難しんですよね。でも、ホントにやり甲斐ある曲で、結果的にすごく素晴らしい曲になったなと。何より情景を浮かべながら弾くことも出来たし。自分の役割的には担えたかなと。ヴァンパイア・ストーリーというのは僕らの中でも重要なものですけど、新しいストーリーが出来たことも新鮮だったし、この先がまた楽しみになりましたね。

Ruiza：やっぱりみんなが言うように、デモをもらった時に、すごく映像が浮かびましたね。僕もシャッフルはすご

今いちばんDらしく、濃い世界を打ち出せるものを――

のパートも実はかなりの速さなんですよ。でも、そういうところをしっかりやっていくことによって、曲がガッチリ支えられるんですよね。

――構成も面白いですね。まさに晩餐会とタイトルにもつながってきますが、コース・メニューが登場する。

ASAGI：ここはまずTsuneが間奏とかを考えてくれたんですよ。それ自体も面白かったんですが、同時にフランス料理のフル・コースのイメージもすぐに沸いてきたんですよね。いいアイディアを出してもらえたし、上手くストーリーに沿いながら、ちゃんと意味のある単語を入れることが出来たんですよね。

――これが入ったことで、一つ具体的な光景を印象づけられますしね。しかし、Dのヴァンパイア・ストーリーは、順番に出てきているわけではないですよね。時には戻ったり、時には先行したりもする。全体像としての完成もまだまだ先になるはずですが、この「赤き羊による晩餐会」の位置づけも難しいですね。

ASAGI：そこはすごく考えてもいるんですが、「赤き羊による晩餐会」自体は、「Vampire Missa」（2004年発表の『NEW BLOOD』収録）から20数年後ぐらいのものなんですね。さらにカップリングの「ひび割れた柘榴石」は、もっと遡ったものなんですけど、世界観が一緒なんですよ。ただし、「赤き羊による晩餐会」の100年以上前の設定になってるんです。一度、王から離れるんですけど、また戻ってきて忠誠を誓う。だから「赤き羊による晩餐会」のほうは、「闇の声」（『7th Rose』収録）でも描かれていた王の息子の時代になるんですよ。後に炎を司る〝赤き羊〟は王の息子と意思を共にする……自分でもどこまで広がっていくか分からないんですよね（笑）。

――それだけ創造意欲もかき立てられるモチーフなんでしょうね。さて、その話題に出た「ひび割れた柘榴石」の作曲はTsunehitoくんが手掛けていますが、ストーリーは「赤き羊による晩餐会」と同時に浮かんでいたんですか？

ASAGI：いや……Tsuneが「赤き羊による晩餐会」のイメージでバラードを書いてきてくれたんですね。それがら新たな景色が見えたんですよ。

Tsunehito：「赤き羊による晩餐会」を打ち込んだりしながら、楽器陣だけでスタジオに入ったことがあったんですけど、家に帰ってきた時に、何か思い浮かびそうだと思って、メロディをひたすら携帯電話に向かって、4～5時間ブツブツ言ってて（笑）。そこでだいたい頭の中で組み立てた時に……実は『7th Rose』のツアーが始まる前ぐらいに、ライヴ中に使えたらなぁと、SEみたいのを自分で作ってたんですね。当時は「Sleeping beautiful beast」（『7th Rose』収録）の後にくるようなイメージだったんですよ。結局、そのSEを使うことはなかったですけど、ASAGIさんからは〝曲として作ってみたら？〟と言っていただいてたので、この曲の打ち込みとかを始めた時に、そういえばあのSEの中に入れてたシンセは合う気がするなと思って、いろいろいじり直したりもしたんですね。だから、「Sleeping～」も「赤き羊による晩餐会」もあったからこそ、作れた曲なのかなぁと思うんですよ。しかも、全てヴァンパイア・ストーリーでつながっている。これは自分でも驚いたし、嬉しかったですね。

――単に感覚的なものではなく、確実に連関するものがあるわけですね。

ASAGI：この曲を受けて、僕もすごく情景が浮かんだし。作っている意識の中には、フレーズにも必ず何か理由があるんですよね。それを深く、深く追究していくことが、作詞をするということだと思うんですよ。だから、最初に王の姿を感じ、「赤き羊による晩餐会」をイメージしたものを感じられたからこそ、王と赤き羊が共存する時代の後に続く、100年以上の幅を持った背景が見えてきたと思うんですよ。それから、優しさと弱さみたいな部分もすごく感じられたので、それを表現できたらいいなと思ったんですね。僕がライヴで倒れたことがありましたけど、元々Tsuneの作っていたSEは、今後、万が一、メンバーに何か起こった時に流せるようにということで考えてくれたものだったんですよ。その想いにはホントに感動しましたし、もちろん、その中には優しさもものが、こういうふうに楽曲として形になったのはよかったなと思うんですよ。

――そのSE自体、日の目を見ない可能性もあったわけですからね。〝ひび割れた柘榴石〟とはどんな意味合いです？

ASAGI：王に対する愛を封じ込めるカーバンクルの映像が思い浮かんだ時に、何か赤い柘榴石＝心という意味のハートってイメージがあったんですよ。それにパリンとヒビが入って輝いて、髪の毛がブワッとほどけて、何かが広がっていく……その柘榴石が何だったのかなというと、王に対する愛だったり、忠誠だったりということで、それを封じ込めなければいけない気持ちが、ひび割れたという言葉に反映されてたり。カーバンクルそのものを表している感じですね。思いを封じ込めるために髪を結っているんですが、その彼女が何度も何度も結い直すたびに、王に対する愛を封じ込めていく……そういうイメージのバラードなんですよ。

――その抽象の仕方がとても興味深く映りますが、一方でやはり物語はまだまだ終わらない気がしてきますね（笑）。さて、『7th Rose』では原点回帰が掲げられていましたが、ツアー以降に間断なく行なわれている『螺旋城』と題されたライヴや今後に予定されている公演も、その流れの中にあるものなわけですよね？

ASAGI：そうですね。『螺旋城』という企画も、高田馬場エリア5daysをやっている最中に僕が考案したものなんですね。だから、当初は9月ぐらいから始められればいいかなと思ってたんです。でも、いいタイミングで、急遽、6月からスタートすることが出来たんですよ。まずはエリアから段階を踏んで一つ一つ扉を開けていく、そんな意味でこれからも第三、第四、第五と続いていくんですが、そこで何か新たなものが見えてくると思うんですね。原点回帰というアルバムを作ってみて、ツアーを廻って経験したことと、もう一度、初期に活動していたライヴハウスのステージに立つことで、またDとしての表現も確かなものであることが、ファンのみなさんにも自分たち自身でも分かると思いますし。すごく楽しみなんですよね。

蝴蝶网 hudie.com

6.3
午前中に成田空港へ。
いよいよ始まるワールドツアーに胸の高鳴りを感じつつ、まずはトランジットのニューヨークへ。
ニューヨークでは6時間という長いトランジットのため空港の外で空気に触れ、リフレッシュ。
さて向かうはまだ見ぬ地、ブラジルはサンパウロ。
とはいっても、ニューヨークからさらに10時間とは……

Versailles Philharmonic Quintet

orld Tour 2010 "Method of Inheritance" —Latin America—

28日・横浜を皮切りに始まった"World Tour 2010"。ヴィジュアル系バンドとしては、南米5ヶ国での公演は初だという。
に、中でもペルーは日本人としてライヴが行なわれるのは初という快挙。
本を代表するアーティストの看板を背負っての南米ツアー、メンバーの言葉も交えての、同行スタッフによるレポートをお届けします。

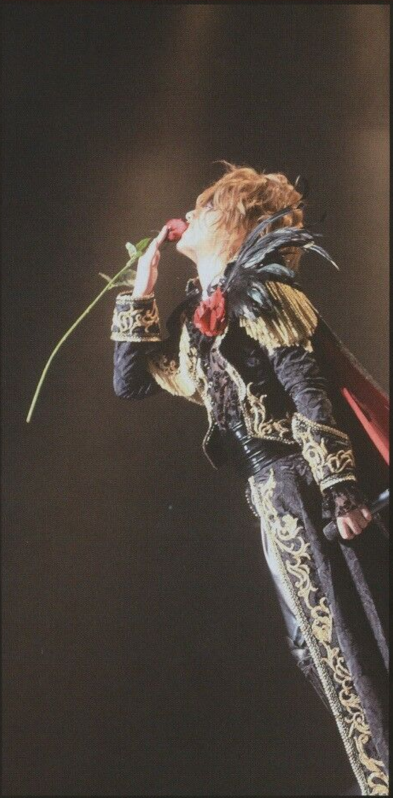
Photography:DIEGO MARTIN (Chile), MK (Mexico)
Report:MK

entina)

ゼンチン公演。
ノスアイレスにあるLA TRASTIENDA
3という地元では有名な老舗ライヴハウのコンサート。会場側の都合で16時ま場に入れないという事がわかり、機材ティング、リハーサルまでドタバタな状態。の20時を15分押しての開場となったが、0分頃からすでに"We are Versailles!"ールが会場内に響き渡り、SEが流れるとにファンが一斉に前へ、激しく動き出す。t & Bites」等の激しい曲では、後方に場の子軍団によるモッシュの嵐で、日本見られない光景が目に飛び込んできた。南米5公演の中では一番激しかったは、という印象が残った。

MIJO
ゼンチンという国についての知識は全合わせていなかった。チリからアルゼンに向かうエアーの中で、現地スタッフがさんのイタリア系ブロンド美女がIJOを待っているよ"と、余計な予備知植え込んでくる（笑）。実際首都ブエノススでの二日間は、ミート&グリートとライに身も心も美しい人々で会場は埋め尽た。もちろん、僕の心も。
全てに言えることだけど、街並みや文ーロッパに近い印象。
ライヴに来てくれる人々のパワーは、日ら一番遠い国々だけにこの一瞬一瞬をにしようと、凄まじいものがあったな』

6.6@Santiago(Chile)



[illegible]公演。
サン[illegible]ャゴにある[illegible]EATRO TELETON[illegible]という1500人収容の会場。前日から仕込みが行われて[illegible]会場に到着すると、大きな花道が2つ組まれたステージが待っていた。
今回の南米ツアーを取り仕切ってくれたチリのプロモーターからの大きなプレゼントにメンバーも大感動。
この日は本番前にファン・ミーティングがあり、バンドはリハーサルが終わるとすぐにステージ衣装に着替え、300人のファンが待つ会場へ。登場するなり、メンバーの名前を叫びながら泣き始めるファンも。ファンと直接触れる機会というのはバンドにとっても非常に貴重な時間で、皆逆にファンからパワーを貰っているように感じた。広い会場と広いステージで、KAMIJO、HIZAKI、TERUは思いっきり花道を疾走してファンを盛り上げている姿がとても印象的だった。

YUKI
『チリに関しては、ライヴの前に僕のパスポート紛失事件の印象が強いです。"僕がこんなミスをするはずがない"と連呼しながらパニクってましたけど、ブラジルのスタッフさんたちのおかげでなんとかリハーサルに間に合いました。大震災があったチリですが、ライヴを行なったサンティアゴはヨーロッパの雰囲気に似た街並でとても素敵でしたし、来てくれたファンのみんなも凄く楽しんでくれたと思います。ライヴがみんなの元気に繋がっていたら嬉しいです。』

蝴蝶网 hudie.com

日本人初の快挙続出!! 南米ツアー独占レポート!!

6.4@Sao Paolo(Brazil)

ブラジル公演。
早朝サンパウロ到着。空港で現地スタッフに出迎えられ、東京からほぼ丸1
という長時間のフライトでの疲れを感じる間もなく会場HAKKA CENTER
昼過ぎに到着した会場前にはすでに200メートル程の長い列が出来てい
待ちわびたファンも、誰が呼びかけたのか、皆一様に赤い薔薇を一輪手にし
いた。
綿密なリハーサルを終え、19時30分オンタイムで開場。チケット確認が終わる
同時にステージへダッシュするファンたち。この時点から歓声はすでにヒー
アップしている。
20時30分、場内のライトが落とされSEの「Prelude」が流れると会場の熱気は
らに頂点へ。1曲目「Aristocrat's Symphony」から疾走していくバンドと共
一緒に日本語で歌っているファンの姿が微笑ましい。
アンコールの「The Revenant Choir」では、皆が手にしていた赤い薔薇が
げ込まれ、赤い雨が降っている様な美しい光景で第一日目の幕が閉じた。

HIZAKI
『到着した日にライヴという過酷な状況だったけど、たくさんのファンが待ってい
てくれて、最高のテンションでライヴが出来ました。様々な文化が入り混ざっ
いるこの国に、みんな誇りを持って生活しているようです。自国を愛して誇り
持つ事は凄い大事なことだね』

6.13@Mexico City(Mexico)

メキシコ公演。
南米ツアー最終日は、メキシコシティにある2000人程収容できる会場にて。その会場は、メタルバンドがよくライヴをやることで有名とのこと。会場の外の広間には、フェスのように物販やフードのテントがずらりと並んでいた。1軒のオフィシャルテントを除いては、全てアンオフィシャルのグッズが売られていたが(笑)。
この日はスタッフの誕生日という事もあり、本番前にサプライズパーティをやったり、和やかムードで本番を迎えた。現地スタッフから"メキシコのファンの叫び声は演奏が聴こえない程大きいからビックリしないように"と言われていたが、SEが鳴った瞬間、天井が落ちてしまうので、と思う程の叫び声には予想以上のものがあった。「Serenade」ではライターの火が掲げられ会場にほのかな灯がともされ美しいシーンが作られた。
また、"今日がメキシコの皆さんと初めて会った革命の日です"というMCで始まった「ASCENDEAD MASTER」で会場の熱気は頂点に上った。最初から最後までファンのテンションは上がりっぱなしで、大盛況のうちに南米ツアーの幕が下りた。

スタッフP
『とにかく熱狂的だった。リハーサルが終わると外はスコールが降り出したため、早目に開場。そのため早く始めてくれてと言わんばかりの声援が会場にこだましていた。定刻通りのスタートすると、南米ツアーのシメを飾るに[illegible]しいファンの大声援に感動しました。そういえばTERU[illegible]と言っていたのでちょくちょく[illegible]めてい[illegible]』

6.11@Lima(Peru)

ペルー公演。
日本人がコンサートをやるのはVersaillesが初という事で、ペルーの国営放送の取材を受ける。実はこのコンサート、ペルーのストリートチームの招聘によって実現したもので、"絶対にVersaillesのコンサートを成功させる!"というスタッフ一人一人の熱意が十分に伝わってきて、手作り感はあるもののとても温かい環境の中でライヴが出来た。
会場はDISCOTECA VOCEというリ首都リマにあるディスコで、ステージがなんと2メートル近くもあった。ステージ前にはいかついセキュリティーが柵の代わりに立ちはだかるが、KAMIJOがステージに腰を掛け前方のファンへ手を伸ばすと、セキュリティの柵を破ってファンが一斉に押し寄せる風景が何度もあった。気持ちをストレートに表現パワーには圧倒されるが、見ていて気持ちがいい。終演後は、お寿司を用意してくれたりと、心からのおもてなしにメンバーも大満足の一日だった。

TERU
『日本人アーティストがペルーでライヴをするのが初めてという歴史的な出来事に凄くテンションが上がりましたね！ 現地スタッフの方々がとても歓迎してくれたのが印象深いです。ペルーの事は正直何も知らなかったけど、リマの街を案内してくれたり気を使って日本食を用意してくれたり、精一杯のおもてなしに感動しました』

6.9@Buenos Aer

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

マコト（ドレミ團）

秘めた想い

目の新なる決意

恵比寿リキッドルームで突然告げた"活動
ら早くも3年———。
夫。すぐに戻って来るから"という約束ど
らは2008年3月9日に約束の場所・東京恵
キッドルームに戻り、活動を再開した。そし
ここに居る。彼はこの3年に様々なことを
た。上京・メジャーデビュー・メンバー脱退、
新メンバーでの再スタート。そんな3年を振
マコトに"現在(いま)"を語ってもらった。
3年目の夏の決意。

phy:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
NAOKO TAKEICHI
e-up:CHINATSU TABATA
HICHIBUNOMIYA・P

――活動休止を発表し、復活して、いろいろと環境の変化があってから、もう3年経つんだね。早いね。

「本当にそう思いますよ。3年前に活動休止の意味をパーソナルで語らせてもらった時のSHOXXを見返してたらね、いろんな節目で本当に大事になってもらってるし、[illegible]歩いてもらってるなって改めて感じたんです。去年の夏も、この時期にパーソナルやらせてもらってる。なんかね、7月8月って、僕にとってはやっぱり特別な時期でもある[illegible]」

――ご両親が亡くなられたのがその時期でもあるからね

「そう。母親が[illegible]月、父親がその2週間後の8月。早いですよね、もう3年が経つんです。もうすぐ命日ですしね。なんかね、今回の撮影で、ここまでいつもと違ったヴィジュアルで自分を出してみたのは、いつも同じことやっててもダメだって、普段から思ってたりするから、それを誌面で表現してみたんです。ひとつの挑戦でもあって。〝現状のままでいい〟って思ったこともあったけど、そうじゃダメなんだってこと。自分自身にも言えることだし、バンドにも言えることなんです」

――マコトは活動休止のパーソナルインタビューをしたとき、〝俺のことより、みんなはもっとドレミ團のことを知りたいんじゃないか〟って心配してたけど、メンバーだってファンだって、そんなことを思う人はいない。逆にそう思う人はドレミを好きになってないんじゃない？ メンバー1人1人を愛してるはずだもん。その個人個人の人生はバンドの人生だと思うし。現に、上京するきっかけとなったのは、マコトのご両親が亡くなったことも大きな理由のひとつだったし。

「うん。そうだと思うけどね、なんかやっぱ自分のこととなると、自信が無いという訳ではないんだけど……メンバー5人でドレミ團だから」

――それも口癖のようにずっと言ってるよね。しかし、今回の写真、入れ墨出ているけど……。初めてなんじゃない？ こんなふうに撮影で見せるのは。

「うん。別に隠してる訳でもないし、内緒にしてる訳でもないんだけど、特に見せるモノじゃないというか……、ファッションで入れた訳じゃなかったから」

――一大決心が詰まったモノだからね。

「うん。バンドを辞めるか、東京に出るか、すごく大きな選択を自分に投げかけた時。メンバーと話し合って、全員が東京に行くと言ったことで上京を決めて、次に動く時に、その決心を刻んでおきたいと思って入れたモノだったんで。今回写真で見えてるところって、羽根の部分で、普通の入れ墨みたいなんだけど、背中の、普段見えない部分には、両親にまつわる、色々意味のある動物や数字、メッセージが入っています。すごく不思議なんだけど、あの頃、急に両方の肩がどっしりと重くなって、両腕が上がらないくらいになっちゃったんです。まったく原因が解らなかったんですけど、東京に出て来るまでずっとそれが治らなくて、東京に来てからもしばらくダメだったんです。けど、決心したとたんに、その肩の重みが消えたんです。それはすごい不思議。何かの力が動いてる気がしましたね」

――ご両親が出逢っていなければ、マコトはこの世に存在しない訳で、マコトが居なければドレミ團も存在しない訳で。

「そう思うと、この世の中全部が繋がってる。ドレミ團の音楽と出逢ってくれた人も偶然じゃないように思えてくる。あれからね、親戚のおばちゃんに、色々、僕の知らなかった事を聞いたりして、いなくなってしまってから、あんなことも話しておけば良かったなってことがいっぱいあって…」

――永遠なんてないもんね。人生もライヴもそう。その瞬間を逃さないように生きなくちゃね。

「本当にそう思うようになりましたね。永遠であり続けたいし、もちろん頑張るけど、その日というモノや、ライヴや、この瞬間だって、二度と同じことはないんだってこと。最近すごく感じますね」

――1番そこに直面するのって、大切な人を失ったときだと思うからね。

「うん。人間って、なんとなくな感覚では理解出来ても、実際に身をもってそれを体験しないと、なかなか解らないというかね。同じ痛みを知った人だけが理解出来る部分ってありますからね」

――そうだね。私もね、こういう話ってすごく重要だと思うの。好きなアーティストが言ってることに耳を傾けて、その時、それがもしもちょっとしか理解出来なくても、いつか、〝あ、あの時、○○くんが言ってたことの意味ってこれだったんだ！〟って、気付けたり、後になって、その言葉が一生の宝物になったりすることって、絶対にあると思うからね。

「うん。ほんまにそうですよね。俺たちだってそういう時期があった訳ですから、それはすごく解るんですよね。ファンの子の気持ちって。ってことは、こんな僕の話も、役に立つ日が来るかもってことですかね？（笑）。ってことは、毎年7月号にそういう身のある話が出来てたらいいってことですよね！」

――それは〝来年の7月売りもパーソナルインタビューよろしくね！〟っ的な？

「あははは。そうそうそう（笑）」

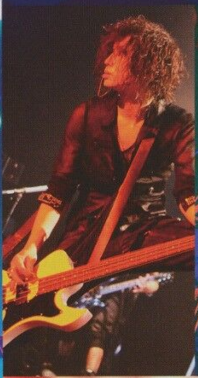
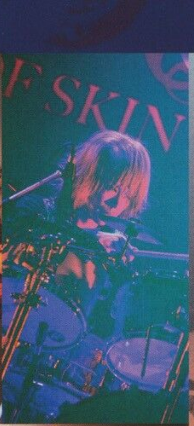
――なんか、本当に不思議だね。3年前のインタビューの時は涙が込み上げてきて言葉にならなかったりもしたし、どんなにか辛かったと思う。けど、またこうして心から笑えてる。

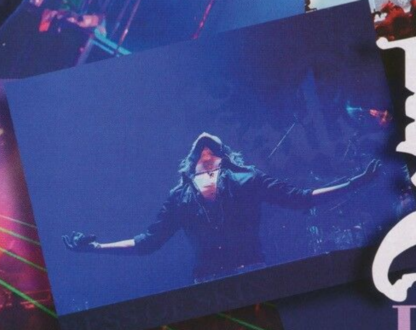
「うん。今だから話せることも、やっぱ多いしね。昔はまだ話せなかったし。けど、今はちゃんといろんなことを前向きに考えれてる。支えてくれたファンのみんな、スタッフ、そして両親のためにも頑張らないとなって思ってるんです。本当に、続けることって、すごく大事なことだと思うんです。どんな状況に置かれても。メンバー脱退っていう大きな問題もあったけど、こうやって続けているっていうことが大事だと思ってるんです。今年に入ってメンバーも変わり、また1から気持ちを新たに頑張っていこうって、みんなで話して、原点に帰る意味でも、とにかくいろんなイベントライヴに出て、9月の自分たちのライヴに繋げていこうっておもってるんです。O-WESTって、今はどうかわからないけど、僕らの世代のバンドマンにとっては、すごく特別な場所でもあると思うんです。もちろん、自分にとっても。O-WESTって、ひとつの大きな通過点でもあるように思っていて。まず、目標にする場所でもあると思うんです。O-WESTでワンマンが出来るようになりたいってね。実際にドレミ團もそうでしたしね。すごく大きいことだった。初めて立ったのは今から5年前くらいなんだけど、この前5月に久々にO-WESTのステージに立った時、初めてここのステージに立った時のことを鮮明に思いだしたんです。その時、もう一回やりたいなって思ったんです。変にO-WESTにこだわってる訳じゃないけど、もう一回O-WESTで、来てくれたお客さん全員が笑顔になれる空間を作れたらいいなって思ったんです。僕たち自身の力ももちろんなんですけど、来てくれた人たちと一緒に、次の景色が見れるような、そんなライヴが、O-WESTで出来たらいいなって思ったんです。みんなが納得して、次のステップに進めるような、そんなライヴにしたいんです。そのためには、僕たちだけの力じゃダメだし、一緒にそこに居てほしいなって思ってるんです。〝このハコで出来るようになりたい〟とか〝ハコの大きさなんて関係ないや〟とか、いままでバンドを続けてくる上で、気持ち的にもいろいろな変化があったんですけど、今年、メンバー変わって1からライヴしてみた時、久々に初心に帰れたというか。数年ぶりに、バンドを結成した頃の〝次に行きたいな〟っていう気持ちになれたんです。次に行くには、もっともっといい形でみんなで一緒に行きたいなって思ったんです。今のメンバーで初めて廻った前回のツアーも、ファイナルのO-WESTも、バンドを初めて、一番最初にツアーを廻ったときと、初めてO-WESTに立った時の気持ちが鮮明に蘇ってきたんですよ。この気持ちを、大切にしたいなって思ったんです。だから、次のO-WESTでは、ドレミ團の次のステップを一緒に作ってほしいなって思ってるんです。その後、アルバムのリリースも控えてて、今制作中なんですが、現メンバーで初めてのアルバムって事もあり、すごく気合い入ってて、いいものが出来そうです。でも、とりあえずは9月11日。そこから、また新たな一歩を踏み出せるように」

(問)〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F
「青空倶楽部」 http://www.doremidan.com/

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



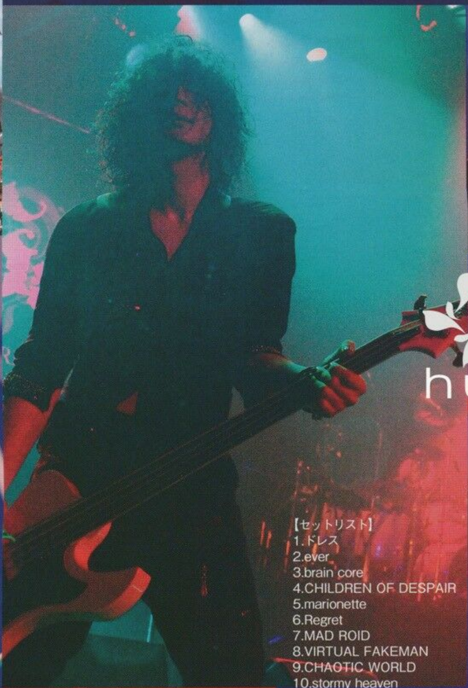
Sadie

DRESS OF SKIN

Live at 渋谷C.C.Lemon Hall 2010.6.11

マキシシングル「ドレス」の発売記念ツアー「DRESS OF SKIN」。
そのファイナル公演が、6月11日・SHIBUYA C.C. Lemonホールにて行われた。
結成5周年、Sadieにとって初のホールワンマンライヴ、
全身全霊をかけて挑んだライヴの様子を、今後の展開を絡めて、お伝えいたします。
果たして、渋公の神は彼らに微笑んだのか——。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:ERI MIZUTANI



蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1.ドレス
2.ever
3.brain core
4.CHILDREN OF DESPAIR
5.marionette
6.Regret
7.MAD ROID
8.VIRTUAL FAKEMAN
9.CHAOTIC WORLD
10.stormy heaven
11.淡き群青
12.アゲハの亡骸
13.beauty shadow
14.愛しさは孤独の支配者
15.Grieving the dead soul
16.サイコカルチャー
17.forbidden
18.迷彩
19.心眼
20.a holy terrors
EN1.サイレント・イヴ
EN2.Ice Romancer
EN3.BLACK STARS
EN4.サイケデリックケミカルムービー
EN5.陽炎

は神様がいる〟と言われてきた。それもあってか、多くのバンドがこの場所で演奏をすることを夢見てきたものだ。大阪在住のバンド・Ｓａｄｉｅにとって、ここがどれほどの威力を持っているかは分かりかねるが、活動5年目にして初のホールワンマンということは、彼らに良い緊張感を与えたことだろう。ただ、そこで、小さくまとまってしまうのでは？との懸念もあったのだが、実際に演奏が始まると、良い意味で、我々の期待を裏切ってくれた。ホールの概念を崩すライヴというものを、彼らはいとも簡単にやってのけたのだった。

オープニングは、先頃リリースされたマキシシングル「ドレス」から、表題曲の「ドレス」を。シャウトとともに、楽器陣が雷鳴のような音色を轟かす。ホールの特性を活かしてか、大きな演奏を心掛けているようだ。広がりすぎることなく、絶妙な具合でもって曲が進んでいく。そして、サビに入った途端、雨上がりの澄み切った空のよう、広がりのある音へと変化していった。こうやって、1曲の中で起承転結が感じられるのは、次の「ever」でも。〝生きているか！〟と客席に投げかけ、曲を叩き付けると、オーディエンスは、なりふり構わずステージにぶつかっていく。と、同時に、ホールがライヴハウスへと化けたのだった。そこからは、ライヴバンドらしい見せ方で客席を魅了。

「CHILDREN OF DESPAIR」「MAD ROID」「VIRTUAL FAKMAN」など、テンションを上げるために必要な曲が次々と放たれる。以前なら、確実に勢いだけで進んでいったこれらの曲だが、今日に限っては違った。動きで見せるだけでなく、しっかりと音を聴かせている。無論、こうした大舞台ともなれば、パフォーマンス面も重要となってくるのだが、今のＳａｄｉｅに最も大事なものは、演奏力。今ツアーを通し、彼らはそのことを改めて実感したはずだ。だからこそ、前に挙げたノリの良いナンバーはもちろん、「淡き群青」や「アゲハの亡骸」といったミディアムバラードでも、細部にまで神経の行き届いた演奏を心掛けたに違いない。突き刺さるほどの歌声、全てを飲て、その上にどっしりと根を下ろす弦楽器隊の音色が会場に響き渡る。寡黙ながらも時に熱く、曲の世界に没頭していく5人。過度な演出がないからこそ、個々の腕が引き立ったといっていいだろう。

その後も、SEを挟みながらライヴは続いていった。最後のセクションでは、「Grieving the dead soul」や「迷彩」といった過去からの人気曲に加え、最新ナンバーの「forbidden」を披露。驚くことに、終わりに近付くにつれ、会場には共鳴度が増していた。〝渋谷！　ひとつになろうか！〟本編ラストとなった「a holy terrors」では、ありったけの感情を提示したステージと、それを素直な気持ちで受け止める客席から、生きることに貪欲な両者の魂をまざまざと見せ付けられた気がした。

〝ずっと、ホールでライヴをやることはどうなんだろうって思ってた。けれど、5周年を迎えて、新しくできることとは、と、5人で考え、ホールという選択をした。そして、たくさんの人が来てくれて、ライヴハウスとは違った景色があるなと。心地よい空間です。自分たちのオーディエンスだけでライヴができること、これも偶然ではなく必然だなと思います。ありがとう（真緒）〟2階までうめつくされた客席から、これでもかというぐらい大きな拍手が起こった。その瞬間、渋公の神はＳａｄｉｅに微笑んだ。

〝ライヴではいつも、みんなとは対等でありたい〟美月が残した言葉どおり、この日は、メンバーとオーディエンスの双方で作り上げたライヴとなった。きっと、ここにいる1人でも欠けていたら成功はなかったはずだ。結果、大成功に終わったツアーファイナル。〝渋公を制する者は、他をも制す〟それだけに、この場所での単独公演は、何が何でも成功させてもらいたかった。だが、これで終わりではない。剣は言う、〝最高の通過点となりました〟。そう、ここはあくまでも途中段階に過ぎない。これから先、彼らの進む道がどのようなものになるかは、神のみぞ知るといったところだが、秋から始まる大規模な全国ツアーでは、ホールを経験し、一回り成長した彼らに会えることを楽しみにしている。

ET'S GO TO THE MADPEAK!!!

ZORO

蝴蝶网
hudie.com

日に、4thシングルとなる『HOUSE・OF・MADPEAK』をリリースするゾロ。彼らの持つ一つの特性であるデジタリック・テイストを前面に打ち出しなが
これからの季節、さらにはこれからスタートする全国ツアーに相応しい、爽やかさと熱さを感じさせる今作。全3曲で見せる彼らの思惑とは…?? 7月
からは、名古屋SPIRALを皮切りにツアー[club“MAD HOUSE”]もスタート!!

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M) Hair & Make-up:SAYAKA Interview:YUKA SUGIE

——前作『GOLD CARD』のデジタリックでテクノな要素をさらに進化・融合させたシングル『HOUSE・OF・MADPEAK』ですが…初回限定盤、通常盤併せて、3曲それぞれ、作曲者的にも推し曲でした?

たつひ：僕はもう、表題曲1本勝負でした。これが選ばれなきゃどれが選ばれるの!?っていうぐらいの勢いで。

——その潔さ、頼もしい限りです。

裕哉：「ミツケダスアサ」は『GOLD CARD』の時からあって、何となくみんなに聴かせてたんですよ。個人的には〝こんな分かりやすい感じの曲でいいのかな??〟と思ってたんですけど、みんなが良いと言ってくれて。

——でもホント、夏っぽい爽やかさがあって、それもまたゾロに合うと思います。

裕哉：アレンジでも爽やかさは目指しました。良かったです。

タイゾ：「CAPSULE【addiction】」も、去年から原曲はあったんですけど…自分は、この曲はそんなに推してなかったんですよね。もう1曲、ちょっと展開が複雑な曲があって、個人的にはそっちのほうが好きで。ただ、3曲並べてみたらいちばんしっくりきたので…作品としてのバランスで曲を選んだほうがいいのかなと。

——とは言え、聴き手としては、通常盤だけにしか入らないのはもったいない曲だなと思いますよ。

タイゾ：あ、それなら良かったです。通常盤もゼヒ、聴いていただきたいですね。

——という3曲それぞれ、龍寺さんにとっては、歌詞を書きやすい曲でした? それとも、思いの外苦戦しました?

龍寺：そうですねぇ…、いつも、デモを聴いてイメージが浮かぶんですけど、今回は全然浮かばなくて。でも、どの曲に関しても、最初の1行が出たら、そこから一気に書けたんですけどね。

——ちなみに、表題曲と「CAPSULE【addiction】」は、どちらもライヴのことを描いているようですけど…今、どうしてそれを書こうと?

龍寺：最初に、どちらもクラブに似合う曲だなと思ったんですよ。ただ、クラブみるとライヴとして捉えることが出来るっていうのが、いいかなと思って。

——また、2曲で視点が違うというのも面白いところですよね。

龍寺：表題曲が自分目線で、「CAPSULE【addiction】」が第三者目線で書いていくうちに、自然とそれぞれの目線になっていったんですけど、「CAPSULE【addiction】」は女の子目線だったりもするんで、自分でもちょっと新鮮でした。

——作曲者それぞれとしては、自分の曲に対しての歌詞で、いちばんホメてあげたいのはどんなところなんでしょう。

龍寺：それ、イイ質問ですね! 素晴らしいと思います!

タイゾ：…じゃあ俺、いきます。

龍寺：いいですね、この積極性はかなり得点高いです。

タイゾ：ホント?（笑）サビの頭には絶対カッコいい言葉をハメたかったんですけど、〝shake the floor〟っていうフレーズはスゴくいいなと思ったんですよね。最初に龍寺の仮歌を聴いた段階で、理想通り!って感じでした。

——その時の感動って大きかったでしょうね。

タイゾ：そうなんですよね。自分でもどういう言葉をハメたらカッコいいのか、考えてはいたんですよ。でも、龍寺のそのフレーズは、何よりしっくりきたんで。

たつひ：僕は、〝殴YEAH!!!!!〟の〝殴〟ですね。こんなの誰も思いつかないけど…さすが龍寺だなって。

——当然のように、ここは〝OH〟ではなく〝殴〟だろうと?

龍寺：実はこれ、付け足したのはいちばん最後なんですよ。マスタリングも全部終わって帰ろうかっていう時に、何かパンチが足りないなと思って。携帯でいろいろ探してたら、〝殴〟っていう字が出たんで…殴っちゃおうかなって（笑）。

裕哉：僕が今いちばん気に入ってるのは、《爽 fly away的なノリで》っていう1行目なんですよ。でも、龍寺が持ってきた時は理解が出来なくて。だから、もっと分かりやすいフレーズを書いてきてもらうように言ったんですけど、何度も聴いていったら、最初の1行目が頭に残って。だから、せっかく新しい歌詞を書い

蝴蝶网
hudie.com

ままがいいなって。迷惑をかけましたね。
——何度も噛みしめてみれば、味わいが分かってきたというか。
裕哉：そうなんですよね。最初は、インパクトに気付いてなかったんですけど（笑）。
——このフレーズにしても、〝爽〟が例えば〝so〟とか〝そう〟なら、そこまで変哲はないんでしょうけど…その言葉選びには、意表を突かれます。
龍寺：本人から〝爽やかな感じがいいな〟って言われてたんで、じゃあ〝爽〟っていう文字を入れようかな、みたいな。でも、書いたら書いたで、〝これはどう？〟って言われて…。
裕哉：〝これ以上イイのは出ない！〟って言われたんですけど…やっぱり、その通りだったわけです。改めてスゴイなと思いました。
——ということですが、龍寺さんから見て、各曲のいちばん評価すべき点というと？
龍寺：「CAPSULE【addiction】」は、最後の転調の〝まさか感〟ですね。正直、最初は転調しないでそのまま行ったほうがいいかもって思ってたんですけど、仮歌を入れてみたら、アリだなと。
——確かに、あの転調にはおっと思わされますが…タイゾさん的に、やっぱり一クセ加えたいなというところで？
タイゾ：そうなんですよね。自分自身、元々そういう一クセある音楽が好きだし。もちろん、3曲合わせたバランスも考えてはいるんですけど、曲を聴いててドキっとする感覚が欲しいというか。最近、そういう曲をあまり聴かないんで、だったら自分で作ろうと。それをお客さんに認めてもらうことで、中毒性になると思うし。
——まさに、依存症という意味の曲タイトル〝addiction〟にかかってきますね。
タイゾ：あ、良いことをおっしゃいましたよ。そうやって病みつきになってくれたら、嬉しいですけどね。
龍寺：「ミツケダスアサ」は、ド頭のサビの最後の落としの部分が好きで。ガッと2サビで昇りたいところを耐えるあたりが、たまらないんですよ。
裕哉：落としはやっぱり、自分の曲で入れられる場所があれば、入れるようにしてて。落としがあると、歌詞にしても表現しやすいと思うんで。
——実に作詞者想いですね。では、表

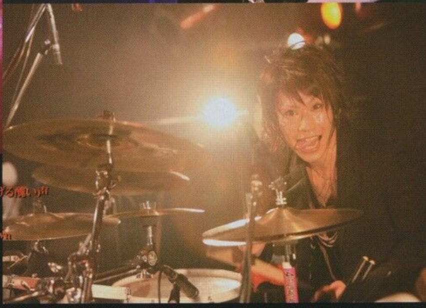
龍寺：ド頭のコーラスですね。あそこはもう、カッコいいと思いました。
——あのコーラス、女性の声にも聴こえるし、とにかくインパクトありますよね。
たつひ：あれ、龍寺くんの声を加工してるんですけど…『GOLD CARD』よりスゴイものを作りたいなと思って。今回は声で面白いことをたくさんしたくて、いろいろやっていったら…こういう形になっちゃいました。
龍寺：ここまでいくと、自分の声っていう認識、してないですからね（笑）。ただの効果音というか、イチ素材として、面白いことになったなと思いますよ。
——そうやって自由で大胆な発想を躊躇なく盛り込める4人だから、こういう面白い作品になるんでしょうね。さ

HOUSE」がスタートしますが、それぞれ、今回のツアーを成功に導くには、何が必要だと考えていますか？
たつひ：僕は、もうちょっと体力をつけないとダメだなと思ってまして…今回の衣装はレザーなんですけど、この間のPV撮影も死にそうだったんですよ、暑くて（笑）。だから、頑張らないとなって。
タイゾ：自分的には、いつも通りに臨むだけなんですけど…ゾロってこういうバンドなんだっていうのを、来てくれた人全員が理解してくれたら嬉しいですね。
裕哉：もちろん、向上心も大切なんですけど…お客さんにとっても、僕たち自身にとっても、ライヴって楽しいものであってほしいんですよ。そういう点で、あまり難しいことは考えず、ただ楽しめ

たくさんの想いを重ねて、それをステージで発散すればいい

るようなセットリストを考えたり、そこに向かえるように練習をしたり、そういう努力をしたいです。
龍寺：裕哉が言った通り、ライヴは楽しいものですからね。ステージに立つまでにたくさんの想いを重ねて、それをステージで発散すればいいんじゃないかなって。みんなの期待をイイ意味で裏切ることもあるけど、それさえも楽しんでほしいなと思います。個人的には、歌えば歌うほど身体が慣れるんで…ライヴまでにひたすら歌いますよ！

蝴蝶网
hudie.com



【set list】

-INTRO-(MUSIC)	8.BORDER	En1.volcano
1.Real my place	9.フラワー	En2.お前に捧げる憐い声
2.ULTIMATE 4	10.ドミノ	
3.FREAKS	11.DIRTY STORY	En3.smash!!
4.「少女A」	12.patchwork	En4.Break Down
5.COLOR	13.遮断	
6.S.T.F.U.	14.sunrise	
7.driving time	15.evolution	

SUMMER TOUR 2010 START!!!!!!

2010.7.2 HARAJUKU ASTRO HALL

7月2日、ギルガメッシュが原宿アストロホールでワンマン・ライヴを行なった。ここは、彼らにとっての2度目のワンマンを行ない、ソールドアウトを果たせなかった因縁の会場でもある。そんな過去の自分たちと対峙するべく、このステージに立った4人。けれども、そこに広がったのは、過去を乗り越えることだけでなく、そのこだわり以上にこの瞬間をひたすら楽しむ、メンバーとオーディエンスの熱い光景だった。

Photography:HISANA HIRANUMA　Report:MIYUKI MURAYAMA

この日のアストロホールは、見事ソールドアウト。まず、動員という点においてリベンジを果たした格好だ。MCでも話していたとおり、彼らがアストロホールを選んだのには理由があったわけだが、ステージにいる4人は、そういったことを意識する風でもなく、ただひたすらライヴを楽しみ、ツアー初日を迎えた喜びに溢れているようだった。会場いっぱいに詰め込まれたオーディエンスも、夢

ノリを体で感じ、全身でもってライヴに参加していた。ギルガメッシュにとってはもう手狭になった会場に、オーディエンスの熱い熱い声が力強く響き渡る。それは確かに、4人がリベンジしたいと思った2005年12月のライヴとはまるで違う光景だった。

内容についても、彼らは格段の成長ぶりを見せ、4年以上前の自分たちを軽く凌駕していた。懐かしい曲も組み込まれたセットリストのおかげで、その成長は特に明らかになる。「「少女A」」では、世界観や雰囲気を重視していた当時から、音そのもので勝負する、今の彼らのスタイルへの進化を感じ、「遮断」では、激しく荒々しいノリで踊り狂う一方、サビでの大きく広がるギルガメッシュらしさが以前からすでに長く確立されていることと、そこから現在の姿へと進歩を遂げていることを感じさせた。

また、発売前の新音源『COLOR』から披露された3曲の新曲では、爽やかなキャッチーなメロディと重いリフを上手く絡めたタイトル曲に、現在進行形のギルガメッシュを見た。「sunrise」のコール&レスポンスや、シャッフルのリズムにまだ若干の戸惑いも伺えた「フラワー」では、このツアーで曲がどのように成長するか、期待が膨らむ一面でもあった。

新旧の曲を織り交ぜたことで難しさもあったようだが、スピーディに展開できたのも、今の彼らの演奏やパフォーマンスの力があってこそだろう。そして、以前からずっと彼らを応援し続け、今彼らの音楽を心から楽しんでいるオーディエンスの熱い反応が、このライヴを成功へと後押ししたのは間違いない。会場にはギルガメッシュを愛する熱い想いに溢れていた。それは、突き放す一方であった彼らのステージのスタイルが、一体になって共に楽しむことを目指し、実際に楽しめるステージを作り出せるようになったから生まれたものでもある。

様々な面で大きく成長したことは、メンバーにとっても、ファンにとっても、何より嬉しいことだろう。けれども、いちばんの大きな喜びは、これから彼らの歩みがどこまでも続き、成長を重ねて行くことだ。まずは、この次の一歩を、再び〝リベンジ〟に挑むツアー・ファイナ

蝴蝶网
hudie.com

DELUHI

連続リリースのシングル、いよいよ終結

自分が目指す方向に全力で進むことが大事

6月からスタートしている全国ワンマン・ツアー"BLITZKRIEG"も、この号が出る頃には残すところ3ヶ所となっているDELUHI。そのツアー終了直後の8月4日、3ヶ月連続リリースの最後を飾る『Departure』がリリースとなる。"出発"を題材にした今作は、彼らの目指すところを描いたものであり、ツアーを終えてさらなる成長を遂げているであろう彼ら自身の姿にも繋がってくる作品だ。果たして、彼らの目にはどんな未来が見えているのか――

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

Leda (Gt)

Juri (Vo)

Agg

Sujk (D

――3ヶ月連続シングルのラストを飾る「Departure」が、8月4日にリリースされますね。

Leda：ここまでの2作で、DELUHIの王道的な部分と、ダークな面を出してきたから、今回はキャッチーでライヴ映えする楽曲ということを意識して作りました。歌詞は、〝出発〟がテーマになっています。DELUHIを始めて1年くらいの頃、業界関係の方から〝結局、君はどうなりたいの？〟みたいな説教をされたことがあって、それに対する自分の想いを書きました。目標を設定することよりも、自分が目指す方向に全力で進んでいくことが大事だ…ということを言っています。「Departure」が、聴いてくれた人の背中を押す曲になるといいなと思っています。

Juri：前回の「The farthest」がダークな曲だったのに対して、「Departure」はアッパーで、爽やかな味わいのナンバーなので。録りの時も前回とは対照的に、明るく、楽しく、ライヴっぽい気持ちで歌いました。いちばん伝えたいのは、サビ・パートやCメロで歌っていることなので、そこに感情のピークを持っていくことを意識して。うまくメリハリを付けられたんじゃないかなと思います。

Sujk：「Departure」は、「Frontier」や「The farthest」に比べるとドラムは楽だったので、気持ちに余裕を持って臨めました（笑）。ただ、キメが多いし、2回目以降の歌中はかなりの速さで、タイトに叩く必要があって。その辺はちょっと大変だったかな。でも、今回は楽しくレコーディング出来ました（笑）。

Leda：「Frontier」と「The farthest」の時は、鼻血出てたもんな（笑）。

Sujk：そう、もう鼻血がね…って、出てないよっっ！（笑）

Aggy：「Departure」は、最初に聴いた時からライヴ映えしそうな曲だなと思って。お客さんも一緒に楽しめる感じがあって、ワクワクしましたね。ベースに関しては、間奏でLedaとユニゾンしているフレーズがあるんですけど、全音で飛ぶトリルなんです。そこが、キツかった（笑）。でも、それくらいかな。好きなテンポ感なのでスンナリ馴染むことが出来たし、いい感じの疾走感を出せたんじゃないかなと思います。

Leda：ギターはライヴ感を出すために、バッキングを左右（チャンネル）に1本ずつしか入れませんでした。で、オブリガート（オカズ）も全部バッキングのテイクで弾いてしまうという（笑）。あと、曲がキャッチーなので、おとなしいギターを弾くと普通のポップスになる気がして。もう、〝やりすぎだろう！〟というくらい、オブリを弾きまくりました（笑）。全部がギター・ソロみたいになりましたね（笑）。

――圧倒されました。今回の3ヶ月連続シングルは、それぞれにPVが付いていることも魅力です。

Leda：PVは、曲の世界観に合わせて、それぞれ違ったテイストに仕上げました。まず、「Frontier」は、ヘリポートで撮ったんです。「Frontier」みたいに、ひたすら激しく自己アピールしながら演奏するのは、全員得意分野なので。みんなが〝俺を見ろ！〟という感じで、パフォーマンスしてて（笑）。この曲の撮影は、スンナリいきました。

Juri：PVを撮る時は、ポイントになる場所では口を大きく開けようとか、歌詞に合わせて、ここは手を挙げようとか事前に考えて、自分の中でイメージを作るようにしているんです。「Frontier」のPVを見ると、監督がそういう場所をチョイスしてくれてて。〝やっぱり通じるんだな〟と思いました。

Sujk：「Frontier」の撮影は余裕でしたけど、「The farthest」は、モニターが聴こえなくて苦労しました。それに、撮影場所が砂浜のような所だったので、イスがだんだん沈んでいくんですよ（笑）。ドラムセットもだんだん傾いていくし（笑）。いや、大変だった（笑）。

Aggy：「The farthest」のパフォーマンスの方向性は、「Frontier」とは違って、哀愁が漂ってる感じだと思ったので、カメラのほうを極力向かないようにして。自分をアピールするんじゃなくて、映像を彩る雰囲気になることを意識してパフォーマンスしました。

Juri：「The farthest」は、ネガティヴな曲なので、そういう気持ちになろうと思って前日は飯を食わなかったんです。でも、撮影の途中で耐えきれなくなって食べちゃいました（笑）。

一同：アハハ!! 最悪だ（笑）。

Leda：「Departure」は、ライヴっぽいPVです。すごく広いレコーディング・スタジオの中央で、メンバーが円になって演奏してて、その周りを囲むように、お客さんがいる…というシチュエーション。

Sujk：PV撮りなのに、すごく盛りがったよな（笑）。

Aggy：そう（笑）。この撮りは、すごく楽しかったです。お客さんはいい感じで暴れてくれたし、メンバーみんな笑顔で演奏してて。前2作とは違った味わいで、〝DELUHIは、こういう感じもあるんだぜ〟ということが提示できるPVになって良かったです。

Leda：今回、連続して3曲のPVを撮影して、PVも音楽やバンドを表現する大きなツールであることを改めて感じました。今後もいろいろ挑戦していこうと思っているので、PVも楽しみにしててほしいです。

Fatima

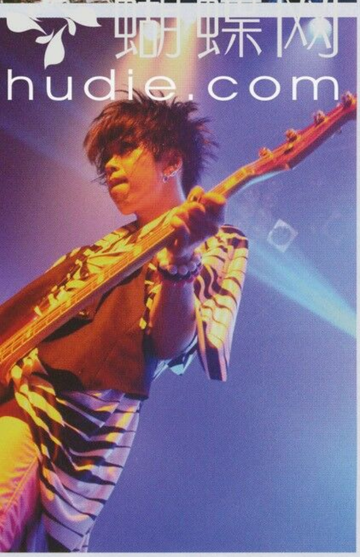
Live at 渋谷O-EAST 2010.6.28

　5年前のあの日から、止まったままだった時計の針が、またゆっくりと、時を刻み出した——。

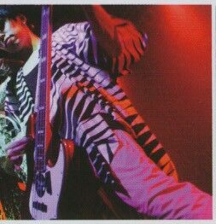
　この日をどれだけ待ち望んだだろう。高鳴る鼓動と、逸る気持ちをなんとか押さえ、会場となる渋谷O-ESATへ向かい、心なし、いつもより少し足早に、渋谷の雑踏を抜ける。梅雨真っ直中の東京の空は、どんよりと厚い雲に支配され、今にも泣き出しそうな空模様。しかし、これから始まろうとしている、Fatima特別限定復活公演『極彩色夢絵空事』が、そのタイトルの如く、厚い雲で覆われた空に、極彩色の煌びやかな星空を描いてくれる事だろう——。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:MISAKO SHIDA（SHOXX）

蝴蝶网
hudie.com



‐特別限定復活公演‐極彩色夢絵空事



【SET LIST】1.Fortune　2. 堅　瞑　り　3.Blind　4.Sticky flower　5. 赤い薔薇のスープ（New ver.）　6. 無知な命へ　7. 静む体温　8. 消せない雨　9. どうにもとまらない　10. 少女とクローゼット　11. 哀愁の底辺　12.Mr:Imbrance-44　13.Marvellous　14.peanut　15.Humiliate Me More,Darlin'　16.Persona　17.Public Eyes　18.Candy $trippers　EN1. サクラメイロ　EN2.Downer　EN3. ドリーマーズ　EN4.Noble King Snake　EN5. Sticky flower（高速 ver.）　EN6. Candy $trippers

会場は2階席まで、溢れんばかりのダウナー達で埋め尽くされていた。そんなダウナー達の熱気を肌で感じ、否が応にも高まるテンション。18：40――。遂に、止まったままだった時計の針が動き出す。聴き慣れたSEが今宵のSHOWの始まりを告げると、ミラーボールに反射した光が会場に散らばり、彼等の登場を煌びやかに彩る。TOWA・Lay・Mizuha・4geと、待ち侘びたキャスト達が姿を現すと、悲鳴にも似た歓声が上がる。そして、唯一無二の存在感を放つFatimaのヴォーカリスト・Kanomaの登場。割れんばかりの手拍子と歓声の中、ステージへと現れたKanomaは、そこに渦巻く、ダウナー達の、喜び・期待・不安…様々な感情を全身で受け止めるように、両手を大きく広げ、静かに目を閉じた。男の人に、この言葉を使うのが適切なのかわからないが、ステージに立つ彼のその姿は、とても綺麗だ。そんなKanomaに見惚れていると、いつしか聴き慣れたSEは、この日の、オープニングを飾る「Fortune」のイントロへと流れていた。Fatimaが世に残した最後の作品、『Exit』のラストに収録されている「Fortune」のゆったりと流れるメロディーが、〝あの日〟へと、ゆっくりと時間を巻き戻す。そして、〝さぁ、いくぞ！　はじめよ～か!!〟Kanomaの決めゼリフを合図に、この5年間たまりにたまっていた感情が一気に爆発し、その想いが激しい音曲となり、会場に溢れ出した。〝この場所で、みんなにまた会えて、嬉しいよ！　楽しめよ！　楽しめよ!!　今日は悔い残すなよ!!〟（Kanoma）。この5人で、5年経った今でも、こうして集まってくれるダウナー達を前に音を奏でられる事が、本当に嬉しいのだろう。メンバー5人の顔には、終始笑顔が溢れていた。

この日も、トレード・マークでもある、満面の笑顔でリズムを支えるTOWA。Fatimaの曲が大好きで、どうしてもFatimaに加入したくて、当時なかなか会う事の出来なかったSanaka（当時）とLayに、Fatimaに対する熱い想いを根気強く猛アピールし、Fatimaのドラマーの座を射止めた。そんな、Fatimaへの想いが人一倍強い彼だけに、また【FatimaのTOWA】としてステージに立ち、演奏をしている喜びはひとしおだろう。

普段はクールなベーシスト・Layも、この日ばかりは笑顔で顔をくしゃくしゃに崩し、ご機嫌なビートを刻む。絶頂へ昇り詰めた彼は、Kanoma、Mizuhaと、次々に獲物（?）を

上がる嬌声に、不敵な笑みを満足な表情を浮かべる。ドSっぷりは、今なお健在。

Kanomaも言っていたが、この日一番の驚きは、なんと言ってもMizuhaの〝変わらなさ〟。メンバーで唯一音楽から離れていた（Kanoma・TowaはMoran、4geとLayはobscureと言うバンドにて活動）彼だが、5年経った今もこれだけ露出度の高い衣装を着こなせるスタイルを維持しているのは見事としか言いようがない。もちろん、彼の定番（?）だった〝毒ギリ〟も、しっかり披露してくれた。

水玉のフリルが何段にも重なったフリフリの衣装に、パッツン前髪が最高にキュートな彼。〝…松屋?〟Kanomaからの〝今、何処に行きたい?〟の問に、皆が〝絶頂!〟と答える中、そう答えた4ge（笑）。当時から、彼の思考回路は複雑過ぎて言動が全く読めない。が、そんなトリッキーさが、彼の魅力の一つでもある。

〝5年も経つと、色んな感覚が鈍ってしまって、当時感じた感覚が〈何となく辛かったかも〉みたいに、後になって【言葉で彩られた感覚】みたいになっていったりもするんだけどさ。俺、5年前のラスト・ワンマンの時、「静む体温」で不覚にも泣いてしまって、みんなに【歌】でちゃんと想いを伝えられなかった事が、今までずっと心残りだった〟そう語り、積年の想いを晴らすように、「静む体温」を一言一言大切に歌い上げたKanoma。彼を紹介するにあたり、〝奇人〟と言う言葉がよく使われる。が、私はそこに少し違和感を覚える。確かに、優れた感覚の持ち主だとは思うが、〝奇人〟が示すところのそれとはやはりどこか違う…。私は、彼ほど〝人間臭さ〟を感じるアーティストに、会った事がない。本当は、隠したい、人に知られたくない、そんな心の弱さや闇をも、彼は〝作品〟を表現する上で必要とあらば、なんの躊躇も計算もなく、己の心を裸にして晒し続けて来た。そんな彼に〝奇人〟と言う言葉を当てはめるには、やはりどこか抵抗があるのだ…。この日もまた、そんな〝人間臭い〟カリスマの剥き出しの心の叫びは、集まったダウナー達の心に、深く突き刺さった事だろう。

こんな個性豊かな5人だったからこそ、Fatimaはこんなにも沢山の人に愛され、求められ、シーンの中で異彩を放ちながら、輝き続けたのだろう。この日のライヴを観[illegible]彼等がこのシーンに残した爪痕の深さを感じたのだった――。

※

〝選択はいつも正しくあるべきである〟「Marvellous」の曲間でそう語っていたKanoma。最後に、そんなあなたに、あえて今、聞いてみたい事がある。

――5年前のあの日、あなた達5人が出した【選択】＝〝Exit〟、答えは正しかったですか……？

I ♥ Fatima&I will remember you forever…

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

8月18日にリリースされる2ndシングル『メイドインマイン。』は、これまでの作品とは趣きを少し変えた、目線をより“外”へ向けた作品になっているという。力強いメッセージとサウンドの中には、BugLugの今後の活動への自信が込められている。夏を迎え、活動も本格化する彼ら。ますます目が離せない!!

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

イン。」は、BugLugの新たな魅力に溢れた1枚になっていますね。

一聖：これまで出してきた2作は、僕らにとって誕生だったり、出発という意味合いが強かったんです。今は、もうそことは全く立ち位置が違ってて、これまでとは違った伝え方をしなければいけないというのが必然的なことだったんですよ。その結果、今回のシングルはこういう3曲になりました。

——リード曲の「メイドインマイン。」は、今までのBugLugとは一味違ったアッパーな味わいが印象的です。

一聖：「メイドインマイン。」は、ライヴ映えする曲が欲しくて作ったんですけど、それだけの曲ではBugLugがやる意味がないので、スパイスとして、チアガールの声をブチ込んでやることにしました。そういうことをするのがBugLugだろう…ということで（笑）。歌詞に関しては、今までのリード・チューンは“俺たちはこうだ！　どうだ！”みたいな感じで、すごく広い範囲……それこそ全世界／全宇宙に対して発信する感覚だったんです。今回は、対象をもっと狭め[illegible]和なものにしたいな…というのがあって、“あなたのために歌います”という気持ちの強い歌詞になっています。人というのは、生きていく中で不安になったり、“自分は、どうして生まれてきたんだろう？”と考えてしまう時がありますよね。でも、そんなことを考えても答えなんかなくて、自分を信じるしかないと思っているので。自分が持っているものを大切にしてほしいという想いを込めました。

優：この曲のギターは、ガッツガッツいこうというのがあって。メイン・リフもすごくシンプルにして、全体的に“ウォーッ！”と言いながらハジけることを重視しました（笑）。ギター録りは、確か1テイクでOKだったんじゃないかな。パンチング（後から修正すること）もしてないし。というか、させてくれなかった（笑）。“パンチングしないで、いこうよ！”みたいなムードになって、“いっちゃいますか？”と（笑）。勢いと緊張感のある、いいテイクが録れたと思います。

一樹：自分のパートに関しては、勢いを

を意識して、単音フレーズを多めに入れました。本当は単音だけでいきたかったんですけど、さすがに合わないところもあって。押し通すと自己満足になってしまうので、諦めました。あとは、ギター・ソロにいく前に、トレモロ・トーンのパンニング（左右で音を揺らす効果）した音が入ってて。あれは、一聖からヒントをもらったんです。歌詞に出てくる“多面体な世界”という言葉を、自分なりに表現してみました。

燕：僕は、メロディを活かすベース・フレーズを得意としているので。サビ・パートは、そういう部分を活かしたベースを弾いています。あとは、サビ・パートの後とかに、ヘヴィな部分もあるじゃないですか。ズンズン系というか（笑）。そこは、コード弾きをしていたり、2回目のAメロでスラップを入れてみたりして。自分の個性を上手く出せたんじゃないかなと思います。

一聖：歌に関しても、この曲は勢いが大事だなというのがあって。それに、今までは、“どうだ！”という感じで歌っていたものを、もっと自分のほうに突き詰めて歌うことを意識しました。菱形みたいなイメージというか。自分にも突き刺さってるし、相手にも突き刺さるような歌い方を目指しました。

——カップリングの華やかな「論理パレード」と、静謐な前半から激しい後半に移行する「Sleeping Forest」も要注目です。

優：「論理パレード」は、「メイドインマイン。」がシングルになることが決まった後に作りました。作った時は、BugLugがここまで出してきた2作を聴いた人が思うBugLugをイメージしたというか。「メイドインマイン。」を聴いて、BugLugが変わったと思われるのはイヤだったんです。俺らはちゃんと考えて、やりたいことをやっているので、今回のシングルにも絶対に、こういう曲を入れたくて。途中でいきなりシャッフル・ビートに変わる展開にしたりして、BugLugの“Bug”の部分の美学を思いきり活かしました。

一聖：僕は、逆に新しいことに挑戦しました。この曲は、センチメンタルというか、どこか痛みを感じさせる部分があっ

“あなたのための”応援歌

時に、主人公を女の子にするアイディアが出てきたんです。だから歌詞に合わせて歌い方も変えてみました。キャンキャン歌ってやろうと思って、ちょっとハイをキツめに出して。それに、敢えてビブラートを使わなかったりとか。この曲の歌録りは面白かったです。

優：「Sleeping Forest」は、“Lug”の部分を活かした曲ですね。デモの段階では、後半のイメージだけだったんですけど、一聖がこの曲を聴いて歌いたいと思ったことが強くあったみたいで。それに合わせて構成を考えていった結果、こういう曲になりました。

一聖：この曲は、イントロに出てくる優のギター・フレーズが、自分の中で“夢”という言葉に結びついて。夢に関しては、ずっと書きたいと思っていたことがあったんです。亡くなってしまった人や、会えなくなってしまった人たちと再会する夢を見たことがあって、目が覚めた時にすごくツラかったんです。歌詞は、その時の気持ちを、そのまま書きました。歌詞に合わせて物語を読んでいるような感覚の曲にしたいなと思って、前半は静かな世界にしてもらったんです。

燕：「Sleeping Forest」は、歌詞がすごく好きで、ベースも歌詞を際立たせることを意識しました。前半は指弾きで温かみのある感じを出すことにしたんですけど、そのせいで録りの時は緊張しました（笑）。後半からはピック弾きに替えて、タイトなベースを弾いてて。緊張することもなく、気持ちよく弾けました（笑）。「論理パレード」は、基本的にシンプルかつストレートというのがあったので、あまり難しいことはしないで、歌を活かすベースを弾いています。

一樹：「Sleeping Forest」ではガットギターを弾いたので、俺もメッチャ緊張しました（笑）。音を聴くと、緊張感が伝わるなぁ…と思います（笑）。「論理パレード」は、もう自分のギタリストとしてのエゴは全部捨てて、弾き手でいながら、聴き手でもある…みたいな感覚のギターを弾きました。いつもは、もっと変なことをしたくなるんですけど、楽曲に馴染むギターを心掛けたので、そういうところでいつものBugLugとはちょっと違ったテイストになりましたね。

えるのが苦手なんです。だから、「論理パレード」は“一樹さん、任せます”といって、俺はコードを気持ちよく弾きました（笑）。“一樹さん、ありがとう”と思っています（笑）。「Sleeping Forest」もコードを綺麗に鳴らすことを意識しましたね。俺は、リフや上物を弾くのも好きですけど、コードを気持ちよく鳴らすことをいちばん重視しているので。

——音源を出す度にBugLugは進化と変化を続けていますね。本格始動とも言える今年の夏が楽しみです。

一樹：今年の夏は、もう思いきり行こうと思っています。夏なので、ライヴとかも開放的な気持ちでやれるだろうし。とにかく、一度ライヴを観てほしいですね。そうすれば、BugLugを好きになってもらえる自信があるので。

燕：夏だし、お祭り騒ぎをしたいですね。夏にふさわしく、熱く行こうかなと思っています。あと、8月22日に、大宮駅前で野外のフリー・ライヴをやります。BugLugを見てもらういい機会だと思うので、BugLugに興味がある人は、ぜひ観に来てください。大宮は、僕の実家も近いので（笑）。大宮でのライヴは、楽しみにしています（笑）。

優：BugLugというバンドは、メンバー全員が強い芯を持っているので。どれだけ衣装とかが変わっても、音を聴いたり、ライヴを観たりすれば、ブレてないことが分かってもらえると思います。そこを活かして、今後も自分たちが良いと思えるものを、どんどん突き詰めていって。今年の夏は、BugLugの世界観を、より深めたいですね。

一樹：あとは、日焼け？

優：うん（笑）。焼きたいわけじゃないけど、海に行ったりして日焼けするのは仕方ないかなと思って。メンバーと一緒に行ったりしたら楽しいだろうし（笑）。

一聖：……俺は、行かない（笑）。

——えっ、なんで？

一聖：僕は、夏が大嫌いです（笑）。海なんかもう……まず泳げない、塩気とかダメだし、完全に死ぬと思います（笑）。でも、今年のスケジュールを見ると、夏が好きになれそうなので。みんなと想い出をいっぱい作りたいので、ぜひライヴに遊びにきてください。

蝴蝶网 hudie.com

バグラグ
BugLug
君を解く方程式。
ミニライブ決定！
(日) start 14:00
シェ1F イベントスペース
ィシャルサイトにてご確認ください。
EVENT
9月 4 日(土) OSAKA RUIDO
9月 5 日(日) 名古屋ell.FITS ALL
9月23日(木) 高田馬場AREA
蝴蝶
hudie.com

2nd single
「メイドインマイン。」
2010.8.18 release
発売元:Resistar Records
【初回盤】 CD+DVD RSCD-015/016 ¥1,890(tax in)
01. メイドインマイン。 02. 論理パレード [DVD]メイドインマイン。Music Clip
【通常盤】 CD RSCD-017 ¥1,260(tax in)
01. メイドインマイン。 02. 論理パレード 03. Sleeping Forest
答えの無い世界で導く。
BugLug東名阪主催イベント
「BUG's Tricks Capture1～規格外のスマイル～」
[各会場] open 16:30 / start 17:00 ¥3,500(ドリンク代別)
8月21日(土) OSAKA RUIDO
出演:BugLug / DOG inTheパラレルワールドオーケストラ / Ap(r)il / 「東京指定」 / xTRiPx / 他
ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:58438)
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード108-584)
イープラス http://eplus.jp
ライカエジソン大阪店 06-6252-6262
サウンドクリエーター 06-6357-4400
8月28日(土) 原宿アストロホー
出演:BugLug / DOG inTheパラレルワールドオーケストラ / Ap(r)il /
ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:76172)
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:108-722)
イープラス http://eplus.jp
FLIPSIDE ONLINE TICKET http://www.flipside.co.jp
フリップサイド 03-3466-1100
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

原点回帰。パラレルワールドへの誘い

少女-ロリヰタ-23区、というタイトルにしてもいいぐらい"とリョヲ丞は言った。れほど、この作品は彼らというものを表している。新ヴォーカルに総史を迎え、体制となったロリヰタの記念すべき第一弾作『星帯次元区域ミネルヴァ』は、こぞまさにロリヰタの真骨頂！　といえる曲が揃っている。だからこそ、その耳でかめてほしい。きっと、想像以上の世界がここにあるはずだ。

erview: ERI MIZUTANI

星帯次元区域ミネルヴァ

少女-ロリヰタ-23区

lolita 23q

——6月9日には、新体制になって初めてのライヴが行われましたが。

総史：あのとき、僕以外のメンバーが先に、セッションという形で演奏したんです。僕はその間、袖で待っていたんですけど、緊張しっぱなしで。そして、いざ出番となり、数曲歌ったのですが、やはり緊張しましたね（笑）。でも、ファンの皆さんの期待に応えられることができたのではないかなと思います。

ユヰキ：サプライズ的なライヴでしたけど、やっている方としてはとても楽しめましたよ。

——実に、堂々たるステージングでした。そして、当日は新作がリリースされることも発表されましたね。こちら、前回のインタビューで、"今作のテーマはファンタジー"とおっしゃっていましたが。

リョヲ丞：はい。8月25日にリリースされるミニアルバム『星帯次元区域ミネルヴァ』は、ロリヰタが元々持つ、非現実な世界を表している作品となっています。非現実なもの、すなわち、ファンタジーという部分は、今までも取り組んできたことではあるのですが、今作では、より一層、その世界観が深まっていると思います。

——なるほど。でも、ロリヰタが提示するファンタジー（＝楽しさ溢れるもの）とは、世間一般に言う、ファンタジーとは全くといっていいほど違いますよね？

リョヲ丞：もちろんです。夢や希望、更には、絶望や憎しみを、リアルな感情とともに曲にしていこうと。無機質な時代だからこそ、リアルな感情というのは必要になってくるのではないかなと思ったんです。また、新体制になったこともあり、今一度、原点に立ち返るという意味を込め、自分たちらしい音楽を提示していこうと考えたんですよね。

BAN：ただ、自分の場合、そこで気張るのではなく、いつもと同じようにいこうと思いましたね。ロリヰタの音楽っていうのは、みんなの力が合さることで出来上がるもの。だから、自分のパワーをフルで詰め込めば、自然とロリヰタというものが出来上がっていくんじゃないかなって。

——その中で、今までと異なる点というと？

蝴蝶网
hudie.com

るだけ歪みを少なくしました。けれど、実際にやってみると、他の音とのバランスもあって難しい。そういったところでも、今までと違うことに挑戦したのは発見でもありました。

ユ≠キ：俺は、バッキングの中でも動きのあるもの、自分で弾いてみたくなるフレーズをたくさん入れました。新体制になる前は、曲のタイプを考えて挑戦してこなかったことだったんですけど、今回、色々と試すことが出来ましたね。

——様々な発見があったことで、他には真似の出来ない音楽が出来上がったと思います。では、せっかくなので、収録曲を全て紹介していただけますか。

ユ≠キ：新体制一発目のライヴで初披露した「銀河ノ翼-GALACTIC WING-」は、俺とリョヲ丞の共作なんですけど、先にリョヲ丞がデモを上げてきたものに対して、俺が、もっとロックに、もっとロリヰタらしく、と提示して出来上がった曲なんです。

リョヲ丞：ユ≠キくんの持ってきたアレンジにより、この曲は生まれ変わったんですよね。俺からは出てこないようなアイデアが至るところに詰まっていて、聴いた瞬間、これはすごいなと胸が高鳴りました。

——不死鳥のような強さがありますから。これは、みんなの決意表明と受け取っていいのでしょうか？

ユ≠キ：あぁ、それは作っている段階からありましたね。

リョヲ丞：歌詞を見てもらえれば分かると思うんですけど、本当に、今の俺たちを表している1曲と言えます。

総史：それだけに、歌っていて気持ち良かったです。あと、僕、ラップというものが初体験でして。でも、そこにチャレンジ出来たことで、幅が広がったと思います。

——続いては、「FLASH BURN」。これはテンポの良い曲調に仕上げてきました。

リョヲ丞：ロリヰタって、何気にリフで押し切る曲というのが今までなかったんですよね。なので、音に関して言えば、新しいことをやりたいという思いから出来た曲です。

——ここでは、「銀河ノ翼-GALACTIC

も出てきます。

リョヲ丞：〝翼〟というキーワードは今回、重要としているところなんです。何故、2回に渡って出してきたのか、それは、自分の中での想いを全て吐き出さないと次に進めないと思ったからなんです。何を見ても何を聴いても心に響かなかった、そんな苦しんでいたときの自分を思い出し、歌詞に表現しました。「FLASH BURN」、つまりは、核爆弾による火傷。傷付いたけれども、この翼だけは守り抜く、そんな想いが込められています。

龍兎：きっと、これ以外の歌詞は、この曲には当てはまらないと思います。セクションを削ったり、メロディを変えたり、何度も変化を遂げた曲ではあるんですけど、最終的にこの形になって良かったなと思いますね。

BAN：ここでは、歌うドラミングを心掛けました。最近、ドラム叩きながら歌っていることが多いんですけど、これはそれを代表する曲というか（笑）。

——ライヴでのBANさんに注目ですね。そして、「ALICE in downward」もリョヲ丞さんの曲です。

リョヲ丞：これは、自分たちの意思表示になるのかな。ゴリゴリのリフからの煽り、更には、サビで開けつつカオティックな要素に戻り、…そんな、昔からの得意パターンを全面に出してみました。

——バンドというのは、活動が長くなればなるほど、ポップな曲調に移りがちです。しかし、ロリヰタはそこに真っ向から挑戦を仕掛けてきたといいますか。

リョヲ丞：やっぱり、ロリヰタって、落ち着けないバンドなんでしょうね（笑）。もちろん、ポップなものを否定する気はありません。ただ、俺としては、そこに物足りなさを感じてしまうんですよ。だからこそ、こうして展開の多い曲を出したんです。そこで、ヴィジュアル系とはこういうものだ！　というのを感じてもらえたら嬉しいですね。あと、補足しておくと、〝ALICE〟というキーワードはこれからも続いていきます。

——どのように進化していくのか楽しみです。さて、次の「此処にあるカナン」では、総史さんが歌詞を担当されていますが。

て、詞を書きたい衝動に駆られたんです。ヴォーカリストとして伝えたい想いを、反戦というテーマに変えて綴っていきました。リスナーの皆さんには、今置かれている状況に対してそれぞれの気持ちを乗せてもらえれば、必然的に共感してもらえるのではないかと思います。

龍兎：天井のない、広い空の下をイメージして作った曲なので、いずれは、自分が思い描いている夢のステージで演奏してみたいですね。

——「球体幾何学遊戯」は、どのようにして出来上がった曲なのです？

リョヲ丞：やりたいことを詰め込んだって感じですね（笑）。打ち込みを多用しているけれど退廃感が出ている、そこが聴きどころだと思います。

ユ≠キ：曲全体が、リョヲ丞！って感じなので、俺としては、そこをフルに活かしていきました。

総史：あははは（笑）。ダンスミュージックなだけに、ライヴでは、みんな揃って〝イエーイ！〟って感じで、楽しくノレるようにしたいですね。

——そして、ラストを飾るのは、「lost minerva」。

リョヲ丞：これぞ、リアルな感情であり、ロリヰタが凝縮されている曲です。全員でスタジオで練って作っただけに、ストレートなものにはならなかったし、これをラストに持ってきたことで、ロリヰタを実感してもらえるかなと。

BAN：ライヴ向けといえばそうなのかもしれないけど、新感覚的な曲になっているのではないかなと。言ってしまえば、これも挑戦なんですよ。だから、これが今後のライヴでどう変化していくのか、そこは自分たちの腕の見せどころでもあると思います。自分たちで切り開いていく、それに最も適した曲ですね。

龍兎：それだけに、これからのライヴでガンガンやっていきたいです。

——本誌発売直後には、新体制となって始めてのワンマンライヴが行なわれます。今、話してもらった新作を含め、どのようなステージングが見られるのか、非常に興味深いです。

リョヲ丞：自分としてもすごく楽しみです。期待していて下さい！

（問）http://www.lolita-23q.com/

hudie.com

TOON-FACTORY
あの、夏の日。

夏の想い出を、僕達と

2ndミニアルバム『Heart』を完成させたTOON-FACTORYは、この夏、初の東京・名古屋・大阪、仙台のツアーに出る。ここ最近、ライヴでの演奏力・見せ方も大きな成長を見せていると聞く彼ら。彼らは今、ツアーを目の前に、自らの成長をどう受けとめているのだろう？　今回は8月20日の仙台を皮切りにスタートするツアーへの意気込みと、夏の思い出について聞きました。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:MIHO ISHIKAWA
Styling:MISAKO SHIDA（SHOXX）

──8月からのツアーに向けての準備は順調？　でも、まだ一ヶ月先だから（取材は7月頭でした）、そのモードじゃない感じ？

レガ：正直、まだなんとなくくらいですけど、かなり気持ちばっか焦っちゃってますね。〝もう一ヶ月しかない〟って感じです。

夢叶：だよね。『V-ROCK FESTIVAL』（昨年の秋に幕張メッセで行なわれたヴィジュアル系最大キャパイベント）に出たときも、まだまだ先のことだと思ってたらあっという間だったし、終わってからもあっという間に時間が過ぎちゃった。

ひかる：もう1年前になるんだもんね、『V-ROCK FESTIVAL』に出たのって。

ゆーぃち：もう、そんなに経つんだね。

──その頃と比べて、ライヴに対する気持ちは変わってきた？

レガ：全然違いますね。あの頃は右も左もまったく解らなかったんで。少しずついろんなことが解ってきたというか。

──あの頃は、緊張よりも、〝マリリン・マンソンと同じステージに立てる！〟って喜びだけだった感じだったもんね。

夢叶：ですね（笑）。あの頃は、緊張よりも、ステージに立てることが嬉しかったというか。でも、今はあの頃よりも責任を持たなくちゃいけないなって思えるようになったというか。楽しいだけじゃなくなりましたね。でも、やっぱり楽しむことも大事だと思うんで、1本1本、チャンスを逃さないように、楽しみながらツアーしてきたいですね。

雫：俺は、緊張するとダメな人間なんで、昔から敢えて緊張しないようにしてたのもあって、気持ち的にそこまで変わらないけど、ワンマン・ツアーは今回初だから、ツアー自体を楽しみたいなって思ってますね。仙台では牛タンのような、名古屋では味噌カツのような、大阪ではたこ焼きのような、濃厚なライヴをしてきたいなって思ってますね、今は。初めてなんで、何が起こるか解らないですけど、最後の東京のライヴでは、ツアーの全部を集約出来るような、1番濃いライヴにしたいっす。

ゆーぃち：俺はライヴに対する考えは変わってはないですね。昔も今も、とにかく精一杯を出し切れるように頑張るぞ！って思っているんで。でも、その気合が空回りするタイプなんですよ。そんな空回り具合も昔と変わってないんで、そこだけは、今度のツアーで克服してきたいなと思ってますね。〝本気〟と書いて、マジ。熱いライヴにしたいと思ってますね、今回のツアーは。

ひかる：俺はすごく個人的な変化というか、成長だと感じているのは、見せ方。やっぱりヴォーカリストでもあるんで、1番目に付きやすいと思うんです。だから、立ち方ひとつにしても、姿勢にしても、ステージの使い方にしても、動きにしても、基本がちゃんと出来てないとカッコ悪いんですよね。

──そこは大事なとこだよね、ヴォーカリストはバンドの顔でもあるし。

ひかる：そうなんですよ。だから、俺がコケたら、みんなが頑張ってるのに、台無しになっちゃう可能性もある訳で。昔からそういうことは思っていたんですけど、逆に意識しすぎて動きが固くなっちゃってたんですよ。でも、いまは、そこをちゃんと意識しながらも楽しんでライヴが出来るようになったんです。そこも成長な

んじゃないかなって思いますね。

レガ：俺は、最近、ちょっと目標とするところが変わってきましたね。前のウチらの目標は、手が届くくらいの目標だったと思うんですよ。全員で振りを揃えるとか、息を合わすとか。でも、今回のライヴの目標は、そういうところは自然と合わせられるように卒業して、立ってるだけでもカッコイイというか、雰囲気が出せるような、バンド自体に、ライヴ自体に力のあるところに行きたいと思ってるんです。

――なるほど。すごく解る。もちろん、ピタリと息の合ったライヴはエンタテイメントとして素晴しいと思うけど、あまりそこばかりが中心になっていると、見ている側としては、逆に入り込めない感じがするからね。

レガ：そうなんですよね。最近、そんな話を舞台監督さんとしてて、そうだなって思ったんです。だから、今回のツアーから、それを実践出来たらいいなって思ってるんです。

――具体的なセットリストは決めた？

ひかる：まだ大枠ですけどね。全箇所来てくれる子が居ても退屈させないようなセットリストにしたいなと思ってますね。アルバム中心に組んでいきたいなとは思ってますね。もちろん、昔の曲も入れつつ、そこをアクセントにしていけたらいいなって思ってますね。

――ファンのみんなの素敵な夏の思い出になるといいね。ところで。5人の夏の思い出といえば？

夢叶：僕は中学3年の頃から夏はバンドづくしでしたね。その中でも1番の思い出と言えば、中学3年の頃にやってたバンドで夏にライヴをした時のこと。YAMAHAのコンテストみたいなライヴに出たんですけど、一緒にやってたメンバーがめちゃめちゃあり得ないミスして、ボッコボコにしちゃった思い出（笑）。

一同：酷い（笑）。

夢叶：いや、違うんだって！ 本当にあり得ないミスしたんだもん。本当に一生懸命やってきたメンバーの立場になったら我慢出来なくなって。よりによってオーディション本番だったし。でも、その彼と、この前久しぶりに再会して、仲直りしました（笑）。それも夏の思い出になりましたね（笑）。

ゆーぃち：やっぱ夏と言えば海っすね。かなり前の話なんですけど、友達と一緒に海に行こう！って話になって、大洗に行ったんですよ。駅から泳げる場所に辿り着くまでが相当遠くて。もう暑いし、早く海に入りたくて待ち遠しくて、遊泳禁止の場所だったんですけど、友達と一緒に海ん中に飛び込んだんですよ！ そしたら、めちゃめちゃ深くて。足つかないんですよ。一気に溺れそうになって。あれは怖かったっすね。足がつかない怖さを初めて知りましたね。だから、みんなも海に行くときは気をつけて。絶対に遊泳禁止のところでは泳がないように！

ひかる：バンドをやる前は、夏と言えば、いつも家族と旅行に行ってましたね。1番楽しかったのは、北海道に行った時。トマムっていう場所があるんだけど、牧場でアイスクリームを作ったりしたのがすごい楽しくて。あと、ハワイも楽しかった。俺、今でも全然泳げないんですけど、お父さんと一緒にシュノーケリングに行ったとき、魚がいっぱい寄って来て、すっごい楽しかったの覚えてますね。

雫：俺は、夏休みと言って思いだすのはカブトムシ。昔、カブトムシが異常発生する畑が近くにあって、みんなと野球やってたとき、そこの畑にボールが入っちゃって、取りに行ったら土の下にカブトムシの蛹がいっぱいいるのを見付けたんですよ。それで、帰りに掘り起こして、自転車の籠に乗っけて家に持って帰ったんですけど、カブトムシって、ちゃんと蛹になるとき、中で少し体を動かせるように空間を作っておくんですよ。だけど、俺が雑に扱ったから、その空間を壊してしまったみたいで、10個くらいあった蛹はほとんど孵化しなかったんですよ。でも、そのうち2匹くらい成虫になったんだけど、蛹の空間を潰しちゃってた[illegible]、奇形になっちゃってて……すごく怖い形してて……後悔しましたね。仙台行ったらミヤマクワガタ居るかなぁ～。居るといいなぁ～。

レガ：まずはライヴね（笑）。でも、たしかに、ミヤマクワガタは、クワガタ界のヴィジュアル系だからね（笑）。けど、こうやって夏の思い出を聞かれたときに、〝トゥーンのライヴが1番楽しかった〟って言ってもらえるようになりたいな。今年の夏は、そんな思い出を作れるように頑張りたいかな。やっぱ、聞かれて、迷わず、その言葉が出て来るようなライヴしたいですもんね。トゥーンも、最初の頃とはだんだん曲調の振り幅を広げていってるんで、最近やりだした、ちょっと暗めでハードな曲って、昔のトゥーンが好きな子からすると、一緒に踊れないからつまんないって思っちゃう節もあるみたいで。でも、俺たちは、そこもトゥーンだと思ってるし、まだまだいろんな挑戦をしていきたいと思っているんで、いろんなトゥーンを見て欲しいです。

ひかる：〝俺たちはこういう曲がやりたいんだ！ こういう曲しかやんねぇんだ！〟っていうのって、個性とは違うと思うんですよ。やっぱり、僕たちバンドは、聴いてくれる人、ライヴに来てくれる人たちが居てくれるからこそ、存在していける訳で、ご飯屋さんで、ご飯作ってる人と同じだと思うんです。だから、みんなが美味しい、また食べたいからこのお店に来たい、って思ってもらえるようなお店を作っていけるコックさんでありたいとも思っているので、これからもTOON-FACTORYをよろしくお願いします！ ツアーで待ってます！

(問)〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102 http://www.toonfactory.jp/

蝴蝶
hudie.com

ウト長期自作自演ツアー㊦巻
『御礼参り EXPO'10～侍ジャポン～』

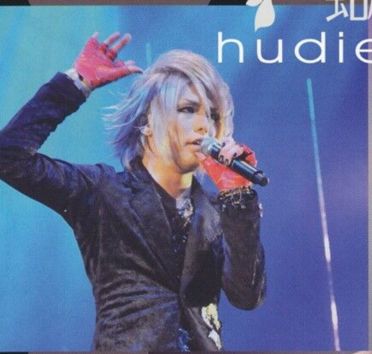
2010.6.26 SHIBUYA O-EAST

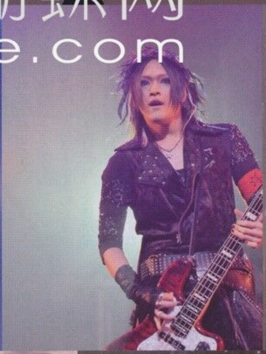
ダウト

"長期自作自演ツアー"と題し、2010年上半期は、日本国内～ヨーロッパ～アジアとくまなく廻って来たダウト。6月26日に2回公演というかたちで行なわれた渋谷O-EASTのライヴは、ダウトの結成3周年を祝いつつ、彼らの上半期の活動を盛大に締め括るにふさわしいものとなった。ここでは、2部の模様を中心に、1日の5人の様子をお届けする。

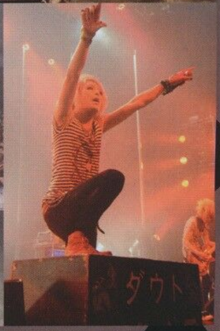
Photography:SAWAE HARA
Report:ERI MIZUTANI

蝴蝶网
hudie.com





第1部、お疲れ様!!



1部

set list】
E(ファンファーレ)
.CARNIVAL浮世
.明星オリオン
.シャングリラ
.獄
.下剋上
.嗚呼ネオン街行進曲
.Syrup
.野良猫と♪
.サテライトTV
0.太刀風横丁
1.SUNRISE
2.鬼門
3.花咲ビューティ
En1.青い鳥
En2.棘
En3.メンバーコール
En4.GOLDENMAN
En5.フェンダー

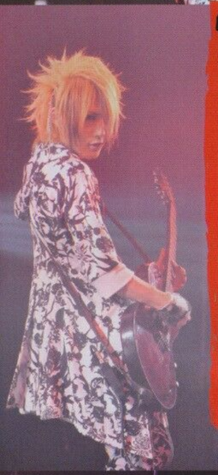
ステージ・セッティングの合間に…

ライヴ直前、身体をほぐします

第2部の幕開けは、開演を告げるブザーと共に。白黒の模様の新衣裳に身を包んだメンバーを見て、フロアからは大きな歓声がこぼれる。そして、ジャジーな音が辺りを包んだ後、「CARNIVAL浮世」が始まった。驚くことに、彼らのテンションは、オープニング時からメーターが振り切れるほどに高い。いくら時間を置いたとはいえ、さっきまで2時間近くのライヴを全力でこなしていたとは到底思えない。だが、今回のツアー・スケジュールを振り返れば、こうしてスタミナ切れせずにライヴが出来るのは、普通のことなのかもしれない。

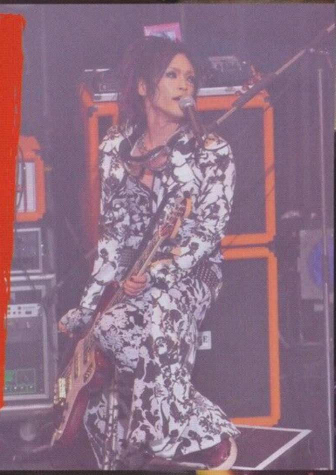
このように身のこなしが軽くなったのは、海外公演が大きく影響しているからなのだろう。ファイナル公演までの1ヶ月間、ダウトはワールド・ツアーに繰り出した。北欧からアジアまで、日本での公演とは全く違う要素に、身体は自然と鍛えられたはずだ。そこを乗り越えたからこそ、このファイナル公演を制しているといっても過言ではない。

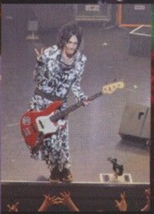
"東京のみんな、ただいま。やっとみんなの元に帰ってくることが出来ました！"嬉しそうな顔を浮かべるメンバーに対し、それ以上の笑顔を向けるファン。彼らの帰りを心から待っていたのだろう。大声で"おかえり！"と返す。"まだ3曲しかやっていないけれどすごく楽しい。今日は、お前らと俺らで愛し合おうか！"と高らかに宣言すると、モダンポップな「BAR夕暮れ」をキッカケに、たたみ掛けるようにして激しい曲を掻き鳴らしていった。それは、後に演奏される「野良猫と♪」と「体温」を引き立てることに。激しさと柔らかさ、この対比こそがダウトの音楽性の多様性を物語っていた。何かひとつに片寄ることなく、自分たちの出したい音を素直に表現する。一見、バラバラな感じになりがちだが、彼らの手にかかると、それらが不思議と調和していくのだ。それはきっと、伝えたいという想いが、どちらにも共通しているから。"1曲1曲、大切に聴いてくれてありがとうございます。心で会話している感じがしました"幸樹がフロアに向かって丁寧に言うと、ファンは歓声よりも先に、拍手で応えたのだった。

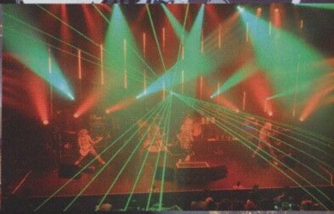


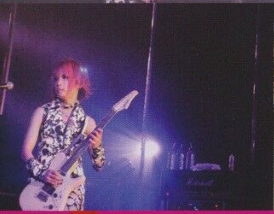
—2部—

【set list】
SE(ファンファーレ)
1.CARNIVAL浮世
2.太刀風横丁
3.鬼門
4.BAR夕暮れ
5.Mr.JAP
6.下剋上
7.歌舞伎町の女王
8.野良猫と♪
9.体温
10.サテライトTV
11.刺青-tatoo-
12.シャングリラ
13.JAPANESE DOGEZA
14.SUNRISE
15.フェンダー
En1.春風シャララ
En2.獄
En3.メンバーコール
En4.フラッシュバック
En5.花咲ビューティ

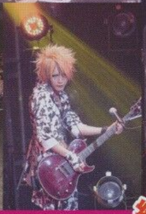






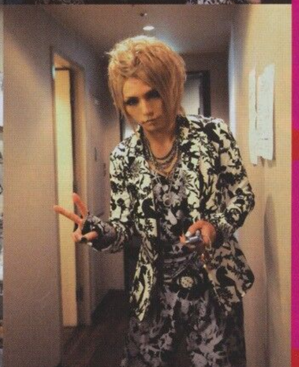


ツアー、お疲れ様でした!!



結成3周年を祝う、盛大なファイナル

幸樹さん、なぜカメラ目線(笑)



終盤で[illegible]ざまを見せるかのごとく、激しさたっぷりの煽り曲で攻めていった。ミナセのカウントから入る「サテライトTV」から、コール&レスポンスが見事に決まった「刺青-tatoo-」、ヘドバンの嵐が起こった「JAPANESE DOGEZA」まで、日本のファンもなかなかやるなというのを、メンバーも肌で実感したはずだ。そして、勢いを残したまま本編を締め括ると、これ以上の幸せはないといった表情で、ステージを後にした。

やまないアンコールの中、フロア上部にあるスクリーンが今後の予定を表示した。そこには、待望のニュー・シングルのリリースを秋に控えていることと、全[illegible]次のツアーは〝武者修行ツアー[illegible]BAND'10〟と銘打って、全国47都道府県を廻るというのだから見逃せな[illegible]の後、笑いの堪えないMCを挟み[illegible]の5曲が演奏されたのだが、どれも[illegible]らしく、活動3周年記念に相応[illegible]アー・ファイナルとなったのだった。〝最高のメンバーに巡り会えたか[illegible]もっともっと素敵な景色を見たい[illegible]ました。どこまでも上を目指して[illegible]らな!〟

何事も有言実行なだけに、今日の願いが叶うのは絶対だろう。き[illegible]れから5人が進む道は、明るく、希[illegible]光に満ち溢れているはずだ。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
New Single
「Midnight Queen」
2010/09/29 Release
発売元：MixSpeaker's,Inc.　販売元：(株)オング
MXSP-0026　2曲入り　￥1,260(tax in)
収録曲
1,Midnight Queen
2,Lie Lie Lie
全7種の着せ替えジャケット　ランダム封入
[Official HP] http://www.mixspeakersinc.com [Official Myspace] http://www.myspace.com/mixspeakersincjapan
[INFORMATION]〒102-8366 東京都千代田区五番町 5-1 JS市ヶ谷ビル７階「Mix Speaker's,Inc.」TEL:03-3288-6941

Mix Speakers,Inc
蝴蝶网
hudie.com
MIX LAND HALLOWEEN FAIR 2010/09/29~11/
~2010秋 Mix Speakers,Inc.が夢と魔法とカボチャをお届けに上がりま
2010 Autumn Tour
〔MIDNIGHT PUMPKIN〕
10月3日(日) 高崎FLEEZ
10月9日(土) HRさいたま新都心
10月11日(月,祝) 横浜BAYSIS
10月16日(土) 仙台Darwin
10月30日(土) 博多Be-1
11月1日(月) 岡山IMAGE
11月3日(水,祝) 京都MUSE
11月4日(木) 滋賀U-STONE
11月6日(土) 梅田AKASOO
11月7日(日) 名古屋ELL
11月20日(土) キネマクラブ
11月21日(日) キネマクラブ

蝴蝶网
hudie.com
2010.8.25
New Single
『ギラつく太陽』
2type同時Release
A type（初回限定2000枚）
S.D.R-216-A / ¥2,100(tax-in) / CD3曲＋PV
B type
S.D.R-216-B / ¥1,575(tax-in) / CD3曲
ED DISK 169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/
Speed-disk
XXX

蝴蝶网
hudie.com
R指定
2010.8.30
渋谷 O-WEST
R指定単独公演
『極東の花嫁』
open/start 18:00/18:30
前売¥3,000 当日¥3,500
R指定OFFCIAL WEB SITE http://www.r-shitei.net

蝴蝶网
butterfly
010/9/8 New Single Release!
「JUST 4U」
A type（初回限定）
1.JUST 4U 2. 17 3. GETxREADY PV. JUST 4U
S.D.R-217-A / ¥2,100(tax-in) / CD3 曲＋PV
B type
1. JUST 4U 2. Birthday 3. GETxREADY
S.D.R-217-B / ¥1,575(tax-in) / CD3 曲
010年9月〜12月 4ヵ月連続イベント開催！
/3 高田馬場AREA
ello,Hello,Hello vol.7”
/29 新宿RUIDOK4
ello,Hello,Hello vol.8”
1/XX 都内某所
2/XX 都内某所
Ap(r)il
23 高田馬場 AREA 8/10 渋谷 RUIDO K2 8/20 名古屋 ell.FITS ALL 8/21 心斎橋 RUIDO 8/28 原宿アストロホール
v.april-web.net/ ♦TOTAL INFORMATION:《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 TEL 03-5386-6016 OFFICIAL WEB SITE:http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

Shinrabanshow tour 10#3

7月30日(金)渋谷 O-East
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Cast：アンド / VIDOLL / SCREW

8月1日(日)郡山 CLUB#9
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW / DuelJewel
少女-ロリヰタ-23区

8月2日(月)仙台 darwin
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW / DuelJewel
少女-ロリヰタ-23区

8月4日(水)札幌 KRAPS HALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW

8月5日(木)札幌 KRAPS HALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：SCREW

8月10日(火)長野 CLUB JUNKBOX
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW
少女-ロリヰタ-23区

8月11日(水)新潟 CLUB JUNK BOX
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW
少女-ロリヰタ-23区

8月12日(木)金沢 AZ
Cast：R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW
少女-ロリヰタ-23区

8月14日(土)京都 FANJ
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW

8月15日(日)岡山 CRAZY MAMA KINGDOM
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / SCREW

8月17日(火)鹿児島 CAPARVO HALL
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8月18日(水)博多 DRUM LOGOS
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8月20日(金)高松 DIME
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip / SCREW

8月21日(土)大阪 BIGCAT
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：アンド / vistlip
SCREW / DuelJewel

8月22日(日)名古屋 E.L.L
THANKS SOLD OUT!!
Cast：ダウト / R指定
Special Guest：Kra
Guest：vistlip / SCREW / DuelJewel

http://xxxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

砂月 SATSUKI
1ST MINI ALBUM U

6 SONGS+DVD　2枚組仕様　STKM-004　￥3,150（TAX IN）

8月22日高田馬場AREAにて先行発売

会場購入特典：ポスター　　オフィシャルオンラインショップ特典：オフショット収録DVD

5TH ONE MAN LIVE
UPPER REGION

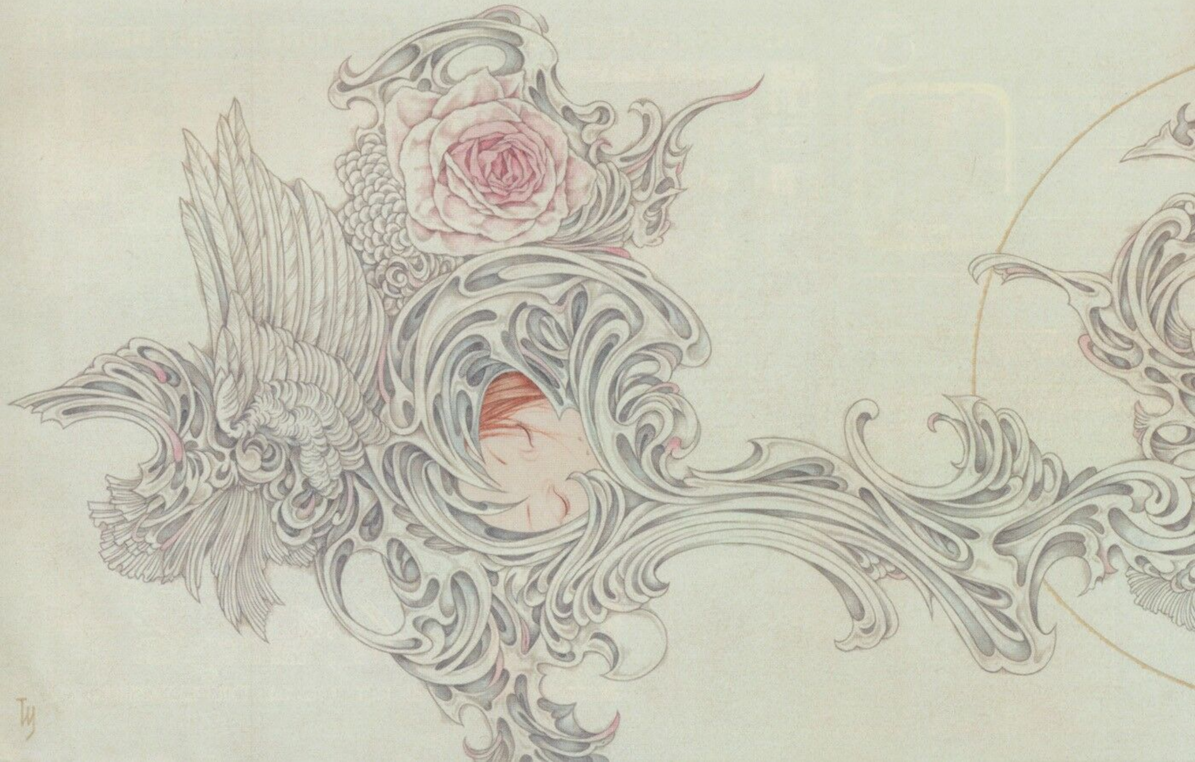
2010.8.22 (SUN) 高田馬場AREA

お問合わせ：高田馬場AREA　03-3361-1039

OPEN 17:00　/　START 18:00
ADV 3,000 YEN　/　DOOR 3,500 YEN（+1DRINK 500YEN）

http://satsuki-web.com

蝴蝶网
hudie.com



little HEARTS. ON LINE STORE !!
little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

RELEASE&EVENT

SINGLE
『wilda』
¥1,260

EVENT
8/3 13:00
トーク&握手&サイン
&プレゼント抽選会

Kaya

RELEASE&EVENT

8/8 SINGLE
『Nancy』
¥1,260
コメントDVD
アーティストフォト

EVENT
8/13 17:00
トーク&握手&サイン
&プレゼント抽選会

SKULL

ナイトメア

2010.08.25 LIVE DVD RELEASE!!

NIGHTMARE
10th anniversary special act vol.1
GIANIZM～天魔覆滅～

オリジナル特典考案中!!

完全予約限定盤スペシャルボックス【CD+DVD】¥10,000(税込)

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～【DVD】
¥5,800(税込)

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～【CD】
¥3,000(税込)

E&EVENT

SINGLE
『script』
¥1,890

NoLith

oNoLith× 我覇道
EVENT 8/8 何か面白いコト!!

INGLE
かないと
った日』
¥2,100

覇道

RELEASE&EVENT

8/4 SINGLE 『Cicada』
オリジナル特典考案中!!
初回盤 ¥1,800
通常盤 ¥1,200
EVENT 8/19 15:00
アコースティックライブ
&トーク&握手

rice

RELEASE&EVENT 7/28 SINGLE

『灼熱のメロディー/玩ばれトゥナイト!』
初回盤 ¥2,800/ 通常盤 ¥1,260
初回盤/コメントDVD
通常盤/アーティストフォト集合

EVENT 8/4 18:00
トーク&握手
&4Shot ポラ撮影

SEX-ANDROID

教えて!!
ンギャルちゃん事情

!!リトルハーツのお客様に
ビューしちゃいます (^o^)/

いちご

っちゃった CD
ViD『PRECIOUS A タイプ』
18 リリース Tu［ism］
namedstory～月と星と照らす朝～』

クワクした出来事・・・
に好きなバンドマンが出て来たこと!!

今!! ウォークマンで何聴いてる!?
K無桜』

ハーツ付近の暇つぶしスポット
ACANA 隣のドーナツ、『It' s Moo・・・』

ちゃん的おすすめ 3 バンド
・SCREW・平成維新

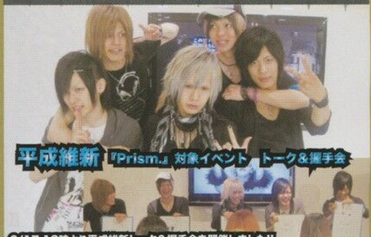
いちごちゃん、
ありがとうございました♪
来月号はあなたかもー(°o°)

INSTORE EVENT REPORT

ナイトメア『a:FANTASIA』対象イベント 握手会

6/27 15:00よりナイトメア「a:FANTASIA」対象イベント開催しました!!!!
沢山のお客様にお越しいただきました♪♪
今回のイベントはどのメンバーさんが来られるかは当日のお楽しみとさせていただいていたので、お客様もドキドキされていたのではないでしょうか?!
そして握手会が始まり、いよいよメンバーさんが登場・・した瞬間に
ものすごい歓声が!!!!
登場されたのは、柩さん&RUKAさんのお二人でした!!!!!!!!!
握手会の方は次から次へと人の波が寄せては退いての繰り返しでしたね!!
そして嵐のような握手会が終了した後にパシャリ☆一枚いただきました!!!!
パネルにもサインを書いていただきましたので、
皆様、ぜひぜひご覧下さいね★

INSTORE EVENT REPORT



平成維新『Prism.』対象イベント トーク&握手会

6/17 18時より平成維新トーク&握手会を開催しました!!
早速、対象商品「Prism.」について、曲作りやレコーディングについてお話をお聞きしました!!
更にお客様からの質問コーナーもあり、そして緊急開催!!
『平成維新、絵心の無いメンバーは誰か!!』
お題の物をメンバーさんに書いて頂き、絵心の無いメンバーをお客様が判定、罰ゲームありの企画がスタート!!
善さんを筆頭に皆さんお上手!!でしたが・・JILLさんだけお客様から大爆笑を取っちゃっていました。
JILLさんは罰ゲームで、アカペラで歌を大熱唱してくれました♪
トークの後の握手会もとても和やかな雰囲気の中行われました。
平成維新の皆さん、9/15にBEST ALBUM『REVOLUTIONS』発売します♪

INSTORE EVENT

日)15:30 【R指定】1時間店員イベント
火)13:00 【Kaya】トーク&握手&サイン&プレゼント抽選
火)15:00 【ケミカルピクチャーズ】1時間店員イベント
水)18:00 【SEX-ANDROID】トーク&握手&4Shotポラ撮影
木)12:00 【SOMATIC GUARDIAN】1時間店員イベント
木)18:00 【愛狂います。】トーク&握手&撮影&ビンゴ大会
日) 未定 【MoNoLith×我覇道】何かおもしろいこと!!
金)17:00 【SKULL】トーク&握手&サイン&プレゼント抽選会
金)16:00 【TOON-FACTORY】トーク&握手&プレゼント抽選会
土)18:00 【MVP48】トーク&握手&&サイン&チェキ撮影
月)16:00 【ACTWEED】トーク&握手
土)14:00 【PENICILLIN】トークイベント
日)15:00 【rice】アコースティックライブ&トーク&握手

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます!

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3-1
仙台フォーラス7Ｆ
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

little HEARTS.

7/21 MURASAKI — SINGLE『Re:VIVE』¥1,500

7/21 Jackman — SINGLE『Multi Color Freeks』A-TYPE/B-TYPE¥1,890 チェキランダム1枚

7/21 大佑と黒の隠者達 — SINGLE『嫌』¥1,260 コメントDVD アーティストフォト集合

7/21 ゴールデンボンバー — ALBUM『ゴールデン・アワー～上半期ベスト2010～』初回盤A、B-TYPE 各¥2,500 通常盤 ¥1,980 オリジナル特典考案中!!

7/21 kannivalis — LIVE DVD『she said, under the helios.』¥6,090 コメントDVD アーティストフォト個人

7/22 Rubik — SINGLE『パラレル流星群』¥1,260 オリジナル特典考案中!!

7/28 シネマストリップ — SINGLE『天上天下唯我独尊』¥1,260

7/28 ケミカルピクチャーズ — イベント SINGLE『世界を撃った男 case3 火縄銃』¥1,575 コメントDVD+アーティストフォト

7/28 ... — SINGLE『ムーンライト――』A-TYPE/B-TYPE 各¥1,575 C-TYPE/¥1,260

7/28 ... — SINGLE『...』A-TYPE¥1,890/B-TYPE¥1,680 通常盤¥1,050 A/アーティストフォト6枚SET(A) B/アーティストフォト6枚SET(B) W購入/オフショットDVDバージョン

8/4 xTRiPx — SINGLE『Astrovibes』¥1,000 コメントDVD+アーティストフォト集合

8/4 花少年バディーズ — SINGLE『バレリーナ』A-TYPE/B-TYPE 各¥1,500 A/直筆サイン入りコメントDVD アーティストフォト集合 B/アーティストフォト個人5枚SET

8/4 SOMATIC GUARDIAN — SINGLE『戦場ガールフレンド』A-TYPE/B-TYPE 各¥1,575 イベント

8/4 Wizard — MINI ALBUM『BIOS』¥2,625

8/4 ハートレス — アーティストフォト集合 SINGLE『Scream of Hea...』¥1,575

8/4 rice — イベント SINGLE『Cicada』初回盤 ¥1,800 通常盤 ¥1,200 オリジナル特典考案中!!

8/4 Megaromania — SINGLE『AURORA-destinies of world』A-TYPE¥1,995 B/C/D-TYPE 各¥1,365 各TYPE/アーティストフォト別柄 いずれか1枚購入/コメントDVD

8/4 v [NEU] — SINGLE『-wave-』¥1,575 オリジナル特典考案中!!

8/11 DaizyStripper — FULL ALBUM『BIRTH』¥3,150『LOVE』¥3,150 オリジナル特典考案中!!

8/11 Kagrra, — SINGLE『白鳥唄』A-TYPE/B-TYPE 各¥1,890 C-TYPE¥1,260 オリジナル特典

8/11 9/15 愛狂います。 — SINGLE 8/11『エキゾチック』9/15『ドラマチック』A-TYPE¥2,100 B-TYPE¥1,260 初回盤/コメントDVD+アーティストフォト 通常盤/アーティストフォト個人4枚SET

8/11 ゾロ — SINGLE『HOUS・OF・MADPEAK』初回盤¥1,575/通常盤¥1,365 オリジナル特典考案中!!

8/18 Kra — SINGLE『テンノヲ空想論理』初回盤¥1,890 通常A¥1,260/通常B¥1,050 オリジナル特典考案中!!

8/18 BugLug — SINGLE『メイドインマイン』初回盤¥1,890/通常盤¥1,260 初回盤/コメントDVD 通常盤/アーティストフォト集合

8/18 えんそく — FULL ALBUM『新世界』¥3,150 オリジナル特典

8/18 Schwein — SINGLE『Deep scars』¥1,050 オリジナル特典考案中!!

8/18 E' m～grief～ — SINGLE『Atonality』A-TYPE/B-TYPE 各¥2,100 A-TYPE/アーティストフォトA B-TYPE/アーティストフォトB

8/25 シンディケイト — SINGLE『ボクサー』¥1,680 コメントDVD アーティストフォト集合

8/25 Synside — MINI ALBUM『約束された安堵、その代償』¥2,625 アーティストフォト集合

8/25 少女-ロリヰタ- — SINGLE『星帯次元区域ミネ...』¥2,800

8/25 V.A — LIVE DVD『EXTRA-TERRITORIAL 2010.05.05 at SHIBUYA AX』¥4,410

8/25 メガマソ — SINGLE『タイトル未定』A-TYPE¥1,890 B-TYPE¥840 C-TYPE¥1,050 オリジナル特典考案中!!

8/25 Alice Nine — SINGLE『閃光』初回盤 ¥1,890 通常A¥1,590 通常B¥1,260 オリジナル特典考案中!!

8/29 RAVI — SINGLE『極彩リンディポップ』¥1,260

8/30 Az:Madiu... — SINGLE『幻想の輪舞曲』¥1,050

8/31 ドクターモルモット — MINI ALBUM『毒-コングラッチェ』¥2,100

9/1 HERO — SINGLE『ピリオド』初回盤¥2,100 通常盤¥1,575 オリジナル特典考案中!!

9/8 Ap(r)il — SINGLE『JUST 4U』A-TYPE¥2,100 B-TYPE¥1,575 A-TYPE/コメントDVD B-TYPE/アーティストフォト集合

9/15 平成維新 — BEST ALBUM『REVOLUTIONS』A-TYPE¥4,200/B-TYPE¥3,150 A/コメントDVD+アーティストフォト集合 B/アーティストフォト個人5枚SET

9/15 Annie's Bl... — SINGLE『PLACE』初回盤¥2,100 通常盤¥1,575

蝴蝶网 hudie.com

Shimizuya Records所属 1st Anniversaryワンコインワンマン 重大発表あり

蝴蝶网
hudie.com

2010.12.19 (sun) MUSIC FARM 「Response d'isparage」

2010.10.6. First Single Release

『Rock your spirit.』

[初回限定版] (1枚組) CD 4Tracks / 1000枚限定 / 4Pブックレット ※通常版は無し

【価格】¥1,600(税込)【品番】SRR-002【発売元】Shimizuya Records【販売元】ライカロリーポップ

『Rock your spirit.』発売記念 インストアイベント

10/30(土) ライカエジソン名古屋店　10/31(日) Ash-LD　11/13(土) ライカエジソン東京店　11/22(月) GURUGURU　11/28(日) ライカエジソン大阪店

Shimizuya Records Presents Re:dis主催イベント

『Emotional Days.Vol.2～4』

≪Re:dis動員の先着50様にPVを配布≫

10.8(fri) 池袋CYBER　10.10(sun) OSAKA HOLIDAY　10.11(mon) 池下UPSET

http://www.simizuyarecords.jp

蝴蝶网
hudie.com

第二期 First Single『EROS』Release

2010/10/06 [wed]
初回限定版 (2枚組) CD 4Tracks+DVD 1Tracks+α 【価格】¥2,100 (税込) 【品番】SRL-010 【備考】※3000枚限定 / 8Pブックレット
【CD収録】1. SE / 2. EROS / 3. タイトル未定 / 4. タイトル未定 【DVD収録】1. EROS PV CLIP+α 【発売元】Shimizuya Records 【販売元】ライカロリーポップ

『EROS』発売記念ロープライス主催公演イベント決定 !!

2010/10/05 [tue]『The CAPTURE in the dark ID』

恵比寿 LIQUIDROOM

【開場】16:00 【開演】17:00 【前売】¥1,000 (D別) 【当日】¥2,000 (D別) 【出演バンド】Lycaon / 凛 / 花少年バディーズ / OA: Re:dis

First Oneman Tour

『Scandalous love juice』

【開場】17:00 【開演】17:30 【前売】¥3,000 (D別) 【当日】¥3,500 (D別)

11/03 名古屋 HeartLand
11/05 心斎橋 FANJtwice
11/07 岐阜 キャスパー
11/09 福岡 DrumSon
11/11 新潟 JUNKBOXmini
11/13 仙台 Hook

- TOUR FINAL -

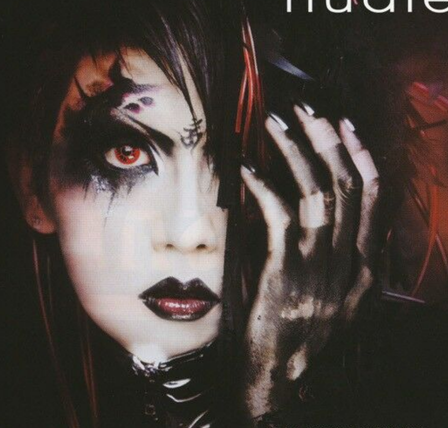
12/17 高田馬場 AREA

http://www.simizuyarecords.jp

http://valluna.jp/
http://www.alsdead.com/
蝴蝶网
hudie.com
ALSDEAD
GALAXY PRESENTS ヴァルナ主催
Theater of Infernal -第三幕-
010年10月25日(月)渋谷O-WEST
ヴァルナ / NightingeiL / UnsraW / Lycaon / Megaromania / Syncide / VII-Sense / Secilia Luna
7月21日(水)渋谷 RUIDO K2
UNDER CODE PRODUCTION PRESENTS「NEW BORN "organization" VOL.9」
8月2日(月)SCUBER DIVE10 〜渋谷が大変〜
8月4日(水)高田馬場 AREA
8月7日(土)新宿 HOLIDAY
GALAXY PRESENTS【最終革命 / 鬼の目にも涙…】
8月8日(日)目黒鹿鳴館
Eternal & CLIMAX ENTERPRISE PRESENTS【ETERNALISM†CLIMAXISM】
8月13日(金)埼玉会館ホール
〜漆黒のシンフォニー〜 at 埼玉会館ホール
8月14日(金)高田馬場 CLUB PHASE
UNDER CODE PRODUCTION PRESENTS MegaromaniaCD 発売記念
連続都心 JACK PRODUCE EVENT「destinies of world 〜一夜に魅せる二世界の創造〜」- 第一弾 高田馬場編 -
8月24日(火)名古屋 MUSIC FARM
8月26日(木)心斎橋 BIG CAT
Allure Media.&FAN J twice presents「forbidden art mythology IXspecial-Terror of "drei" beauty-」
9月10日(金)目黒鹿鳴館「DIG UP NEW STAR Stage.11」
9月13日(月)渋谷 O-EAST
FIREBALL PRESENTS【BANG!! Vol.1】
22 (WED) 3rd Single Release!!
nt prayer
g / GAR-1003 / ¥1,575-
2010.10.20 (WED) 4th Single Release!!
Gothic「A」doll
3Song / GAR-1006 / ¥1,575-
t Mini ALBUM「Distopia」Now On Sale!!
GALAXY PRESENTS ALSDEAD 2nd ONEMAN
PEEP SHOW
2010年10月20日(水)SHIBUYA BOXX
OPEN 18:30 / START 19:00 ADV ¥3,000 / Door ¥3,500
A●先行発売① オフィシャルHP先行 (A1 〜 100) 6/24(木)12:00 〜 6/30(水)18:00 イープラス：http://eplus.jp/alsdead
B●先行発売② ライブ会場物販先行 (B1 〜 100) ※シャッフル販売 !! 7/2(fri) 目黒鹿鳴館〜 8/26(thu) 心斎橋 BIGCAT
C●一般発売 8/28 開始 各プレイガイド (C1 〜 100) 口電子チケットぴあ 0570-02-9999(P:111-825) 口ローソンチケット 0570-084-003(L:73335)
企画・制作：GALAXY (問) H.I.P. 03-3475-9999 / www.hipjpn.co.jp
7月27日(火)HOLIDAY SHINJUKU
GALAXY PRESENTS
8月1日(日)HOLIDAY NAGOYA
Double River Record PRESENTS ハートレス CD 発売記念ラスト主催イベント「BREAKING THE WALL」
8月2日(月)SCUBER DIVE10 〜渋谷が大変〜
8月7日(土)HOLIDAY SHINJUKU
GALAXY PRESENTS【最終革命 / 鬼の目にも涙…】
8月8日(日)目黒鹿鳴館
Eternal & CLIMAX ENTERPRISE PRESENTS【ETERNALISM†CLIMAXISM】
8月13日(金)高田馬場 AREA
Plug presents「Monstars★Parade」
8月14日(土)高田馬場 AREA
Plug presents「Monstars★Parade」
8月15日(日)埼玉会館ホール
〜漆黒のシンフォニー〜 at 埼玉会館ホール
8月14日(金)高田馬場 CLUB PHASE
UNDER CODE PRODUCTION PRESENTS MegaromaniaCD 発売記念
5ヶ月連続都心 JACK PRODUCE EVENT「destinies of world 〜一夜に魅せる二世界の創造〜」- 第一弾 高田馬場編 -
8月22日（日）名古屋 MUSIC FARM
「GOOD LOOKING MUSIC PARK Vol.2」
8月26日(木)心斎橋 BIG CAT
Allure Media.&FAN J twice presents「forbidden art mythology IXspecial-Terror of "drei" beauty-」
9月13日(月)渋谷 O-EAST
FIREBALL PRESENTS【BANG!! Vol.1】
1st FULL ALBUM「ALSDEAD」Now On Sale!!
GALAXY PRESENTS「狂喜短命」Tour2010
9月20日(祝・月)札幌 MESSE
ヴァルナ /ALSDEAD/AbyssCord/shouD/ ハルシオン /Secilia Luna 他
9月21日(火)札幌 MESSE
ヴァルナ /ALSDEAD/AbyssCord/shouD/ ハルシオン /Secilia Luna 他
9月27日(月)新潟 RIVERST
ヴァルナ /ALSDEAD/Para:noir/Vallquar- ワルキューレ -/ ハルシオン /Re:dis/Secilia Luna 他
9月28日(火)福島 #9
ヴァルナ /ALSDEAD/Para:noir/Vallquar- ワルキューレ -/ ハルシオン /Re:dis/Secilia Luna
9月29日(水)仙台 MACANA
ヴァルナ /ALSDEAD/Para:noir/DEPAIN/Vallquar- ワルキューレ -/ ハルシオン /Re:dis/Secilia Luna 他
10月3日(日)名古屋 MUSIC FARM
ヴァルナ /ALSDEAD/DEPAIN/RED universe/nil delete heads/ イヴ/Secilia Luna
10月4日(月)大阪 FAN J twice
ヴァルナ /ALSDEAD/DEPAIN/RED universe/Vallquar- ワルキューレ -/nil delete heads/ イヴ/Secilia Luna
10月6日(水)岡山ペパーランド
ヴァルナ /ALSDEAD/ヴァルナ /Vallquar- ワルキューレ -/Secilia Luna
10月7日(木)広島並木ジャンクション
ヴァルナ /ALSDEAD/Vallquar- ワルキューレ -/Secilia Luna
10月9日(土)浜松スタジオ FORCE
ヴァルナ /ALSDEAD/Para:noir/RED universe/nil delete heads/ イヴ/Vallquar- ワルキューレ -/Secilia Luna 他
Tour FINAL 10月12日(火)池袋 Black Hole
ヴァルナ /ALSDEAD/Para:noir/Vallquar- ワルキューレ -/ ハルシオン /nil delete heads/Secilia Luna
NFORMATION◆ (株)FIREBALL GALAXY 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-9-18 ライオンズプラザ 608
DESIGNED by CREED
Galaxy

http://ameblo.jp/yukika-87/

蝴蝶网
hudie.com



真夏の2DAYSイベント決定

GALAXY PRESENTS

最終革命 / 鬼の目にも涙…

2010年8月7日(土)
HOLIDAY SHINJUKU

[EVENT PRODUCED 雪花]
OPEN/11:30 START/12:00 ADV/¥3,500 DAY/¥4,000

【CAST】
エトセトラ / ALSDEAD / ヴァルナ
ハートレス / パニックちゃんねる / meth.
VAJRA / Re:dis / Secilia Luna / 鬼畜一家
ANOTHER DIMENSION / シネマストリップ
Navir / Diement / MiD DERACINE
XodiacK / Felldy Family (アイズ Ziggrat LIV 'ERT)

【友情出演】
Arc

【Special Guest】
砂月

【シークレットゲスト解禁】
Lycaon

※再入場1回まで可能
※ラスト大セッション有
※ステッカー配布有
※バンド予約あり

主催・企画 : 雪花(GALAXY)
問い合わせ : HOLIDAYSHINJUKU(03-5292-0591)

Eternal & CLIMAX ENTERPRISE PRESENTS

ETERNALISM†CLIMAXISM

2010年8月8日(日)
目黒鹿鳴館

[EVENT PRODUCED 弥生]
OPEN/11:30 START/12:00 ADV/¥4,000 DAY/¥4,500

【CAST】
弥生 / THOGO(KIxxANDCRY/ex.DEFLOWER) / TETSU(ex. ギミック) / ruchi(ex.xTRiPx) / 楓栖(the Riotts./ex.176BIZ) / Misery(XXX 風音 TO 纏華) / 雪花(エトセトラ) / 汰麗(the WoRLD) / 悠切 (ex. ラッド) / チャック&taka(ex.SugarTrip) / 悪鬼(ex. レガート) / 咲(ex.Cuartet) / Yura(ex. 我覇道) / ELECTNINE(龍夜 ex.Syndrome 真稀(ex. ガラス) / KAZUKI(ex.Due'le quartz) / 四道(NaiL/ex. レガート) / 雪兎(ex.EarlGr みゆい(ex. デルフィニウム) / Dai(TAIJI with HEAVEN'S/ex.Kilah) / ヴァルナ / ALSDEAD / PANIC☆ch / Hi:BRiD / お洒落泥棒 / SMOKY FLAVOR / Chaos†System(ex.Aliene Ma'riage) / LA VALLIERE (KEITO ex.Raputure) / KAZUKI 興業 (Vo.KAZUKI(ex.CANARY/ex.Rinne Platinum)Gt.TOMO(ex.Misery/ex.DEFLOWER/Chaos System)Gt.DAI(C Breed)Ba. 魅麗(Cross Breed)Dr.kyo(Cross Breed)/ 他

【Guest】
E'm ~ grief ~ / GELLONIMO / 妃阿甦 / ∀NTI FEMINISM

※再入場1回まで可能
※シークレットゲスト有
※ラスト大セッション有
※飛び入りゲスト有
※バンド予約あり

主催・企画 : 弥生
問い合わせ : 目黒鹿鳴館(TEL:03-3494-1801)

FIREBALL PRESENTS

BANG!! Vol.1

2010年9月13日(月)渋谷 O-EAST

OPEN/15:00 START/15:30 ADV/¥4,500 DAY/¥5,000 (D 別)

【CAST】ヴァルナ / ALSDEAD / TOON-FACTORY / NightingeiL / UnsraW / Lycaon / ArtCube / お遊戯わが魔々団 × 【PaRADEiS】/ BrainStein / E'm ~ grief ~ / V-last / Para:noir / Hi:BRiD / エルム / Secilia Luna / SOMATIC GUARDIAN

【GUEST】凛

※大セッションあり!!

チケット発売詳細

※プレイガイド・ライカエジソン先行は 7/23(金)以降で告知・受付解禁。 入場順 :A→B→C

先行 A チケット :(01 ~ 200) SOLD OUT
※全公演演奏終了後に発売開始
※お一人様、4枚まで...させて頂きます。ご了承下さい。
※整理番号は...となります。

先行 B チケット : アーティスト HP
※バンドオフィシャル先行は 7/15(木) ~ 22(木)
イープラス専用 URL にて。

先行 C チケット : 一般発売
7月31日(土)
ライカエジソン東京店 TEL: 03-3369-3708 (発売日初日は電話予約のみ
プレイガイド一般発売日
電子チケットぴあ TEL:0570-02-9999 P:75287
ローソンチケット TEL:0570-084-003 L:112-684
イープラス http://eplus.jp

主催 :FIREBALL Co.,Ltd. 企画 :GALAXY 制作 :H.I.P. 協力 : ライカエジソン東京店

◆TOTAL INFORMATION◆ (株)FIREBALL GALAXY 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-9-18 ライオンズプラザ 608

DESIGNED by CREED

SHOXX 創刊20周年特別企画!!

銀座よろず屋本店仮想店舗（ヴァーチャルショップ）「柿ノ元」

福袋2010 SUMMER SALE!!

ここでしか手に入らないアーティスト・レーベルの福袋を大放出!! 販売価格の２～３倍のアイテムが入っています!!

※一部数量に限りのある商品がございます。ご了承ください。

F-03 ドレミ團

ドレミ團 Don't Let Me Down

F-02 Plastic Tree

plastic tree

F-01 Versailles

Versailles Philharmonic Quintet

F-06 D

D

F-05 Wizard

Wizard

F-04 Daizy Stripper

DaizyStripper

F-09 デュエルジュエル

DuelJewel

F-08 D'espairsRay

D'ESPAIRSRAY

F-07 ヴィドール

ヴィドール

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

F-12 Dolly

Dolly

F-11 摩天楼オペラ

摩天楼オペラ

F-010 Mix Speaker's,Inc.

Mix Speaker's Inc.

F-15 ALiBi

ALiBi

F-14 NEU

neu

F-13 -OZ-

OZ

F-18 TOON-FACTORY

TOON-FACTORY

F-17 愛狂います。

愛狂います。(アイクル) aicle

F-16 シリアル⇔NUMBER

シリアル⇔NUMBER

F-21 UNDER CODE PRODUCTION

UNDER CODE
PRODUCTION

F-20 HERO

HERO

F-19 少女-ロリヰタ-23区

少女-ロリヰタ-23区
lolita 23q

蝴蝶网
hudie.com

F-25 花少年バディーズ

不良品種 花少年バディーズ

F-24 Ap(r)il

Ap(r)il

F-23 アヲイ

アヲイ

F-22 Sadie

Sadie

F-29 Secilia Luna

Secilia Luna

F-28 アンド

アンド
-ECCENTRIC AGENT-

F-27 A&D

A&D

F-26 ZEST

ZEST

F-32 CROW MUSIC

CROW MUSIC

F-31 ギャラクシー

Galaxy

ヴァルナ

ALSDEAD

F-30 清水屋レコード

Lycaon

ジュリエット Juliette

Re:dis

■定価：各3,150円（税込）
■送料：700円

■受付期間：2009年7月21日～9月5日（消印有効）
■商品の発送：9月末より順次発送

【お申し込み方法】

商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料700円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。

■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。（複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料700円をご記入ください）
■加入者名　株式会社　音楽専科社
■通信欄　柿ノ元・ご希望の商品名・ご希望の商品番号（F01～F25）・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。

【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

※一部数量に限りのある商品がございます。品切れの際はご返金させて頂きますのでご了承ください。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
猟牙 (Vo)
KIFUMI (Ba)
K (Gt)
BORN
TOMO (Dr)
Ray (Gt)

るにあたって考えていたことは？

猟牙：まず、今回の音源で初めてBORNに触れる人がたくさんいるだろうなというのがあって。それに、3ヶ月連続のミニ・アルバム・リリースということで、それぞれ趣向を変えたいなと思っていました。そういう中で、最初のミニ・アルバムに向けてメンバーが持ってきた曲を聴いてみたら、みんな考えていたことは同じだったみたいで。"一発目は、こういう曲でしょう！"と思えるものが揃っていたんです。今までのBORNの色を汲みつつ、ちょっと違うテイストの曲もあったりして。曲を聴いた時で、BORNの新たなスタートとして最適なものが作れる確信を得られました。

━━歌詞の面で大きなテーマなどは、ありましたか？

猟牙：まずは1枚目ということで、BORNの世界に誘うというか。"最高に楽しいから、おいでよ！"という歌詞が並んでいます。ウチのメンバーは、挫折や苦悩を味わった時に、音楽に救われてきたヤツらが揃ってるんですよ。そんな人間が集まってバンドをやっているんだから、俺らもファンにとって救いのカケラにでもなれたらいいなと思ってて。そういう想いがある中でミニ・アルバム3作連続リリースが決まったので、『BLACK BORN MARKET』はそれが凝縮されて吐き出された感がありますね。恋愛を題材にしたストーリー的な歌詞とかはなくて、自分たちの意思を掲げたアルバムになっています。

K：今回は、猟牙が書いた歌詞を見て驚くことが多かったです。例えば、「MY SWEET BLACK」は、踊れる曲があるといいなと思って作ったんです。曲が出来て歌詞を見たら、"踊り明かそう"という言葉が入ってて、"おおっ！"と思ったりとか。「more Deep」は、ドラムの連打から始まるじゃないですか。あれは、"熱い気持ちを伝えたいんだよ！"と思って、ああいう始まり方にしたんですね。そうしたら、歌詞に"強く深く生きていくのさ"という言葉があったりして。口に出さなくても分かってくれるんだなと思って、嬉しくなりました。

猟牙：俺には、全然そんな話をしてくれ

K：いや、話す必要がなかったんだよ（笑）。

━━メンバー全員が同じ方向を向いている証拠ですね。レコーディングするにあたって、それぞれこだわったことは？

Ray：まずは、今まで以上に音色にこだわりました。自分が目指す音を出すために、今まで使ったことのないアンプを用意してもらったんです。最初は戸惑いもありましたけど、納得のいく音が録れてよかったです。プレイに関しては、いつも心掛けている楽曲を色づけるアプローチの最新版というか。激しい曲でも強く歪んだ音だけで押すんじゃなくて、サビ・パートに自分のカラーを入れたり、そういうところにこだわりました。印象に残ってるのは、「涙彩の花」かな。この曲は再録なんですけど、前に録った時に残った悔いを、今回クリアできたので。それに、歌録りの時に猟牙が裸になって歌っていたので（笑）、それもあって印象に残っています（笑）。

一同：そうそう!!（笑）

猟牙：「涙彩の花」は、確か最初に録ったのかな。緊張してるせいなのか、イマイチ高い声が出なくて。そうしたら、ディレクターが"脱いでみれば？"って。それで服を脱いだら、すごく開放的な気持ちになって、普通にピッチも届いて。何て言うか、つまらない邪念とかが一切なくなった感じがあったんです。だから、今後はライヴ中もツラかったら脱ぎます（笑）。

一同：やめろっっ！（笑）

K：俺は、いつもレコーディングの時は、"ちゃんとしないと"と思うんですね。でも、今回はそういうことよりも、気持ちを込めてプレイすることを重視しました。"とにかく、これを聴いてくれ！"と常に思いながら弾いたというか。気持ちだったり、気合いが感じられるテイクを録ることにこだわりました。

KIFUMI：ベースは、最近はTOMOと一発録りをする機会が増えてきて。前までは録ったテイクを聴いて、気になるところがあると直していたんですけど、TOMOと一緒に録るようになってからは、2人のコンビネーションがよくて、1曲通して聴いた時に気持ちよければO

3ヶ月連続ミニ・アルバム・リリース！
第1弾作『BLACK BORN MARKET』登場!!

最高に楽しい、BORNの世界へようこそ

先月号の本誌で、鮮烈な初登場を果たしたBORNが、3ヶ月連続でミニ・アルバムのリリースが決定した。まず第1弾は、8月18日に発売とな『BLACK BORN MARKET』だ。"今までのBORNの色を汲みつつ、新たなスタートとして最適なもの"という目論見のもと、BORNの世界自然と誘われてしまうような楽曲が揃った今作。第2弾、第3弾への期待もますます高まってしまうのだが…まずは5人の言葉を聞いてほし

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

今回は、かなりベースのフレーズがシンプルになっています。「乱刺℃」とかに至っては、もう親指で4弦をブンブンとぶっ叩いてるだけという。でも、そういうシンプルなベースでもTOMOのドラムと一緒になることで、独自のグルーヴが出せるようになってきたんじゃないかな…というのがあって。余計なものは必要なかったんです。

TOMO：俺も不思議なくらい、みんなと同じです。今までは、数学的な考えで、この曲はテンポがいくつで、何分の何拍子で、16分音符がどうで…みたいなことを気にしていたんです。でも今回は違ってて。歌詞を見せてもらったりして、曲にどれだけ入り込めるかをいちばん重視しました。クリックに合わせるのはもちろんですけど、その一つ上を行くというか。そういうプレイを心掛けました。特に印象に残っている曲は、「涙彩の花」かな。昔から聴いているファンの子には聴き比べられてしまうというのもあって、気合いの入り方が違いましたね。

猟牙：歌に関しては、今までと全く変わらなくて。メンバーが持ってくるいろんな曲に、自分が気持ちいいと思うメロディを乗せているだけです。だから、あまり語ることはないというか。

━━歌の表現力の広さは大きな聴きどころになっています。例えば、「more Deep」では、語りを活かしていますね。

猟牙：あの語りは、それこそ詩でもない、自分が思ってる素直な言葉を、そのまま喋っただけです。

TOMO：それを、ドラムが連打している場所で喋ってるという（笑）。

猟牙：いや、ドラムの躍動感と淡々とした喋りを融合させたほうが、より俺のソウルが伝わるかなと思って。"これは、TOMOが俺の見せ場を作ってくれてるな"と思って（笑）。

一同：出たよ～（笑）。

K：猟牙は、本当にバックのことは、考えないから（笑）。でも、それがちゃんと形になるんですよね。

━━そういう場所が多いですよね。『BLACK BORN MARKET』はもちろん、今後の2作も楽しみです。

Ray：期待してください。『BLACK

を見せたにすぎなくて。俺らは、"BORNは、こういうバンドでしょう"と言われるのがいちばん嫌なんです。いろんな面を持っているし、常に変化し続けるバンドなので。『BLACK BORN MARKET』には満足していますけど、これがBORNの全てだとは思わないでほしいですね。続く2枚も含めて、BORNに興味を持ってくれた人は全員"ガッ！"と取り込んで、"ガガガッ！"と連れていってやろうと思っています。

K：『BLACK BORN MARKET』という、いい名刺代わりの1枚が出来たので、次はもっと面白いことをやろうかなと思っています。これからも他にはない音楽をどんどん創っていくことになると思うので、楽しみにしててください。

KIFUMI：『BLACK BORN MARKET』は、"ここからBORNを知ってください"という意味での名刺代わりの作品なんでしょうけど、遠慮したつもりは全くないので。イメージとしては、小さい白い紙に黒い綺麗な字で"BORN"と書いた名刺ではなくて、デカいキャンバスに、それぞれがいろんな色で汚い字で"BORN！"と書いた感じです。名刺なのに、喧嘩売ってる…みたいな（笑）。そういうイメージで捉えてもらえば、いい感じで聴けるんじゃないかなと思います。

TOMO：俺も一発目にふさわしい自信作が出来たと思っているので、2枚目／3枚目は核を保ったまま、もっと幅広くいきたいですね。『BLACK BORN MARKET』のレコーディングで得たものを活かして、より聴き応えのある作品になるように頑張ります。

猟牙：BORNでレコーディングする度に、"このバンドは、まだまだこんなモンじゃないな"と毎回思うんです。それは、出来が悪いということではなくて、これだけの作品が作れたなら、もっとすごいことが出来るはずだ…という期待感が生まれてくる。そういう意味で、『BLACK BORN MARKET』を聴いた上で2作目／3作目にもっと期待してくれて全然構いません。まずは、『BLACK BORN MARKET』で、ヤラレてください。"初めまして、このヤロォ！"という1枚なので（笑）。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

D'ESPAIRSRAY

MONSTERS

己の投影…

闇から生まれし物の怪たちが、やがて世界の方々を縦横無尽に跋扈する日が来るだろう。
近年、いよいよバンドとしての成熟度を増して来ているD'espairsRayが、
このたび7月28日に発表する4thアルバムのタイトルは、その名も『MONSTERS』。
今夏は、過去最大規模のワールドツアー[Human-clad monsters]に出ることも決まった彼らが、
今ここで怪気炎をあげる！

Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

――春にシングル「LOVE IS DEAD」を出した際、Karyuくんは〝アルバムは、これとは真逆の世界が拡がってくことになる〟と発言していましたよね。

Karyu：なんか、そんなようなことを言った記憶はうっすらあります（笑）。

――D'espairsRayにとって、4枚目となるこのアルバムを仕上げていくにあたり、当初バンド内ではどんな意志確認が行われていたのでしょうか。

HIZUMI：具体的にってなると、やっぱ「LOVE IS DEAD」を出した前後になるよね。あのくらいの時期に、曲が出そろったとかじゃなかった？

Karyu：そうそう。その時期にまず思ってたのが、今回のアルバムは腐敗感とか、死へ向かうマーチみたいな、そんなイメージが強かったんですよ。っていうか、今思うとその雰囲気みたいなもの自体は、「LOVE IS DEAD」の頃から既に頭の中にはありましたね。

――では、真逆どころか、今作はシングルとも地続きな内容なのではありませんか？

Karyu：結果、そうなりましたね。ただ、サウンド的には真逆って言えそうな部分も入ってたりするし、地続き的なのは詞とか雰囲気の部分でっていうニュアンスの方が強いですけど。

――基本姿勢の部分について触れると、前作『REDEEMER』はメタル的要素もふんだんに取り入れられた、タフなロックバンドとしての1枚だったと記憶しています。対して、今作はD'espairsRayとしての原点を感じさせる部分や、あらたな側面をみせているところもあり、サウンド的には良い意味でより雑多になった印象です。

ZERO：これまでアルバムを出すごとに、横へ、前へと、このバンドはいろんな拡がり方をしてきたと思うんですよ。その中で、今回の4枚目は去年10周年っていう節目を迎えて以降、あらためて今までやってきたことを全てまとめつつ、D'espairsRayとしてのいろんな面を出せた作品になってるんじゃないかと思います。

TSUKASA：今回も最高の音を追求してった中で、いろいろ試行錯誤はあり

最先端の音が出来ました。

――かくして、音の面では多岐にわたっている一方、詞世界については今回ある種のトータリティも感じられるようなつくりになっていますよね。これはやはり、アルバムタイトル『MONSTERS』と連動したものになりますか。

HIZUMI：Karyuも言ってた退廃感は意識してたし、〝MONSTERS〟っていう言葉も俺の頭の中には前々からあったんですよ。

――不穏な空気感、そして人並みはずれた圧倒的存在感を持っているという意味で、この『MONSTERS』というアルバムタイトルは象徴的だと感じます。

HIZUMI：ただ、俺がもともと〝MONSTERS〟っていう言葉に対して感じてたものは、もっと人間の本質みたいなところだったんですよね。あとは、自分自身を投影した言葉でもあったり。

――つまり、〝MONSTERS〟とは直訳的な怪物ではなく、人間の本性であったり、人の奥底にある煩悩のことを指しているのですね？

HIZUMI：要は、いろんな意味での欲っていうのが、〝MONSTERS〟になるのかなと。今回のアルバムの詞は、そういう観点で書いたものが多いです。

――それでは、ここからは各曲についても具体的に触れていきましょう。まず、3曲目に入っている「13 -Thirteen-」についてですが、冒頭でKaryuくんは今作のイメージについて、【死へ向かうマーチ】という言葉を口にしていました。この曲は、それにそのままあてはまるものではありませんか？

Karyu：これはけっこう早い段階から出来てた曲で、イメージ通りに完成して、かなり満足してます。

――今回もっとも難産だったのは、どの曲でしたか。

Karyu：基本どれもですけど、1曲目の「Human-clad monster」は特にだったかな。最初、「LOVE IS DEAD」の延長線上で考えてたんで、デジタル方向のアレンジをしてたんですよ。そこから、ああいうバンド主体の音に切り替えたんで、そこがちょっと大変でした。

――でも、その方向転換は大正解でした

D'ESPAIRSRAY

口火を切るに相応しい仕上がりです。

Karyu：まぁ、この曲のタイトルが今度のツアータイトルにも繋がってたりするし、最初にひとつの方向性を提示するっていう意味では、インパクトのある曲になったかなと思います。

――そのほかに、コンポーザーとしての手応えを強く感じている楽曲というとどの曲でしょう？

Karyu：そうだなぁ…「DEVILS' PARADE」とか「dope」とか。

――前者はディスパ十八番の洋楽的アプローチが全開な曲ですね。後者は後者で、ヘヴィなリズムがマニアックに響く感じが聴いていて面白いです。

Karyu：「DEVILS' PARADE」に関しては、この変態な感じが楽しいんですよ。ここまで浮かれた曲も、なかなか無くないです？　相当皆して悪ノリしちゃってますからね（笑）。

HIZUMI：どんだけふざけたかってというと、Karyuはコーラス録りの時〝ヒーハー!〟って叫んでました（笑）。

Karyu：（笑）。さすがにそこはカットしましたけど。いや、でも、ZEROだって凄かったよ。

ZERO：あれは咽痛かった。それから2日間くらい、具合悪かったです（苦笑）。

Karyu：ここに来て、新しいキャラを開拓しちゃったよねぇ。

TSUKASA：これのレコーディングは、ほんと凄い楽しかったです。みんなの笑い声もそのまま入ってるんで、聴いてて皆もきっと楽しくなれると思います（笑）。

――ほかにも、今作には既発のシングル曲たちに加えて、LAメタル的ドライヴ感が濃厚の「DEATH POINT」や、シングルでもおかしくないほどの存在感を持った「FALLING」も大変素晴らしいです。また、TSUKASAくん作曲の「PROGRESS」は、伸びやかで力強い音の中に、メッセージ性も託された1曲となったようですね。

TSUKASA：この曲は、全体としてはメロディアスなんですけど、意外と破壊的で攻撃的なところもあって、個人的にはそこがとても気に入ってます。

――そして、TSUKASAくんといえ

「abyss」も手掛けていますよね。こちらは何とも秀逸かつ深遠な曲で、聴いていたら惹き込まれてしまいました。

Karyu：TSUKASAの書く曲は、どれも絶対俺には書けない世界を持ってるんですけど、この曲は特にそういう要素が強かったですね。

TSUKASA：この完成形と原形ではかなり曲調が違ったんですよ。でも、もともと海のイメージで作ってた曲ではあったし、今回こういうかたちになったことで、単なる海から深海を思わせるような世界に変わったと思います。歌詞の感じも深海っぽくて、これは自分で聴いてても映像が浮かんで来ちゃいますね。

――同時に、この詞世界からは、HIZUMIくんの言うところの【自分自身を投影した言葉】も伺えるような気がします。

HIZUMI：海にまつわる言葉は使ってますけど、表現してるのは海そのものじゃなくって、もっと精神的なものでしたからね。なんだろう…人って絶望の淵に立たされると、意外と素直に願うもんだなって、そんなことを思いながら書いた詞でもありました。これは、確か[illegible]に自分のことや自分の気持ちがけっこ[illegible]リアルに出ちゃってます。

――そして、きっとそこに滲む生々しさこそが、『MONSTERS』の真髄でもあるのでしょうね。これは本当に、聴き応えのある作品になったと思います。

Karyu：ヤバいですよ。今回のこの10曲の流れは本当に良い。これ以上曲数あったら胸焼けしちゃうくらい、内[illegible]チャクチャ濃いしね。

ZERO：曲数がある＝良いアルバムってわけじゃないってことを、俺らはこの『MONSTERS』で証明出来ましたよ。

――こうなってくると、今後のワールドツアー【Human-clad monsters】の方も実に楽しみです。

TSUKASA：特に「DEVILS' PARADE」なんかは、ライヴでも皆で、バカみたいに盛り上がりたいです（笑）。

HIZUMI：あの「DEVILS' PARADE」の歌詞は、まんまD'espairsRayのこと歌ってるしね。今度のツアーでは、あの世界が実際にあっちこっちに出現すると

(株) Sword Records　〒150-0011　東京都渋谷[illegible]東2-2-8[illegible]3F　TEL 03-3409-3323（平日14：00～18：00）

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

YOMI×RUKA（ナイトメア）

SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』
不定期連載でお届けしている、ナイトメア結成10周年記念企画・バン
対談『YOMI×RUKA』。対談撮影の様子をムービーにて公開!!

■ジュイ（ヴィドール）

本誌掲載の撮り下ろしフォトのアザーカットを待受配信!!

■Triangle Prism Vol.2

6月25日高田馬場AREA『音楽せんか？PRESENTS「Triangle Pr
Vol.2」』の模様を公開中!! 愛狂います。/ BugLug / v [NEU] / the LE

音楽せんか？

ARENA37℃とSHOXXに掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん！ ここでしか観ることが出来ない
メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアク
月額315円の会員になれば、待受取り放題・ムービー見放題!! その他楽曲試聴や、着うた、アーティストのコラムも読め

SHOXX×びじゅけい　ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾！
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね！→→→→

びじゅけいpresents 大阪イベント 開催!

「Revolutions」- 〜四面楚歌・浪速編〜 -

★2010.8.20(金)大阪MUSE OPEN17:00　START 17:30

・LuLu(ゲスト) /ベルベット(ゲスト) / カル・ヴァリ / VELGREED /DISQLOC. /SOMATIC GUARDIAN / Jackman

☆7/11(日)より一斉発売　（問）大阪MUSE/TEL:06-6245-5389

■びじゅけい presents「Revolutions」〜四面楚歌・浪速編〜
2010.8.20(金)　大阪MUSE
開場17:00/ 開演17:30　前売券￥3,150(D別)/ 当日券￥3,600(D別)

・ローソンチケット /http://l-tike.com(L: 未定)/A.001〜
・ライカエジソン大阪店 //B.001〜
・MUSE店頭 /C.001〜　※A.B.は同時入場→C.

数々のアーティスト電子書籍を配信中!!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック
「SHOXX FiLE　ナイトメア Edition1」が
ケイタイ書籍になったよ！

〜グラビア堂書店 P
モバフ

QRコードからアクセス！

DaizyStripper

フルアルバム２枚同時発売の衝撃!!
入魂の音霊集『BIRTH』、『LOVE』リリース!!

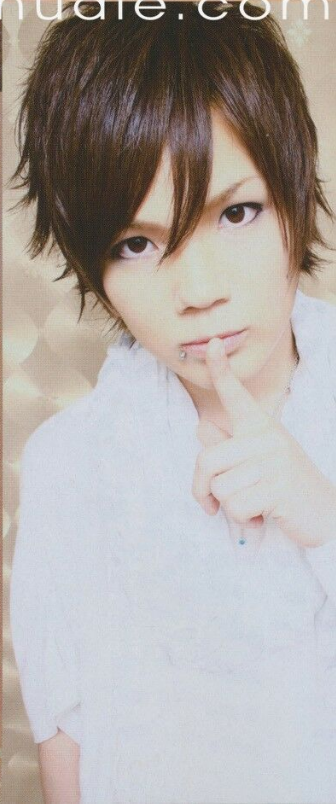
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ステージで
みんなが走り回っている
様子が浮かぶ

8月11日に、初のフルアルバムを2タイトル同時でリリースするDaizyStripper。初期からの人気曲を集めた『BIRTH』、これからのデイジーを指し示す『LOVE』。両方を聴くことで、彼らが伝えたいことがわかるはずだ。更に、この作品に関して深いところを突いたインタビューは、今月発売の別冊「グリッターポップ」に掲載されているので、そちらもお見逃しのないように!

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Location:EARTH 新宿店 (http://www.hairmake-earth.com/)
Interview:ERI MIZUTANI



BIRTH
【普遍性の再確認】

──『BIRTH』は、過去のシングル曲が入っていないそうだけど。

夕霧：普通ならシングルで出した曲も入れるんでしょうけど、枚数を限定して発売した作品もあるので、それを入れてしまうのは、苦労して買ってくれたファンの子に対して申し訳ないなと。

まゆ：あとは、過去のシングル曲を入れなくてもデイジーには良い曲がたくさんあるし、他の曲でも充分この作品が成り立つと思ったからなんです。

──確かに。ちなみに、曲順に関しては満場一致で決まったことなの？

夕霧：自然と決まっていきましたね。

まゆ：ライヴでやっている曲が並んでいるだけに、ビジョンがはっきりしていたというか。

風弥：この曲聴いた後はこの曲が聴きたくなるんだよなぁ、っていうのがうまく当てはまったって思います。

──ライヴでお馴染みのSE、「KAMAKURA」から「Trigger」へ。ほんと、この流れは最高だよね。

風弥：今回、流れと曲間にすごくこだわったんですよ。

まゆ：そこで、ただの曲の寄せ集めではなく、ストーリー性のあるアルバムになったんじゃないかなって思います。

──曲の中身も、今回音源化するにあたって変化を加えていったそうだけど。

風弥：「Trigger」はリニューアルしました。聴いてもらうとわかると思うんですけど、メロディとして残っているのはサビなんですよね。それ以外はかなり変えていきました。それにより、曲の雰囲気がガラリと変化したと思います。

夕霧：思えば、これほどまでに自分を出した歌詞はないですね。リアルな感情、それがここには詰まっています。この曲を聴いて、涙し、それが引き金となって一緒に前を向いて歩いていけたらいいな、そんな想いも込めました。

──「罪な罰」と「白蝶乱舞～White Butterfly～」も人気の高い曲たね。

風弥：前々から、音源化してほしいっていう声がかなりありまして。なら、今しかないかなって。構成や雰囲気は変わっていないんですけど、曲の輪郭を整えた感じにはなっていると思います。

なお：これも、初期の頃からライヴでやっているだけに、レコーディングをしているとファンの子の顔が浮かぶんですよね（笑）。

まゆ：きっと、3年前だったらここまで肩の力を抜いてレコーディングすることはできなかったと思うんです。でも、それが今では楽にできる。自分で言うのもなんですけど、成長を感じました。

──成長と言えば、その後の曲も。ここからは、みんなが試されているなって感じがしたな。

夕霧：確かに、「ルード・ボーイ(Re:birth)」は、試されているなって思いました（笑）。これ、感情が入っていなかったら全く伝わらない曲だと思うので。

Rei：そうだね。そこから「ベイビーキングダム」へと続いていくんですけど、これも演奏していると、ライヴの光景が目の前に広がるんですよね。それが頭にあったからこそ、こうした勢いが出せたと思うし、デイジーのライヴノリってこういう感じなんだなっていうのが、聴いた瞬間に想像できるんじゃないかなと。

──また、その後に、「-absolute-」が入ることで、最後までダレることなく聴けるというか。

風弥：アルバムって、1本の映画みたいなものだと思うんです。だから、「-absolute-」を挟むことで、ラストはどうなっていくんだろうって思わせたかったんですよね。更にそこで、作品の変化を感じてもらいたいなって。あと、デイジーのことをよく知っている人なら、ここに隠されている〝何か〟に気付くはず。でも、その正解はここでは秘密です（笑）。

──そこから、駆け抜けるようにして「BLACK DROPPer」「decade」が続き、最後は「SMILE WORLD」で締めくくられると。

Rei：「BLACK DROPPer」はデイジーが始動してすぐにやった曲なので、大変思い出深いです。

風弥：すごく、うちららしい曲だしね。まぁ、それは、「decade」と「SMILE WORLD」もですけど。特に、ラストの「SMILE WORLD」は、みんなの心に響き渡る1曲になったなと思います。

夕霧：全曲を通し、いかにしてデイジーというものが形作られたかというところを感じてもらえたらいいなと思いますね。

DaizyStripper

LOVE
【カオスの中での再発見】

──『LOVE』のコンセプトは？

夕霧：〝愛〟ですね。この前のワンマンツアー「LOVE AFFAIR TOUR」が終わって改めて感じたんですけど、僕たちはファンの子の愛に支えられているなと。それで、恩返しの意味も込めて、作品タイトルを『LOVE』にしました。

──色々な愛の形が詰まっているよね。

風弥：1曲目の「トレゾア」は、邦楽らしからぬ、長めのイントロとなっているんですけど、そこで異空間を出したかったというか。

夕霧：聴いたとき、重くて大きな扉が開く印象を受けたんです。なので、始まりを感じさせる言葉を詩にも含ませたんですけど、アルバムの最初に相応しい曲になったと思います。

──「密会」も風弥さんの曲だね。

風弥：僕、曲の作り方を今までと変えたんです。『LOVE』を作るにあたって、自分というものをリセットしてみたんです。それにより、「密会」では今までと違うアプローチができたと思います。

Rei：ライヴだと、かなりのキラーチューンになるんじゃないかな。もちろん、既にライヴの映像は見えています。

──Reiさんの作った「Seaside Avenue」も、情景が見える曲になっているよね。でも、意外だったな、Reiさんは確実にクールな曲を持ってくるだろうと思っていたから。

Rei：意外かもしれないけど、僕、恋愛が絡むと、直球なんですよ（笑）。それで、こうした爽やかなものになったんだと思います。まぁ、これを聴いて、みんなの恋が叶ったらいいなって思いますね。恋愛成就の曲なんで、ぜひ。

──あはは（笑）。で、次の「Farewell Line」は、まゆさんの曲だけど。

まゆ：実はこれ、夕霧と一緒にバンドやろうって思ったときからあった曲で。こういう曲があっても良いバンドでありたかったんですよね。なので、今回収録されて、すごく感慨深いです。

風弥：まゆの人間性が出ている曲だよね。「深海」は、俺が作ったんですけど、前の2曲と比べると、すごく暗く聴こえると思うんです。そうしたのは、ここでしっかり泣いてほしかったから。人間って、泣いて成長する生き物だと思うんです。なので、これを聴いて泣いて下さい。

──「letter」も泣けたよ。なおさんの作る曲って展開が多いんだけど、これはすごくシンプルで。

なお：シンプルだからこそ、個々の音が引き立っているのかなって思いますね。

夕霧：詞は、僕のすごく大好きな人に宛てて書きました。

──ここに描かれている愛、とても共感できたよ。そして、続いての曲は、「幻想は憧れた日々に映る現実」。いつもコンパクトなタイトルでまとめてくるだけに、珍しいなぁと。

なお：あぁ、そうですよね。最初、ゆうちゃん（夕霧）から、こんなのどう？って、紙に書かれたタイトル案を見せられたんですけど、僕、そこに書いてあった全部がタイトルなのかなって勘違いしたんですよね。これは長い！5行もあるよ！って（笑）。まぁ、さすがにそれはなかったんですけど、単純に、激しさを楽しんでもらえたらいいなって思います。

──「DIRTY STARRY」も爽快だね。勢い重視で進んでいって。

なお：激しい曲を作りたいなって思って[illegible]できた曲です。僕としては、「BIRTH」に収録されている「ベイビー[illegible]ム」に対抗しているんですよね。[illegible]やラップも入っているし、面白く聴けるんじゃないかなって。ライヴで[illegible]るか楽しみですね。

夕霧：ライヴでは、コーラス部[illegible]な声で叫んでもらいたいです。

──「名もなき道」は、しんみり聴ける曲だよね。

風弥：年齢も人種も超えて、[illegible]ちから、良い曲だよねって言ってもらえる曲にしたくて。いつまでもこういう曲を作り続けていきたい、そういう想いも込めています。

──最後は「STAY GOLD」。みんなの未来を明るく照らすような曲だなって。

風弥：ステージでみんなが走り回っている様子が浮かびますよね（笑）。

──これを聴くと、早くライヴが見たくなります。

まゆ：そこは日本青年館と渋谷AXでのワンマンを期待していて下さい。当日は、『BIRTH』と『LOVE』、2つの世界観を見せていこうと思っているので。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

最新シングル『AURORA-destinies of world』リリー

新しい事柄の始まり。

新生Megaromaniaが、メンバー脱退を乗り越え、KISAKIプロデュースによ
キシ・シングル『AURORA -destinies of world』を8月4日にリリースする
ビのメロディーが印象的なタイトル曲はもちろん、カップリング等が違う4タ
があり、どれも充実の内容に仕上がっている。発売後、5ヶ月連続で趣向を凝ら
主催イベントを開催するなど、ここからまた精力的な活動を展開して行く彼ら。
な創造の美学がここから始まる。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

――『AURORA』は、4人になって初めての音源ですね。

翠：まずコンセプトを定めたときに出た言葉が、AURORAだったんです。黎明、出発とか、新しい事柄の始まりという意味だし、いろんな色の輝きを放つ、そういうところもメガロマニアとつながるし。それで、「AURORA」というタイトルで行こうっていうのが前提でありました。

――そこで、翠君と美沙麗君が一緒に、タイトル曲を作ったんですね。

美沙麗：翠君がサビの歌メロを作って来まして、そこから作りました。初めて聴いた人にもスッと入って来れるメロディーで、曲の長さも4分くらいで、一回聴いて頭に残るようにしたいなと思って。ギタリストとしては、歌に負けず、すごいメロディアスなソロを弾いて、でもテクニック重視の要素も入れました。

――そこで蜘影君は？

蜘影：基本的に俺はリズム寄りなんで、支える感じですね。シンセとかも極力削って、バンドサウンドを全面に押し出してます。A面なので、すんなり聴けるように、シンプルにまとめました。

氷牙：ベースは疾走感を出しつつ、サビでは、ギターの裏で歌ってるんですよ。

翠：暗く閉ざされた世界が背景なんですけど、サビでは新しい世界に連れて行くことが描かれているので、それがバックのサウンドにも反映してるんですね。

――歌詞の内容は、そういう物語？

翠：目の前は閉ざされているけど、大事な人を引っ張って新しい世界に連れ出してあげるようと。これはバンドのことでもあって、3月にメンバーが脱退して一時活動休止したんですけど、この作品を携えて、もっと広いいい景色に連れて行こうっていうメッセージでもあるんです。

――なるほど。Aタイプには、「AURORA」のPVが付きますが、どんな映像ですか。

氷牙：まさにAURORAです（笑）。

翠：今回は珍しく屋外でも撮りまして、突き抜ける感じを出してます。

――Bタイプに収録される「Punish for pain」は、同期を多用してますね。

蜘影：ガンガンですね。ライヴを想定して作った感じです。俺の中でメガロマニアにはダーク寄りなイメージがあるんで、それを前面に押し出してます。さらに、どこかひねってるところとか、世界観が出てるところも作ってみました。女声コーラスも新しい試みとして入れてます。

氷牙：これは歌い手としても参加して、シャウトを入れてます。でも、そんなにシャウト出来ないんで、メンバーはくすくす笑ってました（苦笑）。

――Cタイプ収録の「Disillusion on heaven」は、聴かせるタイプの曲。

美沙麗：翠君からテーマをもらって、こういう曲ってないなと思って、そこから広げて行きました。他の曲が濃いので、やっぱりこれで行くしかないと。

翠：「AURORA」とはまた違うストレートさですね。歌詞では、目の前にはいない人に捧げる自分の素直な気持ちと言うか、面と向かっては言えないけれど、独りだからこそ言える素直な感情を綴ってます。

――Dタイプ収録の「Sabbath」では、スピード感と勢いで押しまくっています。

美沙麗：かなり前からある曲で、今回4人になって絶対この曲は出したいって思った曲です。翠君のイメージが男性的に変わったので、それを100%生かせる攻撃的なサウンドに変えました。

――ギターソロも弾きまくってますね。

美沙麗：やばいです。左手がテンポが速くて追いつかないんですよ。

氷牙：僕も、右手の残像が残るぐらいにただ16分を刻んでます。

――メガロマニアらしい曲ですね。

氷牙：そこにまた新しい要素をプラスしてる曲ですね。

――4タイプどれも気になる内容です。

美沙麗：全部買って損はないと思います。僕がお客さんだったら絶対買います。

氷牙：4つ揃えると願いも叶います（笑）。

――発売後、5ヶ月連続で都内でイベントがありますね。

翠：各々、2会場同時開催で、両方に出て、一日2公演になります。

――リクエストライヴもあるとか？

氷牙：それがどっちの会場になるかはわからないし、どっちかでしか見られないメガロマニアが見られるかもしれないし、いろんな試みがあります。

蜘影：楽しそうですね。

翠：この企画は、この先のことも見据えての新たな試みなので、やり遂げれば、また違うステップに進めると思います。

花少年バディーズ

爽やかなバディーズ!?
thシングル『バレリーナ』リリース

蝴蝶网
hudie.com

花少年バディーズが8月4日に放つニュー・シングル『バレリーナ』は、なんと、バディーズ流のサマーソングが登場!! これからの彼らのイベントや単独公演のために、夏を元気よく駆け抜けるために、そして会場全員で楽しむために、軽快な楽曲が揃ったシングルだ。これまで以上に自由度を増した音源制作を経た彼らは、ココロもカラダもますます軽くなったよう…!?(笑)

Interview:RIE MAKINO

—今作「バレリーナ」は、バディーズ流のサマーソングを集めた作品になってますね。

ミネムラ：夏にはイベント・ツアーもあるので、元気よく夏を駆け巡るのに持って行きたい、選りすぐりの夏の曲を集めたんだよね。タイトル曲は、結成当初からストック曲の中にあって、やっとこの夏のタイミングで出せる時がきたなって。

広志：元々はヘビメタみたいな激しい曲だったんだよね？

—えっ、そうなんですか!?（笑）

ミネムラ：俺ギタリストでもないのに…あ、ギタリストだった！（全員爆笑）速弾きとかツインギターもすごい入れてて。

ツブク：こういうのも作るんだ!?って思った。ギタリストじゃないのに。

ミネムラ：いや、ギタリスト！（全員爆笑）だから最初、〝次は「バレリーナ」にするよ〟と言った時、一瞬みんな〝えっ

ンジのままではやんないよ〟って言って。

獏：歌メロも全然変わったしね。今までの作品を経たからこそ、今回のような形に仕上がったと思う。

—原曲がヘビメタとは思えないほど、夏の開放感溢れる曲に仕上がってます。

ミネムラ：若者のサマーパーティのような。若者が〝サマーパーティ〟と言うかどうかは分かんないけど（笑）。

琢磨：イメージはサマーパーティ（笑）。

—そこをみんなで確認した上で進めていった感じですか？

ミネムラ：俺たち日常がそうなんでね！

—ミネくんの頭の中だけじゃなくて？（全員爆笑）

ミネムラ：俺の頭の中はパーティだけど、外はパーマです。

全員：……（失笑）。

琢磨：ギターは原曲のハードロックな部分を残したことで勢いが出たなって思う。

ツブク：リズム隊は原曲からすごい変わって、夏に駆け出していきたくなるようなハネる感じで弾いたかな。

獏：歌は、語尾に気をつけて。特にサビは、爽快に抜ける感じを出したかな。

—カップリングの「ビードロを吹けば」は情緒あるミドルナンバーですね。

ミネムラ：若さ溢れるエネルギッシュな曲も大事だけど（笑）、こういう長く愛されるであろう曲をしっかりと作りたいなっていうのが、ミュージシャン気質としてあるんだよね。

ツブク：このドラム、すげぇ良かったもんなあ。聴いた時、笑ちゃったもん。〝すげぇの叩けるんだ、コイツ！〟って。

広志：イントロとかね、若い子には…僕も若いけどね！（笑）こういうドラム・アレンジする人はあんまいないと思う。

ミネムラ：ベース・ソロも神懸かってたね。

ツブク：ただ柔らかく弾くんじゃなくて、ソロの一瞬だけジャリッとさせて。曲を引き締める役割としてはよかったかな。

—琢磨くんのアコギやシンセが、懐かしい雰囲気を醸し出してますね。

琢磨：歌を活かすように、アコギ本来の、土台を支える感じでやったかな。

ミネムラ：あと、アコーディオンも情緒っぽく入れたりして。夏の終わりの寂しさを出したくて。そういうの日本人、

若者のサマーパーティのような……若者がそう言うかは分からないけど（笑）

えても日本人なんで。フランス人っぽく見えるかもしれないけど。

—髪型だけね（笑）。獏くんは？

獏：気持ちを込めすぎると暑苦しい感じになっちゃうから。夏の夜をイメージするような、さらっと聴ける感じを出したいなって思って歌ったかな。

—Type-Aの3曲目には、満足メンバー（悠希／人格ラヂオ、福助。／ADAPTER。、慎一郎／Jully）がミネくんを題材にして作詞作曲した問題作「老いWAKAME」が、バディーズ・ヴァージョンで収録されてますね。

ミネムラ：〝バディーズはイマイチ曲がパッとしねーから、俺たちがパッとした曲を作ってやる〟って言って作ってきたのが、このパッとしたヤツで（全員爆笑）。俺への愛を感じる悪口ソングだったっていう（笑）。

—それをバディーズ流にアレンジしたら、ラテンになったと（笑）。

琢磨：夏だしね！

獏：ラテンも、これを逃したらやる機会ないからね（笑）。

ツブク：そういう曲を聴きながら打ち込みを作ってる作業がすごく楽しかった。

ミネムラ：うん、みんなでラテンを研究しながら何となくで作っていったら、こんなに本格的になったから嬉しくて（笑）。

—Type-Bには「Skip the OTOMETIC（Theme of「N女桜J」）」、そして前ミニ・アルバム『Balloon』で好評だった「ボンビーマン」の別ヴァージョン、「ジャンバーマン」が収録と。

獏：僕の気持ちヴァージョンかな（笑）。

—（西城）秀樹のモノマネもしてますね（笑）。夏の開放感と一緒に、遊び心が詰まったシングルになって。冒頭の話にもあったように、夏のイベント・ツアーも楽しくなりそうですね！

ミネムラ：イベントとかだとどうしても〝対バンのお客さんを取る！〟みたいなのがあるじゃない。俺ら全くないから（全員爆笑）。会場全体を楽しませること、自分たちが楽しんじゃうこと、それが楽しみで仕方ない。9月から単独公演もあるんだけど、2010年に発表した曲たち全てがうまい流れでショーアップされることを考えて作っているので、早くそ

蝴蝶网
hudie.com

Wizard

BIOS

5人の集大成

オフィシャルHPでも発表されているとおり、8月14日に行われるワンマンライヴ「Romancing Ka･Ma」をもって、HIRO、咲綺、悠～はるか～の3人がWizardを脱退する事になった。"一体、何故……?" "これからのWizardはどうなるの?" そんな疑問を解消すべく、ヴォーカルのkaitoと、ギターのますみに話を訊いた。

Interview:ERI MIZUTANI

——あまりにも急なことで驚いたのですけど、メンバー脱退のいきさつから話してもらえます?

kaito：Wizardが始まって7年、今日に至るまで山あり谷あり、色々なことがあったわけですけど、8月14日のワンマンライヴをもって、HIRO、咲綺、悠～はるか～、の3人が脱退する事になりました。脱退の大きな理由としては、音楽性の違いとかではなく、Wizardで出来ることをやり尽くしたという感じなのだと思います。

——難しい問題に直面しましたね。

kaito：はい。ただ、前にも一度、メンバーの脱退という危機に直面しているじゃないですか。あのときは、"5人じゃなければWizardじゃない"と宣言し、この5人でバンドを続けることを選んだんですよね。けれど、今回は残念ながら、それは望めなかった…。でも俺は、1人になってもWizardを続けていきたかったんです。さっき言った言葉と矛盾してくるので、この選択がファンからどう受け止められるかわからないですけど、今まで積み上げてきたものを簡単には壊したくなかった。それが、解散を選ばなかった最大の理由です。

ますみ：俺は、本当に迷いました。メンバーが3人も抜けてしまった後、どうするのだろうって。でも、kaitoから"1人になってもWizardを続ける。形さえ残っていれば、ファンからWizardを奪わないで済むから"と聞かされて。それで、残ることを決めたんです。思えば、俺が加入したとき、一番の決め手となったのはkaitoの歌声だった。だから、これからも、kaitoの横でギターを弾いていたいなって思ったんですよね。それに、今までWizardをやってきて、色んなものをもらった。喜びだったり、楽しみだったり。そういった感謝の気持ちを、これからファンのみんなに返していきたいなって。ただ、結果的に、この5人でなければWizardじゃないという公約は守れなかったのは非常に申し訳ないと思っています…。

——でも、頑張っていくと決めた以上、前を向いていかないと。

ますみ：うん、そうですね。

——そして、8月4日には、現メンバーでのラストアイテムがリリースされますが。

kaito：今回、6曲入りのミニアルバムになっているのですけど、Wizardが集約された作品になったかなと。俺が作ったのは、「VERMILLION」「SWEETLESS」「FateShipsEveR」「airydrops」「帰らぬ背中」の5曲。そのどれもが、Wizardらしいし、ますみの作った「憧憬アモール」を含め、優しさが溢れていると思います。

ますみ：俺の出した「憧憬アモール」は、バンドサウンドはもちろんのこと、これからの挑戦が詰まった1曲になっていると思います。kaitoの作った5曲とはまるで違うものになっているだけに、良い意味で、異色かもしれません。

——確かに。ちなみに、作品タイトルの意味は?

kaito：「BIOS」とは、Basic Input/Output Systemの略なのですけど、Windows等のパソコンを構成するために必要なプログラムのことなのです。このプログラムを使うと、できる範囲が広がるのです。そういうことをバンドに置き換えたのですよね。そこで、色々な可能性が見えるかなと。

——それだけに、大事な作品となりましたね。

kaito：もちろんです。

——活動してきて7年、という貫禄も感じられましたし。

kaito：貫禄ですか。……もしや、それ、俺の見た目のことですか?

——違います。って、最後に何を言い出すのやら(笑)。

kaito：つい(笑)。そうそう、8月14日のワンマンは「Romancing Ka・Ma」って付けたんです。俺、今までずっと、カマキャラを貫き通してきたじゃないですか。なので、現メンバーでのラストワンマンも、とことんやってやろうと思って、こうしたタイトルにしました。

——それでこそ、Wizardです。

ますみ：ですよね(笑)。7年の集大成をここで見せますよ。

kaito：最後ですからね、気合い入れていきたいと思います。全力でやりますので、ぜひ受け止めて下さい!

(問)東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld. ☎03-3268-8803(平日12～18時) http://w-i-z.com/

大佑と黒の隠者達

深まる自己嫌悪、高まる自己愛――。

"大佑と黒の隠者達"が、6月11日・渋谷O-EASTでワンマン・ライヴ『～恍惚は雨と共に…～』を行なった。そこで大佑が吐き出した圧倒されるほどの感情は、7月21日発売の2ndシングル『嫌』で、その暗さ、やるせなさ、どうしようもなさをさらに増したものになっている。自己嫌悪にまみれながらも、自己顕示欲もあらわなままに、そんな自ら自身を吐き出さずにはいられない大佑。その行為を通して、彼は何を目指

――先日行なわれた2度目のワンマン公演はいかがでしたか。

「全国の大佑ファンに耳寄り情報です。ライヴで、あばら骨に1本ヒビが入って、1本折れました。それもたぶん3曲目ぐらいだと思います。それからは変な汗を流しながら歌ってたんです。ライヴでの怪我が5回目なんですが、この間はもの

んじゃないかと余裕を見せていたんですけれども、喋るのも痛いので病院に行ったら、見た瞬間に"折れてます"と。昔だったらこういうのは隠してると思うんですが、O-EASTをやり切ったので、敢えて言っていこうと思います。私は頑張ってるんです、と」

――そういうアピールをしようという

Photography:HISANA HIRANUMA（LIVE）
Interview&Report:MIYUKI MURAYAMA

じさせませんでしたよ。

「痛いのに敢えてシャウトする、みたいな自分に感動しましたから」

――ライヴの内容に関してはいかがでしたか。

「骨折のせいもあって、吐き出す感みたいなのは増したんじゃないかと思います。ちょっとしたハンデを抱えると、より強いものが出せますね。後から聞いて知ったんですけど、MC中に虫が飛んでいたとか？」

――飛んでましたね。気づいていらっしゃらなかったんですね。

「笑いが起きて、何かあるんだろうなと思ってました。後から聞いて、（自分が）いいもの持ってるなと思いました」

――いい演出でした（苦笑）。さて、最新シングル『嫌』ですが、2曲とも自意識に対するこだわりが出ている曲ですね。

「自分が自分が、と言いながら、自分が嫌いなんですけどね。自己嫌悪と劣等感と嫉妬の塊ですから」

――そこで「嫌」では、自己嫌悪の極みに辿り着いたと。

「でも、結局自分で死ぬことも出来ないようなダメさ加減なので、最後は殺してくれと言ってるんです」

――「愚の消滅」では、自分が一体何者なのかという疑問も提示していますよね。

「自分は何なんだろうと思いますよね。ライヴをやってる時がいちば[illegible]の自分だと思うんです。でも、い[illegible]そういう自分ではいられないことが[illegible]ようもないなと。街で気づいたら、もうちょっと声をかけてくれたらいいんですけど、全然気づかれないんです。街[illegible]ると、私の話をしてるのを耳に[illegible]はですよ。でも、気づかれない。華がないのかなと思います。残念です」

――（苦笑）そんな歌詞[illegible]ありなが、「嫌」の曲調は、勢いのある[illegible]ですよね。

「今回は、勢いで行こうかなと。分かりやすいリフがあるみたいな感じですね」

――一方、「愚の消滅」はピアノの入ったアレンジがおしゃれな印象です。

「それは、みんなで考えましたね」

――そして2曲とも、歌詞は曲調に影響されていないと。

「『嫌』のサビは、去年ぐらいの出来事ですね。よくため息をつくと幸せが逃げちゃうよって言われるじゃないですか。

蝴蝶网
hudie.com

のような歌詞にも取れますけど。

「遺伝なのかもしれないですけど、付き合ってる時に、もう別れることを考えてしまうんです。旅行に行く往きの車で、帰りの渋滞を考えて黙るみたいな。いつもそうなんです。父もそうだったんです」

——そういうネガティヴ思考が不幸を招いてるんでは？

「たぶんそうだと思います」

——そこでもう〝嫌〟になってしまった？

「何ひとついいところがないような気がしますね」

——でも、自分のことを愛したい、愛されたいという気持ちも見られますね。

「本当は誰かといたいんです。でも、近づかないでくれと言ってますからね」

——どうせ傷つけ合って、また傷つくなら、と。それでもやっぱり一人は寂しいんですよね。

「そうですね。この間、猫に目薬をさしてあげようとしたんです。結構大変ですよね。それで、猫を押さえつけたら、バチンとやられまして。その時、〝お前もか！〟って言いました」

——猫に対してまで（笑）。

「こっちは治してやろうとしてるのにと。全てブルータスに見えるわけです、〝お前もか〟って」

——みんなが大佑さんを裏切るように思えるわけですね。

「でも、いちばん私を裏切ってるのは私自身かもしれないですね」

——なるほど。

「何ですかね、今の。いいこと言ったみたいな風でしたね」

——いえいえ、いいことおっしゃってます。「愚の消滅」に出て来る〝君〟は、もうすでに消えているように取れますが。

「これは彼氏彼女ではなく、広い意味での自分と学校とか自分と会社とか、そういうものですね。私で言うと、〝私〟と〝バンド〟みたいなものですかね」

——それは、微笑みかけたりするようなものには見えないんですか。

「包んでくれてるのに、私がダメな部分が多くてそれに気づけずに、いろんなものを壊しちゃってるような気がします」

——あくまで自分のせいになってしまうんですね。

「そうですね。人のせいにするよりは、自分のせいにしておいたほうが気が楽な

第二回興行　〜恍惚は雨と共に…〜　2010.6.11 SHIBUYA O-EAST

【set list】
SE.漆黒の光
1.葬送
2.嫌
3.光の影
4.地下道に流れる、ある独りの男の「悲痛な叫び」にも似たメロディー
5.怨み言
6.愚の消滅
7.嘘と迷路
8.グリード
9.R指定
10.独裁者の涙
11.朦朧エピローグ
12.ザッヘル
En1.翻弄
En2.執行猶予三年
En3.独裁者の涙
En4.葬送

ワンマン・ライヴは、鐘の音と荘厳な調べと共に幕を開けた。ステージに目をやると、大きな洋館のシルエットが映し出され、蝋燭を模した灯りがゆらめいている。妖しげな空間の中央、群がる隠者達の中から大佑がその姿を現した。

暗く重々しい世界が広がるオープニングから、いざ曲が始まると大佑は激しいノリに身を任せ歌い上げる。実は、ライヴ開始早々のダイヴであばら骨を折っていたというが、鬼気迫るパフォーマンスからはそんな影響は全く感じられなかった。タイトルどおり、悲痛な叫びを響かせた「地下道に流れる、ある独りの男の「悲痛な叫び」にも似たメロディー」、重苦しいじっとりとした空気を漂わせた「怨み言」、ステージの背景に歌詞を表示して、物語の世界と共に痛み、苦しみ、哀しみを露わに伝えた「愚の消滅」と、趣きは変えつつも、根底に流れる逃れようもない暗さが、観る者の心に忍び寄って来る。特に、断片的に耳に飛び込んで来る、歌詞の言葉のインパクトにはしばしばハッとさせられ、作詞者としての大佑の才能と、自己嫌悪や自己顕示欲を招くその心の奥の自意識の深さを改めて感じた。「R指定」といった蜉蝣時代の曲も交えながら、さらに盛り上がりを見せてライヴは展開。〝東京、犯してくれ〟という狂ったような叫びを上げたかと思うと、全てをオーディエンスに投げ出すかのようにダイヴする。「ザッヘル」を終えると、本編はあっけないほど潔く締め括られた。

それに対しアンコールでは、「執行猶予三年」で延々と煽り続ける。ますます熱くなる会場へ、最後に贈られたのは「葬送」。切迫した想いが吐き出される中、そのまま幕が閉ざされ、その姿が見えなくなっていく。音が鳴り響く中、それから先に一体何が起きたのか。どこか不吉な予感を招くような、狂乱の幕切れとなった。

大佑という一人のアーティストとしての個性を、さらに色濃く押し出したステージは、人間の持つ負の感情を見せつけるような重苦しい空気と、ロックバンドの放つダイナミックなサウンドに満たされた。ライヴとして、満足感は高いだけに、表現の内容が今後どのように進化、そして深化していくか期待したい。

——人のせいにして攻撃するのではなく？

「この間、久しぶりに怒りま[illegible]ね。自転車に轢かれた時に。その時はちょっと怒りすぎたと反省しました。まだまだ修行が足りないなと。たぶん偽善者なんですね。いいことをしないよ[illegible]偽善者のほうがいいと思ってる[illegible]人身事故を救ったこともあるん[illegible]電車でおじいさんがホームか[illegible]んで、電車を止めるボタンを押[illegible]線路に降りて電車を止めました。[illegible]大佑ストップを見せました。その後にさっき自分が取った行動を思い出した[illegible]、膝がちょっと震えましたが」

——いろんなことをされ[illegible]ね（苦笑）。当分こういう歌詞を書いていきそうですか。

「新曲2曲を家で書こうと思ったら、3時間で2曲書けました。自分という面白いマスコットがいるので、困らないです」

——今回の2曲も、大佑さん自身をそのまま出せたんでしょうね。タイトルからして「嫌」ですからね。

「タイミング的には、全然夏っぽくないですけど」

——夏っぽいものも作れるんですか⁉

「分からないです。でも、ポカリスエットのCMを狙っていこうかと思ってるんですが」

——…まぁ、「嫌」は曲調的にはいけなくもないかとは思いますが…。

「この歌詞では、ポカリスエットがマズくなりますね」

——（苦笑）テレビとかで自分の歌が流れたりしてほしいんですか。

「〝何だよ、この曲うるさいな〟と言って、〝あ、私か〟って。周りに人がいる時に、やってしまいそうです」

——そこはすごい自己顕示欲ですね

「イヤらしいんです」

——それならば、やはりたくさんの人に聴いてもらえるといいですね。

「いえ、鞄に余裕があるなら、買っていただければ嬉しいです。邪魔になったら捨てていただいても構いませんので」

——そうおっしゃらず、せっかくなので聴きどころをお願いします。

「2曲通して、歌詞の内容を聞き取りながら聴くと、実はこの人ダメな人なんじゃないの？っていうのが見えて来ると思うので、人間性をチェックして下さい」

蝴蝶网
hudie.com

ν[NEU]

あ、みんなで輝く未来へのウェーブにのっかっていけ！！
8月4日最新シングル『-wave-』リリース！

人間味みたいなものをテーマにして音を作りました。

の東名阪ワンマンツアーを成功に終え、着々と成長を重ねるニューが、8月4日にマキシシングル『-wave-』をリリースする。
バンドとして重ねた経験をしっかりと制作に活かし、
これまでより幅を広げた作品を作り上げた彼らからは、強い自信も感じられる。
のままの勢いで再び挑む東名阪ワンマンでは、どんなステージを見せてくれるだろう？　期待を胸に会場へ足を運びたい。

Interview：MIYUKI MURAYAMA

──アルバム『LIMIT』後の作品ですが、制作にあたって特に意識したことは？

ヒィロ：前回リリースのアルバムまでで、この5人のニューの第一段階は終わった気がしたんですよ。それからその先に進むために、ニューの根底である、テクノとかエレクトロだけじゃなく、もっとナマっぽさとかバンド感を追求して作ったのがこの3曲です。もうちょっと振り幅を広げたかったんです。

──その辺りは、皆さんどんな風に考えてましたか。

華遊：ライヴをやってる中で人間味みたいなテーマが出て来てたので、それを音源にしたいと思いました。

タクミ：去年はギターがあんまり出てなかったんですよね、音的に。今年は、ギターもいるんだぞ的な感じで。それが「-wave-」で一番わかると思います。

Яе-：最近はナマでのアプローチが面白くなって来たんで、ナマっぽいうちらがどんどん出せてるんじゃないかと思います。

──タイトル曲の「-wave-」は、すごくキャッチーな曲ですよね。

みつ：ニューって、メロディーがポップでキャッチーで、音がデジタルなんで、アニメのオープニング曲みたいってよく言われるんです。それがうちらの得意分野なんだったら、そっちの路線でがっつり行ってみようかなって話して曲を作りました。

──確かにアニソンっぽいです。

Яе-：でも実際にバンドで合わせてみたら、ナマのドラムが入ることで、そこまでアニソンでもなくなるのかなって。

タクミ：ギターも機械的に行きたかったんですけど、プロデューサーさんに言われて荒々しく弾いてるし。

──ただのアニソンではないと。

みつ：自分は機械的な声とは逆なタイプの声なんで、こういうも、もろアニソンみたいにはならないと思うんですね。やっぱりバンドなんで、そこは出せたと思います。

──でも、このキャッチーさを活かして、ぜひアニメのタイアップを。

みつ：それは、おいおいこれからついて来るものだと信じてます。

一同：(笑)

ヒィロ：本当はもっと遅い曲だったんですけど、ライヴのセットリストの幅を広げたくて作ってみました。シャッフルって、テクノにはタブーだと思ってたんですけど、デジタル系の同期をバンバン入れて、シャッフルやったら面白いかなと思って。

──シャッフルをやるのはどうでした？

Яе-：すごい苦手だったんですけど、今回は完璧です（笑顔）。

タクミ：僕も苦労しましたね。

Яе-：ギターはアダルトな感じが出て素晴らしいと思います。

──曲全体にアダルトな感じがですよね。

みつ：俺の声は、こういう曲のほうが色気が出て、得意分野になるはずって言われてて。苦労したんですけど、アダルトな感じが出せてよかったです。

──そして、「existence」「oblivion」バンドっぽいところもぐっと出てます

ヒィロ：これは、僕からメンバーへの挑戦ですね。ニューの成長過程を出す曲です。プログレとかフュージョンとか好きなんで、その辺をニューで再現できるのかなって。

みつ：最近難しいよね、曲。

華遊：これはギターを聴いてほしかったので、とにかく派手に、激しくやってます。

ヒィロ：ちょっとマニアックですけど、マキシだから出せる曲かなって。男の子にも聴いてほしいですね。

──3曲各々色の違う、中身の濃い作品になりましたね。

みつ：またやり過ぎました（苦笑）。

──アルバムを作った成果も出せて。

みつ：アルバムもそうだし、ワンマンツアー回ったのも大きかったですね。

──この後、またワンマンツアーですね。

タクミ：前回以上に僕も大きくなったんで、そこを見に来て下さい。

華遊：人の心を突き動かしたいです。

みつ：カッコいい〜。

一同：(笑)

Яе-：自信があるので、余裕を持って臨みたいですね。曲数も増えて振り幅も広がったと思うので楽しいライヴになります。

みつ：言うことないです。自信しかないです。絶対に楽しくなるし、絶対満足させるライヴになります。

ヒィロ：前のワンマンツアーを踏まえて、

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

愛狂います。（アイクル / aicle）

8月15日に、『スターマイン／ゴメンなさい』を収録した『エキゾチック。
9月15日には、『Cとソプラノ／ネジリウム』が入った『ドラマチック。』を
2ヶ月連続でシングルを発売。8月1日からは、全国20ヶ所に及ぶ
ワンマン・ツアー「浪漫帝國」を実施。
ヴィジュアルが、シンプル&スタイリッシュに。
楽曲も、外へ向け、わかりやすさを提示。
確実に進化／変化し続けている、愛狂います。その姿から、目を離す

ぼくたちにしっかり目を向けてないと面白さを見逃すぞ!!

Interview：TOMONORI NAGASAWA

なさい』を収録した『エキゾチック。』を、9月15日には、『Cとソプラノ／ネジリウム』が入った『ドラマチック。』と2ヶ月連続でシングルを発売。しかも、それぞれ〝新曲／既発歌の新録音〟という組み合わせでリリースします。なぜ、旧作を再録しようとしたのですか？

ルビ：〝今年で活動も3年目に入ったことだし、一度、原点回帰をしよう〟という話が、そもそもの発端でした。

えみる：そこから、ヴィジュアルや衣装を、昔の姿風に戻して、昔作った曲を、今の感覚で演ったら面白いこと出来るんじゃないかというアイデアが生まれて、この2作品に繋がりました。

――新録した「ゴメンなさい」、「Cとソプラノ」ともに、結成初期の楽曲だよね。

ルビ：「ゴメンなさい」は、愛狂います。が一番最初に作った楽曲で、僕らの初めての音源に収録されています。

えみる：初期愛狂います。の魅力でもあった歌物バラード作の中で、一番人気だったのが「Cとソプラノ」で、二番人気が「ゴメンなさい」だったんで、今回この2曲の収録を決めました。

ルビ：2曲とも、シンセを入れずに収録したんで、あまりゴチャゴチャすることのない仕上がりになりました。こうやって新録音のものを聴くと、えみるくんの声の成長ぶりは、すごく見えるんだけど、面白かったのが、だいぶ曲の雰囲気が変わるかなと思ったら、意外と、原曲を踏襲した形に仕上がりました。

えみる：もちろん、歌声に変化は出てるんですけど、改めて、〝何年経とうと愛狂います。の核は変わってない〟ことに、自分らで気づけたからね。むしろ、新旧並べたことで、愛狂います。の魅力がわかりやすく見えてくると思います。

――新曲の「スターマイン」、「ネジリウム」にも、〝らしさ〟は出ていますよね。だけど、歌詞は、とても伝わりやすい言葉で表現されてるし、今まで以上に、わかりやすさを求めていませんか？

えみる：これまでみたいに、内へ、内へと籠もった鬱な感情を書くのはやめて、外へ、外へとアプローチし始めたと言うか。いろんな人たちを巻き込もうと、わ

ルビ：良い意味で、わかりづらかった。だって、「ネジリウム」で「僕は頭のネジ1本無くしちゃったんだ」と急に歌われても、パッと聴き、意味わかんないじゃない。もちろん、歌詞を読むと想いが見えてくるし、伝わる内容なんだけど…。

えみる：だけどそこで、〝僕は、きっと君のことを想い続けるよ〟と歌っても、なんか違うと言うか。このシーンの楽曲って、綺麗事を並べたてることが多いじゃない。それよりも僕は、歌の中へ〝どれだけ人間味を出せるか〟を求めていきたい。その表現が、以前はジグソーパズルみたいだったのが、今回は、1枚の絵を描いたようになったんです。

――「スターマイン」の歌詞も、ロマンチックさを装いながら、けっして奇麗事で終わってないところが、いいよね。

えみる：打ち上げ花火って、夜空で飛び散った瞬間はキラキラしてるけど、そのあとすぐ、シュボッと萎んじゃう。その儚さがあるからこそ、綺麗さが際立ってゆく。恋愛だって、そういうものかなと思って、この歌を書きました。

玲音：今回、原点回帰というテーマがあったので、「スターマイン」では、細かいプレイを重視しました。イントロのドラムを聴いただけで、ぼくのドラムと感じてもらえるような演奏をしています。

さらん：ベースも、スライドさせたり、けっこう遊んでます。でも、今回のスタイリッシュなヴィジュアルと同じよう、ベースに関しては、シンプルな演奏を心がけていきました。

えみる：なんか、今までにも増して、自由度が増えたよね。「スターマイン」や「Cとソプラノ」のPVは、これまでみたいに決め決めな撮影をするんじゃなく、みんな自由気ままに演奏したシーンをカメラに収めました。だから全員にしっかり目を向けていかないと、各自の面白さを見逃しちゃいますよ。

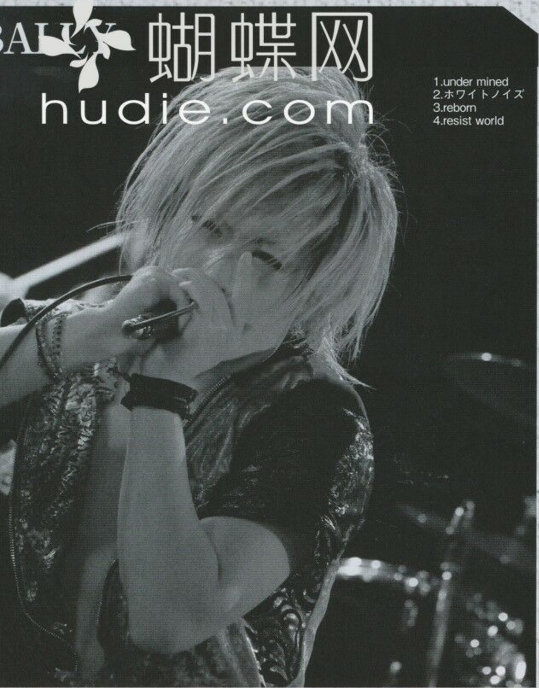
――8月1日からは、全20ヶ所に及ぶワンマン・ツアー「浪漫帝國」がスタート!!

えみる：細かく各地をまわれるのは、幸せなこと。もちろん、各会場一切手を抜くことなく、本気でぶつかっていきます。

ルビ：今年後半の愛狂います。は、つねに攻めモードで勝負し続けていきます。

蝴蝶网
hudie.com

BALLY



1.under mined
2.ホワイトノイズ
3.reborn
4.resist world

SHOCK WAVE アポロ Vol.39

Live at 高田馬場AREA 2010.6.18

毎月"18日"に高田馬場AREAを舞台に開催中の「SHOCK WAVEアポロ」。6月18日のイベントへ登場したのは、BALLY・diva・ギャロ・Luzmelt・SCAPEGOAT・0801弐209336・TOON-FACTORYの計7バンド。さっそく、この日の模様をお伝えしましょう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:TOMONORI NAGASAWA

長時間のイベントを楽しむうえで大切なのが、テンション。冒頭から心や身体にウキウキとした刺激を覚えないと、長いイベントを本当にマラソンのように感じてしまう。重厚なデジタル・サウンドを背に、腹の底へズンと重く響き渡る演奏を軸に据えたＢＡＬＬＹ。豪圧な音の厚みに負けることなく、言葉とメロディーをしっかり届けようとしていく姿勢に、共感。短い出演時間ゆえに、終始煽りゆく楽曲に徹してたとはいえ、大きな変貌遂げゆく可能性を彼らへ覚えただけに、注目したい。ちなみに、Gt.のｊｉｎがズッと仮面を付けていた理由は、謎である。

"揺らそうぜ～！"。スピーカーから響いてきたのは、身体の芯まで激震させゆく重低音な音の塊たち。デス＆ホラー、ドゥームロック系のよう暗鬱な世界へ誘うバンドという冠を、ｄｉｖａは持っている。でも彼らの楽曲は、一つの枠には縛りきれない変幻さがある。確かにライヴでは、終始【重い音の弾丸】を放ち続け。Vo.華威も、デスな声を煽りに用いていた。でも、サビなど【届けたい】部分では、聞きやすく転調してゆく面も見せている。中には、煽り一辺倒の曲もあるとはいえ、一筋縄ではいかない魅力持った連中なのも、確かだ。

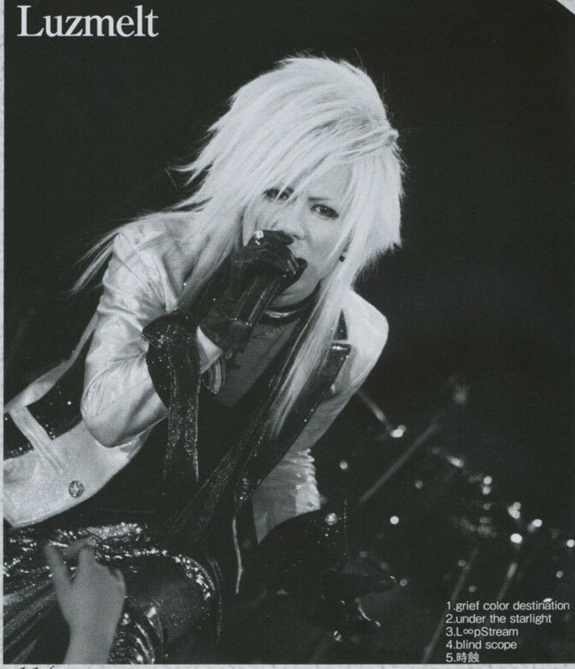
なんて怪しげでグラマラスなバンドなんだろう。でも、奏でる楽曲が身体ウキウキ揺さぶるロックンロールなビートだったりもする。いやむしろ、ロックンロールなスタイルの上へ、ゴシックロマンな音の洋服を着せたと形容したほうが相応しいギャロの音楽スタイル。冒頭と最後を同じ楽曲で締めくくる演出。楽曲ごとに、ブラックな要素を持った物語を描いたりなど、楽曲を彩る面では多彩な要素を注入。さらに演っている音楽は、サイコビリー的な要素を多分に内包したホラーパンク。その独特なグリッター性が、彼らの魔力を際立たせていた。

シューゲイザー風とでも言えば良いだろうか、サウンド面ではかなりノイジックなアプローチを施しながらも、歌は猛り狂った音の絨毯の上で、朗々とした声色を這わせてゆく。一転、「under the starlight」では、デジタルな音の上で耽

SCAPEGOAT

ce
カイト
esthesia
イレン

Luzmelt



1.grief color destination
2.under the starlight
3.L∞pStream
4.blind scope
5.時蝕

蝴蝶网
hudie.com

1.ALICE IN DEAD END
2.BUTIQUE BEELZEBUB
3.黒い雄鶏
4.魔王-覚醒-
5.東京シンデレラ

diva

1.Black s
2.Lily of F
3.追憶
4.STILL

けゆく姿勢を軸に据えている彼ら。ライヴでは、身体揺さぶる激しさを強調していたが。音源では、緻密に構築した歌物作として昇華してゆく。そんな印象を強く与えてくれた。

ファンたちの歓声が、ライヴ前から飛び交っていた会場。SCAPEGOATのステージは、冒頭から頭揺さぶる衝撃を、観客たちへ叩きつけてきた。重厚、躍動と表情を変えながら、熱狂のドラマ描きあげた「alice」を皮切りに、彼らは激烈な音の筆を、会場というカンバスの上へベタベタと塗り重ねていく。快楽とは、時に痛みを伴うもの。SCAPEGOATの音楽は、アドレナリンを掻きまわす痛心地好い興奮を導いていく。むしろ、それが恍惚の扉を開けてゆく、鍵になる。〝一つになろうぜ〟の合図に始まった、ヘドバンの渦。まさに理性をかなぐり捨てた熱狂が、そこにはあった。

0801弐209336というバンド名もさることながら、「キャバクラ錠」「kanojyoboshuchu@codomo.ne.jp」「携帯撲滅委員会」に「其Re:いケ！ぜろはち君!!」と並んだ楽曲名のユニークさにも、ついつい惹かれてしまう。この手のヤンチャな遊び心を、真剣にやるからこそ面白い。肝心の楽曲だが、90年代と00年代のV系スタイルを、楽曲の中へ巧みにミックスしている点が面白い。打ち込んだツンデレ少女のトークを曲中に挟み煽ったりなど、同期系の要素をピリッとシニカルな味へ昇華している面も、さすがだ。軽口叩いて世の中を皮肉る姿勢がイカすじゃない。

お馴染みTOON-FACTORYが、トリとして登場。きらびやかなディスコムード満載の「イノセント」から、ライヴはスタート。演奏が始まると同時に、跳ねるビートに身を預け、満面の笑顔で飛び跳ねてゆく観客たち。メンバーは、意外とクールに唄い、演奏している。むしろ、冷静に見据えているからこそ、観客たちの熱狂するツボを巧みに刺激していたとも言えようか。ソリッドな演奏冴え渡る「Heart」など、最近のスタイリッシュな面と、本来の持ち味である熱い表情とを巧みに使い分けながら、この日も熱狂の舞台を描きあげてくれた。

TOON-FACTORY

1.イノセント
2.Heart
3.Sweet&Dispain
4.キミを探して
5.Tiny Planet

0801弐209336

1. キャバクラ錠
2. kanojyoboshuchu@codomo.ne.jp
3. 携帯撲滅委員会
4. 其Re:いケ！ ぜろはち君!!

nformation

ライカエジソンの携帯サイト！

すべて税込です

gelo
Dorado
¥1,900／通常盤A・B ¥1,300
ロトステッカー（ライカエジソンオリジナル絵柄）

Kaya
Maxi Single 7/28 Awilda ¥1,260

ケミカルピクチャーズ
7/28 Maxi Single 世界を撃った男 case3 火縄銃 ¥1,575
8/25 Maxi Single 世界を撃った男 case4 デリンジャー ¥1,575

シド
CLIP DVD ¥3,990
7/28 SIDNAD Vol.5 ～CLIPS TWO～

D
7/28 Maxi Single 赤き羊による晩餐会
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥1,680／通常盤 ¥1,050
★オリジナル特典：トリプル購入で「オフショットリーDVD」Version1 &アーティストフォト5枚組／メーカー特典：ポスター

PAIRSRAY
詳細は店頭まで
MONSTERS
¥3,500／通常盤 ¥3,000
★メーカー特典：ポスター

MoNoLith
Maxi Single 7/28 Postscript ¥1,890
★オリジナル特典：PV撮影オフショットDVD「ライカエジソン編」

Plastic Tree
Maxi Single 7/28 ムーンライトー。
初回限定盤A・B ¥1,575／通常盤 ¥1,260

分島花音
Full Album 7/28 少女仕掛けのリブレット ～LOLITAWORK LIBRETTO～
初回限定盤 ¥3,800／通常盤 ¥3,059

Wizard
8/4 Mini Album BIOS ¥2,625

ATIC GUARDIAN
TYPE A・B ¥1,575
場ガールフレンド
★封入特典：トレカ

xTRiPx
Maxi Single 8/4 Astrovibes ¥1,575

ν[NEU]
Maxi Single 8/4 -wave- ¥1,575

NoGoD
Full Album 8/4 タイトル未定
初回限定盤 ¥3,780 通常盤 ¥3,150

ハートレス
Maxi Single 8/4 Scream of Heartless ¥1,575
★オリジナル特典：サイン入りライカエジソン限定生写真

NICILLIN
Single Rosetta
盤A・B ¥1,890／通常盤 ¥1,260

Megaromania
Maxi Single 8/4 AUROA -destines of world-
豪華盤-TYPE A- ¥1,995／通常盤-TYPE B-・TYPE C-・TYPE D- ¥1,365
★封入特典：トレカ

MERRY
Maxi Single 8/4 The Cry Against…／モノクローム
初回限定盤A・B ¥1,890／通常盤 ¥1,260

rice
8/4 Maxi Single Cicada
限定盤 ¥1,800／通常盤 ¥1,200

SKULL
8/8 Maxi Single Nancy ¥1,260
★オリジナル特典：コメントDVD

います。
キゾチック。 TYPE A ¥2,100 TYPE B ¥1,260
ドラマチック。 TYPE A ¥2,100 TYPE B ¥1,260

Kannivalism
Maxi Single 8/11 split recollection
初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260

ZEST
Maxi Single ¥1,050
8/11 Lost Angel／TALES
★メーカー特典：スペシャルDVD（4店舗 別内容）

ZORO
Maxi Single 8/11 HOUSE・OF・MADPEAK
初回限定盤 ¥1,575／通常盤 ¥1,365

DaizyStripper
Full Album 2タイトル同時リリース！
8/11 BIRTH ¥3,150 LOVE ¥3,150

gLug
イドインマイン。
¥1,890／通常盤 ¥1,260
★封入特典：トレカ（初回盤のみ）

マモノ
Maxi Single ¥1,260
8/18 【世界魔界化計画】

オムニバス
LIVE DVD
8/25 EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX ¥4,410
＜収録バンド＞ kannivalism／12012
大佑と黒の隠者達／boogieman／BugLug
DOG intheパラレルワールドオーケストラ／東京ミカエル。

ナイトメア
LIVE DVD
8/25 NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM ～天魔覆滅～
スペシャルボックス ¥10,000／DVDのみ ¥5,800／CDのみ ¥3,000

heidi.
Maxi Single 8/25 ∞ループ
初回限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260

が魔々団×【PaRADEiS】
¥3,780
vine dolce Col・Tempo

メガマソ
Maxi Single 8/25 タイトル未定
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥1,890／通常盤 ¥1,050
★封入特典：トレカ（予定）

HERO
Maxi Single 9/1 ピリオド
初回限定盤 ¥2,100 通常盤 ¥1,575
★オリジナル特典：メッセージDVD（初回、通常 3店舗で別内容）さらに初回のみアーティストフォト

Annie's Black
Maxi Single 9/15 PLACE
初回限定盤 ¥2,100／通常盤 ¥1,575

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
9/15 Maxi Single 青空晴レーション ¥1,260
10/15 Maxi Single POCKET★ROCKET ¥1,890／通常盤 ¥1,260
★メーカー特典：ポストカード

C
LIVE DVD
WONDERFUL WONDEHOLIC ¥6,000

Sads
7月28日 LIVE DVD 初回限定盤 ¥7,000 通常盤 ¥5,000
ゴシックサーカス at 日本武道館（仮）

Ⅶ-Sense
7月28日 Maxi Single
タイトル未定 ¥2,000

我羅道
8月4日 Maxi Single
もう泣かないと空に誓った日 ¥2,100

E'm～grief～
8月18日 Maxi Single
Atonality TYPE A・B ¥2,100

ぞく
Full Album
新世界 ¥3,150

Versailles
9月1日 Full Album 2タイトル同時リリース
NOBLE -LIVE- ¥2,835
Lyrical Sympathy -LIVE- ¥2,415

摩天楼オペラ
9月1日 DVD 2タイトル同時リリース
Emergence from COCOON ～Tour Document Film～ ¥4,200
Emergence from COCOON ～Tour Final Live Film～"Birth of GENESIS"～ ¥4,935

葵 from 彩冷える
9月8日 Maxi Single
タイトル未定 初回限定盤 ¥1,500 通常盤 ¥1,000

ベルベット
9月22日 Maxi Single ★封入特典：トレカ（初回のみ）特典引換券
タイトル未定 初回限定盤A ¥2,100 初回限定盤B ¥1,890 通常盤C ¥1,575

Edison.com ラフォーレ原宿店イベント情報（●：カメラタイム有り）

ンバー
日)PM6:00～
トーク＆握手会
。
日)PM4:00～
トーク＆握手会
U】
日)PM6:00～
サイン会
ASH
日)PM4:00～
プロデュースコーナー＆握手＆サイン会
日)PM5:00～
1時間店員

0801 弐 209336
7月25日(日)PM4:00～
トーク＆握手＆サイン会
SEX-ANDROID
8月1日(日)PM1:00～
サイン会(100名まで4ショットポラ撮影あり)
キャンゼル
8月7日(土)PM4:00～
6ショット撮影会
愛狂います。
8月11日(水)PM6:00～
トーク＆握手会 1時間店員
MASQUERADE
8月22日(日)PM2:00～
トーク＆握手＆サイン会

ライカエジソン WEBショップ Like an Edison.com

ライカエジソン通販改革！ さらに便利になりました！

ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400
※代金引換の場合は手数料が別途300

通信販売もご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です（但し枚数制限がございます）※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまで
通信販売は東京店で受付しております（名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません）
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8
06-6282-5263

ライカエジソン ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B
03-3746-0502

hudie.com

Like an Edison Release

蝴蝶団 hudie.com

Like an Edison PRESENTS **NEW WAVE #2**

★ 主催ライブのお知ら

TOKYO 2010.10.02 sat
己龍 / ダウナー /Kaya/UnsraW/Megaromania
ベルベット /amber gris/LuLu
【Guest】凛
SHIBUYA BOXX
OPEN-START/15:30-16:00 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別
8月21日(土) よりライカエジソン東京店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

OSAKA 2010.10.08 fri
愛狂います。/ 己龍 / アヲイ /amber gris/ ケミカルピクチャーズ
ベルベット /LuLu/ お遊戯ゎが魔々団 ×【PaRADEiS】/ 鬼仮面
【Guest】凛 / Kαin
umeda AKASO
OPEN-START/15:00-15:30 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別
8月21日(土) よりライカエジソン大阪店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

NAGOYA 2010.10.09 sa
愛狂います。/ 己龍 /amber gris/ ケミカルピクチャーズ
ベルベット /LuLu/ Lycaon/ 鬼仮面
【Guest】凛 / Kαin
BOTTOM LINE
OPEN-START/15:00-15:30 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別
8月21日(土) よりライカエジソン名古屋店、チケットぴあ、ローソンチケットにて
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

■今年の夏はライカエジソンディストリビューションが熱い！

Dolly

9月5日(日) Dolly SPECIAL DAY
「CAPSULE」発売記念イベントラリー開催！
第一弾：AM11:00 ブランドエックス
第二弾：PM3:00 自主盤倶楽部
第三弾：PM5:30 ライカエジソン東京店
3店舗制覇特典「DollyCAPSULE」

9/1 Full Album **CAPSULE**
初回限定盤 A (『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP+『PLAY』ファイリング映像収録 DVD 付き) ¥3,990
初回限定盤 B (『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP & メイキング映像収録 DVD 付き) ¥3,990 ／通常盤 (CD ONLY：ボーナストラック『S.O.S』収録) ¥3,150

花少年バディーズ

Maxi Single
8/4 **バレリーナ**
Type-A 初回限定盤(ボーナストラック『老いWAKAME(不良品種Edit)』収録) ¥1,500
Type-B 通常盤(ボーナストラック『Skip the OTOMATIC(Theme of「乙女桜」)』&『ジャンパーマン』収録) ¥1,500

SEX-ANDROID

イベントあり
Maxi Single
7/28 **灼熱のメロディー / 玩ばれトゥナイト**
初回限定盤(「春のお花見キラー'10」ダイジェスト映像収録DVD付き) ¥2,80
通常盤 (ボーナストラック「アリキタリの闇」&カラオケ収録) ¥1,260

Lycaon

10/6 Maxi Single **EROS** 初回限定版(CD+DVD) ¥2,100

LOST ASH

7/28 Maxi Single **innerCORE** ¥1,500

Re:dis

Maxi Single ¥1,600
10/6 **Rock your spirit.**

EAT YOU ALIVE

イベントあり

Maxi Single
8/18 **REVIVE** ¥1,500

レイラ

Maxi Single ¥1,575
7/25 **闇の中で薄れ逝く記憶**

★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

ネオン	7/21(水)	PM4:30～ 1時間店員
ゴールデンボンバー	7/21(水)	PM6:00～ トーク&握手会
大佑と黒の隠者達	7/25(日)	大佑による隠者のみの研修会 第2回 【1部】PM1:00～ 【2部】PM2:30～ 【2部】PM4:30～ ＊会場：新宿歌舞伎町 ハイジアV-1
XI	7/25(日)	PM1:00～ トーク&握手会
TOON-FACTORY	7/25(日)	PM6:00～ 英語禁止イベント&握手&サイン会
LOST ASH	7/28(水)	PM7:00～ 1時間店員
vistlip	7/31(土)	【1部】PM4:00～ トーク(抽選会)&握手会 【2部】PM6:00～ トーク&サイン会
D	8/ 1(日)	PM2:00～ トーク&ゲーム&握手会 ＊会場：エイベックス本社
VII-Sense	8/ 1(日)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会(スペシャル企画あり)
SEX-ANDROID	8/ 1(日)	PM4:00～ トーク&握手&サイン会
ハートレス	8/ 7(土)	PM3:00～ トーク(ゲームあり)&握手&6ショット撮影会
Megaromania	8/ 7(土)	時間・内容未定
Kaya	8/ 8(日)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
イロクイ。	8/ 8(日)	PM5:00～ トーク&握手会♣
LuLu	8/ 8(日)	PM7:00～ トーク&握手会
ZEST	8/10(火)	PM6:30～ 1時間店員
SKULL	8/21(土)	PM5:00～ トーク&握手&サイン会
heidi.	9/ 4(土)	PM6:30～ 内容未定
ν[NEU]	9/ 5(日)	PM2:00～ トーク&握手会
Dolly	9/ 5(日)	PM5:30～ トーク&握手会
rice	9/18(土)	PM2:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
PENICILLIN	9/19(日)	PM2:00～ トークイベント
HERO	9/23(木)	【1部】PM2:00～ トーク&握手会 【2部】PM3:30～ トーク&撮影会
Annie's Black	9/26(日)	PM3:00～ トーク&サイン会(SARINO+ゲストあり)
愛狂います。	10/ 2(土)	PM5:00～ 『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「スポーツの秋」』編&握手会

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

LuLu	7/24(土)	PM1:00～ トーク&握手会
ゴールデンボンバー	7/24(土)	PM3:00～ トーク&握手会
キャンゼル	7/26(月)	PM3:00～ トーク&サイン&握手会
SOMATIC GUARDIAN	8/ 7(土)	PM7:00～ 1時間店員
12012	8/ 8(日)	【1部】PM2:00～ 握手会 【2部】PM3:00～ トーク&撮影会
VII-Sense	8/14(土)	PM7:00～ トーク&握手&サイン会(スペシャル企画あり)
BugLug	8/20(金)	PM3:00～ 1時間店員
SEX-ANDROID	8/20(金)	PM7:00～ トーク&握手&サイン会
ZEST	8/21(土)	PM6:00～ 1時間店員
vistlip	8/23(月)	PM5:30～ トーク(抽選会)&握手会
R指定	8/23(月)	PM7:30～ トーク&サイン&握手会
LOST ASH	8/26(木)	PM6:00～ トーク&サイン&握手会
TOON-FACTORY	8/28(土)	PM12:00～ トーク&サイン&握手会
ハートレス	8/28(土)	PM3:00～ トーク(ゲームあり)&握手&6ショット撮影会
Kaya	8/28(土)	PM5:00～ トーク&握手&サイン会
Megaromania	8/29(日)	時間・内容未定
ν[NEU]	8/29(日)	ライブ終演後 握手会 ＊会場：名古屋ell.SIZE
PENICILLIN	9/ 3(金)	PM6:00～ トークイベント
HERO	9/ 5(日)	PM2:00～ トーク&撮影会
EAT YOU ALIVE	9/11(土)	ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：名古屋MUSIC FARM
rice	9/12(日)	PM2:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
愛狂います。	9/25(土)	PM1:00～ 『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「読書の秋」』編&握手会
分島花音	10/10(日)	ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：名古屋ell.FITS ALL

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

LuLu	7/21(水)	PM6:00～ トーク&握手会
キャンゼル	7/23(金)	PM6:00～ トーク&サイン&握手会
ゴールデンボンバー	7/25(日)	PM3:00～ トーク&握手会
己龍	7/27(火)	PM6:00～ トーク&握手&撮影会
アヲイ	8/ 1(日)	PM2:00～ トーク&サイン&握手会
SOMATIC GUARDIAN	8/ 8(日)	PM6:00～ 1時間店員
vistlip	8/13(火)	【1部】PM5:00～ トーク(抽選会)&握手会 【2部】PM7:00～ トーク&サ
VII-Sense	8/14(土)	PM12:00～ トーク&サイン&握手会(スペシャル企画あり)
Kaya	8/14(土)	PM5:00～ トーク&サイン&握手会
12012	8/15(日)	【1部】PM2:00～ 握手会 【2部】PM3:00～ トーク&撮影会
ZEST	8/21(土)	PM1:00～ 1時間店員
BugLug	8/21(土)	PM2:00～ 1時間店員
R指定	8/21(土)	PM3:00～ 1時間店員
ハートレス	8/23(月)	時間未定 トーク(ゲームあり)&握手&6ショット撮影会
LOST ASH	8/27(金)	PM6:00～ トーク&サイン&握手会
ν[NEU]	8/27(金)	ライブ終演後 握手会 ＊会場：大阪RUIDO
TOON-FACTORY	8/28(土)	PM6:00～ トーク&サイン&握手会
Megaromania	8/30(月)	時間・内容未定
PENICILLIN	9/ 6(金)	PM6:00～ トークイベント
rice	9/11(土)	PM5:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
SEX-ANDROID	9/19(日)	PM6:30～ JUNROバースデー"イヴ×2"イベント[IKUZOさん祭り]トーク&握手&サ
愛狂います。	9/23(木)	PM1:00～ 『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「食欲の秋」』&
分島花音	10/11(月)	ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：大阪Shangri-la
HERO	11/ 5(金)	時間未定 トーク&撮影会

SHOXX MODE

SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

SHOXX VOICE!!

犬神サーカス団

蝴蝶谷 hudie.com

思うんですが、**収録が2曲のみになるというところで、選曲はどのようにしたんですか。**

犬神情次2号(以下、情次)：今回は、犬神サーカス団の端と端かもしれないですね。

犬神明(以下、明)：王道ではないですよね。一般ウケを狙うと言うか。

情次：「DEAD END KIDS」の路線としては、「最後のアイドル」みたいな感じの雰囲気の曲ではないかと思うんですよ。

明：「命短し恋せよ人類」とかね。カップリングの「天変地異」は新境地なのかな。

犬神ジン(以下、ジン)：あんまりやったことないリズムっすね。

――"いかにも王道"ではない曲を、敢えてシングルとしたのはどうして？

明：発売日が夏だしなって。

一同：‼(笑)

明：夏にどんよりしたくないじゃないですか。ドライブがてらにかけられるようなものにしたかったし、開放的な気分にマッチできるかなって。そういう意味ではノリノリな2曲みたいな感じです。夏らしいじゃない？

情次：まぁまぁ…そうですよね(笑)。

ジン：これ、初めて聞く説だ(笑)。

明：15周年が終わって、16年目に来て何をやるのかっていうのは、今も模索してますけどね、そこでかたくなに守りに入ろうって言うよりは、もっと遊ぼうよっていう意識が、僕の中では強いですね。「天変地異」の"死にたくない!"っていうブレイクも、あの部分があるからハジけられるんだしね。

情次："死ね、死ね"って言っておきながらね、"あたしだけは死にたくない"って言っちゃうんだけど(苦笑)。

――凶子さんも、そういうハジけた歌を歌いたい気持ちはありました？

犬神凶子(以下、凶子)：オフィスキンメダイ(事務所)になってから、イベントにすごく出てるんですよ、いろんな人たちと。その時に、初めて犬神を観た人も楽しめる曲っていいよねっていう気持ちが出たんだと思います。それでこういう曲が出来たのかなって。知らない人でもノレるって言うか。ただ、これまでのあたしは率先して"死ね"って言う立場だったのに、「天変地異」で"死にたくない"っ

(笑)。どういうキャラで歌おうかなって結構考えました。だって、長い15年の立場を全て覆すような曲になってるんで、「天変地異」は驚きましたよね。でも確かに、この2〜3年は全然死にたくないんですね。例えば、目じりにシワが出来た時に、本当に(自分がいつかは)死ぬわ…って思ったんです。人間って本当に死ぬんだ！って。

一同：(笑)

凶子：そうしたら、あたし死ななきゃだって思いました。とりあえず死ぬまでは生きようと思って。

情次：哲学的だね。

凶子：そういうタイミングでの「天変地異」だったので、気持ち的にもやりやすかったですね。

――15年間犬神サーカス団をやって来た上だからこそ歌える曲ですね。

凶子：そうです。死にたいって言ってる子は、死ぬっていう実感がないと思うんですね。歳を取るっていうことも実感がないし、永遠にこの状態が続くと思ってるから、ヤだ、ヤだ、ツラいってなっちゃうけど、そんなことないから。みんな死ぬんだから。本当に本当だよ。書いておいて下さい。読者は若いかもしれないけど、まだ死なないほうがいいと思うんです。どうせ死ぬから。

――「天変地異」は、そういう歌詞に特徴的なリズムを乗せた、ノリ重視の曲になってますよね。

ジン：こういうリズムの曲は滅多にやらないですよね。

明：「地獄に落ちた子供達」とかかな。

ジン：ああ。どうしたらいいのかなと思って、ちょっと難しかったです。ベース持ち替えたりして実験してみましたね。

情次：曲のテイストとしては、「太陽を待ってる」とか、あの辺に近い曲だっていう認識でしたね。むしろ好きな感じでもあるので、非常に気持ちよい曲だと思ってますね。

明：イントロとか展開部分で来てるのが、セカンドラインっていうリズムパターンなんですけど、アメリカのニューオーリンズで始まったもので、お葬式に使われるリズムなんです。お葬式の1列目をファーストラインと言って、葬儀の列が通るんです。2列目は親族の方で、この

犬神流、サマー・ソング!?
シングル「DEAD END KIDS」発売

昨年、バンド結成15周年を迎え、16年目もまだまだとどまるところを知らず活動を重ねている犬神サーカス団。彼らが8月4日、DVD付きシングル『DEAD END KIDS』をリリースする。彼らの一般的なイメージである暗くドロドロした世界とは全く異なる、夏を意識した(!?)、ノリのいい曲を収録。しかも、ライヴDVD付き1200円というお手頃価格！　犬神初心者にもぜひ手に取ってもらいたい。

Interview:MIYUKI MURAYA

これは黒人が死んだ時に、奴隷から解放されておめでとうっていう意味が込められてるんです。だから、リズムとしても死に繋がる話なんですね。

凶子：深いね。

――死をテーマにまとまった曲になってるんですね。そして、タイトル曲の「DEAD END KIDS」ですが、現代社会に即した内容の歌詞ですね。

明：僕らがやってるのもポピュラー音楽だと思うんですけど、それは時代の中でしか成立しないと思うんですよ。現代だからこそ意味のあることを歌わないといけないなと思って書きました。そこで、ひきこもりとかね……

情次：安易ですね(笑)。

明：失業者とかね。

一同：(苦笑)

情次：時代が混迷しているのでね。

明：その原因は、俺たちの世代が、列からはみ出したらいけませんよとか、言われたとおりちゃんとやりましょうねとか、そういう教育を受けて、従いやすい人材を創造してるからじゃないですか。それだと、自分から物事を起こす意欲のある人間は少なくなってしまうんです。それで、だんだん内にこもって来てるのかなと思いますね。そこで、立ち上がれと。それは今の音楽業界にも言えることですよ。CDがこれだけ売れなくなってるのに、誰も手を打たないじゃないですか。じゃあ、俺たちが売れる音楽を作ろうかと思ったんです。

凶子：すごい売れそうだもんね(笑)。

――資料に"応援ソング"とあるのは、世の中とか音楽業界に対してのものなんですね。

明：受身じゃなくて、自分から何かやる人が増えたらいいんじゃないかなって。

凶子：増えたらいいけど。みんなすごい待ってる感じだから。この曲がキッカケになるといいよね。

――本物の前向きな応援ソングですね。

凶子：ウチらが言うのも何ですが(笑)。

情次：我々ほど待ってるものはないからね(苦笑)。

――これは、そういうメッセージと音楽性がマッチしてる曲ですね。

ジン：攻撃的な曲で。

明：速いね〜。老成したバンドになりたくないんですよね。16年目になっても、まだ限界でプレイをしたいって言うかね。

情次：15年過ぎたらバラードだけやるようなバンドになるという気持ちも昔はちょっとだけあったんですけど、面白いと思わないですね。まだそこじゃないかなと。アホみたいに速い曲やっちゃいましたっていうほうが面白いのかなと思います。

明：尊敬されるよりは、一緒に楽しめるバンドでいたいしね。

凶子：まだ浮かれたいよね、バンドとして。

情次：はえ〜よ、弾けね〜よって、言ってたい。

ジン：年々、テンポは上がるわ、キーは高くなるわってね。

――16年目の今後に向けた、犬神サーカス団としての意欲が現れたと。

一同：そうですね！

――この2曲にプラス、ライヴDVDが付きますね。

ジン：そこで、犬神サーカス団らしい部分を観ていただけます。

――ここには、ライヴでの王道的な曲が8曲入っていますね。

明：そのうちの"1曲"はMCですけど。

ジン：しかも、それがいちばん長いトラックです(苦笑)。

――(苦笑)でも、CDとDVDで1200円というのは破格ですよね。

ジン：大赤字ですよ！(苦笑)

明：そこが立ち上がれっていうことなんですよ。インディーズはここまでやるぜ！と。

ジン：これぐらいの値段だったら、ちょっと興味のある人に手に取っていただけるかなと。そういう人にDVDも観てもらって気に入ってもらえれば、ライヴに足を運んでくれる人も増えるんじゃないかなというところでも、守りには入りたくないということなんです。

――8月には東名阪ワンマン・ツアーもありますし、10月にはアルバムの発売も予定されています。16年目も精力的な活動が続きますね。

情次：そこも立ち上がれっていうことですす。攻めの姿勢ですよ。

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Interview：ERI MIZUTANI

SKULL

二つの表情をもった新たな世界の扉を開け!!
入魂のシングル2ヶ月連続リリース!!

2009年より現メンバーになったSKULL。順調に活動を続けている彼らから待望の新作が届いた！ 今回は2ヶ月連続でのリリースになるという。そこで、7月7日発売の「陽炎」「蒼炎」と、8月8日発売の『Nancy』について、メンバーに話を訊いた。(Ba・りょうは欠席です)また、8月27日にはツアーファイナル「闇を裂く陽炎と鼓動」が行なわれるので、こちらも要チェックだ。

——久しぶりの登場となりますね。

SIN：このメンバーになってから1年半が経つんですけど、すごく良い感じで活動していますよ。そうだな、140%ぐらいの力が出ていますね。

——絶好調じゃないですか（笑）。

ダイ：何せ、ギターが2本になりましたから。

SIN：そのおかげで、本当にクオリティが上がりましたよ。

——そこは新作を聴いて感じられました。今回は、2ヶ月連続リリースとのことですが、これは2つを連動させて曲を出していったのですか？

ダイ：それは特には考えてはいなかったですね。ただ、せっかく夏のリリースということなので、夏っぽい曲を集めたいなとは思ったんです。

——ところで、なぜにテーマを夏にしようと？

てつや：SIN君が夏好きだからです。

SIN：それ、関係ないでしょ（笑）。

ダイ：作品を出せば、もちろんライヴで演奏する。なので、その時期に合わせた季節感を出したいなって思ったんですよね。だから、テーマを夏にしたんです。それに、ツアーに行くって決めたからには、新作を持っていきたいって思ったし。

蝴蝶网
hudie.com

――それだけ考えを固めていたのなら、制作も早かったのでは？

ダイ：割と、さくさくっと進行していきました。

――そこは、優秀なコンポーザーのおかげですね。

ダイ&てつや：あははは（笑）。

ダイ：俺としては、ストレートな曲を作りたいって思ったんですよね。バンドサウンドがドンっとくるような。

てつや：そのときにダイくんから、7月にリリースされる「陽炎」「蒼炎」は、二面性を出していきたいって言われたので、悩むことなく、曲が決まりました。

――「陽炎」はダイさんの作詞・作曲ですけど、どういったイメージの下、作られたのでしょう？

ダイ：勢いを大事にした曲が作りたかったんですよね。これ、ギターのリフが単調で、ギターとドラムが合っていないリフをわざと作ったんです。そこで、勢いが出せたかなと思いますね。

てつや：今、ダイが言ったように、これは勢い重視の曲なので、ドラマーとしては、勢いだけ出せればOKみたいな感覚で叩いていったんです。アレンジも、みんなでジャムる形でやっていったので、そこが良かったと思います。

Kouta：勢い付けるために、とりあえずかましてやるか！って。なので、この曲のために、俺とダイ君は殴り合いをしたんです。っていうのは全くのウソですけど（笑）、こういった曲は、テンション低く録っても良いものにはならないので、1度、自分の中でテンションを上げて録りに臨んだんです。なので、そのときのテンションが、そのままパッケージされているのではないかなと思いますね。

――となると、歌録りも勢いを大事に？

S-N：ですね。まぁ、そんな中でも、ニュアンスを大事にして歌っていきました。何ていうか、うまく歌おうって意識してしまうと、逆に歌えなくなってしまうので、そういう計算はせず、ラフな感覚で歌っていきましたね。

――綺麗なだけで終わらせない、そういうところがライヴ向きというか。

S-N：それはありますね。作曲者の意図でもあった、ストレートに、というところを活かしたので。でも、そうしたことで分かりやすくなったし、色々な人から聴いてもらえる1曲になったのではないかなと思います。そして、カップリングの「蒼炎」は、てつやが作詞・作曲を手掛けたんですけど、早い曲調なだけに、イントロから激しい感じなんですよね。

てつや：自分で作っておいて言うのも何ですけど、これは、ドラム録りに苦戦しました。とりあえず、俺としては、激しいけれど綺麗に録りたいっていう気持ちがあったんです。で、細かいところで何回もやり直していたら、見事にハマったという（苦笑）。

ダイ：思ったよりもテンポが速かったからね（笑）。まぁ、そこは、ギターとしても気をつけたところではありますね。

Kouta：そうそう、ただ速く弾いても良くならないし。

ダイ：結果的に、この2人だったからできたって感じです。

S-N：はいはい（笑）。

ダイ：どちらの曲にも〝炎〟という言葉が入っているんですけど、両極なところが描けて良かったと思います。

――8月リリース作も、日差しの下が似合う曲が収録されています。

ダイ：こっちの方が、夏っぽいですかね。

Kouta：「Nancy」は、遊びで作ったって言ってなかったっけ？

――遊び、ですか？

ダイ：はい。僕、バンドって真面目にやったらつまらないと思うんです。もちろん、ふざけてやっているというわけではないんですけど、ちょっとしたコミカルさとかがあった方が面白くなるんじゃないかなって。それで、「Nancy」には、遊び要素を入れていきたかったんですよね。

――確かに、そこが良いアクセントになっているというか。

ダイ：聴いた瞬間から気分が上がるような曲にしたかったんです。さっき、遊びで作ったって言ったんですけど、そこは歌詞にも出ているかなと。語呂重視でメッセージ性はゼロですから（笑）。でも、そこで楽しんでもらえたらなって。SKULLってこういう一面もあるんだって感じてもらえたら嬉しいですね。

Kouta：ギター的にこだわったところというと、これは7月リリース作でも言えることなんですけど、マーシャル（ギターアンプの代表的なメーカー）ってとこですね。今まではお互いに違うアンプを使っていたんですけど、今回、2人ともアンプをマーシャルにしたんですよ。それがすごく良かったですね。

――また何で、マーシャルに？

Kouta：ロックといったらマーシャルでしょ、という単純な発想からです（笑）。けど、相性は抜群だったし、最初から最後まで完璧でした。

ダイ：出音が気持ち良かったよね。

Kouta：そうそう。チャラついた音じゃないっていうか。ほんと、良かったですよ。

てつや：でも、「Nancy」はドラム泣かせの曲なんですよね、速いし。なのに、手数をいっぱい入れてしまったので、「蒼炎」に続き、大変でした。

――けど、こういったものこそ、てつやさんの得意分野なのではないかなと。

ダイ：そういうドラマーですよね、彼って（笑）。

てつや：何か、音源を出していく毎に、やれることを増やしていきたいっていうのはありますね。それで、この曲では、16分でバスドラをめちゃくちゃ踏むってことにしたんですけど（笑）。でも、挑戦するって気持ちは、俺だけでなく、みんな持っていると思いますよ。

S-N：そうだね、ここでは、原曲に忠実に歌っていったんですけど、ダイくんから適当な歌詞になったからって言われていたので、僕も適当な感じで歌っていきました（笑）。あと、聴きどころとしては、みんなでコーラスしているとこですかね。

Kouta：ブース出た瞬間、みんなの声がガラガラになっていましたから（笑）。

――その時点でライヴモードと（笑）。

S-N：実際のライヴでは、もっと盛り上がること間違いなしですよ。

――そこは、「JUMPIT」も？

てつや：もちろんです。これも、歌詞に関しては特に意味を持たせず作っていったんですよ。ほぼ、ライヴノリしか考えていないというか。ドラム録りでも休憩を挟まずに叩いていたんですけど、これはヤバかった。余計な音が入らないように空調を切っていたんですよ。そしたら、終わった後ヘトヘトで（笑）。でも、SKULLにはなかった感じを取り込めたので、面白く聴けるんじゃないかな。

Kouta：聴いたときから、これはやりたいって思ったしね。

ダイ：バンド感とデジタル感のミックスが気持ち良かったし、意外にも新しいかなって。

S-N：結果的に良いものになったと思います。何より、歌っていて楽しかったですしね。あとは、この楽しさをライヴで見せられたらいいなと。

――本誌が発売される頃には全国ツアーの真っ最中。そして、8月27日にはワンマンライヴが行われます。現時点での意気込みは？

ダイ：念願の全国ツアーなので、熱くいきたいですね。

S-N：初めて行く土地もあるんです。初めてSKULLを見てくれる人たちにも、かっこいい！と思われるライヴをやりますよ。そして、ファイナルとなる池袋ブラックホールでのワンマンに繋げていけることが出来たらなと思います。

Vo.てんてん / Trick Master

蝴蝶网
hudie.com

ケミカルピクチャーズ

世界を撃った男 case3.火縄銃

Interview:NAOKO TAKEICHI

――「世界を撃った男 Case 3火縄銃」は、メロディアスな1枚だね。でも、メロディが美しい中、てんてんがそこに沿わせて歌うのではなく、地声で感情のまま歌っているところがすごく際立つ。

子雲：時おり舌が巻き舌になってたり（笑）、てんてんのまんまを感じますよね。だからリアルに歌が届くというか。

――そうだね。すごく個性的だった。

てんてん：自分的にはいつもすごく癖のある歌い方をするから、極力綺麗に丁寧に歌っていこうと心がけたんですよ。100の内80くらい、そういう癖を抜いて、後の20くらいで、いつもの毒をだそうかなって感じで歌ったから、よりそこが際立ったのかも。昔の歌い方とはちょっと違うし、今回は特に歌詞にメッセージ性が強くあるんで、ツルッと歌うのが嫌なんですよね。耳障りのいい歌じゃなく、グサッってくる歌を歌いたい。今って、変な話、機械でなんとでもなっちゃうじゃないですか。ちょっとピッチがズレても、後から直せば良いとか。だ[illegible]こに頼り過ぎてる気がして、俺はすごく嫌なんです。だから、「純白の絶望とキャンバス」の1行がずっと納得いかなくて、ずっと歌い続けたんです。エンジニアさんから、〝何テイク歌うつもり？　もういい加減止めた方がいい〟って言われたくらい。言われた時点で94テイク録ってたんですよ。けど、その後も納得いかなくて、歌い続けて。

――魂削った歌詞の内容でもあるし、魂削って歌ってる歌だからこそ響き方が違ってるのかもね。今回も作曲は全員で？

てんてん：今回、クレジット的には作曲がケミカルピクチャーズなんですが、それぞれ作曲者が違うんですよ。「世界を撃った男のテーマ-Roundabout Satellite-」はＪｏｅ、「闇に降るプラネタリウム」は僕、「Sick Boy Sam Sick Flower」はＪｉｍｉ、「純白の絶望とキャンバス」はＪｏｅさんです。

Ｊｏｅ：いつもなんとなくの元ネタを持ち合って、そこからスタジオに

ね。1曲目の「世界を撃った男のテーマ-Roundabout Satellite-」は、やはり、今回のテーマである火縄銃を意識しましたね。一回一回火薬を掃除して、撃つまでに時間がかかる銃でもあることから、そういうイメージを持った1枚にしたいし、そのオープニングの曲でもあるから、そのテーマが色濃く伝わるモノにしたいって思って、SEとして作りはじめたんです。じわじわと伝わるような、シューゲイザー的なアプローチにしたんです。本当はギターだけで聴かせる曲のつもりだったんですが、バンドサウンドにしようってことになって、ノイズっぽい聴かせ方のバンドサウンドになって。

――混沌とした感じがいいよね。歌詞は英語だけど、ここに描かれた意味は？

てんてん：どこに居ても、言葉が通じなくても、音楽を通して気持ちや感情が伝えられることが出来たらって思って。みんなが注目する場所で光ってても、路地裏で光ってても、同じ光りだと俺は思うんです。ただ、出逢ってくれた人みんなに、この想いがしっかりと伝わって心に残ってほしい。そんな思いを軸に、Ｊｉｍｉが英語に直してくれたんです。

Ｊｉｍｉ：地球の裏側に居る人に伝えたい感情を描いたんです。でも、なかなか簡単に伝えることは出来ない。もしかしたら、人工衛星になって想いを伝えた方がいいんじゃないかって歌詞なんです。

――2曲目の「闇に降るプラネタリウム」は、オルタナティブ・ロックな雰囲気の曲だよね。日本のジャンル分けで言うところの、〝ギター・ロック系〟的な。

てんてん：はいはい（笑）。そこ狙いましたね、まさに。だから、この曲はギターのリフから考えて生まれた曲でしたからね。この曲のギターフレーズは結構昔から自分の頭の中にあって、ずっと弾いてたんです。実は、曲も歌詞も、〝バンドなんてもうどうでもいいや〟って思ってた時期に作ったんです。実際に音楽から離れた時期もあって。でも、音楽から離れれば離れるだけ自分が病んでいってしまったんです。でも、そこから這い上がった時、また違った音楽の見え方が出来て、そこに新しい世界が広がったって思えた。そんなことを書いてますね。

――ギターのハモリも鮮やかだし、ドラ

Gt.Joe/GruNge StRange

ムはずっと走り続けてる感じだし。

子雲：特にBメロは手こずりましたね。あと、そんなにテンポが速い曲じゃないのに、ずっとツーバス踏んでるってとこも辛かったんですよね。ずっとライヴでやってきてた曲だから、やり続けて来た重みみたいなのを感じる1曲ですね。

――Jimi曲の「Sick Boy Sam Sick Sick Lover」は？

てんてん：これもJimiが随分昔からよく、アコギで弾いてた曲で、すっごいメロが気に入って、バンドでやりたいって言って形にした曲なんです。

Joe：去年の秋くらいだったよね。でも、Jimiの中にはもっと昔からあったんだよね。

Jimi：うん。高校生の頃に作った曲なんです。もともと好きなパンクっぽい曲を作りたくて作った曲で。だからコードが単純だし、他のメンバーには気に入ってもらえないんじゃないかなって思ったんですけど、みんなすごく気に入ってくれて。実は……歌詞も、失恋の歌詞が乗ってたんですけど、それも恥ずかしくて(照笑)。てんてんが書きたいっていったんで、書き換えてもらったんです。

てんてん：メロがいい曲って歌詞書きたくなっちゃうんですよね。Jimiの歌詞もすごく良かったんだけどね。メロが明るくて綺麗なのに、結構ディープな歌詞乗せちゃいました。人と会いたくなくて、人を憎んだりする時もある。でも、決してそこから生まれるモノなんてない。そこから抜け出さなくちゃダメなんだって。そんなことを書きました。

Joe：ギターソロ好きではない僕としては珍しいことなんですが、今作全曲を通して珍しくギターソロがあるんです。実はこの曲のギターソロは、僕がリスペクトするアーティストの楽曲をオマージュしていたりするんで、そこもチェックしてみて下さい！

――この曲の間奏のベースソロもすごく好きだった。音質もすごく良かったし。

Jimi：オーバードライブさせてある感じの、自分的にもすごく理想の音が出せましたね。

子雲：1枚目2枚目の音源では、全部スネアのチューニングを変えていないんですけど、この曲だけは初めてチューニング変えてみたんですよ。パンキッシュな

Ba.Jimi/Cosmic Boy

SHOXX VOICE!!

Dr. 子雲 /Rhythm Geek

心に刺さる魂の歌

5月26日にリリースされた「世界を撃った男 Case1 トカレフ」をとし、5ヶ月連続リリースに挑んでいる最中のケミカルピクチャー3弾となる「世界を撃った男 Case３火縄銃」をリリースする。前作撃った男 Case2 ベレッタ」は、重く激しい１枚であったが、今回銃"という日本の銃とあって、日本語がより深く心に染みる歌モノとなる。

――Joe曲の「純白の絶望とキャンバス」は？

Joe：これもスタジオに入ってみんなで音出してるときに作った曲でしたね。去年くらいだったかな。この曲、俺の意地で、コード3つしか使ってないんです。

てんてん：初めて、自分の歌詞で人を救えるんじゃないかなって思った曲でしたね。歌いながら泣きそうになっちゃったんです。人って、落ち込んでる時に何を言ってもなかなか心を開けないと思うんです。でも、きっと、そういう時でも、音楽に乗った言葉だったら、すぅっと心に入ってくれるんじゃないかなって、そう思うんですよね。そういう人に、この歌を聴かせたいですね。

子雲：この曲もスネアのチューニングを変えてますね。強弱がすごく難しかった曲でしたしね。個人的にこういう曲を叩くのは初めてだったかも。すごくいろんな発見があったというか、またひとつ引き出し増えた感じしましたね。

Jimi：僕は、同期とバッキングを合に、音の一部になって表現したような感じだったので、そんなニュアンスも感じ取ってもらえたら嬉しいです。

――そして。ヴォーカルを替えてのボーナストラックの今作の担当はJoe？

Joe：そうです(苦笑)。1枚目がJimi、2枚目が子雲、そして今回が僕なんですが、それぞれ、その音源に収録されている曲調の流れに近い曲を、てんてんが選曲してくれて、俺らがそれをカヴァーしているので、今回も4曲目の「純白の絶望とキャンバス」からの流れはいいんじゃないかなと思います。

――なるほど。4人の内3人が歌い終わったということは、次はてんてん？

子雲：いや、てんてんはヴォーカルだから面白くないでしょ(笑)！ それじゃボーナストラックになってないから！ だから、次はどうしようか悩み中。

てんてん：そう。ラストの5枚目で、ちょっと考えてることがあるんで、4枚目を思案中なんですよね。なので、そこも楽しみにしといてほしいです！

蝴蝶网
hudie.com

銀河統一!!
のGALAXY軍団トークセッション!!

SHOXX VOICE!!

こいつらと一緒にこの世界に革命を起こす!!

GALAXYの代表、雪花が、8月7日・新宿HOLIDAY／8月8日・目黒鹿鳴館でのライヴを持って、現役引退。
これからは、プロデューサーとして活動を行うことを発表した。彼がプロデュースしている
ヴァルナ／ALSDEADの2バンドも、秋からC／Wで全国ツアーをスタート。今、高い注目を集めているレーベル"GALAXY"。
その代表である雪花、ヴァルナのyo-ka、ALSDEADのMAKIの対談を、お届けしよう。

Interview：TOMONORI NAGASAWA

――ヴァルナ／ALSDEADが所属しているGALAXY。その代表でもある雪花さんが、8月7日～8日のライヴを持って、表舞台から去ることになりました。この2バンドの存在が、雪花さんに、一つの決断を導き出させたんですね。

雪花：僕が、8月で引退を決めたのは、ヴァルナとALSDEADなら、自分のつかめなかった夢を絶対につかめると確信を持ったからなんです。それに、元々、この2バンドへ意識のすべてを集中させるため、GALAXYを立ち上げたわけなので。

――バンドをやりながらレーベル／事務所活動を行うアーティストもいますが、そうはしなかったんですか？

雪花：この2バンドを育てていくうえで、自分のことをやりながらプロデュース活動をしていくと、すべてがものすごく中途半端な形になってしまう。まして、自分の夢を本気で託せる、絶対に大きく成長していくバンドたちだからこそ、持てる力を全部注ぎ込むためにも、自分の活動は一切辞めようと決断を下しました。

MAKI：雪花さんは、このシーンで長くやってきた方。その活動に終止符を打つためには、そうとうの覚悟があったと思うんです。出会ってもう2年、僕らはズッと雪花さんの身近に居ながら、〝バンドマンとは、こうあるべき〟という姿を、ズッと教わってきました。その人が、この2バンドへ夢を託すために、現役活動の引退を決めたわけじゃないですか。雪花さんから夢へのバトンを受け取った以上、僕らは絶対に雪花さんの顔に泥を塗るようなバンドになる訳にはいかない。今必死でがんばっています。雪花さんが一つの結論を下したことで、さらに深い絆が生まれたのも、僕らは実感しています。

yo-ka：うちの代表は、本当にこの2バンドのことが大好きで、自分に無理をしてでも、僕らのために頑張っている熱意を、すごく感じるんです。その嬉しさと、夢を背負った重圧に、僕らもけっして負けてはいけないと思ってる。

――そこまで強い愛情を注いでいたら、自分の活動に幕を引くことが必要なことだったのも、十分わかります。

くなるし、一緒には出来なかったと思う。今後、このシーンで絶対に注目を集める2バンドが僕のもとに来てくれたことは、本当に嬉しかった。だからこそ、彼らのためにも、裏方に集中したかったんです。

――雪花さんの引退カウントダウンについても、教えてください。

雪花：僕の誕生日である8月7日に、新宿HOLIDAYを舞台に、自分の身近にいるバンドたちと一緒にライヴを行い、現役活動を引退。翌8日に、目黒鹿鳴館で、自分がお世話になってきた諸先輩方たちに、引退後夜祭という形で、送り出してもらいます。音源としても、これまでの自分の活動をまとめたCDや、オムニバス盤を形にし、ひと区切りをつけたうえで、次の世代へ引き継ぐつもりです。嬉しかったのが、この2バンドとも、自発的に〝オムニバス盤へ参加させてくださいよ〟と言ってくれたこと。僕は、〝自分のところへ所属しているから強制的に入れる〟形にはしたくなかった。まして2バンドとも、自分たちのレールをしっかり築き始めている。なので、何処か遠慮をしていたところ、彼らは自発的に「参加させてください」と言ってくれた。それが、すごく嬉しかったんです。

yo-ka：雪花さんの最後を飾る作品ですから、参加するのは当然ですよ。

――ヴァルナ／ALSDEADと言えば、9月から「狂喜短命ツアー」と題し、2バンドで全国をまわります。

雪花：正当派ヴィジュアル系バンドのヴァルナと、洋楽色の強いALSDEAD、両極端な色を、このバンドたちは持っている。でも、唯一共通しているのが、メロディーを魅力にしている点。僕自身、この世界に革命を起こそうとGALAXYを立ち上げ、この2バンドへその夢を託したように、「これからを担う衝撃」を、みんなにも体感してもらいたい。さらに、ツアーに関連した嬉しいサプライズ企画も、いろいろ用意していますから。

MAKI：お互い持っている色が異なるからこそ、それらがぶつかり合う事で起こる化学反応がある。かなり刺激的なライヴを体感出来るはずです。

yo-ka：8月の引退ライヴも、このC

蝴蝶网
hudie.com

Art Cube

圧倒的な表現力で完全なる世界を提示する!!

異彩を放つ強烈なヴィジュアルと、ドラマティックな楽曲が魅力的なArt Cubeが、満を持して誌面に登場。謎に包まれた彼らの素顔を、結成の経緯や、8月20日に控えるワンマンへの想いを通して、解き明かした。ワンマン当日には、当日限定音源『香想曲』が発売されるとのこと。この日にしか手に入らない新曲をきっかけに、Art Cubeという玉手箱を開いてみてはいかが?
(key.Mは体調不良のため欠席)

Interview:AOI SAITOH

Z：もともとS以外のメンバーは同じバンドに在籍していたんですが、活動していくうちに、僕の中で、当時のバンドの趣旨とは違うものをやりたいという想いが大きくなっていって、〝1度活動を停止して、新しい方向性でやっていきたい〟ってメンバーに相談したのが始まりです。その後、Art Cubeとしての初ライヴが決まったことをきっかけに、以前から、人間的に惹かれていたSに声をかけ、一緒にやることになりました。

S：ドラムに惹かれたんじゃないの?(笑)

Z：…どっちもだよ(笑)。

──(笑)。普段はこういうフランクな面を見せながらも、ヴィジュアル面や楽曲は、すごく世界観を作り込んでますよね。

Z：僕らは、1人1人の音楽性がバラバラなんですね。でも、各自のやりたいことを抑制するのではなく、みんなの良さを掛け合わせて、いつどんなものが出てくるかわからないビックリ箱的な音楽表現をしたい。つまり、Art Cubeという音楽を作りたいと思っているんです。だから、強いインパクトを与えたいという想いのもと、衣装や演出も考えています。

──コンセプトに沿って、個人のキャラクターを設定しているんですか?

Z：特にストーリーはないんですが、ざっくりとしたキャラクター設定は考えて、その上で僕が衣装をデザインしています。

──そういうこともあり、てっきり歌詞もZさんが担当しているんだと思っていましたが、全曲Nさんの担当なんですね。

Z：もちろん、僕の想い描くイメージをNに伝えて、2人で何度もディスカッションしながら作っていくんですけど、この歌詞はNだからこそ書けるものだと思うんですよ。自分が表現したいからと言って、自我を出して中途半端な物を作るより、各自の得意なことを活かして、バンドとして完璧な物を届けたい。それが、僕らのコンセプトなんです。

──タイトルも含め、日本語の美しさが伝わる歌詞が魅力的ですね。

N：日本語って、1つの言葉の中にいろんな意味が含まれてるじゃないですか。その微妙なニュアンスが好きで、歌詞を僕の書いた日本語の歌詞を一生懸命に歌おうとしてくれる外国のファンがいたことが嬉しくて、余計に日本語の歌詞にこだわりが強くなった気がします。

Z：そうやって、僕とNが生み出した美しい世界観を、完全に無視して自由に作曲してくるのがYだよね(笑)。

Y：一応、テーマがある時はテーマに沿って作ってるつもりです(笑)。

一同：(笑)

──そして、そんなやりとりの中で生まれた新曲『香想曲』が、8月20日、ワンマン当日限定音源として発売されます。

N：主題曲は、人を思い出す時に、その人の香りと共に思い出すという意味合いで『香想曲』と名付けた、王道的なバラード。それに対して、カップリングの『False prayer』は、人の嫌な面を批判する、攻撃的な曲になりました。

──Yさんはいかがですか?

Y：作曲者としてはどちらも自信作なんですが、個人的には、カップリングのギターがすごく良い音で録れたので、そちらを是非聴いていただきたいですね!

Z：正直、自分でも「失敗した!」って思ったほど、限定にするのがもったいないくらい素晴らしい1枚になっています。

──最後に、ワンマンに対する意気込みをお願いします。

S：ワンマンに限らず、みんな、ライヴは毎回違う見せ方をしようと試行錯誤しているので、どのライヴも見逃せないんですけど、特にワンマンは、演奏時間が長い分、普段見せられないような表情もたくさん見せられると思います。

N：選曲に関しても、普段やらない曲をやるので、最近Art Cubeを知った方は新鮮だと思うし、最初から知っている方は久しぶりの曲を生で聴ける良い機会になるはず。そして、ライヴで生音を体感したら、家でじっくりCDを聴いて、余韻を楽しんでほしいですね。

Z：今回のワンマンには『真夏に降る香想曲』というタイトルがついているんですが、その名を表すように、視覚的にもさまざまな物語を伝えようと考えています。是非、Art Cubeの世界を感じに来てください。

SHOXX LIVE!!

NEO VOLTAGE

「NEO VOLTAGE TOUR '10」～東京 VOLTAGE～

=Live at SHIBUYA O-EAST 2010/6/18=

Report:AOI SAITOH

蝴蝶网
hudie.com

raphy:SHINICHI SAITOH
AOI SAITOH

新世代のヴィジュアル系シーンを盛り上げる、注目バンド達のオムニバスCD『NEO VOLTAGE』。その発売を記念し、シーンの最先端を駆け抜ける12バンドが、仙台から大阪まで、各地のVOLTAGEを上げながらツアーを展開。10バンドが、ツアーFINALの地・Shibuya O-EASTに集結した。もはや、開演前から上がりっぱなしのVOLTAGEを、期待の10バンドはどれほど高められるのか試されていたと言えよう。

だが、そこは、ツアーの中でお互いに刺激を与えながら、より一層クオリティを高めてきた彼ら。予想を裏切ることなく、〝NEO ヴィジュアル系〟と呼ぶにふさわしい、斬新で独創性溢れるライヴを繰り広げ、会場を熱狂の渦へと変えていった。ミクスチャーやテクノといった要素を加え、新しい音楽ジャンルを構築するバンド。女性でありながら、他の男性陣に劣ることのない圧倒的な存在感を見せつけたバンド。自分達の出身地のカラーを全面に出したライヴを披露するバンド。楽器を手放し、お笑いに徹するエアーバンド(!?)。どのバンドも、時代性を上手く取り入れ、自分達にしか出来ない唯一無二のパフォーマンスを提示し、オーディエンスの心に独自の存在感を刻みつけていった。

もちろん、伝統とも言える〝寡黙で格好良いコンセプチュアルなヴィジュアル系〟を貫くバンドもいたが、その中にも細かな演出が冴え、一時も目を離せない。

そして、ラストには一夜限りの〝NEO VOLTAGE SPECIAL BAND〟が登場。普段は決して見ることのないメンバーでLUNA SEAの『WISH』を披露し、次世代のヴィジュアル系を担う仲間達の絆を見せつけた。

各自の持ち味を鮮明に出し、色とりどりのライヴパフォーマンスを見せてきた10組のツワモノ達。ヴィジュアル系というアバウトな枠の中で、誰とも被らない独自の音楽性・表現法を開拓し続けていく彼らの生き様が、このライヴにはめいっぱいに詰め込まれていた。それでも、次世代バンド達の開拓は始まったばかり。音楽シーンに新たな衝撃を与えるべく、彼らは走り続けていく。

Secilia Luna

サードマキシ・シングル『Auroral Sky』リリース

SHOXX VOICE!!

くらは、けっして流行の中でっているわけではない。

28日に、マキシ盤三部作の第三弾に当たる『Auroral Sky』をリリースすcilia Luna。8月23日には、渋谷BOXXを舞台に、新生Selicia Lunaとしなる、ワンマン・ライヴ「Solidfy the Angelianity～天使教革命～」を開月25日には、1stミニ・アルバム『Eternal Waltz』の発売も決定。この夏のら、目を離すな！

w:TOMONORI NAGASAWA

――7月28日に、3rdマキシ盤『Auroral Sky』を発売。より激しさを増した作品として映ってきました。

Kyoki：新生Secilia Lunaとして、昨年11月と3月に、『Angelianity Myth』『False Scene』の2作品を発売。今回リリースする『Auroral Sky』を加えて、これまで描き続けてきた物語を完結させました。8月25日には、各マキシ盤から、1曲ずつリ・アレンジをして収録。新曲3曲も加えた形で、ミニ・アルバム『Eternal Waltz』を出し、これまでの動きを集大成させた姿も見せていきます。

Ageha：Secilia Lunaと言えば、美しくシンフォニックな音を奏でる印象がありますけどライヴでは、激しく攻めたてる姿勢も出しているし、そこを求める人たちもいる。なので、今回の作品に関しては、裏テーマとして〝攻撃的な姿を打ち出す〟ことをもとに、制作。以前からの魅力である、同期を活かした静謐な印象を与えながら、激しい曲調も多く入れています。

Enju：最初から、全体像を想定したうえで制作を行ってきたし。3枚通して、理想通りの姿も描き出しましたが、この3枚を作っていく過程の中、いろんなリアクションを観ながら、軌道修正や、新たな色も打ち出したように、そこは、柔軟に対応し続けてきました。結果、3曲とも、らしい〝軸〟を持ちながら、1曲ごとに異なる表情を持った作品たちに仕上がったと思います。

MIRAI：収録した3曲すべて、唄い方や歌声にも、違いが出ているからね。

Rio：歌物作品の前後に、駆け抜けるような短いインスト曲も収録しています。この曲の意味も、歌物3曲の世界観と重ねあわせ、探ってください。

Ageha：僕らは、けっして流行の中で演っているわけではない。だからこそ、〝らしさの中に激しさ〟も加えた、Secilia Luna特有の色で勝負を仕掛け続けていくつもりなんです。

Kyoki：こういう独自性あふれる音も格好いいでしょと、まわりを巻き込み続けているのが、今のうちらだからね。

SHOXX INFO!!

PENICILLIN

自主レーベル第一弾Sg『-Rosetta-』リリース

巨匠PENICILLINの新たな挑戦!! 2012年の結成20周年に向け自主レーベル「THAT RECORDS」を設立。そして同レーベルからの第一弾シングルとなる『-Rosetta-』を8月4日リリースすることが決定!! より激しく、より儚く。更に進化した楽曲の世界観が感じとれるチューン。みんな要チェック!! 【初回限定盤A】CD+DVD（ペニシリンクロニクル#1、「Rosetta」ビデオクリップ）/THGU-1001/¥1,890【初回限定盤B】CD+DVDペニシリンクロニクル#2、「Rosetta」ビデオクリップ）/THGU-1002/¥1,890【通常版】CD ONLY/THGU-1003/¥1260

Kaya

耽美派歌手、さらなる高みへ!!

業界内でもファンの多いミュージシャンズ、ミュージシャンのKayaが1年ぶりとなるシングル『Awilada』を7月28日にリリースする。吸血鬼カーミラ、薔薇の女王、ハムレットのオフィーリアなど、作品ごとに様々なヒロインを表現してきたKayaが今回挑戦するテーマは『女海賊』！伝説の女海賊アヴィルダの恋と生き様を独自の視点で捉え、シンフォニック・トランス・サウンドで描き上げる。どうだっ！ このコンセプトを聞いただけで、このアイテムを聴きたくなったろーっ!! 今すぐチェックしてあなたもKayaワールドに溺れてください。

New Single Awilada 2010.7.28 Release!!
【収録曲】
1：Awilda
2：Sink
3：Awilda -Kayaless ver.-
DDCZ-1697
1,260円 taxin

■関連プロモーション
Kaya "Awilda" 発売記念TOUR 〜Voyage Rose〜
8月3日（火）仙台OOK
8月8日（日） 新宿RUIDO
8月15日（日） 大阪RUIDO
8月21日（土） 札幌MESSE HALL（ワンマン）
8月29日（日） 名古屋HOLIDAY
9月9日（木） 高田馬場AREA（ワンマン）

MERRY

8月4日移籍第一弾シングルリリース

圧倒的な存在感でシーンを牽引するMERRYが移籍第一弾となるシングルを8月4日にリリースする。タイトルは「The Cry Against…」と「モノクローム」。どちらがリード曲という事はなくて、どちらもA面。押し曲。みんな心して聴くべし。初回版、通常版と内容が違うので、そちらもチェックすべし。バンドの表記もメリーからMERRYへ変わって、新たな世界に歩き出した5人の入魂の作品。是非体験して欲しい!!

【初回生産限定盤】（CD＋DVD）
SFCD-0069〜70 ¥1,890 (tax in)
【通常盤】（CDのみ）
SFCD-0071 ¥1,260 (tax in)

@LOOP

今月のDollyはここで撮影した!!

近未来的な雰囲気の今月のDolly写真を撮影したのが秋葉原にある@LOOP。飲食はもちろんアミューズメント&ダーツバー!!とうたっているだけあって、ダーツも楽しめちゃう。また、ダーツライヴ・フェニックス・タッチライヴ・カラオケ・スロットなどなど、なんでもあり。大型モニターもあるのでスポーツ観戦もOK！ 秋葉原の駅から徒歩5分。深夜営業もしているので、夜遊び大好きなあなたは是非!!
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-1-2 明治ビルM3F
TEL:03-3252-0310
URL:http://www.loop-spacecafediner.co.jp/

SCUBER DIVE10〜渋谷が大変〜

今年もあの激アツ・イベント開催決定!!

毎年恒例、夏の渋谷をヴィジュアル系バンドとファンでジャックする、あの激アツ・イベントが今年も開催されることが決定!! 今年の会場と、すでに発表されている第1弾/第2弾アーティストは下記の通りだ。

【会場】
O-EAST/O-WEST/O-Crest/O-nest/duo MUSICEXCHANGE/CLUB asia 全6会場
【時間】OPEN12:00/START-13:00
【チケット】前売7,000円/当日8,000円（共にドリンク代込）
【チケット一般発売】
7月3日（土）よりチケットぴあ、ローソンチケット、e+にて発売中
【出演（50音順）】
Arc、E'm〜grief〜、ALiBi、アヲイ、amber gris、12012、ヴァルナ、Wizard、M、エルム、えんそく、ALSDEAD、KYOKUTOU GIRL FRIEND、ZUCK、Sadie、Zi.pe Synside、シンディケイト、jubily、spiv states、SwallowtaiL-スワロウテイル-、Ⅶ-Sence Dali、東京ミカエル。、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、Dolly、xTRiPx、ni delete heads、ネガ、heidi.、Hi:BRiD、BugLug、花少年バディーズ、お遊戯ゎが魔々団 ×【PaRADEiS】、PIECElang、HERO、ヒトツメ、boogieman、平成維新、摩天楼オペラ Megaromania、MoNoLith、lam、ReivieЯ、Lycaon、リルト、凜、レイラ、Roys 他多数出演予定
この後も、出演者は続々と発表される予定。下記HPでこまめにチェック!!
【問い合わせ】FLIP SIDE ☎03-3466-1100
【SCUBER DIVE特設ホームページ】
http://www.scuberdive.com（PC）
http://www.scuberdive.com/mobile/（携帯）

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

今後の予定、続々決定!!

現在、サポート・ドラマーに輝喜（アンティック-珈琲店-）を迎え、ますます勢力的に活動を続けているDOG inTheパラレルワールドオーケストラ（以下DOG）。7月2日に渋谷O-WESTにて行なわれた主催イベント「犬小屋#3」も大盛況のうちに終了し、今後の活動も楽しみになって来るDOGだが…そのO-WESTにて、リリースやライヴの予定が続々と明らかにされた！

≪2ヶ月連続リリース決定!≫
■9月15日・4th Single『青空睛レーション』
【初回盤】CD+DVD RSCD-018/019 ¥1,890（tax in）
【通常盤】CDのみ RSCD-020 ¥1,260（tax in）
※サポートに輝喜（アンティック-珈琲店-）を起用した今作では、DOGらしいスペーシーかつ晴れ晴れとした楽曲に仕上がっているとのこと。
■10月20日・5th Single『POCKET★ROCKET』
【初回盤】CD+DVD RSCD-021/022 ¥1,890（tax in）
【通常盤】CDのみ RSCD-023 ¥1,260（tax in）
※DOGの激しさとポップさを凝縮した、ライヴが楽しみになるアゲ↑アゲ↑チューン！
ここでも輝喜が参加、PVにも出演しているとのこと。

≪主催イベント&ワンマン・ライヴ決定!≫
■DOG inTheパラレルワールドオーケストラ主催「犬小屋#4」
10月22日（金）高田馬場エリア
■ワンマンLIVE「青空ROCKET」
11月27日（土）渋谷WOMB

「狂犬病-2010-」と題し、怒濤のイベント出演をこなしてきた2010年上半期を経て、ますます力を蓄えたDOGの面々。今後の活動にも要注目！

EARTH

今月のDaizyStripperはここで撮ったよ!!

今月のDaizyStripperの端麗フォト楽しんでもらえたでしょうか。この撮影のロケ場所は全国展開してい美容室サロン「EARTH新宿店」。今回撮影でお邪魔して、その内装にビックリ。ヨーロッパの何処かにトリップしたような、ハイセンスな雰囲気。今回のDaizyStripperの真っ白なコスチュームにバッチリあって、いい写真が撮れました SHOXX読者のみなさんも是非利用してみてくださいませ。
住所:東京都新宿区新宿3-17-2 SHINJUKU GATES 3F
電話 :03-5369-9191
URL:http://www.hairmake-earth.com
Mail:shinjuku@hairmake-earth.com

hudie.com

Vol.212予告

hudie.com

ぼっくんの主張：妖しい視線の先にはの巻）

月21日全国一斉発売！

に久しぶりのthe GazettEの音源リリース。ファンのみんなは待ち遠しかっただろうけど、取材するぼっくんも首をなが〜て待ってたんだよー。去年までは毎月のように仕事してたのここ半年のご無沙汰で、おじさん（ぼっくん）は体調を壊しだったよ。

いう訳で約半年ぶりの登場となったthe GazettE。取材スケールも丸々1日もらって、ゆっくり、しっかり、バッチリ撮インタビューが出来ました。これでぼっくんのくたびれた体ようやく本来のペースに戻って、頑張れそうです。今回の特感想を是非聞かせてくださいね。アンケートお待ちしております。

のフォトセッションはいつにもまして刺激が強め。まずは妖ドレミ團のマコトさん。品（しな）を作って、意味ありげな視線を投けるマコトさん。その視線の先にあるものはっ!?

てViViDのシンくんのフォトセッション。もう何も言うことりません。ここまでやるかっ（やらせるのかっ）！　ぼっくん影現場には立ち会えなかったのですが、担当編集によると現スタッフはカメラマンを含めほぼ女性だったとか… シンくは写真の仕上がりに関する感想よりも、現場での恐怖（？）いてみたい。このセッションは素敵なカットが沢山撮れたの7月28日発売のglitter pop No.7でも続編として掲載していまこちらはこのセッションの特大ポスターが付くので、絶対にすめ。限定生産なので売り切れたらゴメンなさい。

表紙&巻頭特集は
X　Vol.212

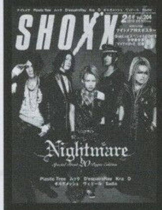
ice Nine

さいたまスーパーアリーナ公演の速報レポート。
azettEの武道館の模様も余すことなくレポートします。お楽しみに。

バックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝￥140、2冊＝￥220、3冊以上は全て￥450）を加えて、またはは小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理XXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターない場合もあります。ご了承ください）。
近くの書店でVol.212（8月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

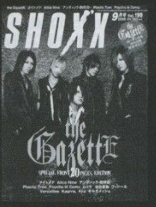
バック・ナンバーのご案内

Vol.204
10年2月号 ￥980



■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.199
09年9月号 ￥980

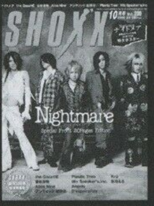


■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■Alice Nine■千葉(仙台貨物)■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍寺(ゾロ)■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.205
10年3月号 ￥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.200
09年10月号 ￥980



■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■虎(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's, Inc.■仙台貨物■舞(Kra)■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.206
10年4月号 ￥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■LM.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

Vol.201
09年11月号 ￥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女-ロリヰタ-23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.207
10年5月号 ￥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's, Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

Vol.202
09年12月号 ￥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.210
月号 ￥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■TRIBAL ARIVALL Vol.100レポート■Kagrra,■Kra■Lc5■THE KIDDIE■SuG■長谷川正×コースケ■Over the Edge@OSAKA■12012■boogieman■Mix Speakear's,Inc.■マコト×ユウ■ViViD

Vol.209
10年7月号 ￥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×怜我(ViViD)■seek

Vol.208
10年6月号 ￥980

■西川貴教×YOMI(ナイトメア)巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

Vol.203
10年1月号 ￥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■椛×Ni〜ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

貴重盤～通常盤まで色々あります

(PC＆携帯 共通)
http://lucyspocket.com

http://lucyspocket.com

Lucy's Pocket ルーシーズポケット 販売&買取

TEL 011-223-466
メール lucyspocket@mac.c

ヴィジュアル系 お売りください！

【買取送料は無料】 郵送買取 【すぐに査定&送金です】

lynch.	ギルガメッシュ	SuG	シド
HIZAKI	ダウト	ViViD	ゾロ
THE KIDDIE	vistlip	DaizyStripper	ゴールデンボンバー
愛狂います。	人格ラヂオ	DELUHI	BORN
R指定	emmuree	彩冷える	ν(NEU)
摩天楼オペラ	陰陽座	Versailles	Plastic Tree
X JAPAN	DIR EN GREY	Janne Da Arc	DEATHGAZE

上記アーティストのCD・DVD・会報・グッズ・物販写真 (貴重盤は特に高評価)

高価買取例 (リスト以外の商品も高く買います)

初回・通常・貴重盤 CD・DVD・グッズ買います

Plastic Tree『あおむしドロップ(本)4千』『カメラ・オブスキュラ(DVD付き写真集)7千』『WORLDTOUR2006[chandelier]通販限定真集(7千)』『忘却モノローグ(DVD付き本)3千』『初回CD,各種』『二次元ヲルゴール2(初回DVD)5千』『Strange fruits(初回CD)5千』、**ガゼット**『泥だらけの青場限定CD)5千』『鬼畜教師(CD)7千』『別れ道(初回7千・2nd 8千)』、**ViViD**『Take-off(CD)3千』、**SuG**『BL⇔Rock Party MonstAr(通販DVD)7千』『MALKOKA コラボアイテム各種』、、**シド**『吉開学17歳(無職)初回2万・2nd 5千』『流通盤(CD)5千』『憐哀・星の都(初回CD各3千～5千)』『センチメンタルマキ』(初回)3千』『Play(初回DVD付き)2千』『Side B complete collection(初回)2千』『ジェムケリーアイテム各種』 **シド関係特に高く買います SHU**hat's up(CD)7千』『Shu-la-tic(CD)1万』、**lynch.**『underneath the skin(CD)3千』『greedy dead souls(CD)4千』、**D**『Alice(配布CD)1万』、**cali≠gari**『第室(初回CD)5千』『ブルーフィルム(初回)3千』、**X JAPAN**『I'LL KILL YOU(レコード)2万』『スターライトヨシキ各種』、**hide**『ぬいぐるみ&フィギュア各種』『ミュー限定グッズ各種』『トライバルぬいぐるみ(7千)』、**L'Arc-en-Ciel**『FIVE LIVE ARCHIVES(DVD-BOX)1.5万』『Floods of tears(CDS)2万』、**ナイトメア**『トレカヘン顔各種』『缶バッジ』、**Janne Da Arc**『ツアーグッズ、会報、DVD各種』『INDIES COMPLETE BOX(3千)』『MAJOR DEBUT ～ COMPLETE BOX(1.2万**DELUHI**『Surveillance(CD)6千』、**La:Sadie's**『objexxx(配布CDS)1.5万』、**Gackt**『amazon限定&FC限定DVD各種(特に高額)』『ツアーグッズ各種』 Gackる物を買取強化中、**MerryGoRound**『merrygoround is dead(CD)』『幻覚α波(CD)』、**陰陽座**『ツアーグッズ・スコア・DVD・初回CD各種』

Janne Da Arc、シド、Gacktのグッズ + SuG、ギルガメッシュ、シド、lynch.の初回限定盤各種は特に高評価します！

各アーティストのツアーグッズ、会報、抽選プレゼント品、物販写真
貴重盤・通常盤・CD・DVD・配布モノ・会場限定など色々買わせていただきます
特典付きで売ってください(査定アップ) 大量処分も大歓迎

V系高く買います

同一アーティストをまとめてお売りいただくと +αの査定です

遠方の方は宅急便で 買取商品を着払で送ってください

送料は当店が負担させていただきますので、宅急便(佐川以外で)または、ゆうパックの着払いで1つの箱に入れて送って下さい。
送る時は必ず名前にフリガナをふって下さい。査定後、電話連絡の上すぐに送金させていただきます。分からない事がありましたら電話して下さ

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西1丁目 宮本ビル6F

ルーシーズポケット

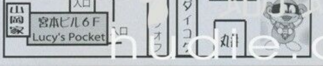
営業時間12:00～19:00頃 (毎週水曜と木曜が定休日)

TEL 011-223-4666

問い合わせメール lucyspocket@mac.com

12月発売・予約受付中 セット価格 1,680 円

hide『ゴムひも付ぬいぐるみ ～The 13th Memorial ver.2～』全2種セ



蝴蝶网
hudie.com

EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

シネマストリップ

シネマストリップ

【メンバー】leo.（Vo）AKIHISA（Gt）ral（Ba）Yuh（Dr）
【結成日】2008年6月に現メンバーで始動
【主な活動場所】都内、浦和
【アイテム】2009年4月6日Mini Album『Virgin Hurt』、5月10日オムニバスCD『-無限大∞感染-』、2010年1月21日オムニバスDVD『アルゴの羅針盤』、7月28日Maxi Single『天上天下唯我独尊』リリース。
【問い合わせ】http://cinema-strip.web.infoseek.co.jp/

シネマストリップ

Zënit Music Factoryが誇る、核弾頭バンド=シネマストリップ。彼らが、最新マキシ・シングル『天上天下唯我独尊』を7月28日にリリースする。歌モノなのに、ここまでエッジの鋭いロックな衝動を持った作品は、久しぶり!? 生ぬるい音楽に食傷ぎみな人は、一度シネマストリップの音楽に触れてくれ。夏には数多くのイベントにも出演。その動きも、見逃すなっ!

leo.(Vo) AKIHISA(Gt) ral(Ba) Yuh(Dr)

“唯我独尊論”とは!?

Interview:TOMONORI NAGASAWA

特に、信頼してるヴォーカリストのleo.は、かなり派手で個性的な存在。

leo.:清潔感を売りにしているんで(笑)。

AKIHISA:それ、初めて聞いたよ(笑)。派手なleo.とは対照的に、普段はとても温厚なのが、ral。だけどベースプレイや、ステージングになると、かなり攻撃的に変貌します。

ral:普段はイジられキャラなのに、ベースを持った瞬間にテンションが上がって、オラオラ系な性格になるんです。

leo.:真面目さで言えば、Yuhちゃんがいちばんだよね。スタジオでのリハーサルでも、ときどき〝今日のドラムの音抜けてないけど、ごめんね〟って、僕らに謝ってきたり、スネアの鳴り一つにまで神経を注ぐんです。そのこだわりぶりは、すごいなと思ってる。

Yuh:僕の場合、ライヴもリハーサルも、自分の音に酔うところから始まるので、自分の音が気持ち良くないと、プレイ面にも精神的な影響が出るんですよ。

leo.:実は俺、前のバンドでは作詞／曲を手がけていて、リーダーでもあったので、自分の主張は絶対に譲らないタイプだったんです。でも、AKIHISAに出逢って誘われた時、〝コイツに俺の全てを預けよう〟って素直に思えたくらい、彼には強い信頼と尊敬を抱いてる。おかげで今や、メンバーみんな、リーダーにおんぶにだっこ状態です(笑)。

──シネマストリップの楽曲は、どれもエッジの鋭い、ロックな衝動あふれる音を形作っています。スリリングさ溢れる音にも関わらず、歌メロがしっかり胸に響いてゆくのも、魅力の一つですよね。

AKIHISA:ヴォーカルの歌声やメロディラインは、楽曲の中でいちばん中心にすべきものだと思ってる。曲を作る時も、ヴォーカルが歌いやすくてナンボ、歌を聴かせてこそナンボ、という姿勢で軸を作っていって、その上で各メンバーが個性を出すようにしているんです。

leo.:そんなこと言ってるけど、このバンドの楽器陣、かなり音がデカいんですよ。だから声量を上げるために、加

船トレーニングなどをやってきたからね。

──エッジ／メロの際立ったスタイルは、最新マキシ・シングル『天上天下唯我独尊』の中からも、明瞭に伝わってきます。

AKIHISA:「Anarchy Future」は、以前からライヴでやっている曲で、「唯我独尊論」と「レイニーコート」は、この作品用に書き下ろした、まっさらな新曲です。

leo.:歌詞の制作には、時間をかけましたね。「唯我独尊論」では、タイトルにも掲げている〝天上天下唯我独尊〟という言葉の意味を改めて調べて、歌詞の中にも人間臭さと、人の心が持つ弱さを詰め込みました。でもね、いちばん苦労したのが、「レイニーコート」。至って普通の〝恋の別れ〟の歌詞なんだけど、僕は女性に優しく出来ない性格なので、〝とことん優しい男って、どんな姿だろう!?〟というのを考えに考え、何十パターンの歌詞を書いた上で、ようやく、この詞を完成させました。

──普段のleo.さんは、女性に対して冷たく当たってしまう人なの!?

leo.:この歌詞に出てくる男と、普段の自分は全く違う。とだけ、言っておきます(笑)。〝これだけ女性に優しく出来たらいいのに〟という願望もあれば、〝女性もこういう風に思われたら幸せなんだろうな〟という想像を、ここには物語仕立てで書きました。

ral:僕は、まさに「レイニーコート」に出てくる男の心情に、恥ずかしいくらいドンピシャなんですよ。

leo.:えっ、こんな優しい男なの!?

ral:いい人になってしまうよね。

leo.:だけどこの歌、《さよならは空へ》と歌っているように、〝君から別れの言葉を聞くのはツラいから、僕は先に行くよ〟と、逃げてる男の歌なんだけど。

ral:それも分かるなぁ…。

Yuh:今回は、1曲ごとに濃縮しているから、アルバムばりに内容が濃いんです。

AKIHISA:我が道を提示した作品なのは、間違いないね。

leo.:これでも盛りだくさんだけど、まだまだ俺ら、真髄は隠し持ってますから。

蝴蝶网 hudie.com

oset child

新宿店	原宿店	池袋店	横浜店	相模大野店

◆closet child 新宿店 < OPEN :11:00~20:00>
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F
(TEL 03-3365-6316)

◆closet child 原宿店 < OPEN : 11:00 ~ 20:00 >
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-7-6 OSHY178ビル104号室
(JR原宿駅 竹下口下車 徒歩3分)

◆closet child 池袋店 < OPEN 12:00~21:00 >
〒170-0013 東京都 豊島区 東池袋1-20-5 七福久ビル3F
(TEL 03-5985-5777)

◆ closet child横浜店 220-0005 <OPEN:12:00-21:00>
横浜市西区南幸2-16-11二幸ビル302
(TEL 045-316-2166)

◆ closet child 相模大野店 <OPEN :12:00 - 21:00>
〒228-0803 神奈川県相模原市南区相模大野3-15NKビル2F
(TEL042-747-1040)

ーの在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ～新譜 **超高額買取!!**

ローゼットチャイルドオンラインショップ!!

ットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

モバイルショップ

メールでも在庫確認が出来ます☆

closetchild_cd@closet-child.com

SHOP限定企画 ▶▶▶▶ 中古品3点購入で **20%OFF**

http://closetchild.jp/

夏休み企画第2弾!!
アーティストグッズ大出血割引祭!!
蔵出し&新着グッズを100円から放出!!
入手困難なアーティストグッズが期間中超大幅値下げ!!

8.14Start
夏休み企画第3弾!!
池袋店&横浜店限定企画
貴重盤放出キャンペーン!!!!!

間限定買取査定額大幅アップ
ャンペーン 20%UP 対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD R指定 Versailles ギルガメッシュ 人格ラジオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lynch.

グッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
こCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
急便にて着払いでお送り下さい）※混雑状況により1～2週間程お時間をいただく事がございます。
必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係 宛

宅配キットご自宅までお届けします!!
梱包用ダンボール・佐川急便送付状
をご自宅までお届けいたします!!
ご依頼方法 メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ
h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
/ ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
retty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene
ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

買取/宅配買取のご案内
ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項
（氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名
（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!
商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行
口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。(ぱるるはご利用いただけません)
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

宅配買取送料無料!!
宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 10.5月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com
宅配買取用段ボールご用意致します
宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票を
ご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様は
webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

リータブランド古着オンラインショップ
,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
タブランドのユーズドオンラインショップ!!
、今期物 定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!
/closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ
80年代の貴重なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
のリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中!!
ヴィヴィアンマニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです!!
http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

oitie高価買取アイテム一覧◆ ディヴァインクロスプリントシリーズ高価買取致します!

2006 S/S
●アイアンゲート
ホワイト×ブラック
◆ワンピース 45000円買取
◆ジャンパースカート 48000円買取
◆ミニスカート 27000円買取
ブラック×ホワイト
◆ワンピース 44000円買取
◆ジャンパースカート 47000円買取
◆ミニスカート 25000円買取
ブラック×ネイビー
◆ワンピース 43000円買取
◆ジャンパースカート 46000円買取
◆ミニスカート 24000円買取

2009 A/W
●ホーリークイーン
ブラック×ネイビー
◆ジャンパースカート 23000円買取
◆スカート 9500円買取
ブルー×シルバー
◆ジャンパースカート 28000円買取
◆スカート 12000円買取
ブラック×ホワイト
◆ジャンパースカート 15000円買取
◆スカート 8500円買取

2010 S/S
●バラプリントジャンパースカート
ホワイト×ネイビー 18000円買取
ブラック 12000円買取

2000 S/S
●薔薇十字架プリント
ブラック×ホワイト
◆ワンピース 23000円買取
◆ジャンパースカート 38000円買取
◆スカート 18000円買取
ホワイト×ブラック
◆ワンピース 20000円買取
◆ジャンパースカート 35000円買取
◆スカート 16000円買取

2009 S/S
●青薔薇シフォンワンピース
ネイビー 26000円買取

2008A/W
●刺繍ベルベット
◆ジャンパースカート(膝丈)
グリーン 21000円買取
ブラック 20000円買取

2005 S/S
●ネット&プリント
ネイビー
◆ワンピース 17000円買取
ボルドー
◆ワンピース 16000円買取

2008 S/S
●リチュアルプリント
ホワイト
◆サンドレス 15000円買取
◆ブラック x グレー 12000円買取

2001 S/S
●薔薇
ブラック x ホワイト
◆ジャンパースカート 10000円買取

2002 S/Sホワイトテディベア
ホワイト
◆レース 7000円買取
◆マント 6500円買取

査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

alice auaa夏物買取20%アップキャンペーン!!!
alice auaaコレクションアイテム一覧

'02S/S【ecad】
●蝙蝠ワンピース
ブラック 12000円買取

'03S/S【The Hanging Garden】
●ハンギングフリルワンピース
ブラック 13000円買取

'04S/S【hunger】
●オフショルダーコルアセット風ジャケット
ブラック 12000円買取

'04S/S【hunger】
●刺繍コルセット
ブラック 10000円買取

'05S/S【aminous】
●アイレットロングスカート
ブラック 6500円買取

'06S/S【flower】
●パフスリーブワンピース
ブラック 13000円買取

'06S/S【sweet dreams】
●コサージュ付ミュール
ブラック 7000円買取

06S/S【sweet dreams】
●コサージュ付ミュール
ブラック 7000円買取

'07S/S【sweet dreams】
●レイヤードギミックワンピース
ホワイト/ブラック 11000円買取

'08S/S【contrast】
●縞柄切替バルーンワンピース
ブラック・クリーム 10000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●ストライプコルセット
ストライプ 11000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●コサージュ付きバルーンワンピース
ミックスカラー 12000円買取

'10S/S【softly】
●ガーター付き裾レーススカート
ブラック 20000円買取
ホワイト 20000円買取
●後ろ下がりギャザーロングスタート
クリーム 11000円買取
●ガータービスチェ
ブラック 10000円買取
●ハイウエストランジェリー風パンツ
ブラック・ホワイト 15000円買取
●ドール風
カットソー・スカート 10000円買取
●ドールワンピース
ブラック・クリーム 20000円買取

※各コレクション鞄・靴・アクセサリー高価買取中!!
※ご注意 査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp

☆8/15発売DVD「SuG TOUR 2010『TOKYO MUZiCAL HOTEL』」
初回限定盤¥5,800 通常盤¥4,410
オリジナル特典付！詳細はWeb Siteにて！

VII-Sense
待望のNEWシングル！
7/28発売 M-CDs¥2,000
オリジナル特典付！
インストアイベント開催！
詳細はWEBにて！

EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX
8/25発売 DVD¥4,410
本気で闘いあったロックイベントツアーDVDとして発売決定！
◆スペシャルオリジナル予約特典
・テリトーークDVD！（LIVE会場物販特典として付けていたDVD）
・出演アーティストコンプリートアーティストカードセット7枚組

2か月連続リリース決定！
・発売中 M-CDs¥1,260
-「陽炎」「蒼炎」-
・8/8発売 M-CDs¥1,260
-Nancy-
※共にオリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！

Annie's Black
9/15発売【PLACE】
・【初回盤5曲】¥2,100
・【通常盤3曲】¥1,575
※オリ特付！
イベント開催決定！
詳細はWebにて！

spive states
8/25【フレーバー】
・【初回盤】¥1,890
・【通常盤】¥1,575
※オリ特付！
イベント交渉中！
詳細はWebにて！

大佑と黒の隠者達
▼7/21発売
「嫌」CD¥1,260
◆オリジナル予約特典：DVD付！

NEU
8/4発売「-wave-」¥1,575
◆オリジナル特典
コメントDVD＋アーティストカード予定
◆イベント開催決定！
・2010年9月5日(日)PM7:00～

rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
★8/4発売 M-CDs+DVD
「Cicada[初回限定盤]」¥1,890
★8/4発売 M-CDs
「Cicada[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典、イベント開催決定！

カル・ヴァリ
「JOIN」
発売中 M-CD¥1,890
オリ特付：コメントDVD＋アーティストカード
8月6日PM7:00～
イベント開催決定！

ZORO
NEWシングル
・[初回限定盤]
8/11発売 ¥1,575
・[通常盤]
8/11発売 ¥1,365
オリジナル予約特典交渉中！

ViViD
待望のNEWアイテム発売決定！
☆発売中CD+DVD「PRECIOUS[初回盤A]」¥1,890
☆発売中CD+Booklet「PRECIOUS[初回盤B]」¥1,890
☆発売中CD「PRECIOUS[通常盤]」¥1,575
インストアイベント7/31開催決定！
3種同時、2種同時予約特典有。詳細はWeb Siteにて！

ケミカルピクチャーズ
5ヶ月連続リリース第3弾の発売が決定！
「世界を撃った男」
-case 3 火縄銃-
▼7/28 M-CD¥1,575
イベント開催決定！
8月14日(土)PM7:00～

TOON-FACTORY
-トゥーン工場-
【Heart】
★発売中 CD ¥2,625
オリ特3大予約特典付！
(DVD&CD&CARD)
大好評販売中！
8月1日(日)
PM7:00～
イベント開催！

我羈道
「もう泣かないと空に誓…」
★8/4発売 M-CDs¥2,…
※オリジナル予約特典…
8月15日イベント開催…
詳細はWebに…

DaizyStripper
なんとフルアルバム同時発売！
☆8/11「BIRTH」1stAlbumCD¥3,150
☆8/11「LOVE」2ndAlbumCD¥3,150
オリジナル予約特典交渉中！

heidi.
待望のNEWシングルリリース決定！
★8/25発売「∞ループ[初回限定盤]」¥1,890
★8/25発売「∞ループ[通常盤]」¥1,260
◆インストアイベント8月22日開催決定！
※開催日が発売日よりも前の為、前金入金にて、イベント券を発券します。詳細はWebにて

レイラ
「光満ちた丘で交わした約束」
▼発売中 M-CDs¥1,575 オリ特付
インストアイベント
7月25日(日)PM7:00～開催！

☆VISUAL NEGATIVISM
-complete-
7/21発売DVD¥4,725
オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
7月24日PM7:00～

Nightinge…
★「吊り下げの恋」
発売中M-CDs¥2,625
オリジナル特典付！
8/13イベント開催！

葵 from 彩冷える
ソロプロジェクト始動！
▼9/8 ON SALE
・初回盤CD+DVD ¥1,500
・通常盤 ¥1,000
※オリジナル予約特典交渉中！
他、詳細はWeb siteにて！

the GazettE 待望のNEWアイテム発売決定！
2010/7/21
NEW MAXI SINGLE [SHIVER] Release!
2010/8/4
NEW DVD[FILM BUG II]Release!
※詳細はWebにて！

MERRY 移籍第1弾リリース決定！
★8/4発売CD+DVD
「The Cry Against…[初回限定盤]」
★8/4発売CD¥1,260
「The Cry Against…[通常盤]」
※オリジナル予約特典考案中！

BugLug
★8/18発売CD+DVD¥1,890
「メイドインマイン。[初回盤]」
★8/18発売CD¥1,260
「メイドインマイン。[通常盤]」
★イベント開催決定！詳細はWebにて！

D
▼7/28発売
「赤き羊による晩餐会」
★限定盤A CD+DVD ¥1,890
★限定盤B CD ¥1,680
★通常盤C CD ¥1,050
オリ特付！
▼インストアイベント開催決定！
・8月1日(日)PM12:00～
※参加方法やオリジナル予約特典の詳細はweb siteにて！

◆◆◆送料改定のお知らせ
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料はプライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します。
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては上記の価格は適用されません。

No GoD
■待望のメジャーフルアルバム
【欠片[2TYPE]リリース！】
▼8/4 ON SALE!!
★【初回限定盤】CD+DVD¥3,780
★【通常盤】CD¥3,150
◆各タイプにスペシャル特典付！
◆インストアイベント開催決定！
・8月28日(土)開催！
※詳細はWeb siteにて！

Brand X

メト…
NEWシングル3タイプ…
★8/25「初回…
☆8/25「初回…
★8/25「通常…
オリジナル特典を…
インストアイベント…
こちらの詳細もWeb…

★夏休み企画！開催決定！
▼2010年 夏！暑中お見舞い申し上げます。DVD♪
※8/1～8/31の期間にて、3,000円以上ご購入の方へ「暑中お見舞い」として差し上げます！(期間内ならばレシートの合算でもOK)
※収録アーティスト等は、当店web siteをご覧ください。

不良品種 花少年バディーズ
『バレリーナ』
★8/4発売「初回盤A-type」CD¥1,500
・オリ特：「花少年バディーズの超見たいDVD」
★8/4発売「通常盤B-type」CD¥1,500
・オリ特：「花少年バディーズの超見たくないDVD」
イベント開催決定！
◆第1部8月5日(木)早朝AM5:30
※限定50名様『踊れ！早朝バレリーナ！～みんなで踊ろうバディーズ体操～』&握手会
◆第2部9月19日(日)夕刻PM5:30 ※限定85名様
『敬老の日イブ記念！帰ってきた格付け！～バディーズを褒めちぎれ～』&握手会
※ご予約の際は、必ず、参加希望の旨をお伝え下さい。

DOG inThePWO
連続発売決定！
★9/15「青空晴レーション[初回盤]」¥1,890
★9/15「青空晴レーション[通常盤]」¥1,260
★9/15「POCKET★ROCKET[初回盤]」¥1,890
★9/15「POCKET★ROCKET[通常盤]」¥1,260
※W購入特典等、交渉中！

HERO -ピリオド-
9/1 DROP! M-CD+DVD 2,100yen
9/1 DROP! M-CD 1,575yen
◆オリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
詳細はWebにて

BORN
連続リリース！
▼8/18「BLACK BORN MARKET」CD¥2,100 イベント9月3日開催！
▼9/15「BLACK THEORY MANIA」CD¥2,625 イベント10月3日開催！
▼10/13「BLACK DEAD MUZIC」CD¥2,625 イベント11月3日開催！
※各タイトルにオリ特付！

アンド
【2種類2type計4種同時発売】
★9/29「タイトル未定1[A-TYPE]」¥1,890
★9/29「タイトル未定1[B-TYPE]」¥1,575
★9/29「タイトル未定2[A-TYPE]」¥1,890
★9/29「タイトル未定2[B-TYPE]」¥1,575
※インストアイベント開催決定！
2010年10月23日(土)PM6:00～
・内容：トーク&握手&サイン会！(私物1点)
参加方法やオリ特の詳細はWebにて！

R指定
★8/25発売 M-CDs+DVD¥2,100
「ギラつく太陽[初回限定盤]」
★8/25発売 M-CDs¥1,575
「ギラつく太陽[通常盤]」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年9月18日(土) PM7:00～

少女-ロリヰタ-23区
【新体制始動First Min…
【星帯次元区域ミネ…
8/25発売 CD+DV…
※インストアイベント開…
※オリジナル予約特典…
詳細は近日発表…

PICK UP ITEM
「新曲＋NEW CLIP」の3ヶ月連続リリース決定！
DELUHI
▼発売中 M-CD+VD「Frontier」¥1,365
▼発売中 M-CD+VD「The farthest」¥1,365
▼8/4発売 M-CD+VD「Departure」¥1,365
オリジナル予約特典等詳細はWebにて！

通信販売をご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換(着払い)と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください。また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けとなります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。

①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！
TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。すぐに商品をお送り致します。(FAX／ハガキの場合は第2希望まで記入して下さい。)※予約の場合は、商品が入荷次第発送致します。
商品到着時に商品代金＋送料(全国どこでも¥700)を配達員にお支払い下さい。到着は、ご注文から1日～2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日～2日でお届け致します。

②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！
TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお伝え下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようご送金下さい。

現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料(¥400)を下記の住所までお送り下さい。
予約の場合も同様です。

郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料(¥400)を下記の口座までお振り込み下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になります。
口座番号：00130-9-147670
口座名：(株)ブランドエックス
※振込手数料は、お客様のご負担となります。ご注意下さい。

銀行振込(webshopご利…
ご確認の上、下記口座…
振り込み下さい。
銀行名：イーバンク銀行
口座種別：普通
口座番号：7009021
口座名：(株)ブランドエ…
※振込手数料は…

入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。

池袋駅 東口 サンシャイン通り サンシャイン60 当ビル B1F

※自主制作の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！

Brand X webshop

ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休

通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け…

ARTIST'S BOX

hudie.com

ミュージシャンが作るページ

冷える 葵 の ナタごっこ 第52回

二年半過ごしたマンションから引っ越ました。
は「もう少し作業に集中できるようなスが欲しいな」って言うのと、「仕事からあまり近すぎる場所に家があると、事をしている感覚が切り離せず、なかフレッシュできない」と言った感じでか。
ば都」と言う言葉がぴったりな家かっ越し。今まで暮らしていたマンショても狭かったのですが、それはそれでばせば必要なものに手が届くような言うと語弊がありますが、でもそのよメージのお家でした。
引っ越し作業を始めてみると、荷物そに様々な思い出があり、なかなか処分、それどころか思い出に浸ってしまいし作業が進まない始末。自分のものはやりたい性分なもので、引っ越し業者頼まずに、自分とマネージャーさんた伝って戴いて引っ越しをしたのですが、想像を絶する大変さでした。とにかく重かった。でも、ちょっと燃えてしまった体育会系。悪くない。自分で梱包して運べばどこに何が入っているというのを把握しているから引っ越し先での手間が多少省かれる。

新しい部屋に昔の部屋のモノを、今迄の僕の生活を形成していたモノたちを列べていくと、相性がいいモノと悪いモノがあってまるで人間関係みたいで面白い。

僕はA型なのですが神経質な反面、凄まじくいい加減になることがたまにあるんです。それは大概が興味のないものに対してなのですが、部屋の配置というものにまったく興味がなく、最初なんとなく列べてみたのですが、全部左側に偏って集まってしまったり、電源を無視した電気製品の配置になってしまったり。はたまたベッドの頭の真上方向にテレビを置いてしまって、とてもじゃないけどテレビが観にくかったり。でも、そうやって失敗しながら直していくのが好きだったりするんですよね。「そこは神経質なA型なら配置もばっちり寸法計ってシュミレーションして列べていけよ」って話なんですが、どうやら偏ったA型気質のようです。

新しいお家は広いベランダがありそこが今一番のお気に入り。最近ちょっと興味のある「野菜ソムリエ」を目指して勉強して野菜を育ててみようか」とか「植物も列べてみようか」とか。「そこからの夜景がキレイだから、テーブルや椅子を列べて憩いの場を作ろうか」とか。そういうの考えてワクワクしてます今日この頃。このベランダから花火大会の打ち上げ花火が観れたなら、少しは夏を好きになれるかな？　とか考えてみたり。この夏少しオフができそうだから、色んなものを勉強して吸収して人としての幅を広げたいって考えているんです。「生物多様性」や「ロハス」に興味があったり、写真を本格的に学ぼうと学校に通おうかと考えてたり、ボイトレや演技のレッスンも通う予定ですのでそれも楽しみだし。とにかく消費するばかりの日々だったので少し蓄えも必要だし、その過程がないともっといい作品を提示できないんじゃないかと思うし、何より一人の人間として成長したい。今年後半はオフの日ができたら、そうやって少しずつですが色々なものを観たり聞いたりして吸収して成長できるようにしたいと考えています。

何より一番なのはステージに立ってみんなに歌を届けること。そこで100%自分を表現できるようにオフの活用方法はしっかり有効的に。

もうすぐ学生諸君は夏休み。みんなはどんな夏休みを過ごすのでしょうか？　2010年の夏はもうギラギラ輝いて手招いていますよ。みんなも素敵な日々を過ごして下さいね。僕は夏が嫌いなので変わりにエンジョイして下さい。

早く秋よ、来い。カモン。

あおい

ix Speaker's, Inc. seekの凡人水族園 第百回

遂に百回目を迎えた。「凡人水族園」。二〇〇二年に始まったこの連載。八年という月日が流れた。この歳月の中で父は定年退職を迎えた。母はちょびっとだけ皺が増えた。姉は子供を二人授かって家事に大忙しだそうだ。ロッタは家中を駆け巡っている。地元の友人は係長やら主任やらチーフという肩書きになっているらしい。カイパンは脱サラ計画を練っている。亡くなった人がいる。産まれた人がいる。

僕はといえば。Psycho lé Cemuの活動が休止して新たにMix Speaker's,Inc.の活動が始まった。バンドを始めて十一年。東京に出て来て八年。音楽を作り。ステージに立ち。書き続けている。まだ日本武道館のステージには立てていない。白髪も増えた。背中がツルようになった。腰痛は少しマシになったように思う。パソコンが無くてはならない現代人にもなった。変わりたいものが変われなかったり。変わりたくないものが変わってしまったり。少し器用になれた分だけ不器用の大切さを知る事になった。アーティストから離れた時間を作った事で物作りへのこだわりも増えた。バンドが夢ではなかった僕がバンドを続けている。今でもバンドが夢かと自問自答するとハッキリ「イエス」という返答がくる訳ではない。けれどハッキリと「続けたい」という言葉が返ってくる。僕は自他共に認める「難しい」人間なのだ。自分自身の答えの前で四六時中のたうち回っている。考えすぎるのは確かに良くない。ただ考える事は無料だ。考えて考えて踏み出す一歩は強い。気が付いたら終わっているかもしれない僕の人生。昔より前を見る様になった僕の視野はまだまだ狭く先が見通せない。沢山の人に笑顔をもらい。沢山の人に背中を押されている。目紛しく動く世界で毎日が忙しく。今の所止まる暇もない。鮪の様な人生だ。

バンドという華やかな世界で右往左往する凡人である僕を書いてみようと思い「凡人水族園」を始めた。そこには背伸びしている自分。縮こまっている自分。キョロキョロしている自分。立ち尽くしている自分。「凡人水族園」には歩いてきた道程が確かに書き記されている。

凡人の日々はまだまだ続く。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

●各コーナーへのお便りの宛先は〒104−8228 音楽専科社 SHOXX編集部アーティストBOX「○○○○○」（コーナー名）係まで。

THE KIDDIE 佑聖

第14回

絶頂モンスターハイゲイン

へろう！
佑聖でいす！（･。･）

最近湿気対策で部屋に押し入れ用の湿気取りを置いてるのだが、いつも家に帰ってそれに溜まった水を見てなんだか満足してしまう。

部屋に湿気がないのがベストなんだけど、水が溜まってるとなんかうれしくなっちゃうんだよね。

これって…何故!?
みんなも経験ない？

修学旅行に行った帰りに悪天候で飛行機が飛ばなくて帰れない！　だけど何故かワクワクしちゃうとかない？

何故!?
まぁ俺は修学旅行は中学までしか行ったことがないんだけどね。

さてついに7月14日に僕達THE KIDDIEはメジャーデビューしましたー！
いやーやっとだね！

なんだか一つ上の男になった感じ？
へへ。

そして来月号が発売されるころには全国11カ所のワンマンツアーが始まるのですよ！

ずーっとライヴがなかったぶん暴れまくっちゃおうと思っているので楽しみにしてるんだぞ！

修学旅行の話しじゃないけど、ツアーはなんのトラブルもなく無事に帰ってこれるといいな。

この夏は楽しいこと盛りだくさんでございますよ。

今年は海いけっかなー。
もし行ったらブログにたくさん画像載っけられるといいな！

さて先月の問題はそらおさんからの出題でしたが答えは…

ぶっとぶ!!　です。

ぶっしゅーーーーーー!!
ってなるんだなこれが。
しかも想像以上に　笑。

今月の問題です。
ある鳥にくちづけするとゴージャスになりました。
何という鳥でしょう？

へへ。

じゃーらば。

TOON-FACTORY
Kiss☆My★Choice

第15回目 ゆー

まさか！
どぅーも～ゆーぃちです万太郎おーいえ～!!!!

ずばりばり俺達ねー7月14日にミニアルバム発売したんすわ！　て、事はみんなもうGETして抱っこしてまた明日！　的な事になってるな？

さてさて、ゆのぼうやからのお題は「バンド」ってわけでして。

すげー大ざっぱじゃねーか！
まぁバンドって難しいし何があるか本当わかりませんよね。　俺はTOON-FACTORYには後から加入で年上の新人的存在で、みんなからしたら扱いずらい感じなんだけど(-^^)テヘ

TOON入る時なんて、俺、みんなの事全く知らなかったのに、紹介してもらって、会って0秒でやる事に決めたバンドなんですわ（笑）。会う前から絶対やるって決めてた！　やっぱさー、ペットもちんちくりんでも飼えばかわいくなるでしょ？　バンドもやればかわいく？　なるでしょ！　その考えで即決！（笑）。

彼らと一緒にやって1年以上経ちますが、俺の「ペットかわいくなるでしょ論」は間違いではなかったと実感しております。

てかさ、バンドってお題はもはや朝までコースでしょ、ゆのぼうやさん…
さすが韓流好きはむっつりぼうやだな。

そういや、ゆのぼうやに紹介された韓流DVDをレンタルして見たり、おすすめの韓流アイドルも聴いてみたり、新大久保にも一緒に行ったりして、もうぼちぼちハングル語かなっみたいな。

ねっ。

やべ、なんか意味わかんなくなってきた

まぁなんだかんだとバンド好きです。夢
魂でしょ！

やっぱ9月にはワンマンツアーもあるし
仙台、名古屋、大阪、東京！（詳しくは
で!!!!）全部ワンマン！　夢の塊魂やで
どうだい？

やべっもうそろりーひかるのたろすけに
お題だー！

お…お題は！

「夏」

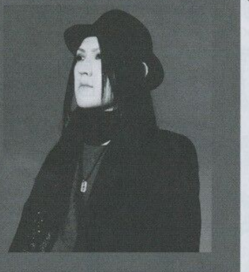
また大ざっぱや。びっくりしすぎてかさ
とれたし！　でもまぁいいか。

じゃあまた夢の中で！

ギルガメッシュ

CRAZY-CHAIN

第2回 ■弐■



皆さんこんにちは！
初めましての人もいっぱいいると思うので、自己紹介したいと思います！
ギルガメッシュというバンドでギターを担当している弐と申します。
好きな食べ物はパスタとか麺ものが大好きです。
嫌いな食べ物は寿司で、何で嫌いかと言うと幼少時期に興味本意で食べたイクラが想像以上の触感と強烈な風味がしたからです。
でも寿司屋の雰囲気が大好きです。
最近はのだめカンタービレに凄くハマってます。
好きすぎて夢の中にまで俳優の玉木宏さんが出てきて、しかもその夢の中ではうちのバンドのbassの愁さんが玉木宏さんと大親友という設定で二人は和気あいあいで話してました。
俺はその光景を見てムカつきました。

さて最近のギルガメッシュさんはSUMMER TOURの真っ最中です。
ツアーの前はずっとレコーディングやら作曲作業やらでライヴとはかけ離れていた毎日だったけど、やっと待ちに待ったツアーが始まって本当に嬉しいです。
ライヴ中に皆の楽しんでる笑顔を見るとこっちも凄く楽しくなるし、凄いエネルギーを貰えます！

最後に俺から各メンバーの紹介をしたいと思います。
まずヴォーカルの左迅君は面白くて二人になると優しくなります。
すっっっごくたまにジュースをおごってくれます。1年に3回くらい。
良い奴です。
最近は車の免許と車を購入してブイブイ運転しております。
左迅君が免許をとったとき嬉しさ半分歯痒さ半分な感じがしました。

ベースの愁さんは、面白くて、凄く頼りになります。つけ麺が凄く大好きで、一緒に食べに行くこともあります。
寿司の光りモノを食べると30%の確率でお腹を壊します。

ドラムのЯyoはたまに面白くて、凄く研究熱心で、海で銛を持つとたちまち野生児になります。
ギルガメッシュ毎年恒例の旅行を俺の次に楽しみにしてる男です。

今回はこんな感じで終わりにしたいと思います。
次回はベースの愁さんです。
バイバイ!!

蝴蝶网
hudie.com

少女-ロリヰタ-23区

第2回 龍兎

THE コラム

やっと新ヴォーカルに総史を迎えて再び少女-ロリヰタ-23区は動き出しました。発表するまで凄い時間がかかってしまったなー。

最初メンバーでは、今年の1月には新体制での何か発表でもできたらいいね、なんて言ってたんだけどね（汗）。でもその時間を取り戻せるように今メンバー全員で頑張っているよ！

せっかくなのでそんな新ヴォーカルの彼についてでも今回は書こうかな。

総史君と俺は家が同じ方面とゆうこともあり、バンドの用事がある時は一緒に帰っている。

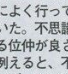
総史君は多趣味で、彼のblogのバナーを見てもらえば分かるように、格闘ゲームが大好きなのである。

そんな彼に「ちょっとゲームセンター寄
いい？」と言われてついていって、一時
上待たされたのは言うまでもない。彼は
道では相当強いらしく、何人も挑戦して
奴らをコテンパンにしていた。彼はその
ムセンターによく行ってたらしく、彼の
がいっぱいいた。不思議とへんな絆みた
ものが見える位仲が良さそうに見える。
のクラスで例えると、不良グループ、オ
グループ、スポーツマングループ、ほの
グループ等にクラスの中は群れをなすと
んだけど、その中のほのぼのグループの
だけが集う空間なのである。

なんかやけに自分だけ仲間外れな感じが
な…

でもそんな俺も彼のゲーム仲間のおじさ
総史君と俺でバス釣りに行き、ほのぼ
ビューを果たしました～！

しかも…



釣れた（笑）。

昔やってたけど、一度も釣れたことがな
たので嬉しかったな（笑）。

そんな彼を迎えての1stミニアルバムが
日にreleaseするので是非皆聴いてみてね

蝴蝶网
hudie.com

heidi.『ハイジのアルプス日記』

第15回：コースケ

コースケです！

夏がきちゃったね！

だけは大の苦手なのです!!!!!

ン大好き現代っ子です。

う
んは夏になると何が食べたくなります

んとか??　冷やし中華とか??

カレーが大好きで特に夏になるとよく食べ
りますねー！

にコーラこれで俺は育ってきました（笑）。

と言えばたまにメンバーとか他のバンド
の間で
カレーが好きなの？」って話をしたりす
けどみなさんは何派ですか？

的にはやっぱり色んなスパイスが入って
的な物が好まれてるみたいですね。

中
ーモンドカレー家庭派です！
すリンゴとハチミツです（笑）。

にメンバーにはB級王と呼ばれてます

うそう
うしても食べたい物がありまして…

もう一度学校給食で出てきてたあのカレーが食べたいのです！

あれって部外者が食べられる方法ってあるんですかね???

自分が卒業した学校とかだったらどうにかなるのかなぁ (>_<)
それに関して何か情報知ってる方いましたらツイッターにて是非是非メッセージお待ちしてます（笑）

コースケアカウント:@heidi_kohsuke
(http://twitter.com/heidi_kohsuke)

あっ!?

heidi. メジャー第2弾シングル「∞ループ」が8月25日に発売決定しました!!

すごくheidi.らしい影のある切ない曲に仕上がってるので是非聴いてください!!

それじゃまた～。

のぐるぐね大回転

第28回

ーティストがつなぐ、リレー連載☆

(シリアル⇔NUMBER)『もし蝉の様に一週間の限られた短き命だとしたらその一週間をどう有意義に過ごす?』

➡ TERU(Versailles)

こちは、最近健康診断を受けたら痛風予
って言われました！
アル⇔NUMBERドラムの華威ザマス。
XXさんのコラム、はじめまして～！　前
よくこういうリレーコーナーを見ながら
、ミーは1度も回ってこないな～、家が都
ら遠いから友人が少ないんだろーなー」っ
ってたんです。ありがとう勇くん、勇く
はお互い元関西バンド出身ザマス。なの
構長い付き合いね～、昔一緒に新宿駅の
ず…や、勇くんに申し訳ないからこの話
やめとく。
何やらお題があるみたいですね。もらっ
題はこちら…
蝉の様に一週間の限られた短き命だとし
の一週間をどう有意義に過ごす？」

ど～、わかったザマスよ、本気で想像
ずらシュミレーションザマス！

…
何をしようとも必要なものがあると気付

ey」
の後に残る人には非常に申し訳ないなぁ、
いながらもプロミスへ行って1000万円借
する。そして1週間を無駄にしちゃいけな
ては行けないってことで、最低でも24時
日の168本の眠眠打破を買う。準備が整っ
で、今まで忙しくてやれなかったドラク
クリアする。
…

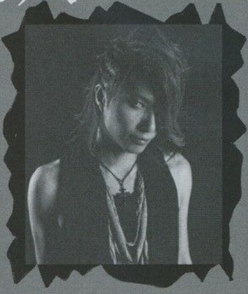
ミーはまだ東京ドームでライヴした事ないからする。多分五百万くらいあったら貸してくれるザマスだろ？音響と照明さんも含めね。っていう安易な考えの基、実行。
3日目…
好きな物は最後に食べとかないと死にきれないザマスということで、ミーの好きな食べ物「麻婆茄子」を横浜の中華街の一番高い店へ食べに行く。あと、死ぬときの顔が不完全なのはイヤなので一番気になる「顔の長さ」を整形して満足する。OKザマス。
4日目…
やっぱり心の中に言い残した言葉を溜めて死ぬのはイヤじゃない？だから某女優のところへ言って「ねーねー、なんであの時、【別に…】って言ったザマスか!?」って聞く♪
5日目…
もう時間があまりない！なぜならばミーの1番の目標は後世に名を残さなければならないから…というわけで急いで飛行機でフランスへ。
6日目…
モナリザの絵に思いっきり黒マジックで「華威参上！」って昔のヤンキーみたいに書く。これで思い切って死ねるザマス！　スッキリ！
　最後の一日はタイガーウッズにおこぼれをもらいに行くか、と余裕をこく。
7日目…
飛行機に乗った瞬間に警官に「show your passport?」って言われる
ミーの人生はそんなに甘くはいかない。タイガーウッズになんて会えず建造物損壊罪、文化財保護法違反で逮捕され、牢獄でゴキブリと見つめ合いながらBAD ENDを迎える。

以上。
OK！ヘビーメタルな1週間でした！

…というわけで、え～、さくっと次の人に回します。古くからの先輩でありヘビーメタル好き仲間であるVersaillesのTERUさんに回すザマス！　TERUさん今年はラウドパークに行ってミーを見つけても無視しないでくださいね（笑）。お題はですね「ザマスとTERUとヘビーメタル」これにしましょう、バッチシでしょう？　これを機会にこのコラムを「ぐるぐる回るメタラーの輪」にしましょう！
ではではTERUさんよろしくザマース！

D'espairsRay マニアの覗き穴

第95ブレイク
TSUKASA 編



「人間」

おはようございます。

みなさんいかがお過ごしでしょうか？

夏ですね。

またビーチボーイズの主題歌、FOREVERの季節がやってまいりました。

砂をつかんでその熱さ確かめないと！

でもなかなか海に遊びにいくことのない現実。

潮干狩りくらいしかきっかけはありません。

今日は海について語りたいとおもいます。

海は奥が深い。そして海溝も深い。

タイタニックの映画で、女は海のように秘密を持ってるの。と、表現されるほどに秘密の塊だ。

地球上ではほぼ人間によって探検されつくしたけど、海の中はまだまだ人の行けない場所が山ほどある。

細かく言うと地底の中も行けないけど。

ドラえもんの秘密道具にあるテキオー灯があればどこでも探検できるんだけど、たぶんテキオー灯が作られることは不可能でしょう。

そういった中で海というのは非常に神秘に満ちた世界だ。

46億年前地球が誕生してからずっと土の球を見守り続けてきた。

しかし、海は奇跡を産んだのに大地はなぜ繰り返すのだろう。

いろんな生き物が食物連鎖で食う食われるの循環がある限り争いが尽きないのはしょうがない。しかし人間様は生きるためではなく欲のために自ら混沌とした社会を作り続ける。もちろんそのおかげで自分達の生活が便利になったり、秩序が産まれたり、プラスの要素も非常に沢山ある。

海からの贈り物としてある全ての生き物や資源。

いろんな矛盾を経て、戦い進化し続けた人々の先を行くぼくたち現代人は正論とか邪論をかいくぐり、必死にもがきながら生きるしかない。

わからなくっても生きろ。

生きろ。

もののけ姫のキャッチコピーになってしまった。

生き物全てが持っている欲があるかぎり渦巻く世界は終わらない。

俺達は人間の皮をかぶったモンスター。欲のために戦い続ける化け物の集団だ。

7月28日発売、

D'espairsRay 4thアルバム、

「MONSTERS」

これを聞いて共に生きよう。戦おう！

んだれば。

司。

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第77回
音源でるよ の巻

77回目ですか！　ラッキーセブン！

今回久々にパーソナルインタビューをさせていただきましたが、せっかくなんでバンドのときとは違う写真で！　という事でなかなか斬新でいい感じの写真を撮っていただきました☆

なんだかファッション誌のような感じでしょ？　えへへ♪

という訳で我々ドレミ團、ただ今久しぶりのイベントツアー真っ最中でございます。

たくさんのバンドさんと一緒のイベントで廻るのは一体何年ぶりだろうか？なかなか刺激的なツアーになってると思います。ツアーの中、大阪ではイベントライヴの他、ワンマンもやります。しかも3days!!

一日目はファンクラブ限定ではありますが、あと2日間は、ちょっと普段のワンマンとは趣向を変えたものにしたいと思ってるのです。去年東京で7日間のコンセプトワンマンをやったのですが、それの大阪版みたいな感じでできたらいいかなと思っています。地元大阪でこんなに集中してライヴをするのは初めてなのですごい楽しみ。

さてさて、そんな中、これを書いている今は絶賛レコーディング中であります。

そう、現メンバー初の音源のリリースが決定しました！　メジャー2ndフルアルバムです！　まだ完成はしてないけどすごいボリュームです。

特に今作はドレミ團のコアな部分をすごく押し出してる作品にしたいとおもってます。

楽しみにしててね。

という訳で、近況報告&告知のみというシンプルな内容ですが次回はツアーでの出来事や大阪の企画ワンマン、アルバムの事についてもう少し書けたらいいなと思っています！

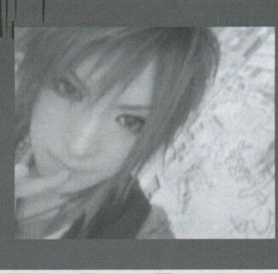
ほなー。

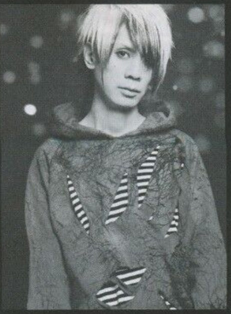
ヴィドールの ~~美~~ 微doll?

第八十二体目
シュンの巻

最近暑さのあまりテンションが変なシュンです。
夏ってだけで痩せるしスポーツしたら気持ちいいし食べても食べても消化するという特別な季節。
何より夏休みは楽しかった思い出で溢れてるからなんかウキウキしちゃうよね。という事で今年はすでに日焼けしちゃったりしてます。
ワールドカップ見ててね、日本は負けちゃったわけだけどね。
色々感化された部分もあって最近スポーツマンなの。
フットサルにバスケにあと夏って事でダイビングしたりね。
テニスラケットもクローゼットから出してみつつBBQとかにもいきたいしやりたい事だらけで大変。
運動してたら体重もへるし体力もつくしいい事だらけだしね。
あ、もちろんギター弾いたり曲作ったりもしてるよ。
これが載る頃にはリリースも発表されてるはず。

まぁ夏の前に今も降ってる雨がやんで梅雨明けしてくれないと本格的な夏はこないんだけどね。
そしてヴィドールは活動休止が発表されたわけですが。
ジュイ君の喉がよくないので手術って事だけど今でいう梅雨みたいな感じじゃなのかな？
治ったら今まで以上にいい状態のヴィドールが見せられるしそれまでのちょっとした準備期間っていう。
それまでもイベントたくさんあるしね。
前向きだからこそ踏み切った決断でもあるわけだしみんな大丈夫だからね。
ちゃんと帰ってくるって約束するから。
楽しみに待っててもらえたらいいな、っと。
とりあえず夏だし楽しい事いっぱいだしみんなで楽しんでいこうね！
夏はいっぱいヴィドールに会いにきて笑顔で帰っておくれ。
よろしく、じゃあねー！





第133回
by 長谷川 正
/Plastic Tree

—ただし

皆様こんちくわ。七月に入り世間的には七夕ムードが漂っております。せっかくなので笹に短冊を飾り、願い事の一つでも!と、毎年思ってはみるのですが、なかなか実現しないのが現実です…。そういった個人的な事情はさておいても(笑)、こういうロマンティックな行事はこれから先も無くならないで欲しいですね。さて…今月も先月に引き続き、われわれは新曲作りに取りかかっているのですが…一つ問題が発生。こういった制作の際いつも使っているベースの調子があまりよろしくない！ 僕の場合ライヴではわりと現代的な元気のいいベース、レコーディングでは音質的にやや落ち着いた古いベース…といった感じに使い分けています。ギターやヴァイオリンなどの楽器と同じく、長く使われて来た事によって生まれる深みのある音色がとても魅力的なのが主な理由なのですが、古い楽器だけにコンディションには若干気を使う部分もあります。部分的に消耗していたり、塗装などもデリケートだったり(楽器ごとの個体差はありますが)。とはいえ、これまであまり調整しなくても大丈夫だったので油断していたのもまた事実…何だかちょっと弾きにくい！という事で、取り急ぎ調整してもらって復活！めでたしめでたし。ところでこのベース、よく見ると以前使っていた人が貼っていたと思われる小さな星形シールの跡がいくつかあったり、ケースに至っては持ち主であったろう人の名前（外国人の方です）がスプレーで書かれていたり（笑）と、あちこちに歴史を感じさせる部分があるのも好きなポイントです。自分と出会うまでこの楽器はどんな場所で、どんな人が使って、どんな音楽を奏でて来たのかな?とか考えるのもいろいろ想像が膨らんで楽しいです（笑）。ちなみにここ数年プラのレコーディングではほとんどメインで使っているので、いろんな作品でこの楽器の音を聴く事が出来ますよ。という事で曲作りや武道館に向けての準備など、夏本番に向けて体調などを崩さないように引き続き頑張ります！ 皆さんもどうか気をつけて！ 今月もマリモーランドからお届けしました…さよーならー！

SHOCK WAVE アポロ Vol.4
2010年8月18日(水)高田馬場ARE

★★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★

TOON-FACTORY/Cla vi us/ALiBi/東京ミカエル。/ ZEST/D'eiz/Libertine/BUNNEIES

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　8月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは絶賛発売中♪詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-

hudie.com

Moran Hitomiの「瞳孔反射」 第28回『　』

金ウシジマくん』という漫画を知って
ろうか。レンタル漫画のランキング
ーで、アニメ化されているようなジャ
コミックスや少女漫画がずらりと並ぶ
いつだけは明らかに他と系統が違い、
彩を放っていた。この漫画なんなんだ
ずっと気になってはいたのだが、ある
勧められたことがキッカケでやっと読
になったのである。うん、人気が出る
得である。
とストーリーを説明する。主人公のウ
くんは、法外な金利を搾取する闇金融
である。社会の底辺に生きる人たちが
ら金を借り、その後どのようになって
を各顧客の視点から非常にリアリスティックに描いている。大抵、社会の底辺からさらに地獄の底辺まで落ちていくパターンが多い。あまりにも凄惨なシーンが多く、各編の顧客たちが哀れ過ぎて思わず目を背けたくなる場面も多々あるが、その独特な雰囲気に惹きこまれてしまい読み進めずにはいられないのである。

基本的に、各編のメインとなる顧客にはスーパーバッドエンドが待っていて、時には借金のせいで死にまで追いやられる場合もある。しかしこの可哀そうな顧客たちにはある共通点がある。どいつもこいつも、どうしようもないのだ。この漫画に出てくる顧客たちは、自分の責ではない悲運な不幸によって借金を背負ってしまう人間はほとんどいなくて、大抵が目先の欲に目が眩んだ結果、地獄の扉を開けてしまった浅はかな者たちばかりなのである。

パチンコ依存症の主婦、ブランド品依存症の田舎出身のOL、パチスロ好きな夢追いフリーター、旅行代理店に勤務しながら副業で闇金狩りを行う若者、ヤ◯ザに搾取される暴走族、ジャ◯ーズの追っかけ、俳優志望のゲイ、イベサー代表のギャル男、日雇いとパチスロで稼いでは使うパラサイトシングル、出会い喫茶と闇スロにはまるサラリーマン、人を轢いて逃げようとしたタクシードライバー、売春を繰り返す少女、常軌を逸したナルシスト、売春を繰り返し娘にまで売春を強要する主婦、服に全てをかける読者モデルの少年などなど、ネタばれしたくないのであまり詳しく書けないのが残念だが、とにかくアウトサイダーな生活を送っている人間にスポットが当てられストーリーが進んでいく。

えぐい話だからこそおもしろいのだが、バンドをやっていると、ミュージシャンで借金まみれの奴（機材とか高いからね）もよく見るし、バンドの追っかけをしているファンの子でも遠征費とかで金銭的に苦労している話もよく聞くから、この漫画を読んでいるとあまり人ごとに思えなくてなんとも言えない気持ちになる。

かなり昔の話になるけど、俺の知り合いのバンドマンにも絵に描いたような「借金地獄」にはまった人がいた。

バンドをやっていく上でかかる、機材や衣装、スタジオ代等のほかに、地方出身だった彼には普通に生活を送るお金も必要だった。それにもかかわらず大のギャンブル好きで、あげくには、お酒も大好きという悪条件が揃っていて、いつも「もうどこの会社からも金が借りれないよ～」と嘆いていた。お金に困っているバンドマンなんてインディーズの世界にはゴロゴロいるから、俺も周りもあまり心配していなかったんだけど、ある頃から友人どころか、メンバーでも連絡がつきにくくなって、やばい借金取りに追い回されているなんて噂が飛び交った。そして、その噂が確信になるのにも、そう時間がかからなかった。ある日彼と共通の知人であるAというバンドマンの所に、「家の前に借金取りの人がいて家に入れないんだ。今日だけ泊めてくれないかな」という連絡が来たのだ。しかし、その時連絡を貰ったAは都合が合わなかったらしく「ごめん」と断ったという。

俺の周りで彼と連絡がついたのはその日が最後だった。そして活動中だったバンドにも音信不通のまま姿を消してしまったのだ。

その後、彼については、生きてないんじゃないかとか、海外に飛んだとか、色々な噂が流れたが、実は最近になって普通に社会人として真っ当な生活をしてるという話を聞いた。いつか、その後どうしていたのか聞いてみたいものである。

話を戻そう。メディアの近代化が進み、今まで忌み嫌われてきたマイノリティが日の光を見る時代になってきた。キャバクラ嬢やホスト、ヲタク…ヴィジュアル系もある意味そうだと言えるだろう。こういったマイノリティに焦点を当てた漫画がここまで人気を博するのも、そういった時代背景ありきなのだと思う。まぁもちろん、俺らの親世代がこの漫画を読んだら眉をしかめるのは間違いないのだけれどね。

そろそろ「ヴィジュアル系」がこの漫画に、出てくるんじゃないかと冷や冷やしているのは、きっと俺だけではないはず。

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU 検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

7月28日発売
Plastic Tree
ムーンライト --------。
初回限定盤A 1,575円
初回限定盤B 1,575円
通常盤 1,260円
＜GURUGURU特典＞
いずれか2種で
コメントDVD

7月28日発売
D
赤き羊による晩餐会
初回限定盤A type 1,890円
初回限定盤B type 1,680円
通常盤 1,050円
＜GURUGURU特典＞
いずれか2種で
「オフショットリレーDVD」
Version6
+3種購入で5枚組フォト

8月4日発売
the GazettE
FILM BUG II
DVD 4,800円
＜GURUGURU特典＞
ポスター

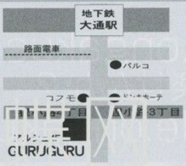
7月28日発売
Kaya
Awilda
CD 1,260円
＜GURUGURU特典＞
イベント整理券
(8/21 13:00
GURUGURU)

8月11日発売
Kagrra,
白ゐ噓
初回盤A 1,890円
初回盤B 1,890円
通常盤 1,260円
＜GURUGURU特典＞
ポストカード
+W購入でポストカード
+全国ツアー会場限定抽選会

8月25日発売
Alice Nine
閃光
初回限定盤 1,890円
通常盤A 1,590円
通常盤B 1,260円
＜GURUGURU特典＞
ポスター+交渉中！

GURU GURU
有限会社 グル・グル

札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN 10:30-CLOSE 20:00



全国通販OK
代引きOK
即日発送

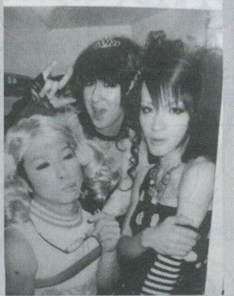
Radio-UZU-「渦」 ON AIR
毎週火曜23:00 FMアップル 76.5MHz
※札幌圏のみの放送になります。
インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_apple.html
Kagrra,白水と女雅の道産子牧場
ヴィドールの真夜中の美人館 放送中！！
バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Kain一朗のコライチ

第94回



暑い。暑すぎる。ねえ、だれか地球の地軸のズレを元の角度に戻しにいきませんか？　あのずれをいいカンジに調整して年中「春」とか「秋」になるようにしたいものですね。貴方はどうですか？　夏は好きですか？　というわけで、Kαinの一朗です。

いやぁ、6月はジメジメしてましたね。しかし、そんなジメジメを吹き飛ばす勢いでライヴの日々に明け暮れてました。6月は1日&2日に新宿ロフトでレーベルの主催イベント、13日にはabout-tessという素敵なインストバンドとKαinの2マン、18日&19日にはTOZIさんの主催イベントで仙台&新潟に遠征し、28日&29日にもレーベル主催イベント。いやあ、怒濤の6月でした。

最終日の6月29日のイベントにはボクの別人格である「イチ子」が4月4日のオカマの日イベント以来、久々の登場！　クレイジーな夜を堪能してきましたよ。「イチ子」はボクが女装したオカマキャラです。（ビギナーちゃんの為に説明すると）え？　女装癖キモい？　ええ、そうですとも！　でもゴメンなさい。ウチのレーベルには、あと2人ほど強烈なオカマがいるわけで。（笑）しかも、その29日のイベントではついに、同じステージに3人がそろい、意気投合してユニット状態になるという、クレイジーなコトがおこりました！　これからこの3人で何をやる気なのか。。。乞うご期待！笑

じゃあ今日はそんなオカマを一人づつ紹介しますね。

・マサ子（写真中央）……………
担当：Vo、踊り
好物：マサ子コール

・イチ子（写真右）……………
担当：key、踊り
好物：男子全般

・キャロライン・W・シマダ（写真左）……………
担当：太鼓、英語
好物：寿司

ウチのレーベルイベントにたまに出没するこのオカマユニットに新しく加わったドラムのキャロラインは、陽気なアメリカ娘。ゴリエじゃないのよ？　先日「ケンタッキー州出身」ってこともライヴ中に明かされました。とっても流暢な英語で喋る明るいオカマです。チアア風の衣装が可愛いですね。そしてオカマの日のイベント以来、和解？したマサ子（theJEANのドラマー。現在は休業中。）とイチ子でこれからみなさんを楽しませていってくれるはずです！

まだまだ謎の多いこのユニットですが、今日はサウンドアレンジ担当のイチ子さんのコメントを紹介します！

「80年代のディスコサウンドにオルガスムを感じるわ。あのデカダンな空気がたまらなく心地いいの。そこにマサ子のメロウなボイスがミックスされるの。それが私たちのサウンドよ。」

なるほど。っていうか、いちおう音楽もちゃんとやるユニットっぽいですね。。。ぼっくん、対バンしましょうよ。。。

さらに先日のイベント後、マサ子さんにいただいたコメントも紹介します！

「今回のギグは色々と課題が残ったわね。ただ、この3人でなら何かミラクルが起こせる、そんな手応えは感じたのよ！次のイベントを楽しみにしてなさい！」

ギグっていうか。。。まあ、どうやらこのユニットは継続するようですね。

突然参加したキャリーことキャロラインもコメントをくれたんですが、早口の英語でボクにはなにいってるかわかりませんでした。でもすごく興奮してましたね。。。

果たしてこのユニットでのライヴは、今後もあるのでしょうか。あの世界的作曲家の高田純三先生が楽曲を書き下ろすという噂も聞きました。純三先生は例の訴訟事件以降、初のアーティストへの楽曲提供ということで世間も注目しているようです。

続きはWEB（http://www.kranze.net/）とかmixiとかで探してみて！　笑

さて、これを書き忘れたら社長に殺される。ボクの本業バンドKαinは、7月24日&25日に新宿ロフト2デイズがあります！　25日はSHOXXでもおなじみ、ヴィドールさんとの2マンライヴだよ！　ぜひ楽しみにしてください！

それでは、今回はこの辺で！

Bye！

一朗

麺は固め!!

第146回　by 竹入隆行

台湾からのライヴのオファーが来ました。とてもありが
い話しです。最近はインターネットが普及して、マイス
ス？（竹入はとてつもなく苦手で良くわかりません。笑）
か音楽配信！とか、YouTube?とか世界中どこにいても
きな音楽を探して、手に入るらしい。驚いている暇もない
時代がどんどん変わって行く。レコードを買い、テレビを
ドなしで静かにして、直接カセットに録音してた（笑）
としては全くついて行けない…。ただ、時代がどう変わ
とタケバンがやる事はロックンロール、ただひとつなの
丈夫ですが…。

何か新しく嬉しい話しが舞い込む度に思う。

カリスマというバンドが終わり、1度は何もかもなくな
と思ってた。タケバン（当時はTAKEIRI BAND）がいつの
にか始まり、どんどん仲間が増えて行き。CDを作れるよう
までなってきたと喜んでいたらメジャーになり…。自分
てはびっくりする結果にばかりなって驚き喜ぶばかりな
すが。今考えると、多分自分は、人様のご期待に少しで
えようとしていただけやと思う。カリスマをなくして、
の期待を裏切ってしまった事を悔いて、がむしゃらに応
うと進んできただけやと思う。今は結果が良くてええ感
すが、きっと結果が悪い時もあるかもしれない。

でも、「人様のご期待に応えたい」この気持ちだけで、
な時もこの気持ちだけでこれからも進んで行きたいです。

感謝を込めて…

押忍！

通好みの集う店
Flower Record
の広告
tel 03-5380-3505
fax 042-563-7793
mail:apples@flower-record.com

菅、お前もか！！税率が上がる！！仕訳も半ばで、上がってしまう！！我らの労働報酬はさらに目減りする！国の借金を作ったのは、公金を横領したのは、一体誰だ！！何故、我々がその尻拭いをさせられるのか？糾弾せよ！！FLOWER RECORDは、今後も、税金はいただきません！！

FLOWER RECORD
164-0001 東京都中野区中野5-59-1 興産ビル305
tel 03-5380-3505 fax 042-563-7793
Email:apples@flower-record.com
URL:http://www.flower-record.com

木曜定休
11:30〜21:00
出張買取で20:00に閉める場合も有

東京近郊の配布物・会場限定物取得代行
地方の方でも、配布・会場限定CD,デモ、ビデオ、DVD等が、リーズナブルな値段で手に入ります。お気軽にお申し付けください。

リサーチ お探しのアイテムをお申し付けください。Wants List 大歓迎。在庫の無いものも、入荷時にお知らせいたします。

通信販売 全国どこへでもお届けします。TEL、ハガキ、封書、FAX、E-メールにてお問い合わせください。在庫確認後、代引、口座振込、現金書留にてお承ります。

ホームページ まだ未完成ながら、広告誌面に記載できない量の在庫・入荷・買取等の情報が見られます。

今月の貴重盤
【カリガリ】第1・第2・第3・第4・第6・再教育・走馬燈…etc.【百足】刺青（MD）【サクラン】たとえば（CD,石井秀仁）【サディ、ビリー、パンプキンヘッド】さわやか3
D）【リンチ】アンダーニース（CD）【メリー】配布MD【ノイズ】イミテーションポップ（CD）,凄69パラDICE！2006（6DVD）【シド】吉開学（MD,2nd）,憐哀ーレンア
（プロモCD）,ストーンニング1&2（CD,前身のSHULA収録！！）【ヴァニラ[Vani;lla]】ウソつき

今月の貴重盤；クラシックス
【バクチク】ハリアップモード（自主CD,メジャー盤より曲多い）,会報各種【HIDE】ハイドユア…（Tシャツ）,ピンクと黒のセーター,ハイドユアフェイス（初回未
D）【かまいたち】独罰主義（デモ）,ステッカー、バッヂ他【ラルクアンシエル】配布ビデオ,ゾンビーズリスマスビデオ【ルナシー】LUNA SEA（初回写真集付C
UGIZO】垂直の夢（限定CD）【スケアクロウ】デモ【エックス】アイルキルユー（1st7"）,ヴァニシング..（初回写真集付きCD,未開封）,ラストライヴ（2DVD）,'92
会場Tシャツ3種【プラスティックトゥリー】アリスの眠り袋,ビデコン用ビデオ【サーベルタイガー】ライヴ（ソノシート）【藤田幸也】アットプライベートルーム（配布

ヴィジュアル系アイテム、高価買取させていただきます
中古CD,DVD,デモテープ,ビデオ,レコード,グッズ,本その他80年代から現在まで!!!
＊特に、業界もの、配布もの、会場限定もの、限定枚数の少ないもの、発禁もの、前身バンドのものは、大歓迎の特別限定

買取り強化月間継続!!
あなたの聴かなくなった貴重盤・他をお売りください。プレス枚数が５００枚以下のものは、特別査定!!ＴＥＬ、ハガキ、封書、FAX、Ｅ－メールにての大まかな査定もＯＫ！送金は、口座振込み、現金書留にて！

宅配便買取
郵便・宅配便にて、ドシドシ送ってください。1枚からでもOKです！もし、CDアルバム20枚以上、もしくは、当店の高価買取例のアイテムが含まれる場合は、送料着払いOKです。なるたけ早めの査定後、連絡させていただきます。

出張買取
東京近郊（神奈川、埼玉、
山梨 etc.）のまとまった
貴重盤放出の場合は、出
無料でお伺いいたします
軽にお問い合わせくださ

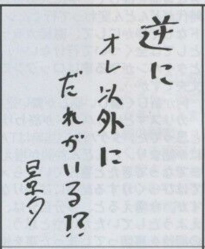
今月の万単位買取例　＊本気です
【Xジャパン】'85ライヴデモ,配布デモ、配布ビデオ,X現る（ビデオ）,直筆サインもの,スタッフオンリーグッズ,インディーズ時代のもの大歓迎！！【SUGIZO】
アントデイズ【デランジェ】キッズブルー（プレゼントビデオ）,デモ各種,FC限定DVD,プロモ【ジャンヌダルク】1stデモ、配布ビデオ【シド】吉開学（初回MD）【
DE I..（ビデオ）【デザイア】プロモビデオ【YUKIYA】ソロデモ【黒夢】サス4・ダブルベッド、ガーネットのデモ【ラルクアンシエル】4thアヴェニュー、前身バンド
モ【ラピュータ】サディストの夢（配布デモ）,パラドキシカル（ビデオ）【ルナシー】デモ各種【マリスミゼル・摩天楼・キャインスフィール】デモ各種,ビデコン用
【松川敏也（ラン）】バーニング（CD）【マインカンプ】スピーダー（緑ジャケ7"）【メリーゴーランド】毒・夢・月…（デモ）【シャムシェイド】配布CDS

今月の高価買取例
【カリガリ】第5実験室（CD）,第2実験室（6曲入りデモ）,極秘（FC限定CDS）,デモ【フロート】蒼の休日【D】アリス【ガゼット】別れ道、午前0時、14歳、泥だら
ンチ】グリーディ..（CD）【デスゲイズ】29403、ダウナー、配布、会場CD各種【ベリー】白痴、ブラッドプール（CD）【デルヒ（DELUHI）】サヴェイランス【ド
アトロール..（配布CD）【デュエルジュエル】ノア、ラピダリー【イクジットトレイス】レアもの【アンミュレ】レアもの【ジェヅジョンソン】レアもの【犬神サーカス
モ,御霊前,詩集【陰陽座】前身バンド「空想科学病人紙とメモ紙」「ロオレライ」【ピアス】猟奇絞殺窒息死【ルドルフシュタイナー】デモ2種【メトロノーム
ー..（CD）
【アイオン】デモ、BOOTLEG7.8（ビデオ）,ヒストリー（プレゼントビデオ）【アフターイメージ】配布ビデオ各種【ベビーシッター】配布デモ、空しい空の空（2nd
D）【バクチク】FC限定DVD,トゥーサーチ（プレゼントCD）【グニュツール】パンフ、配布もの【ディープ】ライヴビデオ【デザビエ】デモ各種【デュールクォーツ】
ライヴ（ビデオ＋本）【ガーゴイル】クレイジーサディズム（デモ）,フューチャー..（完全版）【ルイマリー】デモ【INORAN】アナザーワールド（DVD）,FC限定DVD
いたち】デモ各種【黒夢】アンダー（配布ビデオ）【ラレーヌ】1stデモ【マリスミゼル・ガクト】'95パンフ,会報初期号、サインもの各種【メリーゴーランド】…イズ
（CD）【MORRIE】薔薇色に染まる（CDS）【マディスグレイル】グッズ他【リボン】特典CD【スケアクロウ】立春（CD）,ライヴビデオ,いずみソロ【スラットバンク
の裏ビデオ（DVD）,ビデオ、CD各種【ヴァラブチュアス】デモ【ヴァイラス】異民族（デモ）【ヴァサラ】ジェノサイド,覇者凱旋　他（デモ）【Xジャパン】インディー
会報、ポスター、ステッカー、【ZEED】ビデオ【ジキル】ホールド..（ビデオ）【V. A】GIV創刊準備号（ビデオ）

ぽっくん

夏本番。凄まじい猛暑の中、みなさんいかがお過ごしでしょうか？　この文章を書いている今は梅雨真っ只中。この号が発売される7月21日が凄まじい猛暑かどうかは謎です。完全に想像で書いています。そして、がこの本を手にしている頃には参議院選挙もとっくに終わっていることでしょう。今月のお題は“あなたの選挙ポスターをください”です。すこしタイミングがズレていますが、楽しい企画になったので許してください。

舞
(Kra)



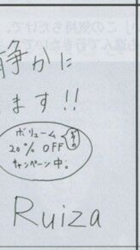
景夕
(Kra)

ナカヤマアキラ
(Plastic Tree)

佐藤ケンケン
(Plastic Tree)

長谷川正
(Plastic Tree)

有村竜太朗
(Plastic Tree)



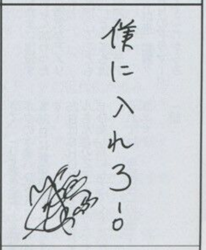
Ruiza
(D)

ASAGI
(D)

Aiji
(LM.C)

maya
(LM.C)

靖乃
(Kra)

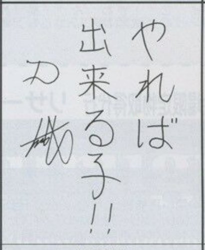


結良
(Kra)

団長
(NoGoD)

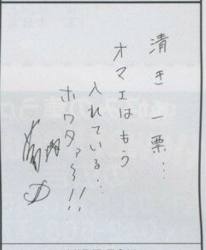
マコト
(ドレミ團)

ジュイ
(ヴィドール)



HIROKI
(D)

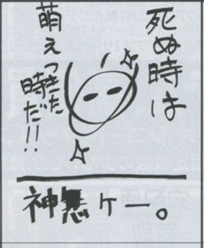
Tsunehito
(D)



HIDE-ZOU
(D)

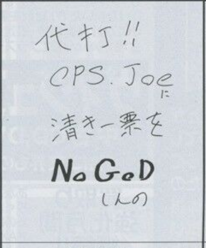
龍兎
(少女-ロリヰタ-23区)

総史
(少女-ロリヰタ-23区)



K
(NoGoD)

華凛
(NoGoD)



Shinno
(NoGoD)

Kyrie
(NoGoD)

タイゾ
(ゾロ)

龍寺
(ゾロ)

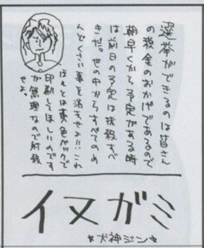
BAN
(少女-ロリヰタ-23区)

華凛
(NoGoD)

リョヲ丞
(少女-ロリヰタ-23区)

ユ≠キ
(少女-ロリヰタ-23区)

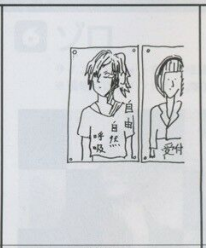
犬神明
(犬神サーカス団)



犬神ジン
(犬神サーカス団)

犬神情次2号
(犬神サーカス団)

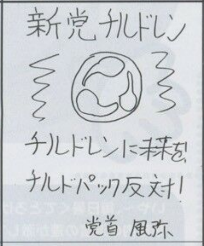
犬神凶子
(犬神サーカス団)



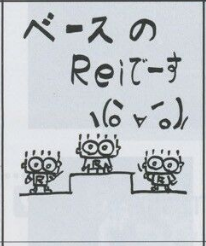
裕哉
(ゾロ)

たつひ
(ゾロ)

Juri
(DELUHI)

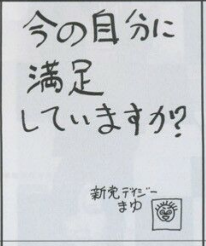


風弥
(DaizyStripper)



Rei
(DaizyStripper)

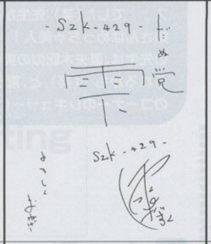
なお
(DaizyStripper)



まゆ
(DaizyStripper)

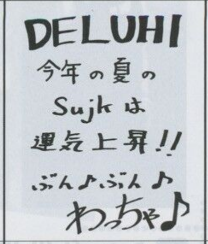
夕霧
(DaizyStripper)

夢叶
(TOON-FACTORY)



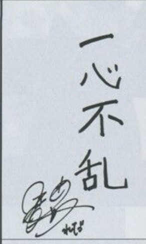
雫
(TOON-FACTORY)

ひかる
(TOON-FACTORY)



Sujk
(DELUHI)

Aggy
(DELUHI)



Leda
(DELUHI)

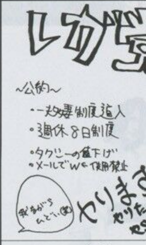
燕
(BugLug)

優
(BugLug)

一樹
(BugLug)

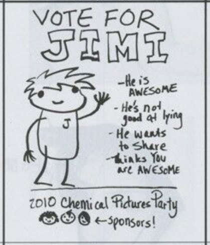
一聖
(BugLug)

ゆーいち
(TOON-FACTORY)



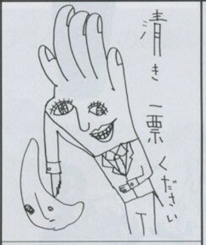
レガ
(TOON-FACTORY)

子雲
(ケミカルピクチャーズ)



Jimi
(ケミカルピクチャーズ)

Joe
(ケミカルピクチャーズ)



てんてん
(ケミカルピクチャーズ)

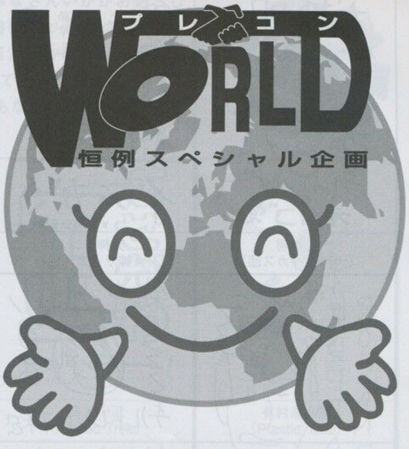
★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま～す。欲しい人は141ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、アーティスト名を書いて

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 音楽専科社「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年8月2[illegible]日（消印有効）です。

ぼっくんくれっ！
SHOXX vol.211応募券

蝴蝶网
hudie.com



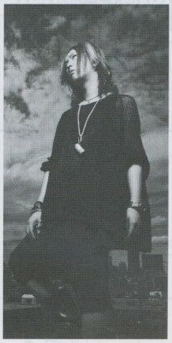
いや～、毎日暑くてとろけちゃいますね。外の温度と、編集部内の温度の差が激しすぎて、めちゃくちゃ体調の優れないぺろちゃんです。この間、10年振りくらいに意を決して行った歯医者さん。そこは…イケメン・パラダイス♪　でした(笑)。先生がみんなイケメン！　受付のお姉さんはめっちゃ美人！　ちなみに、ぺろちゃんの担当の先生は、妻夫木聡似の爽やか先生。これなら、通い続けられるかも…(笑)。と、言う事で、今月の画伯さんは、このコーナーのレギュラー(？)KAMIJO先生です★

1 the GazettE

サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。

2 YOMI&RUKA(ナイトメア)

サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。



3 シン(ViViD)

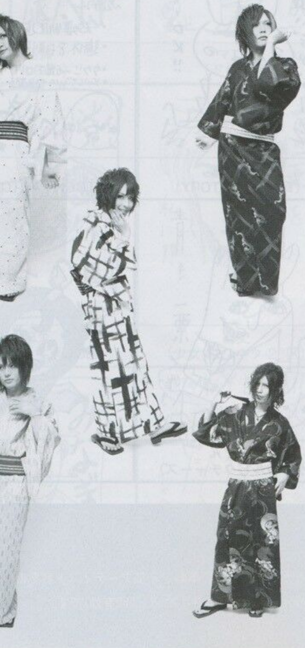
サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。

Kra

サイン入りフォトを１名様に
※現物にはサインが入ります。

TOON-FACTORY

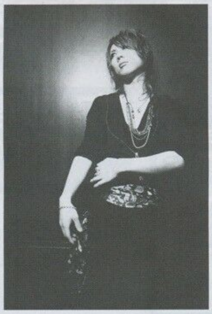
ンバーが撮影で着用した浴衣３点セット(浴衣・帯・下駄)を
名様に。(誰のが欲しいか書いてネ)



nudie.com

⑩ジュイ（ヴィドール）

サイン入りフォトを１名様に。
※現物にはサインが入ります。



⑧DaizyStripper

サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。

⑥ゾロ

サイン入りフォトを１名様に
※現物にはサインが入ります。

蝴蝶网
hudie.com

⑪D

ポスターを3名様に
※現物にはサインが入ります。

now
printing

⑨Megaromania

サインフォトとピックをセットで2名様に

⑦BORN

ポスターを3名様に

イラスト：KAMIJO(Versailles)

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.211

住所	〒 TEL （ ）				
氏名	フリガナ	年齢		男・女	

★A. よかった記事の番号を良かった順に３つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　　）（　　　）（　　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　　）（　　　）（　　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P142〜143）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可
●宛先は〒104-8228　銀座６－２－３　ダヴィンチ銀座アネックス５F
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2010年8月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①the GazettE　②YOMI×RUKA（ナイトメア）　③シン（ViViD）　④Plastic Tree　⑤
⑥LM.C　⑦Kra　⑧D'espairsRay　⑨D　⑩Versailles　⑪ギルガメッシュ　⑫DE
⑬Sadie　⑭ゾロ　⑮BugLug　⑯少女-ロリヰタ-23区　⑰TOON-FACTORY　⑱
⑲BORN　⑳DaizyStripper　㉑Megaromania　㉒マコト（ドレミ團）　㉓犬神サーカス団
年バディーズ　㉕Wizard　㉖大佑と黒の隠者達　㉗ν〔NEU〕　㉘愛狂います。　㉙SI
WAVEアポロ　㉚NoGoD　㉛SKULL　㉜ケミカルピクチャーズ　㉝GALAXY　㉞Art
㉟NEO VOLTAGE　㊱Secilia Luna　㊲シネマストリップ　㊳Fatima　㊴Dolly　㊵ジュ
ドール）　㊶アーティストBOX　㊷早耳情報　㊸Mission in ぽっくん　㊹ロックンロール日記

E-SOUND

ヴィジュアル系専門店 販売・買取

本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一!1フロアに5万点の品揃え!
只今、ゴシック&ロリータ古着コーナー拡大中!大阪と言えばピュアサウンドです。

ンナップ■CD/DVD/VHS/テープ/FC会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック&ロリータ古着
押しアーティスト■the GazettE/ネガ/ゴールデンボンバー/D/ケミカルピクチャーズ/Megaromania/花少年バディーズ/Kagrra/Kra

UMMER SALE

HP・アメリカ村・西新宿店同時開催!
▶7/17(土)~8/15(日) 第二弾▶ 9/4(土)~9/26(日)
中古商品全品20%OFF!

★西新宿店だけの特別企画★
セール中だけど雨が降っていたらさらに10%OFF!!
期間: 7月21日~8月20日
対象: 中古商品
※レジにてショックス見たとお伝えください。
ピュアサウンド西新宿店
東京都新宿区西新宿7-18-14 ミクラビル1F
03-6304-0360

ゴスロリ専門サイト
~maiden clothing~
http://www.maidenclothing.net

郵送買取キャンペーン
期間▶7/21~8/20着まで
下記高価買取ブランド、メンズ高価買取ブランドに記載されているブランドの商品1点以上で全体の査定金額が20%UP!!
(※状態が悪い物/デザインが古い物は対象外となります。)

邦楽・洋楽etc)■DVD(ミュージック・映画・アニメetc)■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服(その他V系古着)

送買取なら絶対ピュアサウンド!!

らでも無料!着払いでお送り下さい。送料代金は、当店が負担します!

店頭にて持ち込みでの買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定。即現金にてお支払い★
未成年の方は親権者同意書が必要となります。

①商品の送付
お売り頂く商品
身分証明書のコピー
(運転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点)
買取依頼書
親権者同意書(18歳未満の方のみ)
必ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに専門スタッフが1点ずつ丁寧に査定。

③結果
査定結果をメール or 電話にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品はキャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第ご指定の口座にお振込み。
お振込の際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

詳しくはこちら▶

について】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。
職業(機関名)、氏名、住所、連絡先、メールアドレス】【親権者同意書について】18歳未満の方の場合、ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。
意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
の商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さい。

モバイル版遂にOPEN!! ▶▶▶

ゴスロリ古着専門店
8月中旬OPEN!
場所:旧ピュアサウンドアメリカ村店4F
(※詳しくはHPにて告知させて頂きます。)

取強化キャンペーン

7/21▶9/20着まで

買取強化アーティストの商品1点以上で
の査定金額が20%UP!!
状態が悪い物は対象外となります。)

買取の極意!!
①CDなどの帯は捨てたらアカン!!
②美品・完品(付属品が完備)が一番!!
③リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD!!

ゴシック&ロリータ古着取り扱いブランド
◆ATELIER PIERROT ◆ ATELIER BOZ ◆ ACID JAZZ MEN ◆ alice auaa ◆ ALGONQUINS ◆ Angelic Pretty ◆ Innocent World ◆ Victorian Maiden ◆ VISIBLE ◆ Vivienne Westwood ◆ Vivienne Westwood MAN ◆ Vivienne Westwood RED LABEL ◆ A+Lidel ◆ h.NAOTO ◆ h.NAOTO(Hn+DIE) ◆ h.NAOTO(Sixh.) ◆ h.NAOTO(H.NAOTO Freak School) ◆ h.NAOTO(h.ANARCHY) ◆ h.NAOTO(H.ANARCHYISM for PLUS) ◆ h.NAOTO(H.ANARCHYISM from LONDON) ◆ h.NAOTO(Sixh.) ◆ h.NAOTO(Hn+DIE) ◆ h.NAOTO(h.NAOTO Blood) ◆ h.NAOTO(H.jelly Honey) ◆ h.NAOTO(GRAMM) ◆ h.NAOTO(FRILL) ◆ h.NAOTO(SEVEN) ◆ h.NAOTO(CHANNEL H) ◆ h.NAOTO(rockers H baby) ◆ EXCENTRIQUE ◆ Emily Temple Cute ◆ Ozz On ◆ OZZ CROCE ◆ Corina et Arlequin ◆ CANDY STRIPPER ◆ Qutie Frash ◆ Comet ◆ gouk ◆ Jane Marple ◆ ZT+PUNX ◆ Jean Paul GAULTIER ◆ Juliette et Justine ◆ SUPER LOVERS ◆ SEX POT ReVeNGe ◆ SEXY DYNAMITE ◆ SEXY DYNAMITE CHOICE ◆ SEXY DYNAMITE LONDON ◆ CHOCO CHIP COOKIE ◆ T.KUNITOMO ◆ DEORART ◆ Delilah ◆ Dangerous nude ◆ no future ◆ Heart.E ◆ BANANA FISH ◆ HIDE ROCK ◆ HYSTERIC GLAMOUR ◆ PEACE NOW ◆ BLACK PEACE NOW ◆ BLACK PEACE NOW(FOR MEN) ◆ PUTUMAYO ◆ HELL CAT PUNKS ◆ BABY, THE STARS SHINE BRIGHT ◆ BABY, THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and the PIRATES ◆ MARBLE ◆ MAD Girl ◆ MAD PUNKS ◆ MAXICIMAM(MA) ◆ MAM ◆ MIHO MATSUDA ◆ MILK ◆ MILKBOY ◆ Mary Magdalene ◆ metamorphose ◆ Moi-meme-Moitie ◆ UNION JACK ◆ LAPIN AGILE ◆ LISTEN FLAVOR ◆ ROMANTIC NEUROSIS ◆ WORLD WIDE LOVE! ◆ Q-pot ◆ MALKOMALKA ◆ STIGMATA ◆ GADGET CROW ◆ monomania ◆ JESUS DIAMANTE

高価買取ブランド
◆ QutieFrash ◆ HIDE ROCK Design
◆ Moi-meme-Moitie ◆ Q-pot
◆ MALKOMALKA ◆ alice auaa
◆ STIGMATA ◆ Vivienne Westwood
◆ GADGET CROW ◆ monomania
◆ MILK(デザインの古い物は除く)
◆ JESUS DIAMANTE

メンズ高価買取ブランド
◆ BAFFALO BOBS ◆ NO ID.
◆ Justin Davis ◆ DEAL DESIGN
◆ Roen ◆ VANQUISH
◆ BACK BONE ◆ h.naoto Sixh.
◆ GLAD NEWS ◆ FUGA
◆ VICE FAIRY ◆ monomania
◆ ROYALORDER ◆ discord

買取強化ィスト ▶▶▶ ADAPTER。/電脳ロメオ/アヲイ/emmuree/R指定/UnsraW/exist†trace/ヴァルナ/vistlip/ViViD/girugamesh/己龍/キャンゼル/KYOKUTOU GIRL FRIEND/THE KIDDIE/cocklobin/ゴールデンボンバー/THE.GOLDEN SPIDER/SuG/砂月/Jessica/人格ラヂオ/Smells/Sel'm/SEX-ANDROID/ゾロ/D=OUT/DEATHGAZE/DELUHI/D'ESPAIRSRAY/「東京指定」/トゥーン工場/xTRiPx/9GOATS BLACK OUT/heidi./妃阿甦/フィオーレ/FLOPPY/ベルベット/VELGREED/born/Merry Go Round/Lycaon/lynch./Vallquar-ワルキューレ-

R指定	CD	[illegible]	1000
	CD	オカルト地獄	1200
	CD	玉砕メランコリィ	1000
	CD	[illegible]	1500
	CD	人間失格 初回限定盤	1800
	DVD	[illegible]	1200
電脳ロメオ	CD	Extended Type-D.R	各1000
	CD	PHYSALIS	1200
	DVD	[illegible]	1000
アヲイ	CD	DEADMAN	1200
	CD	ZACRO	1200
	CD	あの子	1500
	CD	メリーさん	1000
	CD	モノクロ	2000
	CD	夕焼けカラス	1500
	CD	雨のち痛み	1000
	CD	真っ暗、真っ黒、真っ赤々な朝	2000
	CD	[illegible]	1000
	CD	排水口	1500
	CD	僕	1000
emmuree	CD	an acute	1000
	CD	白冬のパラドックス・白[illegible]	2500
	CD	絶望を奏でる古時計、灰色のピアノ。	1000
exist†trace	CD	ambivalence	1200
	CD	Ambivalent Symphony	1000
	CD	Annunciation-the heretic elegy- 初回盤	2000
	CD	Annunciation-the heretic elegy- 通常盤	1000
	CD	Demented Show20070715	1400
	CD	funeral bouquet	1200
	CD	Recreation eve	1400
	CD	VUNGUARD-of the muses-	1000
	書籍	Prologue	1000
ヴァルナ	CD	Distopie	1000
ViViD	CD	Dear	2000
	CD	Take-off	2000
	CD	THE ViViD COLOR 初回盤	1600
	CD	THE ViViD COLOR 通常盤	1400
vistlip	CD	[STRAWBERRY BUTTERFLY]lipper	400
	CD	[STRAWBERRY BUTTERFLY]vister	600
	CD	Alo[n]e [DVD付]	400
	CD	drop note. [DVD付]	400
	CD	OZONE [DVD付]	600
	CD	PATRIOT [DVD付]	1500
	CD	PATRIOT [CDのみ]	1200
	CD	REVOLVER 初回限定盤	1000
	CD	THEATER-visiter [初回限定盤]	1800
	CD	THEATER-lipper [通常盤]	1400
	DVD	BUG	1800
OZ	CD	[ATHENA][S.I.N]-NORMAL EDITION-	600
	CD	and to the end	1000
OZ	CD	CRY the crime	1000
	CD	Decay…	1000
	CD	over again	1000
	CD	RAZE 会場限定盤 SECOND PRESS	1000
	CD	VERSUS	2000
	CD	viridian	1000
	CD	wisteria	1000
	DVD	A FACT OF LIFE 20090218 -Territory TOKYO-	2000
THE KIDDIE	CD	elite STAR+ Aタイプ	1200
	CD	Little SENOBI	1000
	CD	Little SENOBI 2ndプレス	1200
	CD	NOAH Aタイプ	1200
	CD	NOAH Bタイプ	600
	CD	Plastic Art	1000
	CD	SINGLE COLLECTION	1400
	CD	サヨナラセツナ	600
	CD	ポプラ 初回限定盤	600
	CD	ポプラ 通常盤	400
キャンゼル	CD	FIRST STEPS E.P.	1000
	CD	LOVERS E.P.	400
	CD	Neo PRESENCE E.P.S.	2000
	CD	NeXT SEASONS E.P.	1000
	CD	TwINKLE SUNLIGHT E.P.	800
KYOKUTOU GIRL FRIEND	CD	通常盤	400
己龍	CD	明鏡止水<通常盤>	1400
	CD	アナザーサイド	1600
	CD	[illegible]開花	800
	CD	朱ク散ル[illegible]ノ音(初回盤)	1000
	CD	月ノ[illegible] A.B-type	600
	CD	水無桜【Aタイプ】	1600
	CD	[illegible]	1500
	CD	[illegible]・最後の恋	1000
	CD	[illegible]開花 2ndプレス	1200
girugamesh	CD	「[illegible]」-初回限定盤-	2000
	CD	「[illegible]」-通常盤-	1800
	CD	13's reborn DVD付初回限定盤	2500
	CD	13's reborn 通常盤	1600
	CD	Girugamesh 初回盤	3000
	CD	Girugamesh 通常盤	1000
	CD	NOW 初回限定盤	1800
	CD	NOW スーパー初回限定盤	3000
	CD	Reason of crying 通常盤	1000
	CD	[illegible]テロリズム	4000
	CD	[illegible]-単独限定盤-	3500
	CD	[illegible]-通常限定盤-	1500
	DVD	「千名限定単独[illegible]」配布特典DVD	2500
	VHS	裏ビデオII	3000
cocklobin	CD	black	600
	CD	DARK DESIGN CATALOG	1000
	CD	死と再生	1000
THE GOLDEN SPIDER	CD	[illegible]	500
	CD	ヴェッカーラバー*ジェシカノ[illegible]	500
ゴールデンボンバー	CD	イミテイション・ゴールド〜金爆の名曲[illegible]〜	800
	CD	〜Bressiere〜,〜Pressure〜初回盤A	1900
	CD	〜Bressiere〜,〜Pressure〜初回盤B	800
	CD	〜Bressiere〜,〜Pressure〜 通常盤	1200
	CD	[illegible]り残した夏	1200
SEX-ANDROID	CD	狂い咲きバーニングラブ	800
	CD	Mの恋文	1000
	CD	SEX-ANDROID	2000
	CD	アナログ病棟596	1200
	CD	お茶ノ間キラー 初回完全限定Aタイプ	1800
	CD	お茶ノ間キラー 通常盤Bタイプ	1400
	CD	完璧ドラック1,2,3-Mのアナログ狂い咲き	1600
	CD	グッドモーニング・サブカルチャー 初回限定盤Aタイプ	800
	CD	ジェット・スターダスト・キャバレー DVD付初回限定盤	2000
	CD	ジェット・スターダスト・キャバレー 通常盤	1000
	CD	トゲオ 初回限定盤	800
	CD	[illegible]ゴト 初回限定盤	800
	CD	平成・コトナカレ主義!初回限定盤 A type	1600
	CD	平成・コトナカレ主義!初回限定盤 B type	1400
	CD	平成・コトナカレ主義! 通常盤	1000
	CD	[illegible]	3000
	CD	[illegible]	3000
Sel'm	CD	brilliant force	1200
	CD	アンソロジー(ANTHOLOGY)	1000
ゾロ	CD	APOLLO 初回限定盤	1200
	CD	CORE 初回限定盤	1800
	CD	COSMO-ステンレスミュージック-初回限定盤	1800
	DVD	NISHIKI 初回限定盤	1400
D=OUT	CD	「ZIPANG」初回生産限定盤	2600
	CD	「ZIPANG」通常盤	1600
	CD	CARNIVAL 浮世-[illegible]-初回限定盤A,B	1800
	CD	CARNIVAL 浮世-[illegible]-通常盤	1400
	CD	[illegible]アバンチュール	1000
	CD	登竜門	800
	CD	嫁(配布CD)+ダウト的歴史本	1800
	CD	ばら色の人生	600
	CD	ばら色ノ人生〜会場限定盤〜	500
	CD	平成バブル-完全限定盤-	1000
	CD	[illegible]	各1000
	CD	[illegible] 会場限定盤	1500
	CD	平成バブル 限定盤	各1200
	CD	平成バブル-八・一〇事件盤-	1000
	DVD	2008年8月22日(金)[illegible]	1000
DEATHGAZE	CD	genocide and mass murder 初回盤	1600
	CD	THE CONTINUATION	1600
	CD	[illegible]	1000
	DVD	Drug Overdose Death-Welcome DOWNER-	2000
DELUHI	CD	Orion once again	800
DELUHI	CD	Orion once again -2ndプレス-	500
	CD	REVOLVER BLAST	600
	CD	Surveillance	8000
	CD	Two Hurt	600
	CD	ヴィジュバスリット	300
	CD	ジャガンナータ	600
	CD	マハーデーヴァ	300
	CD	ユグドアライブ-Yggdalive- 初回盤	1800
	DVD	FLASH B[L]ACK	1200
トゥーン工場	CD	Innocent	1200
	CD	妄想Honeyの玩具箱	1000
「東京指定」	CD	DJ PLAYER	600
	CD	One way〜星に願いを〜 feat.LUXAM	600
xTRiPx	CD	[re:birth is the stripe]	400
	CD	[-Re evolutioN-]	600
	CD	Blue well the Air	400
	CD	Digital's Nature	600
	CD	Innovation[re]isM	800
	CD	raspberry on the Lips	400
	CD	Red drug stranger	400
	CD	sadistic purple lies	400
	CD	siesta	1000
	CD	snow white butterfly 九州限定盤	400
	CD	トウメイ。	1000
	CD	ハルイロプラスチック	400
9GOATS BLACK OUT	CD	Black rain 通常盤	1400
	CD	Black rain 通販・会場限定盤	1400
	CD	devils in bedside	1200
	CD	TANATOS	1400
heidi.	CD	パノラマ 初回限定盤	1800
	CD	パノラマ 通常盤	1400
	CD	夕焼けと子供	2400
妃阿甦	CD	Dolei-奴隷-2ndプレス豪華限定盤	600
	CD	THE PIASS	800
	DVD	「[illegible]妄想」+「[illegible]パラノイア」-特別限定盤-	1500
	DVD	SM	800
フィオーレ	CD	[illegible]トリックスター	700
	CD	東京[illegible]ラプソディー〜[illegible]〜	700
ベルベット	CD	03•08	1000
	CD	[illegible]	1000
	CD	[illegible]スパンコォル・バグ	400
	CD	[illegible]	1000
	CD	六畳一間ノ[illegible]	400
Merry Go Round	CD	merry goround is dead	3000
	CD	REDDISH COLLECTORS NO DEAD ARTIST	1000
	CD	君は蜜よりも甘く	1500
	CD	[illegible]	1200
Lycaon	CD	RED RUM	500
	CD	Royal Order 初回限定盤	1600
	CD	Royal Order 通常盤	1400

Pure Sound Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-10-34 心斎橋ウエスト363ビル2F
☎06-6214-2549
▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

買い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

佐川急便QR

イラスト：AKEMI OHSHI

大島暁美のロックンロール日記

Biju漫画を描いてくれる人大募集！ 詳しくは、http://amebl
<http://ameblo.jp/gogobijutan/> gogobijutan/へ。

×月×日

HOT WAVEの収録で、SuGの所属レコード会社に行く。
いつも元気なSuGさん、この日もワイワイ笑いの絶えない楽しいトークを展開してくれた。雑誌等のインタビューだとメンバーの座り位置などはわりと適当なんだけど、テレビの場合は画面のバランス等があるので、ディレクターさんがいろいろと気をつかう。わたしの隣はChiyuくんで、画面では普通に写っていたんだけど、実は90度に首を横に曲げて話をするというかなり不自然な体勢。Chiyuくんは、「この角度で人と話をするのって、めっちゃ緊張しますわ～！」といいながら、緊張の「き」の字も見せずに、楽しいトークを展開してくれた。
大ポカをやってしまったのは、わたしのほう。本番中にshinpeiくんのことを「ippeiくん」と呼び間違えてしまう大失敗！　あ～、何度も会ってるのに、なんて失礼なことを……と真っ青になるが、みんなおなかを抱えて大笑い。shinpeiくん自身が真顔で「何で本当の名前を知ってるんですか？」、それを受けて武瑠くんが「テレビで本名をばらしちゃダメですよ！」と、大騒ぎ（もちろん、そんなことはない）。
わたしは冷や汗ものだったんだけど、みんながネタにして盛り上げてくれたので、ホントに助かった。SuGさん、優しい～&shinpeiくん、ごめんなさい。

×月×日

うちで、「乙女の会」というパーティが開かれた。インテツくんがスイーツを持って遊びに来てくれるというので、いつもの飲み会とは違うコンセプトにしようと、ホットウェイヴのディレクターさんが命名してくれたの（笑）。お料理もなるべく「つまみ」じゃなくて、「カフェ」っぽいメニューにして、乙女の会にふさわしいように知恵を絞ったよ。
誰に声をかけようかと考えて、はて、ちょっと困った。飲み会だったら呼ぶ人には事欠かないけど、「乙女の会」となると……（笑）。悩んだ末、結局、よくうちに遊びに来る男らしい飲みっぷりの方々（男女問わず）中心のメンバーになってしまった。
インテツくんはケーキを買ってきてくれるのかなと思っていたら、なんとワッフル焼き器と材料を持ってきて、キッチンで粉を混ぜて、生クリームを泡立てて、本格的に作ってくれた！　テーブルを囲んで飲んだくれてる面々のうしろの方から、シャカシャカシャカ……と軽やかに生クリームをホイップしてくる音が聞こえるなんて、我が家じゃないみたい。
出来上がったワッフルは、生クリームとフルーツでトッピングされて、まさにプロの技！　インテツくん、さすが!!　さらに、たまたまこの日が誕生日だった某カメラマンのアシスタント嬢のために、うちのキッチンに放置されてたチョコペンやトッピング・シュガーを駆使して、可愛いバースデー・ワッフルも作ってくれた。インテツ・パティシエ、ホントに器用だにゃん。
後日談：ホームページの日記に、乙女の会の翌朝の風景=ずらっと並んだ空き缶&空きビンの写真を載せたのね。そしたら、それを見たギルガメッシュの愁くんに、「あれは、ふつーの酒飲みのオッサンの飲み会よりも、空き缶が多いですよね」と、鋭すぎる突っこみを入れられてしまった。まぎれもない真実なので、思わず「すいません」って謝っちゃったよ～。

×月×日

HOT WAVEの収録で、ナイトメアのインタビュー。咲人くんとNi～yaくんはレコーディング中だったので、出演はYOMIくんと柩くんとRUKAくんの3人。収録が始まる前の雑談で、「最初にHOT WAVEに出た時のこと」を聞いてみたら、3人ともしっかり覚えてくれてた。もう7～8年前のことで、Ni～yaくんが最初の挨拶で、カメラに向かってアクションをしてたことが、話題に。超懐かしい～。
本番の時、「当時と今とで、変わったことってある？」と質問したら、RUKAくんに「大島さんから見て、どうですか？」と逆質問されてしまった。ん～、基本的にはあまり変わってないような気がするなぁ。柩くんの顔を見て、「メイクが薄くなったくらいかなぁ」といったら、「それは、これからテレビだからですよ」と切り返されちゃった。たしかに（笑）。

×月×日

アリーナ37℃の特別企画「虎年だから、虎くんスペシャル」のインタビュー。この企画、今回が3回目なんだけど、1回目が陰陽師、2回目が着ぐるみを着て遊園地でロケと、虎くん自身の発想で撮影コンセプトを決めている。今回は、なんと甲冑を着て、刀を持って撮影したそう。時代劇好きの虎氏だけに、すごいサマになってたよ～！
本人に感想を聞いたら、開口一番に「ポスターにしたい！」って叫んでいた。それくらい、本人も満足した撮影だったということだろうね。事務所の近くの神社で撮影したとのことなんだけど、オフショットの中にふつーに道を歩いてる写真があった。「甲冑を着て、刀を持って歩いてたら、周りの人に驚かれたんじゃないの？」と聞いたら、「逆にここまでの恰好をしてると、みんな撮影だろうと思うみたいで、別に変な顔されたり、通報されたりとかはなかったですよ」と、さらっといってた。虎ちゃん、大物だわ（笑）。

×月×日

Creature CreatureのHOT WAVE収録。今回の収録はいつもと違って、テーマを4つに区切って、メンバーに話を聞いた。彼らのインッビューは4週にわたり、毎週5分ぐらいずつオンエアされるからなのだ。
普段は見ることのできないメンバーのトークが聞けてなかなか興味深かったけど、いちばん面白かったのはPV撮影の苦労談。「砂漠のイメージで撮りたい」という監督さんの発案で、TDが終わった翌日に鳥取ロケを敢行。ちょうどゴールデンウイークの真っ最中だったので時間はかかるし、行きのロケバスの中から波乱万丈だったらしい。SAKURAやHITOKIくんをして、「今までのミュージシャン生活の中で、ここまで過酷な撮影は初めてかも」というくらい。
でも、PVは色味を押さえたモノトーンの世界で、すごくカッコいい映像に仕上がっていた。苦労を共にしたおかげ（？）で、バンドの結束も固くなったそう。7月21日発売の「INFERNO」初回限定版に、この映像の入ったDVDがついている。HOT WAVEでの苦労談を聞きながらPVを見れば、2倍楽しめること間違いなしだよ～!!

×月×日

Fatimaが、5年ぶりに1日限定ライヴを行った。いただいた2階の指定席に座ったら、隣は明希くん。「大
好きだったんですよ！」と、始まる前から興奮気
実際にSEが鳴り始めたら、「もぉ、泣いちゃうかも
と騒いでいる。ライヴ中もずーっとキッズのよう
目をキラキラさせながら楽しんでいたよ。この日は
くさんのミュージシャンや関係者が集まっていたけ
ど、みんな明希くんと同じ気持ちでステージを見て
んじゃないかな。Fatima、カッコよすぎ!!　1日
なんて、もったいないなよ～！
終演後、楽屋に行ったら、まだ汗が引かな
Kanomaくんが「パンフレット、見ました？」と
てきた。実は、この日のパンフレットにコメント
いたのだが、「すごいんですよ～！　街の写真館で
たような昔の写真までのってるんです！」という
速、TOWAくんにもらって見たけど、本当にFat
の歴史が詰まっているような、レアなパンフだ
家宝にしようっと♪

×月×日

先月から、HOT WAVEは公開収録が始まって
7月のゲストは、12012とギルガメッシュ。120
は、ヴォーカルの宮脇渉くんがワールドカップを
ため、南アフリカに行ってるので、4人での登場
発前のVTRを見たり、Twitterでの問いかけに
てもらったり、いろいろな趣向で番組を盛り上げ
らった。
ギルガメッシュは、「かばんの中を見せて！」コー
等、音楽番組とは思えない（笑）斬新な企画に、
「しゃべりたくてしようがない」左迅くんが気が
たら横に立ってて、ツイン司会になってたのには
たよ（笑）。
8月からは、HOT WAVEライヴもスタートするよ
8月17日（火）DuelJewel、ニンジャマンジャ
EVER +LAST
8月18日（水）DaizyStripper、カル・ヴァリ、
【会場】高田馬場ESPホール　club 1ne2wo
HOT WAVE、ますます頑張っていくので、応援
しくね～っ！
http://www.tvs-music.com/pc/program_hotwave.

GoD

ジャー1stアルバム『欠片』、ついに完成!!

誰も真似できないことをやり続ける
——それがNoGoDのいる意味

NoGoDのメジャー1stアルバム『欠片』が、
いよいよ8月4日にリリースされる。
NoGoDの持つ音楽性の"カケラ"に焦点を当てた
作りになっているという今作は、
これまでの彼らが見せて来た世界観を凝縮させていると
共に、さらなる可能性も感じさせるものとなった。
5人がそんな『欠片』に込めた想い、
じっくりと語ってもらった。

蝴蝶网
nudie.com

Interview : RIE MAKINO

——今作の『欠片』、メジャー初のアルバムになりますが、随所に〝メタル魂〟が感じられる作品になりましたねぇ（笑）。

団長：マジですか!? まぁ〝随所〟っていうのは当たりなんじゃないですか？ 音的なコンセプトとしては、幅を広げず方向性を絞るっていうのがテーマだったので。全体的にまんべんなく、そのメタル魂が漂っているのであれば、正解だったのかなという気がしますけども。

——デビュー・シングル「カクセイ」であれだけ幅広い方向性を見せたわけですけど、今回は逆に方向性を絞ったと。

団長：シングルをああした理由がこれだった、みたいな。タイトル通り、NoGoDの一部分を切り取ったものっていうのがコンセプトでしたね。

——また今作は特に、1曲1曲に魂こもってて、すごく気合いが感じられたんですよ。実際、今までのアルバム制作と違ったところってありました？

Shinno：まず選曲がシビアでしたね。今までは、最初にアルバム全体の枠組みを決めて、ある楽曲の中から当てはめていく形だったんですよ。でも今回は、「少年と地図」もそうですけど、選曲していく中で〝ここにこういう曲が欲しいね〟ってなったら、ゼロからそういう曲を作ったんですよね。

——「少年と地図」と言えば、特にメジャー感ある曲ですね。

団長：〝ここ（4曲目）にはとにかく名曲を持ってこよう〟って言ってて。誰基準の〝名曲〟なのかもよく分かんないまま（笑）、〝名曲を書ける奴は誰だ？〟っていう自薦でいったんですけど。

——他薦ではなく、自薦で（笑）。

団長：ええ。そこで〝じゃあ俺が！〟って言って作ったんですよ（笑）。

——その他に、作業工程で変わったところはありました？

Kyrie：あとはいつも通りでしたね。原曲のデモをアレンジする作業は俺がひたすら家でやって、それをバンドに持って行って完成させるっていう。

——バンド・アレンジする際、どんなところに気をつけました？

K：特に何もやってないんですよね、俺。今回ドラムは全部出来上がってたので。

Kyrie：ウチの曲ってドラムはだいたいデモに入ってるんですよ。Kくんが生で叩く時は、曲を持って来た人がどんな意図でこのドラムにしたのか、っていうことをちゃんと理解してもらうことが、ウチのアレンジ作業でいちばん大事なところだと思うんですよね。

団長：Kyrieの打ち込むドラムって、ちゃんと人が叩けるドラムなんですよ。でも俺が打ち込むドラムって、人じゃあ叩けなかったりするんですよね、人体の構造的に（笑）。

——手の数、足の数が足りない？（笑）

K：だから団長の曲はすごい考えますね。様子がおかしいんですよ。考えてズラしてるのか、勝手にズレてるのかが分かんなくて（笑）。でも、それが団長がやりたいことっていうのは明確なわけで。

Kyrie：逆に、ベースはどの曲もデモに入ってないんですよ。

——えっ、そうなんですか!?

Kyrie：だから華凛ちゃんは、打ち込みと、Kくんのドラムを理解してベースを弾くっていうのがいちばん重要なところで。曲の雰囲気を作る上で、そこは華凛ちゃんに考えてもらったほうがいいものが出来るなって思って。

——デモが手元に来た時点で、華凛ちゃんはどんなことを考えるんですか？

華凛：もう直感ですね。デモの段階で考えたフレーズから全然ベースは変わってないです。

Shinno：スタジオでまず適当に弾いてもらうんですけど、華凛ちゃんの〝適当〟って、9割くらいそのままいけるんですよ。残り1割は、前のフレーズに戻したりとか、ちょっとした修正で。いつも9割、一発で出来上がったものがデモになってるんで。俺が作った曲は丸投げなんですけど、9割、一発OKです。

華凛：たまに本当に適当に弾いてて、〝それもう1回弾いて〟って言われても、忘れてたりするんだよね（笑）。

——団長、歌詞はスムーズに？

団長：今回もですけど、しんどかったな〜。『欠片』っていうタイトルの意味の1つでもあるんですけど、歌詞に出てくる主人公だったり、環境だったりが、何かしら欠落してるというか。そういう部

明るい歌詞を書かないっていうのは初めから決めてたんですよ。音のイメージから逸脱しないよう、尚かつ1曲1曲バラエティ感を出さなきゃいけない。曲数が多い分、キツかったかなと。

——歌は曲によって表情を変えてますね。

団長：歌はいつも通りですね。非の打ち所がないですねっ！

全員：………（沈黙）。

団長：なんだ、この空気っ！（全員爆笑）まぁでも、「カクセイ」より人間っぽい歌だなって思いますね。ぶっちゃけ、「カクセイ」を録ってる時は、限りなく意識してたと思います。デビュー・シングルっていうことを。聴きやすいのは間違いなく「カクセイ」のほうなんですけど、アルバムのエモーショナルな歌い方のほうが俺は個人的に好みですね。

——それぞれ特に思い入れやエピソードのある曲を挙げてもらえますか？

K：「心臓」はやっててすごい楽しかったですね、静と動がはっきりしてて。「懐疑」は、未だによく分かんないです（笑）。

——「懐疑」はかなり激しいですね！

K：曲は好きなんですけど、すごい難解で。今回のKyrieからの挑戦状だなと（笑）。毎回そういうのがあるんですよ。ただ、いつもは〝ツン〟と〝デレ〟の〝デレ〟の部分もあるんですけど、今回はないんですよね、〝ツン〟ばっかり（笑）。

——ギター・ソロも1分40秒ありますからねぇ。この間、ライヴでは団長どうするんだろう？っていう（笑）。

団長：一度、袖に引っ込むか……何かしら楽しみを見つけていこうかなと。

K：100秒で出来る楽しみ方（笑）。

団長：100秒でルービックキューブを完成させるとか（全員爆笑）。

華凛：僕は1曲目のインスト、「鼓動」ですね。オープニングって本当に大事だなっていうのが分かったかなって。

——これから何かが始まりそうなワクワク感がありましたね。

華凛：うん。魂こもってる音がしてると思うんで。1曲目から惹き付ける力はあるんじゃないかなって。

——Kyrieさんは？

Kyrie：基本的に、1回出したアレンジはそのままいくんですよ。ただ、何

Kyrie(Gt)

団長(Vo)

K(Dr)

華凛(Ba)

Shinno(Gt)

曲目の「果実は嘘う」は、録ってる最中まで悩んで、最終的に曲の尺を短くしたんですよ。

団長：それによって歌詞を書き換えなきゃいけなくて……（苦笑）。実は、幻の2番があったんです。俺は、強いて言うなら12曲目の「アイ」。全てが適当な状態で持って行ったデモが、まさかこんないい状態で返ってくるとは思わなかった。歌詞も、他の曲とは違って、今までのNoGoDらしい歌詞かなって思います。

Shinno：4曲目「少年と地図」を作る時が面白かったです。さっき団長も言ってたんですけど、〝ここは名曲だ〟って言ってて。じゃあ名曲だって何だよ？っていう話で。みんなで2時間くらい、個々の思ってる〝名曲〟の定義を話してる時が面白くて。その上で出来上がった曲なので、バンドとして「少年と地図」は思い出深い曲になるのかなと。

――なるほど。団長、改めて今回はどんな作品になったと思います？

団長：たぶんNoGoD史上、いちばん洗練されてるなと思います。やってることはマニアックですけど、すごく聴きやすい。流れが綺麗だから。曲順から曲間の長さ……全てにおいて突き詰めてやったので。完成度も満足度も、今までのアルバムの中でいちばん高いんじゃないかなと。あくまでも今出来るNoGoDの一部分を切り取ったものですけど。限りなく今のJ-POP、J-ROCKのシーンの中で誰もマネが出来ないものにはなったと思います。

――9月4日からワンマン・ツアーが行なわれますが、どんなツアーにしようと？

団長：メジャーになって初ですからねぇ。大布教……久しぶりなので楽しみたいですね。たぶん今回のシングルでウチらを知った人もいっぱいいると思うので、いい意味で衝撃を与えたいですね。

K：結構いろんなところに行くので、ないように頑張りたいなと（笑）。

――かなり激しいステージが予想されますからね（笑）。

Shinno：一会場／一会場で起きることって違うと思うんですよ。生モノとして鮮度のいいものをお届けできるような準備をしていくつもりなので、アルバムとは違う世界観を期待しててください。

蝴蝶网
hudie.com

Dolly

ざされた熱い想いのカプセルを今開く。
待望のニューアルバム
『CAPSULE』リリース !!

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Location:LOOP(☎03-3252-6310)

蝴蝶网
hudie.com

僕は常にファンのみんなに夢を提供する。

7月21日にシングル『GOTHIC PARTY』が配信スタート。また待望のフル・アルバム『CAPSULE』を9月1日にリリースするDolly。この最新アイテムは彼らの独自の世界観を軸に構築されてはいるが、リベラルな発想で大胆にデジタルなエッセンスを散りばめて、更に進化したDollyのトーンを生み出した。本誌ではこの入魂のアルバムを2ヶ月に渡って特集する。まず今月は1曲目の「-Enter-」から6曲目の「アルビノ」までを確認しよう。

蜜：今の僕らが目指しているのは、Dollyが昔から持ってるレトロな雰囲気と、近代的な音楽の要素を融合させることなんです。そうする事で、曲のストーリー性がより具現化されてイメージを濃いものに出来るからです。「GOTHIC PARTY」を作り始めた時も、それを形にしたいな…というのがあって。元になる素材を僕が持ってきて、それをみんなで構築していきました。歌詞に関しては、この曲は、ちょっと皮肉っぽい感じがあって。そういうところから、悲劇の映画ショーみたいなイメージが出てきたんです。そこは、パーティーのように華やかな場所なんですけど、すべてが誰かに操作されているような感じもあるという。そういうシニカルな歌詞にしました。一篇の映画みたいな曲を作りたかったこともあって、イントロや間奏に入っている語りは、映画に出てくるストーリー・テラーのナレーションみたいなイメージです。

亜樹：「GOTHIC PARTY」のリズム・アプローチは、大きく分けると二択だったんです。曲に素直なロック寄りのドラムと、ダンス感のある4つ打ちの二つがあって。どっちでいくかで悩みましたけど、新しい音楽をやることだし、僕もチャレンジしたかったので、ダンス感のある

出ていると思ったので、1曲を通して4つ打ちを踏み続けていくことにして、あとは、場面転換に合わせて、両手で色づけするドラミングになっています。ハイハットのパターンを変えたり、2番では合間にフィルを入れたりしてて。叩いてて面白い曲になりましたね。

はち：この曲は、シンセを全部取ってしまうと、すごくアグレッシヴなギターロックなので。今回のベースはそこに重点を置いて、ギターとユニゾンして、しっかり音圧を足していく方向になっています。いろんな場面で、いろんな楽器が出てくるので、ベースはシンプルなほうが曲が映えるな…というのもあったし。ただ、ずっとボトムを支えるだけのベースではなくて、サビ・パートはフレーズも織り交ぜました。そうやって、場面を上手く成り立たせることができたんじゃないかなと思います。

聖：ギターも基本的にはオーソドックスなロックギターみたいな感じで、ボトム感に重点を置いてプレイしました。でも、ギター・ソロのバッキングが面白いんです…意外と（笑）。ずっと4つ打ちの表のノリでいってる中で、裏拍の要素を入れたりしてて。ジャズとかブルースっぽいコード感と、スカとかファンクみたいなグルーヴを融合させているので。ギ

蜜：歌に関しては、この曲は、作った当初から〝パーティー〟というのがキーワードとして自分の中にあったので。パーティーっぽい雰囲気やライヴ感を出したくて、広いスタジオで歌うことにしました。新しいチャレンジでしたけど、広い場所で歌うことで、臨場感みたいなものが出せたかなと思っています。

――確かに。2曲のシングルに続いて、いよいよニュー・アルバム『CAPSULE』がリリースされます。『CAPSULE』は、大まかに言うと前半はエレクトロな味わいで、後半はロマンチックという二部構成になっていますね。

蜜：アルバムの制作に入った頃は、それまでに溜めこんだ曲が沢山あったし、心機一転というところから生まれた曲達もあって。ものすごく振り幅が広くて、1枚の作品に纏めるのは難しい感じだったんです。でも、そのすべてがDollyなので。それを上手く見せられる方法を考えた結果、二部構成という形を採ることにしました。

聖：アルバムの前半は、新しいサウンドメイキングが核になっていて。2曲目の「capsule world」を聴いてもらえば、今のDollyがやりたいことが一発で分かってもらえると思います。この曲は、アナログの音は、ほぼ入ってなくて。ド

ン録り（ギターをアンプで鳴らさず、レコーディング卓に入力するパターン）にしました。でも、ギターも、ほとんど弾いてないんです。生っぽくしたくなかったので、1フレーズだけ弾いて、あとは貼り付けていったりとか。メンバーが弾いてるとか弾いてないとかは、どうでもよくて。とにかく、イメージしている世界を形にすることを目指しました。

蜜：最初は、8曲目の「レイトカーニバル」が2曲目だったんです。でも、それだと聴いた時に、つまらなかったんですよね。王道パターンという感じで。それを壊したかったんです。ファンの人達に、いい意味でも、悪い意味でもドキドキして欲しい…というのがあったので。敢えて「capsule world」を、2曲目に持ってきました。

亜樹：このアルバムには、シンセを多用したり、新しいことに挑戦している曲が入ってて。すごく楽しめたし、仕上がりも気に入っていますけど、レコーディングに関して個人的には「紫陽花」や「downer's pool」みたいに生ドラムの音を重視してる曲が印象に残っています。特に、「紫陽花」のドラムの音は、だいぶ凝りました。前半と中盤にジャズっぽいパートが出てくるんですけど、そこと他の部分では、スネアを使い分けているんです。生ドラムのよさを引き出す為に、かなり時間をかけて音作りもしました。

――「紫陽花」は、プレイも要チェックです。中間では、ジャズの王道的な4ビートを披露しているでしょう？

亜樹：中間はハネたビートになるので、よりジャズっぽくしたいなと思って。苦戦は、しましたけどね（笑）。いい感じのドラムになって満足しています。

はち：アルバムの前半では、「アルビノ」が印象に残っています。バラードで、ここまで起伏のあるベースを付けたのは初めてだったので。物語が進むに連れて、どんどん魂が入っていくようなベースを目指しました。最後の駆け上がりとかも、その場のテンションで弾いたものが自分の中でしっくりきたので、そのまま活かしています。そういうアプローチは、今まであまりなかったから新鮮だったし、今後につながる1曲になったなと思っています。

――はちさんは、激しさと無機質感を併せ持った「1999-Last Judgement-」も提供していますね。

しいなと思って。もう何も難しいことは考えずに、走り書きみたいな感じで作った曲です（笑）。そこに、サイコ・テイストを加えて、今のDollyの世界観にマッチする曲に仕上げました。

蜜：アルバムの前半で印象に残っている曲を挙げるとしたら、僕は「PLAY」になりますね。『CAPSULE』は、すべて、ここから始まったので。自分達は、今後どういう音楽をやっていくかを、みんなですごく試行錯誤して。その形が少し見えた曲でもあるし。みんなの想い入れも深い1曲だと思います。

――「PLAY」の歌詞は、バーチャルの世界が舞台になっていましたよね。それが、マシン・ワールドを描いた「capsule world」の歌詞にも繋がったと思っていいんでしょうか？

蜜：元々、僕は新しいアルバムは「PLAY」で始まってもいいかなと思っていたんです。でも、もっと深いところに入って来て欲しいという想いが強くあって。自分が思い描く世界観の入り口になったのが「capsule world」という感じです。『CAPSULE』は、今までのDollyにはなかったタイプの楽曲が多いですけど、歌詞の面では表現したいものが定まっていたので。その中で自分の書きたいストーリーだったりで悩んだ部分もありましたけど、そこまで苦しむこともなく書けました。

――さすがです。『CAPSULE』の前半は、Dolly独自のハイブリッド感を味わえて楽しめました。

蜜：ありがとうございます。『CAPSULE』を聴いてもらえば、僕らが今までのDollyを肯定したうえで、新し[illegible]に進んでいることが分かってもらえると思います。それは、タイトルにも表れていて。〝CAPSULE〟というのは、[illegible]な響きの言葉ですけど、字面[illegible]と〝CPU〟というデジタルな要素も含んでいるんですよね。そういうところ[illegible]今のDollyと共通するし、クローン[illegible]から名前を取った僕らにふさわしい言葉でもあるなと思って。それに、カウンティング・ア・シープじゃないですけど、羊は夢へ導いてくれるものというイメージもあって。僕らは、ファンのみんなに夢を提供するという意識の元に、ライヴとかもしているので。幻覚を見せるものという意味も含めて『CAPSULE』というタイトルにしました。

Interview: TAKAYUKI MURAKAMI

蝴蝶网
nudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Dolly 5th Anniversary Oneman Tour「CAPSULE」

9/4 (sat)
浦和 ナルシス（FC限定）

9/10(fri)
横浜 SUNPHONIX HALL
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]KMミュージック 045-201-9999

9/12(sun)
名古屋 ell.FITSALL
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問] サンデーフォークプロモーション
052-320-9100

9/14(tue)
大阪 MUSE
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]SOGO大阪 06-6344-3326

9/16(thu)
松山 SALONKITTY
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]夢番地広島 082-249-3571

9/18(sat)
福岡 DRUM SON
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]BEA 092-712-4221

9/19(sun)
岡山 IMAGE
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]夢番地岡山 086-231-3531

9/25(sat)
仙台 JUNK BOX
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]GIP 022-222-9999

9/26(sun)
宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]Cygnus 028-637-9999

9/28(tue)
新潟 JUNK BOX
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]FOB新潟 025-229-5000

Tour Final 10/30 (sat) 赤坂BLITZ

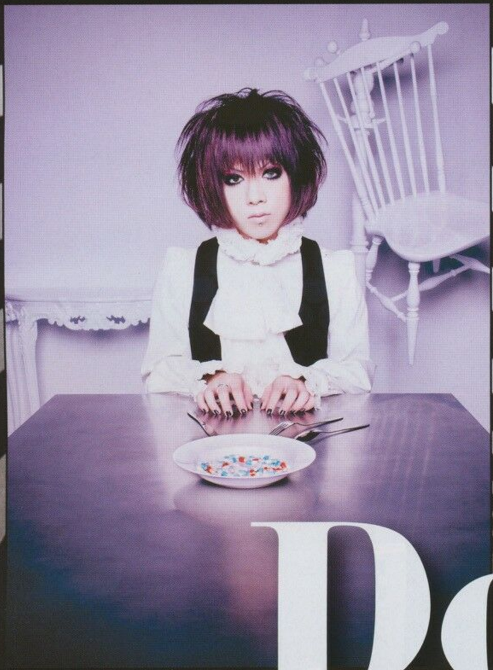
17:30/18:30 ¥4,000/¥4,500 [問]SOGO東京 03-3405-9999

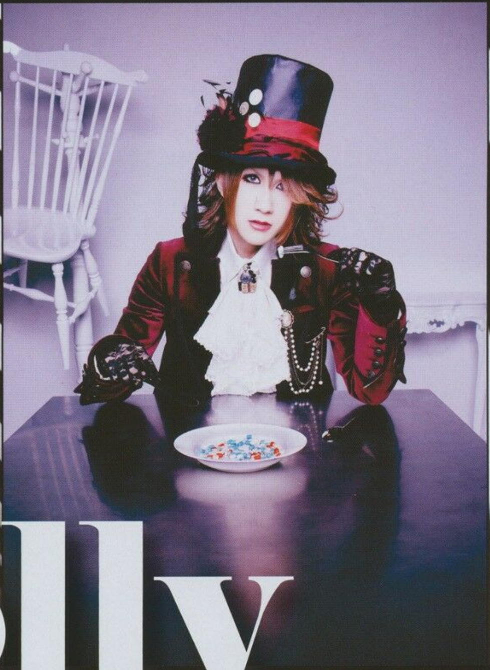
ticket [一般発売] 各プレイガイドにて発売中

※追加の公演詳細に関しましてはDolly Official Siteにてお知らせします

Dolly Official Site http://www.dolly-web.com/
Dolly Official MySpace http://www.myspace.com/dolly-official

蝴蝶网
hudie.com





Dolly

2nd Full Album

「CAPSULE」

2010年9月1日

3 type 同時リリース決定!

初回限定盤 A (CD+DVD)
[MSDL-019]¥3,990(tax in)
【CD】
全12曲収録
【DVD】
1.GOTHIC PARTY(MUSIC CLIP)
2.PLAY ファイリング映像

初回限定盤 B (CD+DVD)
[MSDL-020]¥3,990(tax in)
【CD】
全12曲収録
【DVD】
1.GOTHIC PARTY(MUSIC CLIP)
2. GOTHIC PARTY メイキング映像

通常盤(CD only)
[MSDL-021]¥3,150(tax in)
【CD】
12曲
+
S.O.S (Bonus track)
収録

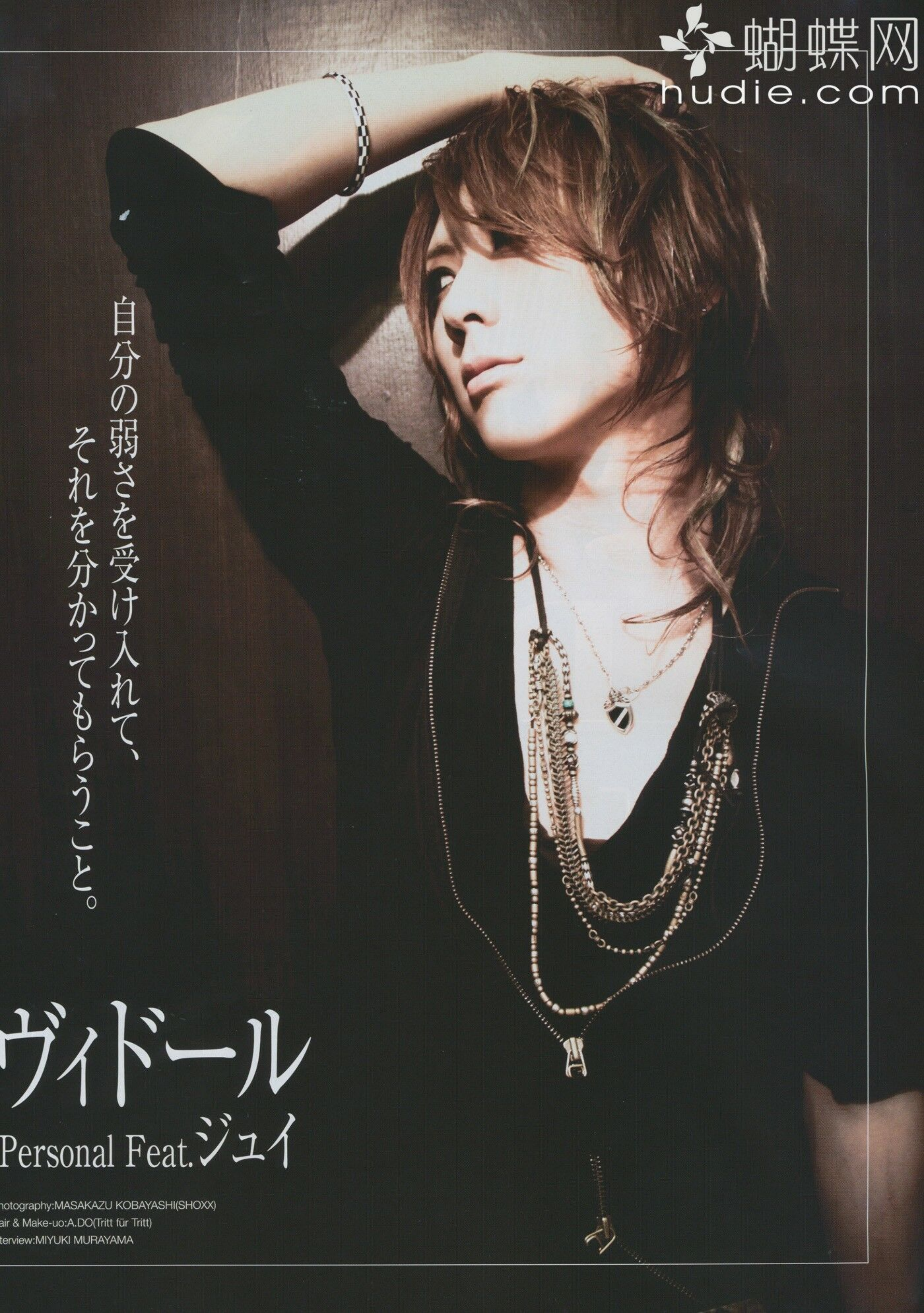
先行リリース配信限定シングル

「GOTHIC PARTY」

2010年7月21日全世界一斉配信スタート!

Fuji Production inc. Psy-Pha Inc. music airport www.music-airport.com

蝴蝶网
hudie.com



自分の弱さを受け入れて、
それを分かってもらうこと。

ヴィドール

Personal Feat.ジュイ

hotography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
air & Make-uo:A.DO(Tritt für Tritt)
terview:MIYUKI MURAYAMA

“この人の歌ってる歌がいい”って言われたい

ヴィドールが、9月18日の新木場スタジオコーストのライヴをもって活動休止することを発表した。その知らせに戸惑いを感じてい ファンも多いに違いない。けれども、今は彼らを信じて待っていてほしい。ジュイは自身のブログで、喉の手術を控えていること 必ず戻って来ることを約束してくれている。今回の取材で、今の心境を語ってくれた彼の言葉は、どこまでも真っ直ぐだ。

喉を抱えて廻っていたわけですが、振り返ってみるといかがでしたか。

「ツアー前半は吸入器とかも使って大丈夫かなと思ったんですけど、仙台は大変でしたね。吸入器の部品を実家に忘れて来たんですけど、いくら風邪をひいてたと言っても、こんなに声が出なくなるんだって思うぐらい声が出なくて、泣きながら歌ってたんです（苦笑）。次の札幌は大丈夫だったんですけど、柏で今度は吸入器の部品が壊れて、また残念な結果になってしまって。そこでもう、ビビらずにやろうと考え直したんですね。ビビってしまうと、抑えながら歌おうとして変な歌い方になるから、もう抑えないで歌おうと。それで乗り切った結果、ファイナルのブリッツは、初日もすごく良かったし、2日目は今までやったライヴの中でもいちばん記憶に残るぐらいのライヴになったと思います」

——そのブリッツでは、ツアー中に調子が悪かったことを自ら口にしてましたね。

「強がるのをやめようと思ったんです。〝今は調子悪いけど、次は絶対大丈夫だから〟ってブログとかに強気の発言を書いてたじゃないですか。そういうのをやめようと。そうすることで、ちょっと気が晴れたんですね。ブログでも、ツアーが終わってから、喉のことを発表したんですけど、その後にイベントに出たら、調子悪かった？って思うぐらい声が出たんです。嘘がないのがよかったみたいで。やっぱり嘘を抱えながらだとギクシャクしちゃうんですよ。バンドのことじゃなくても、恋愛でも人間関係でも、何かやましいとか隠してるものがあると、絶対どっかでギクシャクするし。それがなくなったのでいい具合になって。だから言ってよかったなと思いました。最初は、言わずにサラッと手術することも考えてたんですけど、お客さんも喉がヤバいっていうのは知ってるんですよね。タバコをもらう数がゼロになるぐらいなんで。それほど気を遣われてるなら、言ったほうがいいのかなって発表したんです」

——そう決心しても、やはり活動休止をすること自体には不安もあるんじゃないですか？

「今までは、メンバーが脱退した時でも、その1週間後にライヴを突っ込んだりし ことは絶対じゃないですか。人生もね。それより音楽をやってるという過程を楽しみたいと思ったら、生き急ぐことはないかなって思ってるんです」

——じゃあ、特に不安はなく。

「いや、怖いですよ。活動休止したことも、手術をしたこともないし。それはやってみないと分かんないし。前向きだけど、前向きじゃない部分もある。でも、バンドとしてはそんなに大きいことだと俺は考えてないですね。ファンはビックリするだろうなって思いますけど、自分の中では大きいこととして捉えてないですね」

——ただ実際、喉が万全でない状態で、ステージに立つのは大変なことですよね。

「お客さんがライヴに来るのは、曲を聴きに来るだけが目的じゃないと思ってるんですね、それならCDを買って聴いてるだろうし。メンバーに会いに来てる部分もあると思うんです。例えば、カップルの話をすると、風邪をひいてお見舞いに来てくれるのも、二人にとってはデートじゃないですか。そういう感覚なんだろうなって思うようになったんです」

——なるほど。そう思えるのは、今の状態でも応援してくれるファンに対する信頼があるからこそですよね。

「信頼はありますね。ずっと昔からついて来てるファンって、本当にありがたいじゃないですか。そこでまた嘘ついてもしょうがないと思ったし。だったら、別にカッコ悪いとことか弱いとこも普通に見てもらえばいいとも思いましたね。そう思ったら、思いっきり出来たんです」

——そういうところを見せたりすることに対して、反応はありま[illegible]

「ムカつくメールとか[illegible]ぱりあ[illegible]、カチンと来ることはありますよね。[illegible]も最近は、お客さんをひ[illegible]して考[illegible]うとしてるんです。恋[illegible]ったら、彼氏（バンド）と彼女（お客[illegible]いう ことです」

——ただ実際にはひと[illegible]ろな人が混ざっていま[illegible]

「でも、手紙とかメールを読んで[illegible]思うか、自分がどういう感[illegible]になるか[illegible]結果的にはひとつなの[illegible]て。そ[illegible]う風に捉えるように[illegible] たけど、嬉しいメールもあるし〟って書いちゃうんで」

——そういうところも素直になっているんですね。

「おとなげないと思うんですけどね、後から読み直すと。でもそういうのもいいかなって思うんです」

——より素直に、飾らないで、気持ち的には楽にファンと向き合えているということなんでしょうか。

「そうですね。自分を見せる幅が広がったんじゃないですかね。だから、ステージも前よりやりやすくなりました。今までは、絶対カッコつけて歌わなきゃいけないと思ってたのが、曲によってはそうじゃなくてもいいし。その使い分けを自然と出来るようになりましたね」

——そうすると、書く歌詞も変わってきそうですね。例えば赤裸々に心情を綴るとか。

「作り話はあんまりなくなりましたね。昔だったら、物語を作り込むこともありましたけど、それは少なくなりました。昔は作品を作ろうって思ってましたけど、今はアーティストになろうと思います」

——ジュイさんの考える〝アーティスト〟というのは、どういうものなんですか？

「等身大ですね。〝この曲いいね〟って言われるより、〝この人の作る曲いいね〟って言われたいんです。〝この人の歌ってる歌がいいね〟って言われるほうが嬉しいんです」

——ジュイさんの存在そのものに意味があって、そこを好きになってもらいたい、と。

「それがいちばん自分の目指してる形です。ただ、今は若干お客さんに甘えてる部分はあるんですけどね」

——お客さんに甘えることをミュージシャンとして許してはいけないと思ってる人もいると思うんですけど、そういう風な葛藤はありませんか。

「喉が完璧だったら、俺もそんなことは許さないって言うほうになると思います。今はこういう状況だから、そういう風に言ってるだけで。何でもなかったら、今俺が言うようなことを喋ってるアーティストがいたら、なんてカッコ悪い奴なんだって思うと思います」

——では、手術をして喉の状態が完治し

まだ分かんないです。ただ、今も自信は喪失してないんです。たとえ本調子でも本調子じゃなくても、絶対負けないって思うんです。そういう自信がどこから出て来るか分からないんですけど、あるんです」

——喉は万全じゃないけれども、今まで以上に自信があると。

「何なんですかね。歌を上手く歌うだけが良いライヴだとは、昔より思わなくなったんじゃないですか。CDにより近づけることがライヴのあるべき姿かなって思ってた時期もあったんです。でも今は、それだけじゃないと思ってるし。だからって、ムチャクチャやって、ステージで暴れるだけでもないし。トータル的に見て、どういうのが〝良いライヴ〟だっていうのが、最近は肌で感じるようになって来たんですね。調子が悪い自分を知って来たじゃないですか。今までだったら、風邪をひいてもそこまでヤバいって感じにはならなかった時期もあって気づかなかったんですけど、それが出来ない状況になったことで、ライヴをどうすれば良くなるかが分かってきたんです。マイナスなことを知ったからこそ、今まで知らなかった世界が見えて来たんですかね」

——活動休止前にある東名阪ワンマンは、どんなライヴにしたいですか。

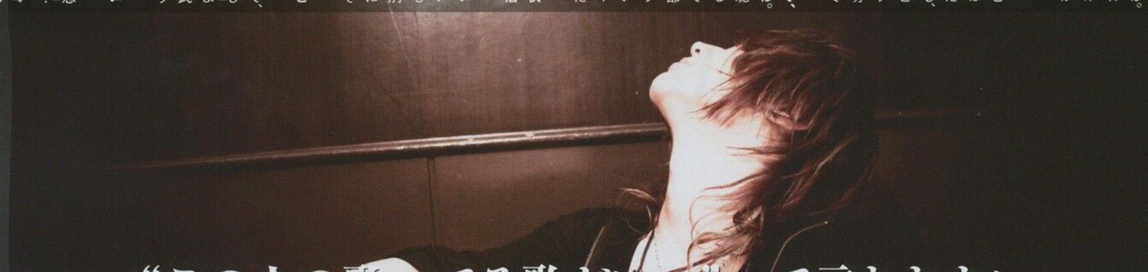
「あんまりしんみりしたものにはしたくないですね。まだ、遠い先のことのように思えるんで、分からないですけど」

——新しい音源を現在制作中だそうですね。その音源でも、現在の状況は特に意識していなく？

「意識はしてないですけど、思ってることを書いたんで、歌詞には反映してると思います。完全にファンに向けて歌った気持ちなんで。今回は、完全にそのためだけでいいと思ったんです。タイトル曲は、バーンと突き抜けるような曲に仕上がって、それに今の心境が乗ってます。今の気持ちをバラードで歌うのはちょっと違うかなと思ったので」

——CDもライヴも楽しみにしているので、喉には気をつけて下さいね。

「レコーディングも全然大丈夫なんですけど、あとは極力喋らないようにします（笑）」



蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ヴィドール

vidoll

†††L I V E†††

Reset

2010.8.24(火)
名古屋 ell.FITZ ALL

■ OPEN/START 18:30/19:00
■ Standing¥4,200(tax in/drink代別途¥500)

SOLD OUT

TICKET
● 7/24(土)〜 チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-006
● ダイレクトセンター 052-320-9000
● TANK ! the WEB http://www.sundayfolk.com
● ライカエジソン名古屋店 052-229-8211

INFO サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

2010.8.25(水)
大阪 THE LIVE HOUSE soma

■ OPEN/START 18:30/19:00
■ Standing¥4,200(tax in/drink代別途¥500)

SOLD OUT

TICKET
● 7/24(土)〜 チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-005
● e+ http://eplus.jp
● ライカエジソン大阪店 06-6459-5988

INFO 夢番地・大阪 06-6341-3525

2010.9.18(土)
新木場 Studio Coast

■ OPEN/START 17:00/18:00
■ 1F Standing ¥4,500(tax in/drink代別途¥500)

TICKET
● 7/24(土)〜 チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-003
● e+ http://eplus.jp
● ライカエジソン東京店 03-3369-3708

INFO HOT STUFF PROMOTION 03-5720-9999

sword
Sword Records

http://www.vidoll.jp/

活動休止

蝴蝶网
hudie.com

SINCE XXXX Now On Sale

全国の期待の新人バンド、全１２バンドが参加する、Visualise Music Japan オムニバスCDの第５弾です。

蝴蝶网
hudie.com

「SINCE XXXX」発売記念ライブ決定！！

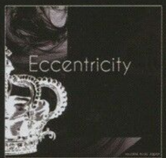
7／27(火) 渋谷aube
OPEN:16:00
START:16:30
TICKET:500円
出演バンド：Bell～Vi～Ento / eve'L / White Palette / Cheval Noir /
/stoLia /Misery Desire / Valhalla / AitliA / Sol Dieu / SEYLESS / Ariel /
/NeRo / L'La naught/

価格：2625円（税込）
発売日：2010年7月27日

タイトル：ETERNAL CHILDREN（第１弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2008/12/24
参加アーティスト：Amaryllis-アマリリス- / Castle　Vellffaria / Lilac / MICA TYPE /Necrophilia / Pinky / RuCe / RUBBISH RESSURECTION / Steal /学園ロザリオclass†ZERO / 月華
※記念すべきVisualiseオムニバスの第１弾。すでに初回プレス1000枚は完売。

タイトル：N clever（第２弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/05/31
参加アーティスト：ホワイトパレット / きらぁ / MAIND / Hot Spepper / 和鶴 / 関西耽美系～Lilyproject～ / Mirage / evo' L / BLUETOPAZ / Alfheim / パレッタ
※名曲揃いのオムニバス第２弾。　完売必須の名盤です。

タイトル：Visual Modernism（第３弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/10/31
参加アーティスト：Chat noiR / 架嬢 / 虎てっちゃん Vernal BlaZ' / Darkness resident /奏楽天使Sary ライチ / SWEET TRANCE / Vitalmagie / Scherzando /極東機械人形 /F-forte-
※東京、埼玉、茨城、仙台、大阪、香川、岡山と全国のバンドさんが参する、注目の第３弾



タイトル：Eccentricity（第４弾オムニバス）
価格：2625円（税込）
発売日：2010/03/31
参加バンド：Discord Cry（北海道） / evo' L（東京） / M.T.S.（東京）/ HITT（Guest） ロザミィ（名古屋） / α-ray（広島） / Sarah_SYO-ZYU（東京） / tyria（大阪）

蝴蝶网
hudie.com

Art Cube
Art Cube ONEMAN SHOW『真夏に降りそそぐ香想曲』
2010.08.20(FRI) 高田馬場AREAワンマン
【OPEN/START】18:00 / 19:00【ADV/DAY】¥3,000 / ¥3,500（1D別）【問】AREA 03-3361-1069
【チケット】●Aチケット[先行発売]➡6/3からArt Cube会場物販にて発売開始 / ●Bチケット[一般発売]➡6/5から 自主盤倶楽部店頭 / ローソンチケット[Lコード：76258] / 高田馬場AREA店頭 にて発売開始 ●バンド予約無し
ワンマン当日限定シングル『香 想 曲』発売決定！
2songs SECD-1195 ¥1,000(tax in) ◆収録曲 1. 香想曲 2. False prayer ※当日限定300枚
蝴蝶网
hudie.com

hudie.com
Secilia Luna
- セシリアルナ -
1st ONE MAN
2010/08/23 [Mon]
Shibuya BOXX
『Solidify the Angelianity ～天使教革命～』
OPEN / 18:00 START / 18:30 前売り / ¥3,000 当日 / ¥3,500 (Drink別)
Guitar.Kyoki
Bass.Rio
Vocal.MIRAI
Drums.Enju
Guitar.Ageha
NEW RELEASE
2010/07/28 [Wed]
3rd Maxi Single
『Auroral Sky』
ANGCD-003 / ¥1,500(Tax in)
Auroral Sky
2010/08/25 [Wed]
1st Mini Album
『Eternal Waltz』
ANGCD-004 / ¥2,500(Tax in)
(問)ONG DISTRIBUTION 03-5784-9662
Eternal Waltz
LIVE SCHEDULE
2010/08/07 [Sat] HOLIDAY SHINJUKU
2010/08/09 [Mon] HOLIDAY NAGOYA
2010/08/10 [Tue] HOLIDAY OSAKA
2010/08/23 [Mon] Shibuya BOXX
2010/09/13 [Mon] Shibuya O-EAST
[Official Site QR code]
Secilia Luna Official Site
http://www.secilia-luna.jp/
HEART LINK
Angelianity

蝴蝶网
hudie.com

2010.09.08 両A面 2nd maxi single release

偶 -hitogata- / 烟月と歪んだ愛と闇

1. 毘盧遮那 (Instrumental)
2. 偶 -hitogata-
3. 烟月と歪んだ愛と闇

完全生産666枚 / 3Tracks / DSCD-002 / ¥1,260(tax in)

1st maxi single now on sale

historical scars

1. prayer(Instrumental)
2. historical scars
3. Children's Metamorphosis
4. 輪廻

完全生産500枚 / 4Tracks / DSCD-001 / ¥1,260

2nd maxi single 先行発売 tour

ISOLATION DOLLS

08月19日（木） 目黒鹿鳴館

08月22日（日） 浦和 NARCISS

08月27日（金） HOLIDAY NAGOYA

08月31日（火） HOLIDAY OSAKA

Live schedule

09月16日（木） 高田馬場 AR

09月26日（日） 浦和 NARCIS

09月28日（火） 目黒鹿鳴館

10月04日（月） 池袋 Black

2ヵ月連続主催 EVENT

08月02日（月） HOLIDAY SHINJUKU

dizSolid主催 EVENT

BREATH OF THE CATASTROPHE Vol,02

【OPEN/START】16:00 / 16:30 【ADV/DAY】¥2,800 /¥3,300(D別)

【来場者特典 CD】

2010年9月8日にリリースされる2nd maxi single「偶 -hitogata- / 烟月と歪んだ愛と闇」の試聴盤。

2nd maxi singleを最速で試聴できるのはこのCDだけ！

09月07日（火） 高田馬場 AREA

TOUR FINAL 主催 EVENT

VIRUSYANA

【OPEN/START】16:00 / 16:30 【ADV/DAY】¥2,[illegible] /¥3,300(D別)

【来場者特典 DVD】

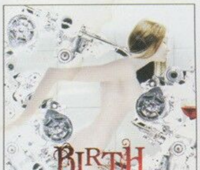
dizSolidを密着レポートした映像集。普段見る事が出来ない彼等の裏側を余すことなく収録！

dizSolid

http://DIZSOLID.com/

蝴蝶网
hudie.com

www.daizystripper.com
DaizyStripper
aizyStripper初のFULL ALBUM
2枚同時発売!!
説のビジュアルレーベル、"PLUG RECORDS"復活第一弾作品
2nd FULL ALBUM LOVE
BMDS-010 / ¥3,150 (INCL. TAX)
01. トレゾア 02. 密会 03. Seaside Avenue 04. Farewell Line 05. 深海 06. letter 07. 幻想は憧れた日々に映る現実 08. DIRTY STARRY 09. 名もなき道 10. STAY GOLD
から生まれる。ファンの愛があって今のDaizyStripperがある。愛の形は十人十色で人それぞれ色々な愛の形がある。この作品で聴いてくれた人が共感してくれたり、自分の愛の形を感じとってほしい。
そしてライブで、それぞれが想い描く愛をDaizyStripperにぶつけてきてほしい。そんな想いから生まれ、新たな連鎖の引き金となる作品、それが『LOVE』である。
LOVE
DaizyStripper



BIRTH 1st FULL ALBUM

BMDS-009 / ¥3,150（INCL. TAX）

01.KAMAKURA　02.Trigger　03.罪な罰　04.白蝶乱舞～White Butterfly～　05.ルード・ボーイ（Re:birth）　06.ベイビーキングダム　07.-absolute-　08.BLACK DROPPer　09.decade　10.SMILE WO

DaizyStripperが結成当初からライブで演奏している曲が詰め込まれた作品。結成からDaizyStripperが形作られるまでメンバーの試行錯誤により生まれ、ライブでファンと共に育ててきた曲達。
DaizyStripperはこれらの曲から誕生し、スタートしたという意味、そしてこの作品からたくさんの愛が誕生してほしいという願いが込められている作品、それが『BIRTH』である。

2010.8.11

2days ONE-MAN LIVE『BIRTH or LOVE?』

チケット一般発売：2010年8月21日（土）10:00～開始!!
お問い合わせ：SOGO TOKYO ☎03-3405-9999

1st Day『Theater of BIRTH』2010年9月30日（木）日本青年館

[OPEN / START] 17:30 / 18:30　[チケット代] 前売 ¥4,000 / 当日 ¥4,500　[席種] 全席指定

2nd Day『Thea[illegible]er of LOVE』2010年10月1日（金）SHIBUYA AX

[OPEN / START] 17:30 / 18.[illegible]　[チ[illegible]代] [illegible] ¥4,000 / 当[illegible] ¥4,50[illegible]　[[illegible]種] オールスタンディング

なんと!
入場者全員にお土産付
プレミアムライブ映像
★日本青年館公演限定おまけDVD★
『Vol.1 銀のうさぎ盤』
★SHIBUYA AX公演限定おまけDVD★
『Vol.2 金のうさぎ盤』

hudie.com

2010.8.25 IN STORES

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1

GIANIZM ～天魔覆滅～

【完全予約限定盤スペシャルボックス】

VPBQ-19065　¥10,000(tax in)

- ■本編 LIVE DVD 2枚 ※DVD 単体商品と同一内容
- ■カウントダウンライブ DVD (20～30分収録) 1枚
  2009.12.31 ～ 2010.1.1 にかけて Zepp Sendai で行われたカウントダウンライブの模様を収録したスペシャル DVD！
- ■LIVE CD 2枚 ※CD 単体商品と同一内容
- ■封入特典付 (スタッフパスレプリカ２種入り)
- ■10周年スペシャルクーポン券付

【DVD】

VPBQ-19064　¥5,800(tax in)

- ■本編 LIVE DVD ２枚組
- ■10周年スペシャルクーポン券付

【CD】

VPCC-81660　¥3,000(tax in)

- ■CD ２枚組
- ■10周年スペシャルクーポン券付
- ■トレーディングカード封入

【CD•DVD 収録曲】※収録内容は異なります。

•自傷 (少年テロリスト) •ジャイアニズム誤 •ジャイアニズム痛～生涯皆殺し～ •Cynical Re:actor •BOYS BE SUSPICIOUS •DIRTY •ジャイアニズム究 •ジャイアニズム叱 •Mr.trash music •クラッシュ!?ナイトメアチャンネル •muzzle,muzzle,muzzle •Can you do it? •WORST •TrickSTAR •livEVIL •バックストリートチルドレン •ジャイアニズム碌 •東京傷年 •ジャイアニズム罰 •ジャイアニズム天 •ジャイアニズム死 •dogma •惰性ブギー •Яaven Loud speeeaker •ジャイアニズム惨 •極東乱心天国 •Star[K]night

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT VOL.2

re:Start of tell[all]ism

TOUR FINAL 8.25 [wed] 日本武道館

Open / Start　17:30 / 18:30　info. ディスクガレージ　03-5436-9600【チケット料金】全席指定：¥6,300(tax in)　※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】6月26日(土)

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/]　Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/]　http://www.vap.co.jp/ vap

蝴蝶网
hudie.com

Printed in Japan
雑誌04537-09
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045370906
00933